

東アジアにおける共同軍事演習の変容

ーハブ・スポークスからネットワークへー

廣瀬 律子

政策研究大学院大学
博士（国際関係論）

2013年3月

東アジアにおける共同軍事演習の変容
—ハブ・スポークスからネットワークへ—

序論 東アジアにおける共同軍事演習

1	本論文の問いと結論	1
2	本論文の意義	1
3	先行研究の整理	2
4	得られた知見	4
5	用語の定義と本論文の構成	5
(1)	用語の定義	5
①	定義	5
②	共同軍事演習の分類	6
③	その他	6
(2)	記述要領とデータ	7
(3)	本論文の構成	7

第1章 2国間演習

1	東アジア全体の概観	9
(1)	実施総数	9
(2)	国別の動向	9
①	国別実施数	9
②	相手国数	10
③	演習実施数と相手国数	11
(3)	リンクの状況	13
①	全体像	13
②	実施数が多いリンクと2国間関係	14
(4)	軍種	17
①	軍種別の実施状況	17
②	共同演習開始時の軍種	20
(5)	演習の規模	21
(6)	想定する軍事作戦	23
2	主要リンクの分析	24
(1)	米日	24
(2)	米豪	28
(3)	米印	31
(4)	米中	36

(5) 中露	38
(6) 露印	42
(7) 中印	45
(8) 米・東南アジア	48
(9) 東南アジア内	52
(10) 豪・東南アジア	56

第2章 多国間演習

1 東アジア全体の概観	60
(1) 実施総数と参加国	60
① 実施総数	60
② 名称と参加国	60
③ 実施状況	64
(2) 各国の参加実績	66
① 参加実績の多い国	66
② 各国の参加状況	67
③ 主催実績	70
(3) 想定する軍事作戦	71
2 主要演習の分析	71
(1) RIMPAC (環太平洋合同演習)	71
(2) SEACAT (東南アジア対テロ協力演習)	73
(3) PSI (拡散に対する安全保障構想阻止演習)	75
(4) Pacific Reach (西太平洋潜水艦救難演習)	77
(5) Tempest Express (テンペスト・エクスプレス)	79
(6) ARF 災害救援演習	82
(7) Milan (ミラン)	83
(8) FPDA による多国間演習	84

第3章 東アジアにおける共同軍事演習の変容

1 概観	88
(1) 米国を中心に西側陣営で共同軍事演習を実施—1980年代	88
(2) 米豪を中心に同盟・友好国間での共同軍事演習が増加—1990年代	89
(3) 米国中心の共同軍事演習の増加とネットワーク化—2000年代	90
2 ターニングポイント	92
(1) 1997年	93
① 2国間演習における変化	93
② 多国間演習における変化	93

③ 変化の原動力	94
(2) 2002年	96
① 2国間演習における変化	96
② 変化の原動力・カタリスト	96
(3) 2006年～2007年	99
① 2国間演習における変化	99
② 多国間演習における変化	99
③ 変化の原動力・カタリスト	99
3 共同軍事演習のダイナミクス—変化と継続	104
(1) 共同軍事演習開始のダイナミクス	104
① 米印(1992年開始)	104
② 露日(1998年開始)	105
③ Tempest Express(2000年開始)	106
(2) 2国間演習が多国間化するダイナミクス	106
① Cobra Gold(コブラ・ゴールド)	106
② Team Challenge(チーム・チャンレンジ)	107
③ Malabar(マラバール)	109
④ Khaan Quest(カーン・クエスト)	110
(3) 2国間演習が長期間継続するダイナミクス	111
① 米日	111
② 米韓	112
③ 豪・東南アジア	113
④ 東南アジア内	114

結論 東アジアにおける共同軍事演習の変容と要因

1 共同軍事演習の実施状況	117
(1) 2国間演習	117
(2) 多国間演習	119
(3) ネットワーク化への移行	120
2 共同軍事演習の主導国	121
(1) 2国間演習	121
(2) 多国間演習	124
(3) 共同軍事演習の主導国	125
3 共同軍事演習内容・目的の変化	127
(1) 共同軍事演習の内容と目的の対応関係	127
(2) 共同軍事演習の内容・目的の変化	128
(3) 2国間演習におけるリンクの強度—米国リンクと中国リンクの比較—	130
(4) 個別の2国間演習内容の変化	133

4 共同軍事演習変容の要因	137
参考文献	140
資料	148

序論 東アジアにおける共同軍事演習

1 本論文の問いと結論

冷戦期から冷戦後にかけて東アジアにおける共同軍事演習はどのように変容したのか。また、その要因として何が考えられるのか。本論文では、1980年代から2000年代の共同軍事演習について、実施国数・実施数いずれも大幅に増加しており、その内容や目的にも様々な変化が見られていること、変容の最大の特徴はハブ・スポーク型からネットワーク型への実施状況の移行であることを明らかにする。また、この変容の主な要因は、安全保障環境の変化に対する主要国の国防政策の変化であることを説明する。

本論文の分析の対象は、共同軍事演習（2国以上の軍により実施される軍事演習）であり、期間は、1981年から2009年までである。対象国は、1980年代以降の東アジアの安全保障を考える上で含まれるべき国であり、具体的には、米国、ロシア、日本、中国、台湾、韓国、モンゴル、インドネシア、タイ、マレーシア、シンガポール、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、カンボジア、ラオス、ミャンマー、インド、パキスタン、バングラデシュ、スリランカ、カザフスタン、キルギスタン、ウズベキスタン、タジキスタン、豪州、ニュージーランドとする。

2 本論文の意義

本論文の意義は次の通りである。各国の脅威認識や国防政策については、政府による多くの公式発表が行われ、これらの発表をもとに各国の意図について様々な分析がなされ、国際関係についても考察されている。しかし、公式発表では外交関係を考慮して明示的な表現が避けられる場合もあり、各国の意図を全て知ることは難しい。一方で、共同軍事演習は、2国以上の軍を実際に動かして行うものである。つまり、実施国は、共同軍事演習に安全保障上の役割を与え、ひとつひとつの演習について相手国、実施時期、実施内容などを国防政策に照らして決定していることから、共同軍事演習は各国の安全保障環境に対する認識の反映であるといえる。

従って、主要な共同軍事演習に着目すれば、演習実施時期の二国間・多国間関係や周辺諸国との関係をミクロ的に分析することができる。また、演習実施国・実施数、各共同演習の目的・実施内容などの傾向を分析することで、対象期間内の各国の脅威認識や同盟・友好関係の実態を理解することができよう。さらに、これらを合わせて、東アジア地域の共同軍事演習実績を包括的に分析することで、地域の国際関係をマクロ的に理解することができると考えられる。

これまでのところ、東アジアの共同軍事演習そのものに焦点をあて、実施状況、内容、目的、実施国や周辺国との関係までを扱った研究はない。また、研究対象も米軍が実施する共同軍事演習を扱ったものが多く、対象期間も限られており、冷戦期から近年までの東アジア各国の共同軍事演習実施状況を扱った研究は存在しない。本論文はこれらの問題点を克服するため、約30年間の共同軍事演習のデータから東アジアの共同軍事演習を概観し、主要演習を評価し、共同軍事演習を通じて国家関係を分析し、得られた知見を提示するも

のである。

3 先行研究の整理

本節では共同軍事演習についての先行研究を概観するが、東アジアの共同軍事演習全般を扱った研究、共同軍事演習の意義、目的等に関する包括的な研究はみあたらない。そこで、後述のように共同軍事演習には主要な目的（①能力向上・インターオペラビリティ向上、②関係強化・信頼醸成、安全保障環境の改善、③通常戦対応能力の向上、④非伝統的脅威対応能力の向上）があることから、まず、それぞれの目的について言及した研究を提示し、次に、共同軍事演習が持つその他の特徴についての文献を紹介することとする。

（1）共同軍事演習の主要目的に関する研究

共同軍事演習の基本的な目的である能力向上・インターオペラビリティ向上については、ハバードが、豪州が、米軍との作戦に備え米豪軍事力格差縮小のためにも共同軍事演習を活用していると指摘している¹。サイモンは、同時多発テロ（9/11）以降、米国と東アジア各国間に対テロ共同軍事演習などの軍事協力の進展が期待されるものの、軍事能力格差の拡大が阻害要因であることを指摘している²。

実施国間の関係強化・信頼醸成、安全保障環境の改善も共同軍事演習の重要な目的である。この点に着目した研究は比較的多く、菊地茂雄、塚本勝也は、クリントン政権で打ち出された米国の国益にとって望ましい国際安全保障環境の形成という国防戦略のための手段として共同軍事演習が位置付けられ、戦争遂行や戦力整備と同じ水準の任務として付加されたことを指摘している³。長尾雄一郎、立川京一、塚本勝也は、米国の共同軍事演習の目的は信頼醸成・緊張緩和の促進、多国間協力の円滑化であり、クリントン政権下での関与政策の一手段としての共同軍事演習をいくつか例示し、米国の多様な利益を反映した形で実施されていると分析した⁴。

豪州については、竹田いさみ、森健、永野隆行が、ハワード政権下で、対米関係強化の文脈で米豪共同軍事演習が大規模化されたと分析している⁵。片原栄一は、豪州は米豪共同軍事演習の実施によりインターオペラビリティの向上に加え、米国にとって有益なパートナーとしての豪州の価値を高め、さらには豪州の軍人が共同・統合作戦において重要な

¹ Christopher Hubbard, *Australian and US Military Cooperation: Fighting Common Enemies* (Hampshire: Ashgate, 2005), pp.110-111.

² Sheldon W. Simon, "Theater Security Cooperation in the U.S. Pacific Command: An Assessment and Projection," *NBR Analysis*, Vol. 14, No. 2(August 2003), p. 5.

³ 菊地茂雄、塚本勝也「米軍の共同軍事演習の傾向とアジア太平洋の安全保障」『防衛研究所紀要』第6巻第2号（2003年12月）98頁。

⁴ 長尾雄一郎、立川京一、塚本勝也「冷戦終結後の軍事交流に関する研究」『防衛研究所紀要』第4巻第3号（2002年2月）10、15-17頁。

⁵ 竹田いさみ、森健、永野隆行『オーストラリア入門 第2版』（東京大学出版会、2007年）200頁。

地位に就く機会が与えられるという利点も生まれると指摘している⁶。タークルは、豪州の東アジアでの共同軍事演習の目的として、最初に信頼強化、協力促進、次に透明性・インターオペラビリティ向上、技能向上等を挙げている⁷。

東南アジアについては、アチャリヤが冷戦期の東南アジアの共同軍事演習の目的が地域の反乱対策から通常戦対応や信頼醸成に変化したと指摘している⁸。長内辰也も、1972年以降の東南アジアの共同軍事演習の変遷をまとめた上で、冷戦期の国家的な脅威を対象としたものから、相互理解や信頼醸成目的のものへと変化し、多様化・活発化する傾向にあるとの結論を示している⁹。さらに、カストロは、米フィリピン関係において共同軍事演習の増加は安全保障関係の向上を明確に示すものであり、米国にとって同盟再活性化というメリットをもたらしたと指摘している¹⁰。

インドについて、ボショーイは、米印戦略パートナーシップの発展が、共同軍事演習をより高い水準に引き上げたと分析している¹¹。中国に関しては、松田康博が、非伝統的脅威対応の共同軍事演習の目的の一つとして、第三国の懸念を回避しながらの先進国との軍事協力進展があると指摘している¹²。また、朱鋒は、中国の共同軍事演習を通じた接触は人員の往来から装備・戦術レベルの交流にまで高まり、相手国との相互認識・理解が促進されたと述べている¹³。

共同軍事演習の目的には、上記の一般的な能力向上、関係強化等に加え、通常戦対応能力の向上が含まれる場合がある。島川雅史は、1995年の太平洋軍司令官の発言を引用し、合同・統合演習で最大規模である1998年のRIMPAC(環太平洋合同演習)の目的について、共通理解、ひとつの合同軍としての行動を挙げた上で、注目点として空母などの展示による中国・ロシアへの示威の意味の大きさについて指摘している¹⁴。東南アジアについては、佐藤考一が、域外国との共同軍事演習では自国の防衛に直結する軍事協力を目的としてい

⁶ 片原栄一「米豪同盟関係の動向と今後の課題」『防衛研究所紀要』第11巻第3号(2009年3月)54頁。

⁷ Ramesh Thakur, "Australia's Regional Engagement," *Contemporary Southeast Asia*, Vol. 20, No. 1 (April 1998), p. 12.

⁸ Amitav Acharya, *A Survey of Military Cooperation among the ASEAN States: Bilateralism or Alliance?* Occasional Paper, No. 14, Centre for International and Strategic Studies(May 1990), pp.16-18.

⁹ 長内辰也「東南アジアにおける共同軍事演習の変遷と安全保障への影響」『防衛学研究』第36号(2007年3月)74頁。

¹⁰ Renato Cruz De Castro, "Twenty-First Century Philippine-American Security Relations: Managing an Alliance in the War of the Third Kind," *Asian Security*, Vol. 2, Issue 2(2006), p. 112.

¹¹ Saroj Bishoyi, "Defence Diplomacy in US-India Strategic Relationship," *Journal of Defence Studies*, Vol. 5, No. 1(January 2011), p.71

¹² 松田康博「中国の軍事外交試論—対外戦略における意図の解明—」『防衛研究所紀要』第8巻第1号(2005年10月)14頁。

¹³ 朱鋒「中国の安全保障—防衛交流の背景と位置付け、評価」秋山昌廣・朱鋒編『日中安全保障・防衛交流の歴史・現状・展望』(亜紀書房、2011年)59頁。

¹⁴ 島川雅史『アメリカ東アジア軍事戦略と日米安保体制』(社会評論社、1999年)37頁。

ると述べている¹⁵。また、玉木一徳は、冷戦期の東南アジアの共同軍事演習が ASEAN 諸国に対する安全保障上の外的圧力に対応して拡大してきたと分析している¹⁶。インドについては、サッシャーが共同軍事演習の役割としてインターオペラビリティの向上、相互理解、信頼醸成を挙げた上で、潜在敵国や挑戦国の行動に対して行われるであろう共同軍事対処を示すことを指摘している¹⁷。

さらに、共同軍事演習の目的には非伝統的脅威対応能力の向上が含まれる場合があるが、上記の菊地、塚本は、特に多国間演習に焦点をあて、米太平洋軍が多国籍軍による軍事活動の円滑化だけでなく、平和維持、人道支援面の協力のために多国間アプローチを採るようになったと述べている。上記サッシャーも、共同軍事演習が国際テロを含め共通の安全保障上の懸念への対応に寄与し得ると指摘している。神保謙は、災害救援等アドホックな問題領域における東アジアでの安全保障協力に着目し、その手段の一つとして共同軍事演習を位置付けている¹⁸。また、長尾雄一郎、石津朋之、立川京一は、同盟関係にない数カ国の海軍による潜水艦救難のような実践的な演習の実施を取り上げ、軍事交流における海軍力の役割の重要性を指摘している¹⁹。

(2) 共同軍事演習のその他の特徴に言及した研究

そのほか、共同軍事演習の特徴として、菊地、塚本は、東アジアでの米太平洋軍の共同軍事演習の目的として軍事施設や資源に対するアクセスの確保を挙げている。また、中国について、ストレイは、東南アジアとの共同軍事演習の目的は相手国軍のドクトリン、戦術及び能力についての知見を得ることであり、中国と東南アジア諸国の共同軍事演習は当該二国間の文脈に加え、常に米国との関係をも考慮する必要があることを指摘している²⁰。

4 得られた知見

1980年代から2000年代までの東アジアの共同軍事演習について、得られた知見は以下のとおりである。第一に、共同軍事演習の実施状況は、米国と同盟国・友好国のハブ・スポークス型から、これらのリンクを含んだネットワーク型に移行していることが明らかになった。第二に、共同軍事演習を主導している国が特定できた。冷戦期、冷戦後とも、2国間演習については米国が最も強力な主導国であり、次に豪州であった。多国間演習につ

¹⁵ 佐藤考一『ASEAN レジーム—ASEANにおける会議外交の発展と課題』（勁草書房、2003年）245頁。

¹⁶ 玉木一徳「ASEAN 諸国の安全保障協力」『国際問題』No. 335（1988年2月）67頁。

¹⁷ B.S. Sachar, “Cooperation in Military Training as a Tool of Peacetime Military Diplomacy,” *Strategic Analysis*, Vol. 27, Issue 3(2003), p.414.

¹⁸ 神保謙「アジア太平洋の地域安全保障アーキテクチャと日米同盟」『日米関係の今後の展開と日本の外交』（日本国際問題研究所、2011年3月）179-180頁。

¹⁹ 長尾雄一郎、石津朋之、立川京一「戦闘空間の外延的拡大と軍事力の変遷」石津朋之編『戦争の本質と軍事力の諸相』（彩流社、2004年）134頁。

²⁰ Ian Storey, “China’s Defence Diplomacy in Southeast Asia,” in Bhubhindar Singh and See Seng Tan eds., *From ‘Boots’ to ‘Brogues: The Rise of Defence Diplomacy in Southeast Asia*, RSIS Monograph, No. 21(2011), p.100.

いても同様に米国、豪州が重要な役割を果たしたが、冷戦後はシンガポールも主導的な役割を果たすようになった。

第三に、共同軍事演習内容・目的の変化が明らかになった。共同軍事演習の内容についてみると、1980年代は通常戦対応のみを想定していた。1990年代も通常戦対応中心であり、非伝統的脅威対応の共同軍事演習はわずかであった。2000年代は、通常戦対応が占める割合が低下し、一方で、非伝統的脅威対応が増加した。共同軍事演習の目的については、1980年代は共産圏との通常戦を念頭に、高烈度紛争の抑止・対処、個別作戦対応が中心であった。1990年代になると、関係強化、信頼醸成、安全保障環境の改善に重点を置く傾向がみられるようになった。2000年代になると、非伝統的脅威対応のための具体的な作戦能力の向上も目的とされるようになった。また、演習相手国数が多い米国と中国について、それぞれの実施数、演習内容、相手国との関係を分析すると、米中のリンクには強度に違いがあることが明らかになった。

第四に、共同軍事演習変容の時期と要因が明らかになった。1990年代後半の通常戦対応の演習実施数の増加の主な要因は、米国の政策変化である。米国が、望ましい安全保障環境形成のための手段として共同軍事演習を位置付けたことが演習実施数の増加をもたらした。2000年代初期の非伝統的脅威対応（対テロ）を中心とした実施数の増加は、9/11を契機としたテロ対応の必要性が要因である。さらに、2000年代後半の非伝統的脅威対応の共同軍事演習増加は、災害救援などへの多国間協力の必要性が認識されたことが要因だと考えられる。

このように、本論文により、一見ばらばらに実施されているように見える共同軍事演習が、実施国にとってどのような意味を持っているかを明らかにすることができる。また、共同軍事演習の内容に着目することにより、外交上の配慮から明言されないことが多い各国の安全保障環境に対する認識についても理解を深めることができるようになる。さらに、長期的な観点から地域レベルの分析を行い、共同軍事演習の実施状況が明確に変化していることを明らかにすることができる。一方で、本論文では、共同軍事演習というツールにより東アジア地域の国際関係を横断的に把握することを意図したため、共同演習実施国間の関係については地域研究レベルの分析までには至っていない。例えば、共同軍事演習の実施数と信頼醸成の相関関係、すなわち、共同軍事演習の実施数が増加すれば実施国間の信頼醸成が進展するのといったような点については、個別の二国間関係についてさらに深いレベルの研究が必要であり、今後の課題であると考えている。

5 用語の定義と本論文の構成

(1) 用語の定義

① 定義

共同軍事演習には様々な規模・レベルのものがあるが、本論文では、2国以上の軍により行われる演習（実戦に備えて同じような状況を想定して行われる訓練）とする。例えば、総計10万人以上の規模のものから、数十名単位のものまで、又は数十隻が参加するものから、数隻で行われるものまでを含むものとする。

共同訓練という用語を使用している資料や文献については、共同軍事演習と同じ意味で用いている場合は分析対象とする。また、共同軍事演習には、指揮関係にない2国以上の軍がそれぞれの指揮系統に基づき相互に協力して行う場合（協同）と、2国以上の軍に統一指揮関係がある場合（連合）の双方を含むこととする。

近年、軍以外の行政機関やNGOなどが共同軍事演習に参加する場合も増加しているが、軍が主催しているものは分析対象とし、軍以外の機関が主体となって実施する演習は除外する。また、多国間演習に東アジア以外の国が参加している場合、東アジアの安全保障との関連性が高いと判断した場合には分析対象とする。

2国間演習を行っている国のつながりをリンクと呼ぶ。例えば、米国と日本が共同軍事演習を行っている場合を米日リンク、米国と豪州が共同軍事演習を行っている場合を米豪リンクと呼び、米国が共同軍事演習を行っているリンクの総称を米国リンクとする。

② 共同軍事演習の分類

共同軍事演習の分類方法には様々なものがあるが、本論文で用いる方法については以下の通りである。演習レベルによる段階的分類としては、複雑性・難易度・資源投入度と現実性（実際の事態にどの程度近い状況で行うか）・重要性を基準に、程度の低い方から、セミナー（知識の習得）、ドリル（単一分野、取り扱う資機材等の手順の反復習熟訓練）、機能別演習（セミナー、ドリルで身に付けた学習効果を基に、ある事態を想定した演習）、総合演習（実際の事態に極力近い状態で組織力を有機的に活動させる演習であり、機能別訓練を統合した内容）と位置付けられる。本論文では、基本的には機能別演習及び総合演習を取り扱うが、セミナー等についても、具体的な軍事作戦を念頭に実施されたもの、例えば、具体的なシナリオに基づき幕僚の計画策定能力等を訓練するワークショップ等は分析対象とする。

実施国数による分類としては、2国間演習と多国間演習（3カ国以上で行われる演習）とする。

演習の形態による分類では、机上演習（集団で一つ又は複数の問題を討議し、解決策を導き出す演習）、実動演習（事態が起こる実際の現場において実施する演習）とする。

軍種による分類としては、演習を行う軍種により、陸軍演習、海軍演習、空軍演習とする。異なる2軍種以上による演習は海空軍演習などと表記し、陸海空軍による演習は3軍演習と呼ぶ。異なる2軍種以上による演習で、1国又は2国以上の演習実施国の軍が統合部隊を編成している場合も同様に表記し、特に区別する必要がある場合にはその旨記述する。

訓練行動により分類する場合は、陸軍については近接戦闘訓練、特殊作戦訓練など、海軍については対潜訓練、搜索救難訓練など、空軍については空中戦訓練、防空訓練などとする。なお、異なる2軍種以上の演習については、軍種と主な訓練行動により記述する。例えば、海空軍による潜水艦対処を内容とする演習は、海空軍対潜演習とする。

想定する軍事作戦により分類する場合は、対象とする脅威により、通常戦対応と非伝統的脅威対応（対テロ、大量破壊兵器拡散防止、災害救援、平和活動等）とする。

③ その他

本論文中で使用するその他の用語について、以下のとおり定義する。共同演習の目的について、関係強化とは同盟国・友好国間で、相互信頼、相互理解を深めることを言う。信頼醸成とは同盟国・友好国以外の国との間で、偶発的な軍事衝突を防ぐとともに、国家間の信頼を醸成することを指す。

海軍演習の訓練行動について、通信訓練とは、手旗信号、発光信号、無線通信などによる通信についての訓練、戦術運動訓練とは、艦艇配列を行う訓練、海上阻止訓練とは、洋上の立入検査や臨検についての訓練を指す。

多国間演習について、標準手続規則とは、軍同士の間での調整のための共通手続をいう。

(2) 記述要領とデータ

第1章、第2章では、基本的に、対象時期を10年ごとの年代に区切ってデータを整理し、分析する。第3章では、各年毎の実施数の変化に着目する。主要演習を記述する場合は、実施時期、実施場所、参加規模・部隊・装備、目的・内容の順とし、2国間演習の国名表記順は、米日、米豪、米印、米中、中露、露印、中印、米・東南アジア、豪・東南アジアに統一する。なお、巻末に、各共同軍事演習の実施時期、演習名、資料源を記した表を付す。

データについては、主に、各国国防省発行の年次報告や国防省ウェブサイト、報道機関ウェブサイト、新聞、雑誌、学術論文、書籍等から収集し、各国政府の資料を優先的に使用する。

共同軍事演習の実施数については、演習の実施が確認される資料に基づき集計する。演習実施の予定のみが記載されている資料は使用しないが、政府発出の資料で、演習の予定が記載され、演習の中止が発表されていない場合には集計に用いることとする。

1980年代から1990年代前半については、データ自体が少なく、存在する場合でも軍種や演習内容等が把握できないこともあり不完全な場合も多い。1990年代後半以降は、各種ウェブサイトの充実もあり入手可能な情報が比較的多くなっている。従って、東アジアの共同軍事演習の実績を全て網羅できたとはいえないが、主要演習を含め全体像を明らかにするために十分な情報は入手できたと考えている。

(3) 本論文の構成

本論文は以下のような構成とする。「第1章 2国間演習」では、対象期間内の2国間演習の実績を概観し、主要リンクの演習を分析する。東アジアでは、米日間、米韓間、米フィリピン間などの2国間の安全保障条約の束としての地域的な安全保障体制が構築されたことなどから、多国間演習よりも2国間演習の歴史が長く、実施数も多い。2国間演習について、国別実施数、実施数が多いリンク、演習相手国数などをまとめて提示し、米国、日本、豪州が多くの共同軍事演習を行ってきたことを明らかにする。また、想定する軍事作戦による分類を行い、2000年代以降、非伝統的脅威対応の共同軍事演習が増加したことを説明する。さらに、主要リンクである米日間、米豪間、米印間、米中間などにおける共同軍事演習の変遷や特徴などを明らかにする。

「第2章 多国間演習」では、対象期間内の多国間演習の実績を概観し、主要演習を分析する。多国間演習の実施総数、各国の参加実績、主催実績などをまとめて提示し、米国、豪州、シンガポールを中心に多国間演習が行われていることを明らかにする。また、想定する軍事作戦による分類を行い、2000年以降通常戦対応に加え非伝統的脅威対応の共同軍事演習が行われるようになったこと、非伝統的脅威対応の演習に多くの国が参加していることなどを明らかにする。さらに、主要な多国間演習について、その変遷や特徴などを明らかにする。

「第3章 東アジアにおける共同軍事演習の変容」では、2国間・多国間演習の実施状況を再度概観し、共同軍事演習を通じた国家間関係をマクロ的に把握する。次に、共同軍事演習実施数が大きく増加するいくつかの時期（ターニング・ポイント）について、増加の原動力（増加を引き起こすもととなった力）とカタリスト（直接のきっかけ）を分析する。それぞれのターニング・ポイントで、米国等の政策変化、非伝統的脅威対応の必要性が原動力となり、9/11やインドネシア津波がカタリストとしての役割を果たしていたことを明らかにする。さらに、特徴的な共同軍事演習をとりあげ、実施国家間関係や周辺諸国との関係を明らかにする。

「結論 東アジアにおける共同軍事演習の変容と要因」では、第1～3章を踏まえ、東アジアの共同軍事演習の変容と要因について得られた結論を導き出す。

第1章 2国間演習

本章では、2国間演習について東アジア全体を概観し、主要リンクを分析する。

1 東アジア全体の概観

本節では、2国間演習の実施総数、国別の動向、リンクの状況、軍種、演習の規模、想定する軍事作戦について取り上げ、東アジア全体における2国間演習の実施状況を概観する。

(1) 実施総数

年代を追うごとに、演習数、実施国数、リンク数がそれぞれ増加している。軍種別の演習数では海、陸、空、3軍の順となっている。

表1-1 2国間演習の実施回数、実施国数、リンク数

		1981-90	1991-2000	2000-09	計
総数		385	588	983	1956(11)
	陸軍(注1)	98	131	277(4)	506(4)
	海軍(注1)	94	226	304	624
	空軍(注1)	133	104	154	391
	3軍	35	58	103	196
	その他(注2)	25	69(2)	145(5)	239(7)
実施国数		10	18	24	
リンク数		24	44	74	

注1) 陸軍演習、海軍演習及び空軍演習には、陸海空各軍と海兵隊の演習を含む。

注2) 海兵隊間の演習、異なる2軍種以上による演習及び軍種が明らかでない演習。

注3) () 内は内数で、旧ソ連諸国間の演習。

(2) 国別の動向

① 国別実施数

各年代に共通する特徴は、米国の実施数が最も多く、次いで、米国の同盟国・友好国である日本、豪州、東南アジア諸国となっていることである。2000年代においては、特にシンガポール、フィリピン及びインドの伸びが大きかった一方、日本の実施数は横ばいであった。

表1-2 国別共同軍事演習実施数(上位10カ国)

(各年代合計)

	国	総数
1	米国	1244
2	日本	649

(1980年代)

	国	1980年代
1	米国	319
2	日本	227

3	豪州	498
4	シンガポール	243
5	インドネシア	198
6	マレーシア	177
7	タイ	175
8	フィリピン	156
9	ブルネイ	119
10	インド	114

3	豪州	66
4	マレーシア	37
5	インドネシア	30
6	タイ	29
7	韓国	28
8	シンガポール	13
9	ニュージーランド	9
10	フィリピン	6
10	ブルネイ	6

(1990年代)

	国	1990年代
1	米国	369
2	日本	206
3	豪州	184
4	シンガポール	86
5	インドネシア	82
6	タイ	53
7	ブルネイ	41
8	ニュージーランド	32
9	マレーシア	31
10	フィリピン	28
10	韓国	28

(2000年代)

	国	2000年代
1	米国	556
2	豪州	248
3	日本	216
4	シンガポール	144
5	フィリピン	122
6	マレーシア	109
7	インド	101
8	タイ	93
9	インドネシア	86
10	ブルネイ	72

② 相手国数

演習実施相手国数が多い国をみると、各年代で米国、豪州、東南アジア各国となっている。2000年代になると、インド、中国、ロシアの相手国数が増加している。

表1-3 演習実施相手国数

	1980年代	相手国数
1	米国	9
2	マレーシア	7
3	インドネシア	6
4	豪州	5
4	シンガポール	5
4	ブルネイ	5
7	タイ	4

	1990年代	相手国数
1	米国	12
2	豪州	9
2	シンガポール	9
4	インドネシア	8
5	マレーシア	8
6	ブルネイ	6
7	ロシア	5

	2000年代	相手国数
1	米国	17
2	インド	12
3	中国	11
4	豪州	10
4	ロシア	10
6	シンガポール	10
7	マレーシア	10

8	ニュージーランド	3
9	フィリピン	2
10	日本	1
10	韓国	1

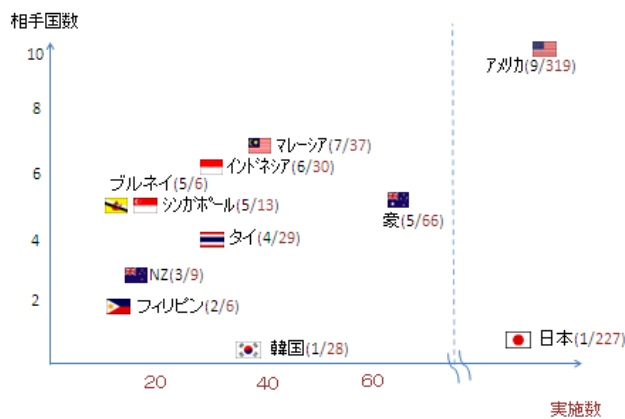
7	タイ	5
7	フィリピン	5
7	ニュージーランド	5
11	日本	4
12	韓国	3
12	インド	3
14	パキスタン	2
15	中国	1
15	ベトナム	1
15	タジキスタン	1
15	ウズベキスタン	1

8	インドネシア	8
9	ブルネイ	8
10	タイ	7
11	パキスタン	6
12	ニュージーランド	6
13	フィリピン	5
14	日本	4
15	韓国	4
16	モンゴル	4
17	タジキスタン	3
18	キルギスタン	3
19	ミャンマー	2
19	バングラデシュ	2
19	台湾	2
19	カザフスタン	2
22	スリランカ	1
22	ウズベキスタン	1

③ 演習実施数と相手国数

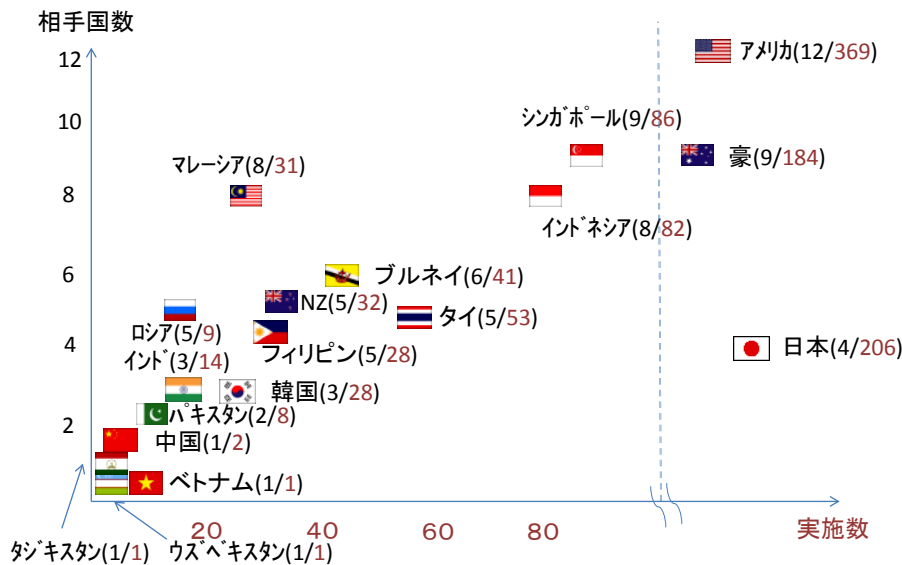
国別の演習実施数と相手国数を組み合わせて概観すると、1980年代は演習実施数、相手国数ともに、米国が圧倒的多数であった。

図1-1 演習実施数と相手国数（1980年代）



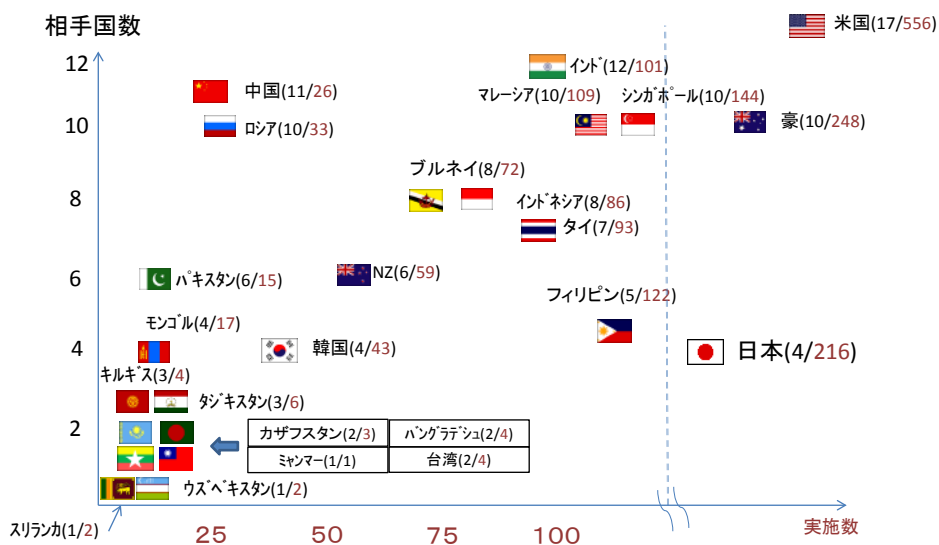
1990年代は、実施数、相手国数ともに米国が最多だが、1980年代と比較して、豪州、シンガポールの実施数、相手国数が大幅に増加した。

図1-2 演習実施数と相手国数（1990年代）



2000年代は、1990年代に引き続き、米国、豪州、シンガポールの実施数、相手国数が多く、インド、マレーシアについても増加がみられた。

図1-3 演習実施数と相手国数（2000年代）

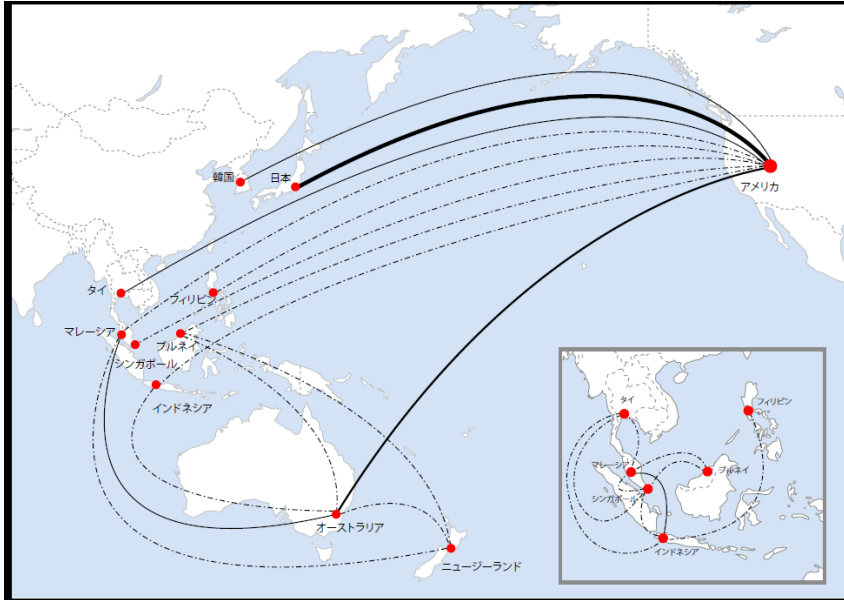


(3) リンクの状況

① 全体像

1980年代は、西側陣営内、主に米国と同盟国など（日本、豪州、韓国、東南アジア）の間、豪州と東南アジア間、東南アジア内で共同軍事演習が行われた。

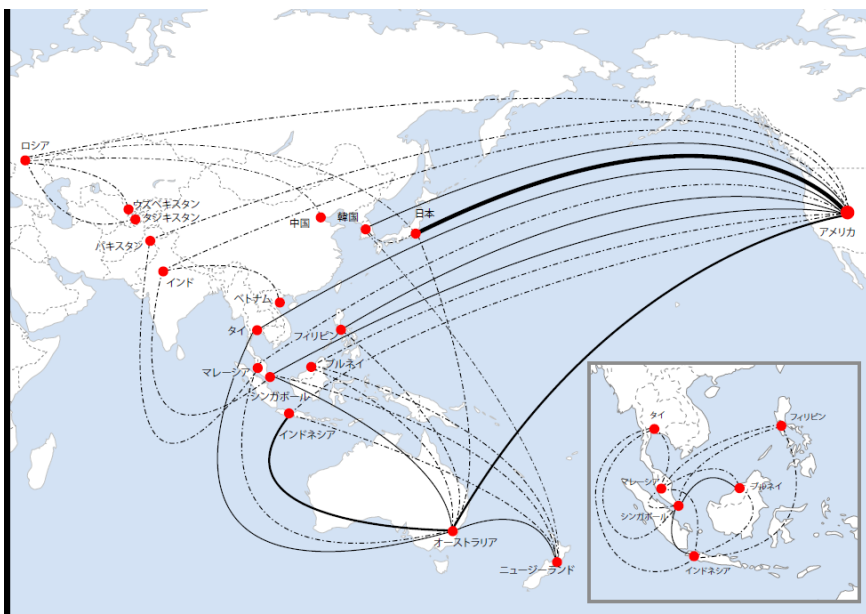
図1-4 リンクの状況（1980年代）



注) 各種公刊資料に基づき、横山早春 (GRIPS グローバル COE プログラム) が作成。

1990年代は、1980年代に引き続き、主に米国と同盟国（日本、豪州、東南アジア）の間、豪州と東南アジア間、東南アジア内で共同軍事演習が行われ、特に、米東南アジア間、豪東南アジア間で実施数が増加した。

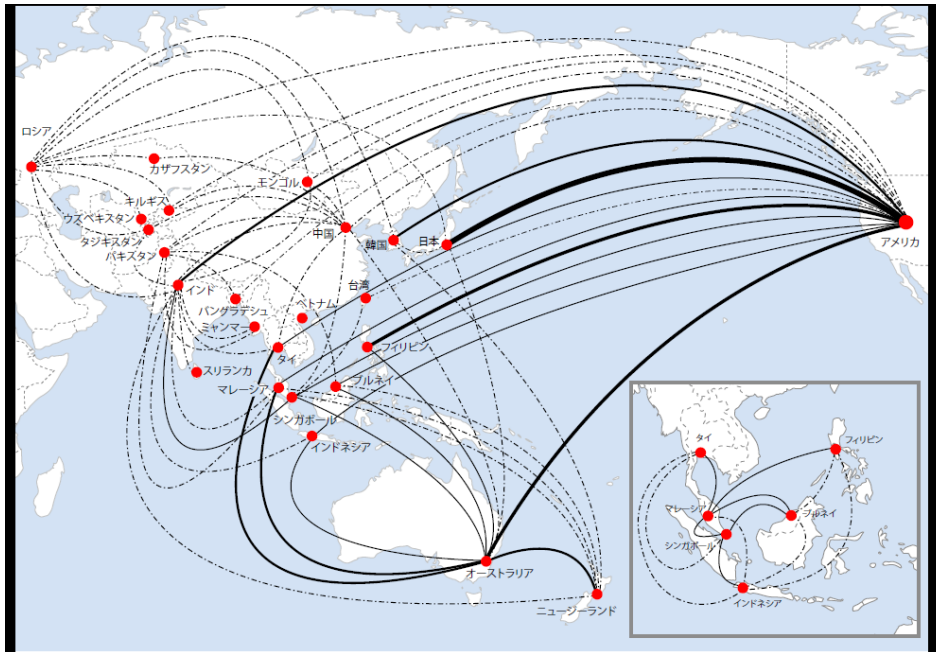
図1-5 リンクの状況（1990年代）



注) 各種公刊資料に基づき、横山早春 (GRIPS グローバル COE プログラム) が作成。

2000 年代になると、米国と同盟・友好国間での共同軍事演習、特に米印間、米豪間、米豪間の実施数が増加した。また、インド、中国を中心としたリンクが現れた。

図 1-6 リンクの状況 (2000 年代)



注) 各種公刊資料に基づき、横山早春 (GRIPS グローバル COE プログラム) が作成。

② 実施数が多いリンクと 2 国間関係

実施数が多い 10 リンクについて、各年代の 2 国間関係²¹を表示した。どの年代も米国を含むリンクが最も多く、次いで豪州と東南アジア各国、東南アジア内のリンクとなっている。また、2000 年代になると、米印リンクの実施数が増加する。いずれのリンクも、同盟関係又は友好関係にある。

表 1-4 演習実施数が多いリンク (上位 10 リンク)

(各年代合計)

	リンク	実施数
1	米日	626
2	米豪	166
3	米フィリピン	116
4	米韓	89
5	豪ニュージーラ	74

²¹ 本章においては、安全保障条約等の締結状況、地域協力機構への加盟状況、パートナーシップの有無等を勘案し、リンクを 3 種類に分類した。

	インド	
6	豪インドネシア	66
7	米タイ	65
8	豪タイ	57
9	豪マレーシア	52
10	インドネシア・シンガポール	51

(1980年代)

	リンク	実施数	2国間関係	安全保障条約等の締結状況、地域協力機構への加盟状況等
1	米日	227	同盟国(駐留軍あり)	日本・米国相互協力及び安全保障条約(1960)
2	米豪	41	同盟国(駐留軍あり)	オーストラリア・ニュージーランド・米国間3国家安全保障条約(1948)、東南アジア集団防衛条約(1955)
3	米韓	28	同盟国(駐留軍あり)	米国・韓国相互防衛条約(1952)
4	米タイ	15	友好国	東南アジア集団防衛条約(1955)
5	豪マレーシア	15	友好国	東南アジア集団防衛条約(1955)、5か国防衛取極(FDPA)(1971)
6	インドネシア・マレーシア	11	友好国	東南アジア諸国連合(ASEAN)(1967)
7	インドネシア・タイ	7	友好国	東南アジア諸国連合(ASEAN)(1967)
8	豪ニュージーランド	5	同盟国	オーストラリア・ニュージーランド・米国間3国家安全保障条約(1948)、東南アジア集団防衛条約(1955)、5か国防衛取極(FDPA)(1971)
9	インドネシア・シンガポール	5	友好国	東南アジア諸国連合(ASEAN)
10	米比	4	同盟国(駐留軍あり)	米国・フィリピン相互防衛条約(1952)
11	豪インドネシア	4	友好国	—
12	タイ・マレーシア	4	友好国	東南アジア諸国連合(ASEAN)(1967)

(1990年代)

	リンク	実施数	2国間関係	安全保障条約等の締結状況、地域協力機構への加盟状況等
1	米日	199	同盟国(駐留軍あり)	日本・米国相互協力及び安全保障条約(1960)

2	米豪	54	同盟国(駐留軍あり)	オーストラリア・ニュージーランド・米国間3国家安全保障条約(1948)、東南アジア集団防衛条約(1955)
3	豪インドネシア	50	友好国	—
4	米韓	26	同盟国(駐留軍あり)	米国・韓国相互防衛条約(1952)
5	米タイ	25	友好国	東南アジア集団防衛条約(1955)
6	豪ニュージーランド	24	同盟国	オーストラリア・ニュージーランド・米国間3国家安全保障条約(1948)、東南アジア集団防衛条約(1955)、5か国防衛取極(FDPA)(1971)、緊密な防衛関係協定(1991)
7	豪タイ	20	友好国	東南アジア集団防衛条約(1955)
8	シンガポール・ブルネイ	19	友好国	東南アジア諸国連合(ASEAN)(1967)
9	米比	18	同盟国(駐留軍あり)	米国・フィリピン相互防衛条約(1952)
10	豪シンガポール	17	友好国	5か国防衛取極(FDPA)(1971)
10	インドネシア・シンガポール	17	友好国	東南アジア諸国連合(ASEAN)

(2000年代)

	リンク	実施数	2国間関係	安全保障条約等の締結状況、地域協力機構への加盟状況等
1	米日	200	同盟国(駐留軍あり)	日本・米国相互協力及び安全保障条約(1960)
2	米比	94	同盟国	米国・フィリピン相互防衛条約(1952)
3	米豪	71	同盟国(駐留軍あり)	オーストラリア・ニュージーランド・米国間3国家安全保障条約(1948)、東南アジア集団防衛条約(1955)
4	豪ニュージーランド	45	同盟国	オーストラリア・ニュージーランド・米国間3国家安全保障条約(1948)、東南アジア集団防衛条約(1955)、5か国防衛取極(FDPA)(1971)、緊密な防衛関係協定(1991)
5	米印	41	友好国	米印防衛に関する合意議事録(1995)、米印共同宣言(2001)、米印防衛関係の新たな枠組み(2005)
6	豪タイ	37	友好国	東南アジア集団防衛条約(1955)
7	米韓	35	同盟国(駐留軍あり)	米国・韓国相互防衛条約(1952)
8	豪マレーシア	31	友好国	東南アジア集団防衛条約(1955)、5か国防衛取極(FDPA)(1971)
9	インドネシア・シンガポール	29	友好国	東南アジア諸国連合(ASEAN)

10	米タイ	25	友好国	東南アジア集団防衛条約(1955)、5か国防衛取極(FDPA)(1971)防衛関係強化に関する了解覚書(2008)
----	-----	----	-----	---

(4) 軍種

① 軍種別の実施状況

i 陸軍演習

各年代を通じて、米日が圧倒的多数であるが、2位以下では豪州リンク、東南アジア内のリンクが多い。

表1-5 陸軍演習の実施状況(上位10リンク)

(各年代合計)

	リンク	総数
1	米日	160
2	豪マレーシア	44
3	米豪	41
4	豪タイ	32
5	米印	22
5	米フィリピン	22
7	シンガポール・ブルネイ	21
8	インドネシア・シンガポール	18
9	豪ブルネイ	16
10	豪ニュージーランド	14

(1980年代)

	リンク	1980年代
1	米日	51
2	豪マレーシア	15
3	米豪	13
4	インドネシア・マレーシア	6
5	ニュージーランド・マレーシア	3
6	豪ニュージーランド	2
6	インドネシア・シンガポール	2
6	シンガポール・ブルネイ	2
9	米シンガポール	1
9	豪ブルネイ	1
9	シンガポール・マレーシア	1
9	ニュージーランド・ブルネイ	1

(1990年代)

	リンク	1990年代
1	米日	48
2	米豪	12
3	豪タイ	11
4	インドネシア・シンガポール	7
4	シンガポール・ブルネイ	7
6	豪インドネシア	6
7	豪ニュージーランド	5
7	豪シンガポール	5
7	豪マレーシア	5
7	豪ブルネイ	5

(2000年代)

	リンク	2000年代
1	米日	61
2	豪マレーシア	24
3	米印	22
4	豪タイ	21
5	米フィリピン	18
6	米豪	16
7	シンガポール・ブルネイ	12
8	豪ブルネイ	10
9	印シンガポール	9
9	インドネシア・シンガポール	9
9	ニュージーランド・ブルネイ	1

ii 海軍演習

各年代を通じて米日が圧倒的多数であり、2位以下も米国リンクが多数を占めている。

表1-6 海軍演習の実施状況（上位10リンク）

（各年代合計）

	リンク	総数
1	米日	204
2	豪インドネシア	28
3	米フィリピン	25
4	米韓	24
5	米印	20
5	米タイ	20
7	米インドネシア	18
7	米マレーシア	18
9	インドネシア・シンガポール	17
9	米シンガポール	16
9	米ブルネイ	16

（1980年代）

	リンク	1980年代
1	米日	54
2	米韓	14
3	米豪	4
3	米タイ	4
3	豪インドネシア	4
6	インドネシア・シンガポール	2
6	インドネシア・フィリピン	2
6	インドネシア・マレーシア	2
6	シンガポール・タイ	2
10	米インドネシア	1
10	米マレーシア	1
10	米ブルネイ	1
10	インドネシア・タイ	1
10	シンガポール・マレーシア	1
10	ブルネイ・マレーシア	1

（1990年代）

	リンク	1990年代
1	米日	85
2	豪インドネシア	22
3	米タイ	8
4	米韓	7
4	米シンガポール	7
4	米インドネシア	7
7	米豪	6
7	米マレーシア	6
7	米ブルネイ	6
7	豪シンガポール	6

（2000年代）

	リンク	2000年代
1	米日	65
2	米フィリピン	20
3	米印	15
4	米マレーシア	11
5	米インドネシア	10
5	インドネシア・シンガポール	10
7	米シンガポール	9
7	米ブルネイ	9
9	米タイ	8
9	印シンガポール	8
9	印インドネシア	8
9	フィリピン・マレーシア	8

iii 空軍演習

各年代を通じて米日が圧倒的多数であり、2位以下では東南アジア内のリンク、豪州リンクが多くなっている。

表1-7 空軍演習の実施状況（上位10リンク）

（各年代合計）

	リンク	総数
1	米日	234
2	豪インドネシア	22
3	インドネシア・シンガポール	16
4	米豪	15
5	豪ニューージーランド	14
6	シンガポール・ブルネイ	13
7	米シンガポール	8
8	インドネシア・タイ	7
9	米マレーシア	6
9	印シンガポール	6
9	タイ・マレーシア	6

（1990年代）

	リンク	1990年代
1	米日	54
2	豪インドネシア	16
3	豪ニューージーランド	8
4	シンガポール・ブルネイ	7
5	インドネシア・シンガポール	5
6	シンガポール・マレーシア	3
7	米豪	2
7	米シンガポール	2
9	米マレーシア	1
9	豪タイ	1
9	豪シンガポール	1
9	インドネシア・タイ	1
9	インドネシア・ニューージーランド	1
9	シンガポール・タイ	1
9	ブルネイ・マレーシア	1

（1980年代）

	リンク	1980年代
1	米日	116
2	インドネシア・タイ	6
3	タイ・マレーシア	4
4	米豪	2
4	インドネシア・マレーシア	2
6	米タイ	1
6	インドネシア・シンガポール	1
6	シンガポール・タイ	1

（2000年代）

	リンク	2000年代
1	米日	64
2	米豪	11
3	インドネシア・シンガポール	10
4	米シンガポール	6
4	豪ニューージーランド	6
4	豪インドネシア	6
4	印シンガポール	6
4	シンガポール・ブルネイ	6
9	米マレーシア	5
10	米印	4
10	米フィリピン	4
10	豪タイ	4

iv 3 軍演習

陸・海・空軍の実施状況と異なり、米韓が圧倒的多数となっている。2位以下については米国リンク主体である。

表1-8 3軍演習の実施状況（上位10リンク）

（各年代合計）

	リンク	総数
1	米韓	65
2	米フィリピン	31
3	米タイ	29
4	米日	26
5	米豪	21
6	豪ニューージーランド	13
7	豪タイ	7
8	インドネシア・マレーシア	3
9	中露	1

（1980年代）

	リンク	1980年代
1	米韓	14
2	米タイ	9
3	米日	6
4	米フィリピン	4
5	豪ニューージーランド	1
5	インドネシア・マレーシア	1

（1990年代）

	リンク	1990年代
1	米韓	19
2	米日	12
3	米タイ	10
4	米豪	6
4	米フィリピン	6
6	豪ニューージーランド	2
6	豪タイ	2
8	インドネシア・マレーシア	1

（2000年代）

	リンク	2000年代
1	米韓	32
2	米フィリピン	21
3	米豪	15
4	米タイ	10
4	豪ニューージーランド	10
6	米日	8
7	豪タイ	5
8	インドネシア・マレーシア	1
8	中露	1

② 共同演習開始時の軍種

1軍種でのみ共同軍事演習を行っているリンクの場合、海軍演習が実施されていることが最も多い。また、2軍種以上で共同軍事演習を行っている場合は海上演習から開始していることが多い²²。

表1-9 1軍種のみリンクの軍種（1軍種でのみ共同演習を実施し、初回の共同軍事演習が1981年～2009年の間に行われたと確認できるリンク）

	1980年代に開始	1990年代に開始	2000年代に開始
海軍演習		米露	米中
		豪日	豪中
		露日	露韓国
		中露	印インドネシア

²² 海軍の場合は、他の軍種と異なり、海上・海中を移動するという特性から、外国の海軍との交流を実施しやすい。

		印ベトナム	印マレーシア
		日韓	印ミャンマー
		パキスタン・マレーシア	印スリランカ
			印ニューージーランド
			シンガポール台湾
			フィリピン・ブルネイ
			パキスタン・ブルネイ
			パキスタン・バングラデシュ
			パキスタン・ミャンマー
陸軍演習	ニューージーランド・ブルネイ		露カザフ
	ニューージーランド・マレーシア		中シンガポール
			中カザフスタン
空軍演習		インドネシア・ニューージーランド	

注) 3軍・統合演習、異なる2軍種以上による演習は除く。

表1-10 2軍種以上のリンクの開始順(2軍種以上で共同軍事演習を実施し、初回の共同軍事演習が1981年～2009年の間に行われたと確認できるリンク)

海軍→陸軍→空軍	海軍→空軍→陸軍	陸軍→空軍→海軍	陸軍→海軍→空軍
米インドネシア(注2) 豪タイ(注2) 印シンガポール(注2) シンガポール・マレーシア ブルネイ・マレーシア	米マレーシア シンガポール・タイ	米シンガポール 豪ニューージーランド シンガポール・ブルネイ	豪シンガポール

海軍→陸軍	海軍→空軍	陸軍→海軍
露印 中印 米ブルネイ 豪フィリピン 印タイ フィリピン・マレーシア	インドネシア・ブルネイ	豪ブルネイ シンガポール・フィリピン シンガポール・ニューージーランド 中タイ

注1) 3軍・統合演習、異なる2軍種以上による演習は除く。

注2) 陸軍演習と空軍演習は同年に開始。

(5) 演習の規模

共同軍事演習の規模が明らかになるのは、総数(1956回)の3割以下である²³。その中で、規模が明らかな陸軍演習(205回)と、海軍演習(279回)を、それぞれ参加人

²³ 規模が明らかな2国間演習のうち、米日間の演習が6割強を占める。

数、参加艦船数、航空機の参加状況により分類すると、以下のとおりである。陸軍演習、海軍演習とも、小規模な演習の占める割合が多くなっている。

図 1 - 7 陸軍演習の規模 (参加人数合計)

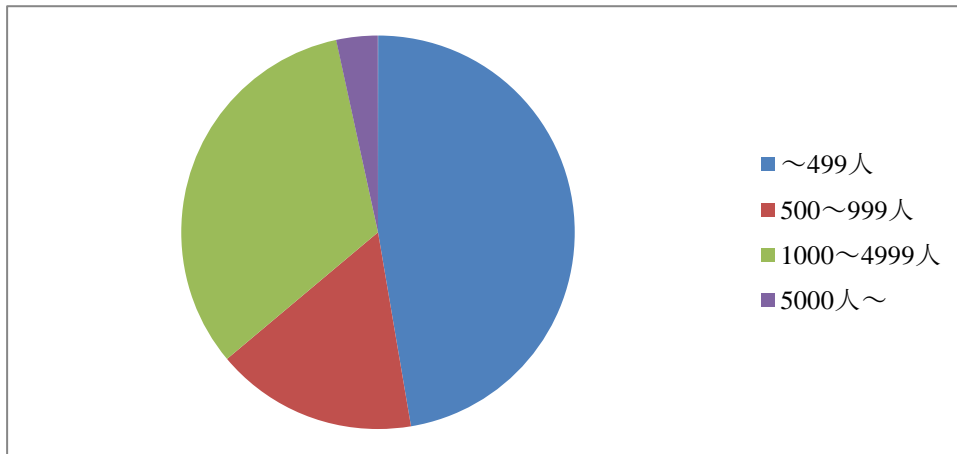


図 1 - 8 海軍演習の規模 (参加艦船数合計)

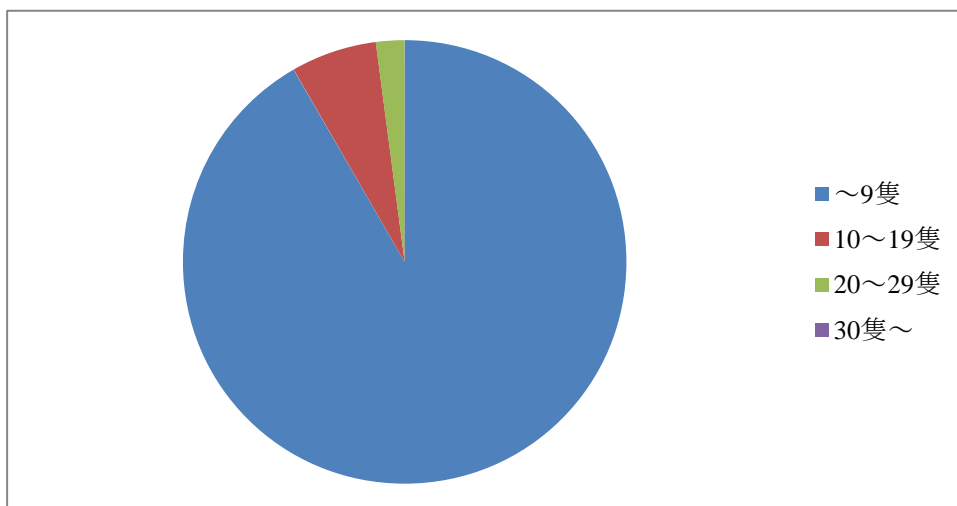
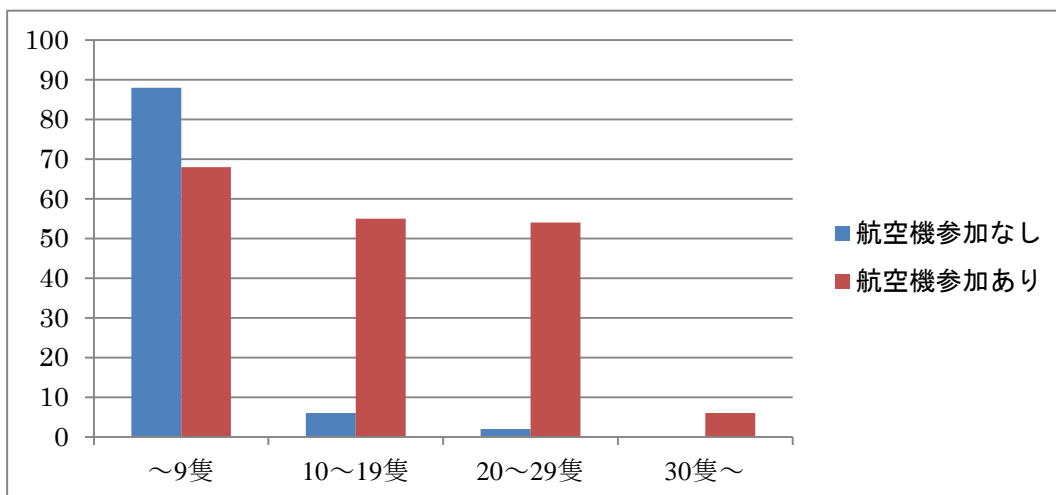


図 1 - 9 海軍演習における航空機の参加状況



また、特に大規模な共同軍事演習（両国合計参加人員が概ね 10,000 人以上）についてみると、米国が参加する統合演習と中露間の Peace Mission 2005 となっている。

表 1-11 参加人員 10,000 人以上の共同軍事演習

演習名	参加国	軍種	開始年	頻度	備考
Team Spirit	米韓	統合	1976	年 1 回	1992、1994 以降は中止
Cobra Gold	米タイ	統合	1982	年 1 回	1996 以降、10,000 人以上の参加を確認（1997、1999、2001、2005、2006、2008、2009 除く）
統合実動演習	米日	統合	1986	2 年に 1 回	
Foal Eagle ※1	米韓	統合	1991	年 1 回	2000 は 10,000 人以上の参加を確認
Tandem Thrust ※2	米豪	統合	1992	1992、1997、2001、2003 に実施	2003 は 10,000 人未満
Crocodile ※2	米豪	統合	1999	1999、2003 に実施	
Talisman Saber	米豪	統合	2005	2 年に 1 回	
Peace mission	中露	統合	2005	2 年に 1 回	2007、2009 は 10,000 人未満

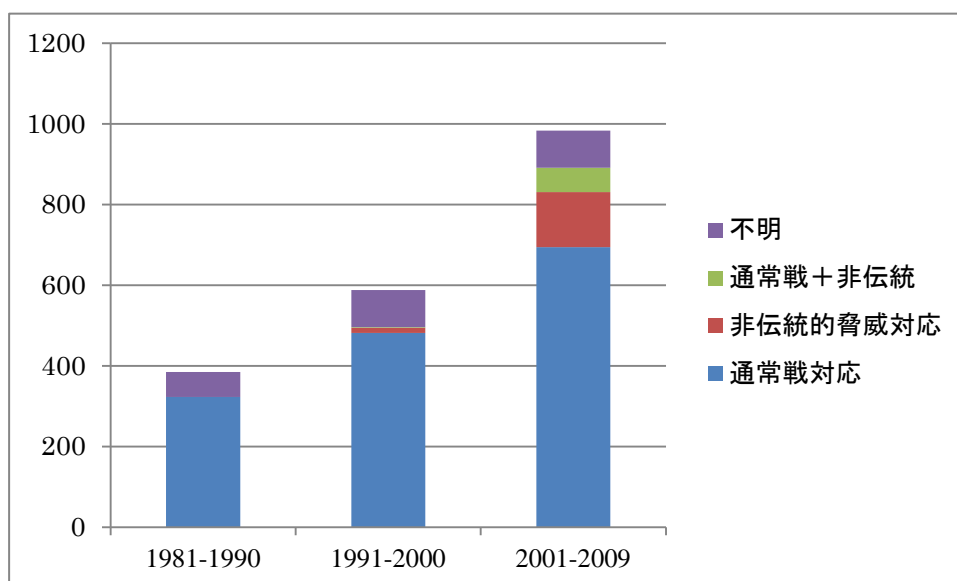
※1 2009 年より Key Resolve/Foal Eagle と改名。

※2 Tandem Thrust、Kingfisher、Crocodile を組み合わせ、2005 年から隔年で Talisman Saber が行われている。

（6）想定する軍事作戦

各年代とも通常戦対応主体であったが、徐々にその割合が減少し、2000 年代は通常戦全体で全体の約 7 割まで低下（非伝統的脅威対応が増加）した。非伝統的脅威対応の具体的な作戦能力の向上を目的としつつ、関係向上や信頼醸成を図るケースが増加してきたと考えられる。

図 1-10 想定する軍事作戦



2 主要リンクの分析

本節では、主要リンクにおける共同軍事演習の実績（年代毎の実施状況と主要演習）と評価について述べる。

（1）米日

① 実績

陸軍間では 1981 年、海軍間では 1950 年、空軍間では 1978 年から共同軍事演習が実施され、統合演習²⁴は 1986 年から行われている。

表 1-12 米日共同軍事演習の実施回数

	1981-90	1991-2000	2001-09	計
陸軍演習(注)	51	48	61	160
海軍演習	54	85	65	204
空軍演習	116	54	64	234
統合演習	6	12	8	26
弾道ミサイル防衛	0	0	2	2
計	227	199	200	626

注) 海兵隊との演習を含む。

i 1980 年代

陸軍間初の共同軍事演習は、1981 年 10 月、東富士演習場における米海兵隊と陸上自衛隊との間の通信演習であり、米日双方の部隊間における交信要領等を訓練した²⁵。1982 年 2 月には滝ヶ原駐屯地において、第 9 軍団、東部方面隊が参加して指揮所演習 Yama Sakura²⁶を実施した。この演習は侵攻した敵を米日両部隊が並列して攻撃する場面を想定した図上演習であり、初めての本格的な米日共同軍事演習であった²⁷。海軍間では、対潜、掃海を中心に実施された。空軍間では、戦闘機戦闘を中心に防空戦闘などを内容として毎月 1 回程度行われた。また、1986 年 2 月に初の共同統合指揮所演習 Keen Edge が、10 月に初の統合実動演習が実施された。

ii 1990 年代

陸軍間では 1980 年代と同程度の数の共同軍事演習を実施した。海軍間では、引き続き対潜、掃海中心に行われたほか 1999 年には米日の輸送艦が初の共同軍事演習を行った。空軍間の共同軍事演習は、引き続き戦闘機戦闘、防空戦闘中心であったが、実施数は 1980 年代と比べて大幅に減少した。1996 年には米アラスカ州エレメンドルフ、アイルソン両基地と

²⁴ 2007 年以降、自衛隊は統合部隊により米日共同軍事演習を行っているが、本節では各年代を通じて統合演習と表記する。

²⁵ 防衛庁編『防衛白書』昭和 57 年版。

²⁶ 1982 年以降、毎年米国と日本で実施。

²⁷ 防衛庁編『防衛白書』昭和 57 年版。

周辺空域で行われた多国間演習 **Cope Thunder** に航空自衛隊から C130H 2 機が初参加し²⁸、1999 年には、F15 が初めて海外で訓練を行う **Cope North Guam** が開始されたが、これらの共同軍事演習は、日本国内での共同軍事演習だけでは能力を十分に向上できないと認識した航空自衛隊が提案したものである²⁹。また、2000 年の共同統合指揮所演習 **Keen Edge** では、周辺事態での後方地域支援、後方地域捜索救助活動、邦人輸送や日米物品役務相互提供協定に沿った業務の演練が行われた³⁰。

iii 2000 年代

陸軍間では演習実施数が増加し、2002 年以降は、市街地戦闘、多様な事態への対応、島嶼部に対する侵略への対応のための実動演習が増加し、日本だけでなく、米本土やハワイ、グアムでも実施されるようになった。例えば、積雪寒冷地での米日部隊の共同作戦要領の演練を目的とした共同演習が北海道大演習場等で例年行われてきたが、2005 年に初めて市街地戦闘訓練を導入し、実戦経験がある米教官から建物などへの突入法などを学んだ³¹。また、2006 年に米カリフォルニア州で行われた **Operation Iron Fist** では、西部方面隊の要員が離島防衛を目的として特殊ゴムボートの操舵方法の基礎的技術を第 1 海兵機動展開部隊等から学んでいる³²。海軍間では、対潜、掃海演習に加え、輸送、基地警備、衛生分野の共同軍事演習も増加した。空軍間をみると、米国で実施される多国間演習 **Cope Thunder** に、航空自衛隊は 2003 年から F-15 及び E-767 を参加させた。2007 年にはミズーリ州での戦術空輸演習に初めて参加し、C130H が派遣された³³。また、2007 年、2008 年には弾道ミサイル防衛のための共同演習が実施された。

② 評価

各年代を通じて、米日間の共同軍事演習実施数は圧倒的に多く、また、安定的に推移してきた。米日共同軍事演習は日本防衛を目的として開始されたが、アジア・太平洋地域の安定にも寄与してきた。冷戦時、米国にとって日本の戦略的価値は大きかった。日本列島はソ連太平洋艦隊の太平洋への出口に立ちふさがっているため、地理的に大きな意味を持っていた³⁴。1978 年の「日米防衛協力の指針」（旧ガイドライン）策定は、自衛隊が主として日本の領域と周辺空海域において防勢作戦を行い、米軍は専ら攻勢作戦を担うという、日米間の「役割と任務」の分担・補完関係を明確化させ、特に海上自衛隊はグローバルなソ連封じ込めの一部としてのより広範な戦略的役割を果たすことになった³⁵。1980 年代前半に陸上自衛隊を含め 3 自衛隊がそれぞれ米軍と共同軍事演習を

²⁸ 本論文中、**Cope Thunder** は多国間演習に分類しているが、米日間の共同軍事演習の水準が向上していることを示す例として、本章でも言及している。

²⁹ 航空自衛隊幹部への筆者によるインタビュー、2012 年 5 月 9 日。

³⁰ 『朝雲』2000 年 1 月 27 日。

³¹ 『朝雲』2005 年 3 月 17 日。

³² 『朝雲』2006 年 1 月 19 日。

³³ 『朝雲』2007 年 10 月 25 日。

³⁴ シーラ・スミス「日米同盟における防衛協力の進展」マイケル・グリーン、パトリック・クローニン編『日米同盟—米国の戦略—』川上高司監訳（勁草書房、1999 年）25 頁。

³⁵ 道下徳成「第 7 章 自衛隊のシーパワーの発展と意義」立川京一、石津朋之、道下徳成、塚本勝也編『シー・パワー—その理論と実践—シリーズ軍事力の本質』（芙蓉書房出版、2008 年）

行うようになったが、中でも海上自衛隊は米国のソ連封じ込め戦略にとって重要な役割を果たした。1980年以降、海上自衛隊は他の同盟国との共同軍事演習 RIMPAC³⁶に参加し、1984年には日米間で初の艦隊レベルの共同指揮所演習 JANUS 84 が行われた³⁷。こうして、自衛隊の役割は日本の防衛だけではなく、東アジアの地域軍事バランスの構成要素の一つとなった³⁸。日本側は、世界最高の水準にある米軍との共同訓練は自衛隊の教育訓練に資するものであり、有事における日米共同対処行動にも資するものだと認識を公式には示していたが³⁹、実際に共同軍事演習を行うことによって旧ガイドラインの検討項目である「極東の平和と安定」のために米国が何を目的とし、何を必要としているかを理解するようになっていった⁴⁰。

冷戦終結直後「同盟漂流」と言われる中、米日共同軍事演習は継続したが、その性格は共通の脅威に対する作戦を想定したものから、自衛隊の平素の能力向上を念頭に置いたものに変化した⁴¹。その後、1995年に日米同盟を再活性化し東アジアに10万の米軍駐留を表明する「東アジア戦略報告」が発表され、1996年の日米安全保障共同宣言、1997年の新ガイドライン合意を経て、周辺事態への対応も共同軍事演習に含まれるようになった。米国は、この変化を日米共同軍事演習の内容の再構成⁴²と理解した。

2001年の同時多発テロ以降、日本ではテロ対策特別措置法が成立、インド洋に艦艇を派遣するなどの対テロ協力を行った。2003年のイラク戦争後にはイラク人道復興支援特別措置法が成立し、自衛隊がサマワに派遣された。日米同盟は極東地域だけでなくグローバルな安全保障問題にも関与することとなった。2005年には日米共通戦略目標を設定し、「日米同盟—未来のための変革と再編」で合意、新しい日米同盟の役割と任務などが明確化された。米国の日本に対する責任分担の期待が高まり、国際平和協力業務が本来任務化される中で、共同軍事演習にも海上輸送や空輸などが含まれるようになった。また、2000年代後半には、離島防衛を目的とした共同軍事演習も行われるようになった。

米日共同軍事演習の多くはほぼ毎年、基本的に同じ目的を掲げ、主に自衛隊の能力向上やインターオペラビリティ向上を図ってきた。その結果、例えば陸軍間では実動演習における連携要領が向上するなど、長期的にみると共同軍事演習の質は確実に向上してきた⁴³。また、国際環境や能力レベルに合わせた変化もみられるようになった。例えば、陸軍間の Yama Sakura の目的は、一貫して陸上自衛隊及び米陸上部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する場合における方面隊以下の指揮幕僚活動を演練し、その能力

246-247 頁。

³⁶ 本論文中、RIMPAC は多国間演習に分類し、第 2 章に記述しているが、ソ連封じ込めにおける日本の役割を示す例として、本章でも言及することとした。

³⁷ 道下「自衛隊のシーパワーの発展と意義」251-252 頁。

³⁸ 西村繁樹「日本の防衛戦略を考える—グローバル・アプローチによる北方前方防衛論—」『新防衛論集』第 12 巻第 1 号（1984 年 7 月）50-79 頁。

³⁹ 防衛庁編『防衛白書』昭和 56 年版。

⁴⁰ スミス「日米同盟における防衛協力の進展」34-35 頁。

⁴¹ 自衛隊幹部への筆者によるインタビュー、2012 年 5 月 9 日、14 日及び 16 日。

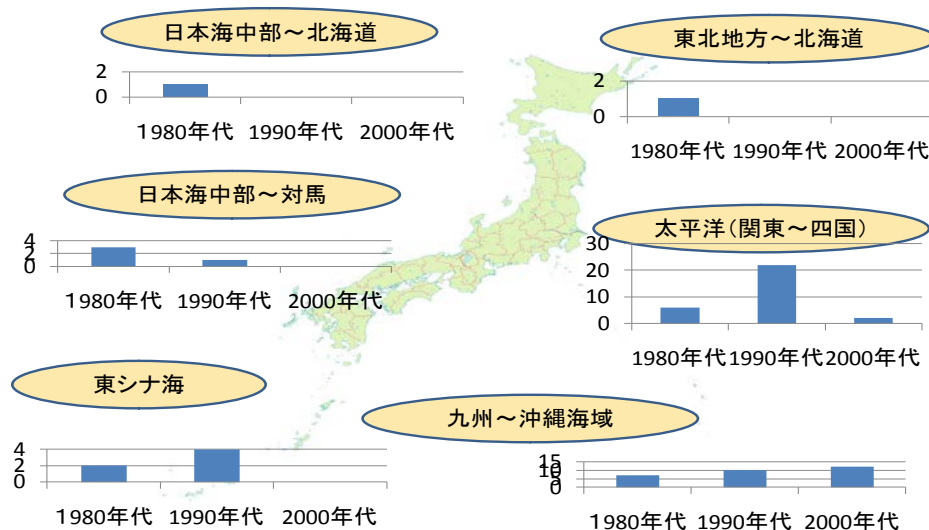
⁴² Statement of Admiral Dennis C. Blair, U.S. Navy Commander in Chief U.S. Pacific Command before the House International Relations Committee Subcommittee on East Asia and the Pacific and Subcommittee on U.S. Pacific Command Posture, February 27, 2002. なお、ブレア司令官は、米日共同軍事演習の内容の再構成として、人道支援、捜索救難、非戦闘員救出等も挙げている。

⁴³ 陸上自衛隊幹部への筆者によるインタビュー、2012 年 5 月 16 日。

の維持・向上を図るものである⁴⁴。1982年12月のシナリオは、北海道が侵攻され、自衛隊が防戦中のところに米軍が来援するというものであった⁴⁵。実施場所も、冷戦期は北方方面隊、東北方面隊中心であったが、1995年は初めて西部方面隊で行われ、1997年から各方面隊持ち回りとなった⁴⁶。また、1982年当初は初歩的な机上演習（simple board game）であったが、1993年にコンピューターシミュレーションになった。内容も、軍団レベルの戦術・作戦から、安定・支援・戦術作戦のシミュレーションへと移行している⁴⁷。さらに、チームとしての作戦手続の発展には米日が相互に学ぶことが役立つ⁴⁸との評価もなされており、両軍一体での作戦に向けた努力が進められていることが伺える。

また、海軍間の対潜演習実施場所の推移により両国の脅威認識の変化を伺うことができる。2000年代になると九州南部から沖縄近海での対潜演習が増加し、冷戦期には北方～日本海にあった関心が南方にシフトしたことがわかる。

図1-11 米日対潜演習実施場所の推移



※ 防衛白書、防衛ハンドブックから筆者作成

⁴⁴ 陸幕広報室「平成21年度日米共同方面隊指揮所演習（日本）の概要について」平成21年11月10日。<http://www.mod.go.jp/gsdf/news/press/2009/1110.html>（2011年1月25日アクセス）

⁴⁵ 『朝雲』1982年12月26日。

⁴⁶ 『朝雲』1999年12月16日。

⁴⁷ “III MEF Marines Strengthen Bonds with Japanese Military during Exercise Yama Sakura,” *Marine Corps News*, January 20, 2004.

<http://marines.togetherweserved.com/usmc/servlet/tws.webapp.WebApp?cmd=ShadowBoxProfile&type=BattleMemoryExt&ID=168758>（2011年1月29日アクセス）

⁴⁸ United States Pacific Command, “U.S., Japanese Sailors Strengthen Ties During Annual Exercise,” November 16, 2009.

http://www.pacom.mil/web/site_pages/media/news%20200911/20091116-AnnualEx21G.shtml（2011年1月18日アクセス）

(2) 米豪

① 実績

米豪共同軍事演習は 1952 年の ANZUS (Security Treaty between Australia, New Zealand and the United States of America) 条約締結以降実施されている。

表 1-13 米豪共同軍事演習実施回数

	1981-90	1991-2000	2001-09	計
陸軍演習(注1)	13	12	16	41
海軍演習	4	7	3	14
空軍演習(注1)	2	2	14	18
3軍演習(注1)	0	6	14	20
2軍種以上の演習(注2)	22	27	24	73
計	41	54	71	166

注1) 米海兵隊等との演習を含む。

注2) 軍種不明の演習を含む。

i 1980 年代

同軍種間では、機雷除去など、主に通常戦機能別に実施された。また、2軍種以上での共同軍事演習も実施されており、海空軍で対潜作戦、上陸作戦を目的とした演習が多く行われた。

ii 1990 年代

1990 年代前半は実施回数がやや低調なもの、全体では 1980 年代を上回る回数の米豪共同軍事演習が行われた。陸軍間、海軍間では、1980 年代に引き続き通常戦の機能別演習が実施された。また、対潜、回収作戦に焦点を当てた海軍演習の実施回数も増加した。2軍種以上での共同軍事演習も増加し、1990 年代後半以降は規模・内容の拡充がみられた。以下、主要な共同軍事演習である Tandem Thrust と Crocodile について記述する。

・ Tandem Thrust

Tandem Thrust は、1992 年に開始された米太平洋軍の統合演習である。1995 年の Tandem Thrust 95 に豪艦艇がオブザーバーとして参加し、1997 年から米豪共同軍事演習として実施された⁴⁹。

1 回目の Tandem Thrust 97 は、1997 年 3 月、クィーンズランド中央のショウルウォーター訓練地域で、両陸海空軍と米海兵隊(米約 21,500 名、豪約 5700 名)が参加して行われた。第 7 艦隊司令官の下に合同任務部隊(CTF)が置かれ、Independence (CV 62) 空母戦闘群、New Orleans (LPH 11)を中心とした両用即応群、第 3 海兵遠征軍、第 11 海兵隊遠征隊

⁴⁹ James Conachy, "US-Australian Military Exercise Rehearses for Gunboat Diplomacy in the Pacific," *World Socialist Web Site*, May 10, 2001. <http://www.wsws.org/articles/2001/may2001/mil-m10.shtml> (2011 年 9 月 4 日アクセス)

などが参加した。緊急の危機対応シナリオに基づき、空挺、空中機動作戦と上陸、海上、陸上・空中作戦などを行い、米豪共同作戦下での両軍の多様な能力を示し、米豪の指揮統制手続を試す機会となった。また、地域安全保障と戦略的安定の維持に寄与する米豪同盟の強化を通じ、米豪軍の緊密な関係を示すものとなった⁵⁰。

Tandem Thrust 99 は、1999 年 3 月、グアムとマリアナ諸島で行われた。米側から陸海空海兵隊約 10,000 名、豪側から海空 1,000 名、カナダから海空 800 名、B52 2 機、予備役 103 名が参加した。米豪共同の CTF が設置され、太平洋での危機時の統合作戦について評価を行った⁵¹。

・ Crocodile

Crocodile 99 は 1999 年にブリズベン、シドニー、ウィリアムタウン、ダーウィンで実施された。米豪の海空軍が参加し、5～6 月に指揮所演習、9～11 月に実動演習が行われた⁵²。豪州防衛を目的とした⁵³初の豪統合参謀本部指揮による統合・共同軍事演習であった⁵⁴。なお、Crocodile は以前は Kangaroo シリーズ⁵⁵と称されていた共同軍事演習に代わるものである。

iii 2000 年代

2000 年代は、実施数、内容ともに拡充し、地域最大規模の統合・共同軍事演習 Talisman Saber が 2005 年以降隔年で実施された。

・ Talisman Saber

Talisman Saber 2005 は、2005 年 6 月ショウルウォーター訓練地域で行われた。米豪約 16000 名、米側から USS Boxer (LHD 4)、USS Fitzgerald (DDG 62)、USS John Paul Jones (DDG 53)、強襲揚陸艇部隊及びヘリコプター海上飛行中隊が、豪側から HMAS Manoora、HMAS Ballarat、第 5 航空連隊及び第 1 機甲旅団が参加した。第 7 艦隊司令官の幕僚と豪統合作戦幕僚を CTF として訓練するもので、焦点は危機時の行動計画と有事対応作戦の実施であった。第 1 フェーズでは指揮所演習、第 2 フェーズでは実動演習、第 3 フェーズでは実弾演習が実施された⁵⁶。なお、Talisman Saber は、米豪共同軍事演習 Tandem Thrust、Kingfisher、Crocodile を組み合わせたものである⁵⁷。

⁵⁰ 本段落の記述は、“Tandem Thrust,” *GlobalSecurity.org*,

<http://www.globalsecurity.org/military/ops/tandem-thrust.htm> (2011 年 9 月 4 日アクセス) による。

⁵¹ Ibid.,

⁵² Australian Government, Department of Defence, *Defence Annual Report 1998-99*.

⁵³ Australian Government, Department of Defence, *Defence Annual Report 1999-2000*.

⁵⁴ “Exercise Crocodile,” *GlobalSecurity.org*,

<http://www.globalsecurity.org/military/ops/crocodile.htm> (2011 年 9 月 4 日アクセス)

⁵⁵ 米豪のほか、カナダ、マレーシア、ニュージーランドなども参加する大規模な共同軍事演習。少なくとも 1970 年代から実施。

⁵⁶ Darrell Stratton, Scott Yamamoto, “Talisman Saber 2005 A Lesson in Being Jointly Combined,” *Navy Supply Corps Newsletter*, March 1, 2006.

http://findarticles.com/p/articles/mi_m0NQS/is_2_69/ai_n16532535/ (2011 年 9 月 4 日アクセス)

⁵⁷ United States Navy, “Boxer Completes Talisman Saber 2005,” July 2, 2005.

http://www.navy.mil/search/display.asp?story_id=19019 (2011 年 9 月 4 日アクセス)

Talisman Saber 2007 は、2007 年 5～7 月にクイーンズ島の珊瑚海で、米空母群を含む 20,000 名と豪軍 7,500 名が参加し⁵⁸、有事行動計画と陸海空作戦での危機対応の実施を焦点として行われた⁵⁹。Talisman Saber 2009 は、2009 年 7 月、クイーンズランドなどで米陸海空海兵隊 20,000 名と豪陸海空軍 10,000 名以上が参加し⁶⁰、通常戦、平和維持、人道支援での軍事活動における戦闘訓練、即応能力とインターオペラビリティ向上を目的として行われた⁶¹。

② 評価

1980 年代から米豪共同軍事演習は数多く行われてきたが、1990 年代後半以降、米軍が行う東アジア各国との他の共同軍事演習と比べて特に大規模で複雑になった⁶²。きっかけは、1996 年 7 月の米豪定期閣僚協議で、同盟の基盤である軍事協力強化のひとつとして、統合・共同軍事演習の機会増加に合意したことである⁶³。米日間での新ガイドライン合意後、米側が対アジア戦略の中心に置いている 2 国間安保の南の拠点である米豪同盟の強化を目指し⁶⁴、豪側が外交バランスを対米関係重視型に回復させ米豪関係の再活性化をめざす中で、共同軍事演習も一つの役割を果たすことになった。冷戦後、米豪共同軍事演習は、両国の軍事能力向上や同盟国間の関係強化にとどまらず、コアリションでの作戦に備えての重要性が高まっている。その成果については 2005 年インド洋津波の際の統合救援作戦 (OJA)、イラクやアフガニスタンでの作戦においても実証された⁶⁵。

米国からみると、広大なオーストラリアの国土を「米軍の訓練基地⁶⁶」として使用できるメリットがある。豪州からみると、豪軍の能力向上、米軍との共同作戦に備えたインターオペラビリティ向上という現実的な課題への解決策でもある。また、共同軍事演習を通じて米国にとって有益なパートナーとしての豪州の価値を高め、豪州の軍人が共同・統合

⁵⁸ Australian Government, Department of Defence, "Ramp up Begins Talisman Sabre 2007," June 11, 2007. <http://www.defence.gov.au/media/AlertTpl.cfm?CurrentId=6749> (2012 年 4 月 6 日アクセス)

⁵⁹ Adam R. Cole, "Communications Key to Talisman Saber 2007 Success," *CHIPS*(July-September 2007). <http://www.doncio.navy.mil/chips/ArticleDetails.aspx?ID=2919> (2013 年 2 月 24 日アクセス)

⁶⁰ United States Air Force, "Exercise Talisman Saber Concludes," July 27, 2009. <http://www.af.mil/news/story.asp?id=123160541> (2012 年 4 月 6 日アクセス)

⁶¹ Australian Government, Department of Defence, "Talisman Saber 2009," <http://www.defence.gov.au/opEx/exercises/ts09/index.htm> (2010 年 9 月 9 日アクセス)

⁶² "U.S. Sailors, Marines Join Australian Forces for Exercise Down Under," *Stars and Stripes*, July 10, 2009. <http://www.stripes.com/news/u-s-sailors-marines-join-australian-forces-for-exercise-down-under-1.93188> (2011 年 9 月 4 日アクセス)

⁶³ Embassy of the United States, "The U.S. and Australia: Strengthening Our Alliance for the Post-Cold War Era," July 27, 1996. <http://canberra.usembassy.gov/irc/us-oz/1996/07/27/ds1.html> (2012 年 5 月 31 日アクセス)

⁶⁴ 『朝日新聞』1996 年 7 月 28 日。

⁶⁵ 片原「米豪同盟関係の動向と今後の課題」53 頁。

⁶⁶ 船橋洋一『同盟を考える—国々の生き方—』(岩波新書、1998 年) 104 頁。

作戦において重要な地位に就くことができるという利点も生まれる⁶⁷。さらに、共同軍事演習により豪軍の能力が向上し米豪関係が密接で順調だとみなされ、近隣諸国から広範な戦略的信頼を得る支えとなれば、近隣諸国が豪軍との共同軍事演習を希望することにもつながるとの見方もある⁶⁸。

(3) 米印

① 実績

米印共同軍事演習は、1950年代、両国が英国、豪州と共同軍事演習を行ったことにさかのぼり⁶⁹、1962年に陸軍共同軍事演習が⁷⁰、1963年に空軍共同軍事演習が行われた⁷¹。1970~1980年代には休止状態にあったが、1990年代には海軍間などで共同軍事演習が実施された。その後、1998年のインドの核実験による米印交流停止を経て2001年以降再開した。

表1-14 米印共同軍事演習実施回数

	1981-90	1991-2000	2001-09	計
陸軍演習(注)	0	0	22	22
海軍演習(注)	0	5	15	20
空軍演習	0	0	4	4
米印陸軍・空軍	0	3	0	3
計	0	8	41	49

注) 米海兵隊との演習を含む。

i 1990年代

1990年代、米印関係の改善の一環として両国は共同軍事演習を開始した。1992年2月と1993年10月に **Teak Iroquois** が行われ、米印陸空軍の空挺要員が参加した。1995年6月にはインドのポンタサヒーブ近くで米特殊部隊とインド空挺特殊部隊が参加して **Balance Iroquois** が行われた。2回目の **Balance Iroquois** は1997年3~4月にマディヤ・プラデーシュで行われた。1994年9月と1996年9月には海兵隊の特殊部隊が **Flash Iroquois** を行っ

⁶⁷ 片原「米豪同盟関係の動向と今後の課題」53頁。

⁶⁸ ピーター・ジェニングス「豪米同盟 アンザス条約の変遷とアジア太平洋」繁本和子訳、船橋洋一編『同盟の比較研究 冷戦後秩序を求めて』（日本評論社、2001年）98頁。

⁶⁹ United States Department of Commerce, “HTCG Dialogue on Defense Technology, Data Privacy, and Export Licensing,” November 18, 2004. [http://www.bis.doc.gov/International Programs/HTCG_Dialogue.html](http://www.bis.doc.gov/International%20Programs/HTCG_Dialogue.html) (2011年7月28日アクセス)

⁷⁰ “An Indo-US Joint Military Exercise: Yudh Abhyas 2009,” *Citizenside*, October 27, 2009. <http://www.citizenside.com/en/videos/fire/2009-10-27/20296/an-indo-us-joint-military-exercise-yudh-abhyas-2009.html> (2011年7月28日アクセス)

⁷¹ “Air Operations in Exercise Shiksha (Part 1),” *WillyLogan. Com*, April 5, 2011. http://www.willylogan.com/?p=324#identifier_4_324 (2011年7月28日アクセス)

た。当時、米印とも共同軍事演習の定期的な実施を表明していた⁷²。

海軍間では、1992年3月の第1回米印海軍ステアリングコミッティ⁷³における米側からの提案を受けて Malabar が1992年5月に行われ、1995年に Malabar II、1996年に Malabar III が行われた。1回目の Malabar は試行的な意味合いが強かったが、Malabar II と Malabar III には米海軍から原潜と哨戒機 P-3C Orion が参加し、偵察機、水上艦、潜水艦を含む三次元の演習となった⁷⁴。1995年の Malabar II には米国の哨戒機 P-3（パキスタン海軍に導入されるものと同様のもの）、インドのキロ級潜水艦が参加した⁷⁵。

ii 2000年代

・ Balance Iroquois

2002年5月にインドのアグラで Balance Iroquois が行われた。米側から90名、インド側から150名の特殊部隊が参加、空挺と空中投下を含む特殊作戦と空中攻撃分野の専門技能の交換を目的としており、両国空軍による空輸も行われた。2002年の Balance Iroquois は、インドとパキスタンが戦争寸前にあるときに実施された⁷⁶。この種の共同軍事演習を実施するタイミングとしては異例であり、米印関係に対するインド政府の優先順位の高さが浮き彫りとなったとの指摘がある⁷⁷。

2003年4月の Balance Iroquois は、ウェアリエガタにある対反乱戦・ジャングル戦闘学校⁷⁸において、米陸軍特殊部隊とインド陸軍第21パラシュート大隊（特殊部隊）の兵士が、インド北東ミゾラムのジャングル地帯にあるテロの隠れ家を掃討するという想定で実施された⁷⁹。2003年9月にジャンムー・カシミール州レーで行われた Balance Iroquois については、米国では不可能な高高度の岩山での演習を行うことができたとの評価がある⁸⁰。以後、

⁷² V. P. Malik, “Indo-US Defense and Military Relations,” in Sumit Ganguly, et al., eds., *US-Indian Strategic Cooperation into the 21st Century* (London & NY: Routledge, 2006), p. 84.

⁷³ キッカイカー米陸軍中將の提案により各軍種間で設立された。

⁷⁴ Malik, op.cit., p. 84.

⁷⁵ Rahul Roy Chaudhry, “US Naval Policy in the Indian Ocean,” *Strategic Analysis*, Vol. 22, Issue 9 (December 1998), p. 1325.

⁷⁶ 2001年12月、武装グループがインド国会を襲撃する事件が発生した。インドは、この事件の背後にパキスタンの関与があるとして、同国との軍事的な対決姿勢を強めた。さらに、2002年5月、インド側カシミールにおいて、インド陸軍関係者の家族を狙ったテロ事件が発生したため、印パ両国の対立が一層激化し、一触即発の事態を迎えた。国際社会では、印パ両国間の大規模な軍事衝突の可能性が強く懸念されるに至ったが、米国を中心とする国際社会の緊張緩和に向けた働きかけもあり、6月中旬以降、緊張が若干緩和した。

⁷⁷ 本段落の記述は、C. Christine Fair, “US-Indian Army-to-Army Relations: Prospects for Future Coalition Operations”, *Asian Security*, Vol. 1, No. 2 (April 2005), p. 164.による。

⁷⁸ インド北東部の民族暴動制圧で政府軍に多数の死傷者を出した経験から1970年に設立された。過酷な環境の下でテロリスト（ゲリラ）と戦うための技量の養成・向上を目的とし、今日では世界屈指の対テロリスト戦訓練機関との評価を得ている。ラムタヌ・マイトウラ「米軍がインドに教を乞うた「ジャングル戦」の秘訣」『フォーサイト』2004年8月号。

<http://www.fsight.jp/article/10008>（2012年5月25日アクセス）

⁷⁹ Malik, op.cit., p. 84.

⁸⁰ “Indo-US Exercises not China Specific, Says Army Denies Chinese Crossing Over,” *The Tribune*,

Balance Iroquois は、2008年にミゾラム州とグアムでそれぞれ行われた。

- Yudh Abhyas

Yudh Abhyas は、2001年1月の開始当初、歩兵中隊の実動演習であり、最初の数年間は半年ごとに米印で交互に行われていた。

Yudh Abhyas 2004 は、2004年3月～4月、ミゾラム州ウァリエガタの対反乱戦・ジャングル戦闘等学校で行われた。両陸軍は、歩兵の基礎的技術、尋問テクニック、簡易爆弾の特定を含めテロリストや武装勢力の扱いを焦点としていた⁸¹。共同軍事演習に参加した米陸軍歩兵部隊の指揮官は、国内にジャングル戦闘用の訓練施設を持たない米軍兵士にとってこの演習は貴重な機会であると述べている⁸²。

2007年までは年2回行われ、2008年、2009年は年1回実施された。Yudh Abhyas 2009には太平洋軍からストライカー装甲車17両が参加し、イラクとアフガニスタン以外での最大規模の配備となった⁸³。演習は国連平和維持活動に焦点をあてたフルスペクトラムのもので、実弾射撃訓練も実施し、Yudh Abhyas としては初の機械化演習となった。

- Malabar

2002年、5年ぶり4回目となる Malabar 2002 がコチ沖で行われた。米海軍からミサイル巡洋艦 USS Chancellorville、巡洋艦 USS Paul F Foster、哨戒機 P3C Orion 及び Dornier が、インド海軍からデリー級駆逐艦 Delhi、ゴードーヴァリ級フリゲート Gomati など4隻が参加した。演習の内容は、通信訓練、補給、人的交流などのかなり基礎的なものだった⁸⁴。

2003年と2004年にそれぞれコチ沖とゴア沖で行われた演習では、米国の長距離警戒/哨戒機2機も参加し、クロスデッキ（相互の搭載ヘリによる相手国艦への離発着）着艦、潜水艦作戦、対潜戦も含まれ、米国の長距離警戒/哨戒機2機も参加した⁸⁵。Malabar 2005には、両国の空母が初めて参加し⁸⁶、空母運用を含めた高レベルの総合的な演習となった⁸⁷。

Malabar 2006 はインド南西海岸沖で行われ、米海兵隊の第15海兵隊遠征隊、特殊作戦コマンドが派遣され、初の遠征打撃群の参加となった。カナダ海軍もフリゲート艦を派遣し、Malabar は初めて多国間化した。演習の目的は、部隊防護、臨検拿捕、海上発射支援、上

September 13, 2003. <http://www.tribuneindia.com/2003/20030913/j&k.htm> (2011年7月19日アクセス)

⁸¹ United States Army Pacific, “Yudh Abhyas Exercise History,”

<http://www.usarpac.army.mil/ya10/history.asp> (2011年7月28日アクセス)

⁸² マイトゥラ「「ジャングル戦」の秘訣」

⁸³ United States Pacific Command, “Strykers Roll into India for Exercise Yudh Abhyas,” October 13, 2009.

http://www.pacom.mil/web/Site_Pages/Media/News%20200910/20091013-IndiaYudhAbhyas.shtml
(2011年7月28日アクセス)

⁸⁴ Gurpreet S Khurana, “Joint Naval Exercise: A Post-Malabar-2007 Appraisal for India,” *IPCS Issue Brief*, No. 52 (September 2007). p. 2.

⁸⁵ *Ibid.*, p. 2.

⁸⁶ Ministry of Defence, Government of India, *Annual Report 2005-06*.

⁸⁷ Gurpreet S Khurana, *op.ct.*, 2.

陸、実弾射撃、魚雷発射、対潜水艦戦などであった⁸⁸。

2007年4月のMalabar 07-1⁸⁹に続いて、9月には米印に豪州、日本、シンガポールを加え、対空、対潜、対水上戦など各種戦術訓練を内容とする5カ国共同軍事演習Malabar 07-2が行われた。2009年には、米印日に参加してMalabar 2009が行われた。演習海域も従来インド西岸(アラビア海)であったが、Malabar 07-1は沖縄西方のフィリピン沖海域で、Malabar 07-2はインド東岸(ベンガル湾)で、2009年のMalabar 2009は沖縄東方で実施された⁹⁰。

・ Cope India

1963年以来となる空軍共同軍事演習Cope India 02が2002年10月にアグラで実施された。米空軍からは緊急対応部隊から5機のC-130、要員150名、インド空軍からは、1機のIL-76、7機のAn-32が参加した⁹¹。2004年のCope India 04は、グワリオルで実施され、初めて両国の前線の戦闘機が参加した⁹²。3回目のCope India 05はカライクンダで行われ、米空軍から初めてF-16C/Dが参加した。インド空軍からはSu-30、Mirage2000、Mig-29、Mig-27、Bisonが参加し、異機種間空戦訓練を行った⁹³。4回目となる2009年のCope India 09はアグラで行われ、人道支援・災害救援を念頭に空輸の訓練が実施された。両国空軍から400以上の要員と米空軍のC-130H Hercules 3機、C-17 Globemaster III 1機、C-130J 1機、インド空軍のIL-76 Gajraj 1機、AN-32 Suttlejes 4機、MI-17 Prataps 2機、Chetak Alouette 1機が参加して、空輸、戦術的空中投下等の訓練を行った⁹⁴。

② 評価

1990年代の米印共同軍事演習は試行的な内容から開始したが、両国の安全保障協力の進展に一定の役割を果たし、1995年の米印防衛に関する合意議事録では共同軍事演習を軍同士だけではなく両国関係の緊密化にとって重要だと位置づけた⁹⁵。その後、核実験後の協力中断を経て2001年から再開した共同軍事演習は、対テロ、対反乱、海上阻止、空輸など新たな脅威や災害対応、人道援助などの通常戦以外の作戦を念頭に置いたものが含まれるようになった。2005年の「米印防衛関係の新たな枠組み」では、米印間の戦略的パートナーシップの拡大・深化のために実施すべき事項として共同軍事演習があげられており⁹⁶、

⁸⁸ United States Navy, "Boxer Expeditionary Strike Group, Indian Navy Begin Exercise Malabar 2006," October 27, 2006. http://www.navy.mil/search/display.asp?story_id=26296 (2011年7月28日アクセス)

⁸⁹ Malabar 07-1の直後に別枠で米印日3国共同軍事演習が房総沖で行われた。

⁹⁰ 伊豆山真理「インドをめぐる米国の動き—戦略的パートナーシップの展開」西原正、堀本武功編『軍事大国化するインド』(亜紀書房、2010年)47-48頁。

⁹¹ Ministry of Defence, Government of India, *Annual Report 2002-03*.

⁹² Ministry of Defence, Government of India, *Annual Report 2003-04*.

⁹³ "Cope India '06: Fast-paced and Full of Firsts," *Bharat-Rakshak*,

<http://www.bharat-rakshak.com/IAF/Images/Special/Exercises/CopeIndia2006US/> (2011年1月4日アクセス)

⁹⁴ U.S. Air Force, "Exercise Cope India Begins," October 21, 2009.

http://www.af.mil/news/story_print.asp?id=123173876 (2011年1月4日アクセス)

⁹⁵ "Agreed Minutes on Defense Relations Between the United States and India" January 12, 1995.

<http://mealib.nic.in/far/1995.pdf> (2011年7月28日アクセス)

⁹⁶ "New Framework for the U.S.-India Defense Relationship," July 20, 2005.

2000年代の両国間の共同軍事演習実施回数の増加と内容の充実が、両国の防衛協力の着実な発展と戦略的パートナーシップを支える一つの要因となっていると考えられる。

米国は、冷戦後の国際環境を踏まえ、安全保障分野だけでなく両国関係全般の発展のために共同軍事演習を積極的に提案しており、グローバルプレーヤーとして重要性を増すと見込まれるインドに対するアプローチの一環であることが伺える。2008年の『国家防衛戦略』においても、米国防省の5つの目標（国土防衛、テロとの戦いにおける勝利、安全保障の推進、紛争抑止、ならず者国家との戦いにおける勝利）を達成する上で、適切な協力相手を選ぶことは重要であり、インドは、国際システムのステークホルダー（利害関係者）として、成長する経済力・軍事力・ソフトパワーにふさわしい多くの責任を果たす国だと位置付けられている⁹⁷。一方で、台頭する中国への対抗勢力を見つける上で⁹⁸、インドが魅力的な選択肢となったとの見方は強い。米国防総省には「同盟国である日豪、シンガポールに加え、中国のライバルであるインドとの軍事協力を深めれば、中国の台頭を抑えやすい⁹⁹」との考え方がある。非伝統的安全保障分野で多くの米印共同軍事演習が行われる中で、Malabarは戦術レベルでの運用にかかわるものであり、特に、2007年のMalabar 07-2については、インド洋沿岸諸国を支援し軍事協力網の拡大を図る中国に対する牽制を意識した内容だと受け止められた¹⁰⁰。

インドも、1990年代半ばから、中国の野心に対する対抗勢力として可能な限り米国を利用しようとする戦略を追求し始めた¹⁰¹。ただし、並行して印中関係の改善も行い、対米と対中の両面から最大限の利益をあげる方針であり、対米関係の緊密化によって友好的な二国間関係を維持している中国を牽制する一方で、二国間関係を米国に対する外交資源としても活用することを考えている模様である¹⁰²。

軍事面では、共同軍事演習により、双方のシステムとドクトリンに対する理解が深まり、危機発生時にうまく協働できる可能性が高くなる。米国にとって、インターオペラビリティ向上のため互換性のある装備、通信、技術をインドに供与する前提で、インドが望む技術を得るような環境作りができることは有益であり、対外有償軍事援助で米国からの装備を購入したいインドの希望とも合致する¹⁰³。多くのインド軍が今でもソ連時代の装備をかなり使用しているため米印軍事協力が阻害されているが、例えば、インドが求めている多目的の戦闘機を米国から購入すればかなりの前進であり、軍事面での長期的なパートナーシップへの真のコミットメントの象徴となるだろう¹⁰⁴。インドにとっては、取得予定

<http://www.dhwanit.org/jot/vault/new-framework-for-the-us-india-defense-relationship.html>（2011年7月18日アクセス）

⁹⁷ Department of Defense, *National Defense Strategy*, June 2008.

⁹⁸ Shanthie Mariet D'Souza, "Indo-US Counter-Terrorism Cooperation: Rhetoric Versus Substance," *Strategic Analysis*, Vol. 32, Issue 6 (November 2008), p. 1068.

⁹⁹ 『日本経済新聞』2004年6月18日。

¹⁰⁰ 『共同通信』2007年9月4日。詳細は第3章参照。

¹⁰¹ Jason J. Blazeovic, "Defensive Realism in the Indian Ocean: Oil, Sea Lanes and the Security Dilemma," *China Security*, Vol. 5, No. 3(2009), p. 65.

¹⁰² 堀本武功「印米緊密化とアジア新力学の摸索」『海外事情』（2005年10月号）31頁。

¹⁰³ Fair, op.cit., p. 165.

¹⁰⁴ R. Nicholas Burns, "America's Strategic Opportunity with India: The New U.S.-India Partnership" *Foreign Affairs*, Vol. 86, No. 6 (November/December 2007), p. 140.

の装備について学ぶ機会にもなる。例えば、Malabar における米原潜との作戦は、ロシアからアクラ級潜水艦の取得を検討する上で有益だったと考えられる。大型揚陸艦の運用経験がないにもかかわらず、インド海軍は 2005 年に米国から USS Trenton (2007 年に INS Jalashwa として就役) を購入しているが、Malabar 2006 での USS Boxer (ヘリ着艦ドック) との作戦が運用手順を学ぶ上で非常に有益だったと考えられる¹⁰⁵。このようなことから、Malabar は買い物好きのインド海軍へ最新装備の展示する機会を米国に与えるものだとの指摘がある¹⁰⁶。

(4) 米中

① 実績

米中共同軍事演習は、2006 年に海軍間で 2 回実施されている。1 回目の搜索救難演習 (第 1 フェーズ) は 2006 年 9 月 20 日、南カリフォルニア沖で、米海軍のミサイル駆逐艦 USS Shoup 及び魚雷回収船 Swamp Fox と中国海軍の駆逐艦 Qingdao が参加して実施された。両海軍の運用について互いに理解するため、USS Shoup と Qingdao の要員が共同部隊を組み、Swamp Fox 上で緊急医療訓練を行った¹⁰⁷。

2 回目の搜索救難演習 (第 2 フェーズ) は、2006 年 11 月 19 日、湛江港 (通信訓練を実施) と南シナ海 (通信訓練以外を実施) で行われ、米海軍から巡洋艦 USS Juneau、ミサイル駆逐艦 USS Fitzgerald 及び哨戒機 P-3C が、中国海軍から駆逐艦 Zhanjiang、燃料タンカー Dongting Lake 及び輸送機 Yun-7 が参加し、通信、艦艇配列の変更、搜索救難訓練を行った。中国海軍が通信と搜索段階で指揮をし、救難段階の指揮を米海軍が行い、米中が共同で艦船を搜索し引き上げた¹⁰⁸。

② 評価

米中両国にとって、2006 年の海軍共同軍事演習は、両海軍同士の理解と透明性を一定程度促進するものとなった。米駆逐艦隊のギルデイ司令官は 9 月の演習について「両海軍は互いのシーマンシップ、エアマンシップをよく理解した。実際に共同搜索救難活動を行うことになって、我々はいまやれるという自信がある」と述べている¹⁰⁹。また、11 月の演習時、米太平洋艦隊ラフヘッド司令官は「USS Jeneau の訪問は、中国海軍と米海軍の間の関係と透明性の改善を示すものである」と述べ、共同軍事演習は両軍間の透明性の向上にとって良い機会であると付け加えた。中国国防部外事弁公室副主任の Qian Lihua も「両国軍の協力は、将来の軍事関係の発展にとって大変重要」と述べている¹¹⁰。

¹⁰⁵ S Khurana, op. ct., p. 3.

¹⁰⁶ “Navy Joins US, India in Bay of Bengal Exercises,” *ABC News*, September 4, 2007. <http://www.abc.net.au/news/2007-09-04/navy-joins-us-india-in-bay-of-bengal-exercises/659410> (2011 年 7 月 30 日アクセス)

¹⁰⁷ United States Navy, “U.S., Chinese Navies Complete SAREX Together,” September 21, 2006. http://www.navy.mil/search/display.asp?story_id=25702 (2011 年 9 月 7 日アクセス)

¹⁰⁸ “China, U.S. Stage Search-and-Rescue Drill,” *PLA Daily*, November 19, 2006. http://english.chinamil.com.cn/site2/special-reports/2006-11/20/content_651844.htm (2011 年 9 月 7 日アクセス)

¹⁰⁹ United States of Navy, op.cit.

¹¹⁰ *PLA Daily*, op.cit.

中国海軍にとっては自らの能力に対する自信を深めるという効果ももたらした。1998年、RIMPACにオブザーバー参加した際、米国の艦艇を訪れた中国海軍代表はハイテクの武器システムを運用するには有能な人員が必要であることに驚き、自らの弱点を理解した¹¹¹。その後、米国を含めた他国との海軍演習の実施により、自信がなく用心深かった中国海軍は（演習の最中に）自らの重要な欠点他国にさらされ自らの後進性によって恥をかくのではないかという懸念を2000年代後半には克服したといわれている（括弧内筆者）。既に中国政府は中国海軍に対しプライドと自信を持っており、先進的な海軍との交流をさらに進めるだろうとの見方もある¹¹²。

共同軍事演習を含めた米中軍事交流に関する双方の意図については様々な分析がある。米国は、中国の軍事力の発展や意思決定過程の透明性の欠如などは中国の将来の行動と意図について疑問を抱かせるものであり、米中関係は、信頼を増進し誤解を減らすプロセスによって下支えする必要があるとしており¹¹³、様々な手段による軍事交流の推進を試みていると考えられる。さらに、米国が緊密な軍事関係を作ることに関心を持っているのは、中国の士官が米国の圧倒的な優位性を見てその印象を中国指導部に持ち帰り、米軍への挑戦を考えなおすのではないかという期待からであるとし、共同軍事演習を通じて米軍の優越性を誇示する効果を狙っているとの指摘もある¹¹⁴。

中国側の意図については、中国は対米関係向上のため防衛交流を積極的に進めようとしているとの見方や、米中関係が良好であれば米政府が台湾の独立を控えるよう働きかけると見ているとの指摘がある¹¹⁵。さらに、日米安保協力体制による対中包囲網を切り崩すために中国は米国との軍事交流を行い、安全保障面における米国との戦略的対話や協力関係を構築することによって、自国の安全の確保を試みたとの見方もある¹¹⁶。

このように双方とも軍事交流を進めるインセンティブはあるものの、2007年以降、米中共同軍事演習は行われていない。2008年10月に米国防省が台湾への武器売却を議会に通知した際、中国は米国との主要な軍事交流の中止を通告した。つまり、中国においては軍事関係を政治関係から完全に切り離そうとしても現実的にはそれは不可能であり、ひとたび両国間に何か問題が発生すると、軍事交流が「真っ先に槍玉にあげられる」ことは、軍事関係が経済関係などのその他の領域と比べて相対的に脆弱であることを示しているといえる¹¹⁷。

¹¹¹ Christopher S. Ford, "Theater Security Cooperation Plan with China: Enabling a Blue Water Dragon," Naval War College(April 23, 2008), p. 11.
<http://www.dtic.mil/cgi-bin/GetTRDoc?AD=ADA484337&Location=U2&doc=GetTRDoc.pdf> (2013年3月3日アクセス)

¹¹² Eric McVadon, "China and the United States on the High Seas," *China Security*, Vol. 3, No. 4 (Autumn 2007), p. 14.

¹¹³ 防衛省編『防衛白書』平成23年版。

¹¹⁴ "Chinese Sailors Invited to Participate in Exercises with U.S. Navy," *San Diego News*, September 19, 2006. <http://www.10news.com/news/9885593/detail.html> (2011年9月7日アクセス)

¹¹⁵ *San Diego News*, op. cit.

¹¹⁶ 青山瑠妙「冷戦後中国の対米認識と米中関係」国分良成編『中国政治と東アジア』（慶應義塾大学出版会、2004年）258頁。

¹¹⁷ 江新鳳「中日防衛交流のメカニズム：その目的と効果」秋山昌廣・朱鋒編『日中安全保障・防衛交流の歴史・現状・展望』（亜紀書房、2011年）191頁。

また、米中間では軍事交流についての考え方やアプローチが大きく異なっていることにも注意が必要である。米国は、作戦レベルの活動が戦略レベルの理解と信頼につながると考える。一方、中国は、共通原則の合意やトップダウンからの信頼構築を通じた相互理解のため、戦略レベルの対話から始めることを好む。すなわち、中国は相互信頼の結果が協力だと考え、米国は協力は信頼を築くための経路だと考えるのである。さらに、中国にとっての軍事交流は、政治上の大きな構成要素であるとともに二国間関係全般の状態の反映でもあり、他国との軍事交流を増減させることによっても二国間関係を進展・後退させることがある¹¹⁸。

(5) 中露

① 実績¹¹⁹

- 2005年 Peace Mission 2005
- 2007年 Peace Mission 2007
- 2009年 国境封鎖演習¹²⁰
- 2009年 Peace Mission 2009

・ Peace Mission 2005

2005年8月、Peace Mission 2005がウラジオストックと山東半島、半島沖で中国・ロシアの空挺部隊や海軍陸戦隊、後方支援部隊を含む陸海空軍約10,000人(ロシア側は約1,800人¹²¹)が参加して行われた。第76空挺師団の1個中隊¹²²、ウダロイ級駆逐艦 Marshal Shaposhnikov、大型揚陸艦、A-50早期警戒管制機、Su-27戦闘機、Su-24攻撃機、Il-78空中給油機、Il-76輸送機がロシアから中国に移動した¹²³。戦略爆撃機 Tu-95MSとTu-22M3

¹¹⁸ 本段落の記述は、Kevin Pollpete, *U.S.-China security management: Assessing the Military-to-Military Relationship* (Santa Monica: RAND, 2004), pp. 80-81.による。

¹¹⁹ このほかに、1999年と2000年にコソボでのNATOによる作戦に対応し、中露が西太平洋で海軍演習を実施したとの報道がある。Stephen Blank, "Defense diplomacy, Chinese Style," *Asia Times Online*, November 11, 2003. <http://www.atimes.com/atimes/China/EK11Ad02.html> (2012年2月28日アクセス)。また、2003年、小規模でコードネームも付与されない中露共同軍事演習が国境防衛軍により実施されているとの報道もある。Dennin J. Blasko, "People's Liberation Army and People's Armed Police Ground Exercises with Foreign Forces, 2002-2009," Roy Kamphausen, David Lai and Andrew Scobell eds., *The PLA at Home and Abroad: Assessing the Operational Capabilities of China's Military*, Strategic Studies Institute, United States Army War College, June 2010. p.384.

¹²⁰ 2009年2月、両国の国境防衛軍(中国からは黒竜江省軍区の国境防衛部隊)が、初の国境封鎖・統制演習を中国の黒河とロシアのブラゴベンチェンスクで行った。Blasko, op. cit., p. 428. Yu Bin, "China-Russia Relations: "Between Crisis and Cooperation," *Comparative Connections, A Quarterly E-Journal on East Asian Bilateral Relations*(April 2009).

¹²¹ "Russian Troops for Joint Exercise with China Moving to Drill Site," *China Military Online*, August 16, 2005. http://english.chinamil.com.cn/site2/special-reports/2005-08/16/content_274229.htm (2011年9月18日アクセス)

¹²² "Russia Moving Air Force Troops for Joint Exercise with China," *China Military Online*, August 16, 2005. http://english.chinamil.com.cn/site2/special-reports/2005-08/16/content_274230.htm (2011年9月18日アクセス)

¹²³ "Russian Fleet Arrives in Qingdao for Joint Military Drill," *China Military Online*, August 18,

も演習に参加した。中国側の参加部隊や装備は明らかにされなかったが、先進装備とのことである¹²⁴。

中国の梁光烈参謀総長とロシアのバルエルフスキー参謀総長によれば、Peace Mission 2005 は、新たな課題や脅威への対応能力を高めるため、両軍間の相互信頼の深化、友好関係の促進、協力・調整の向上を目的とした演習である¹²⁵。演習のシナリオは、山東半島に位置する仮想国家で民族対立が激化、国連の要請で事態正常化に当たるとの想定で、山東半島を多数のロシア、中国の艦艇が海上から封鎖、海兵隊と空挺部隊が海と空から上陸作戦を展開し、海岸線での戦闘で橋頭堡(事後の作戦に必要な地歩を確立するための地域)を確保、内陸部に進攻するものである¹²⁶。演習は3フェーズに分かれ、第1フェーズは交渉と戦闘計画(ウラジオストック)、第2フェーズは部隊の輸送・配備(山東半島)、第3段階は戦闘訓練(山東半島及び半島沖)であった。第3フェーズの焦点は、海域封鎖、強行上陸、強制隔離であり、特に海域封鎖は演習全体において重要な部分と位置付けられていた¹²⁷。

・ Peace Mission 2007

Peace Mission 2007 は2007年8月10日から中国蘭州軍区及びロシア沿ボルガ・ウラル軍管区で、中露を含め上海協力機構(SCO)の加盟国により実施された。参加規模は、中国軍が陸軍部隊や空軍部隊など計1,600人、ロシア軍が空挺中隊、砲兵中隊、空爆中隊、ヘリコプター中隊など約2,000人とされている¹²⁸。中国陸軍の航空部隊にとっては初めての大規模な越境の遠距離兵力輸送¹²⁹の機会であり、I176が3つの空挺部隊を輸送した¹³⁰。演習目的は、SCO加盟国の対テロ能力強化、防衛分野でのパートナーシップの強化¹³¹とされていた。演習のシナリオは、N国北部国境を本拠地とする国際テロ組織の支援を受け、

2005. http://english.chinamil.com.cn/site2/special-reports/2005-08/18/content_276484.htm (2011年9月18日アクセス)

¹²⁴ “Sino-Russian Drills Ready for 3rd Stage,” *China Military Online*, August 22, 2005.

http://english.chinamil.com.cn/site2/special-reports/2005-08/22/content_278681.htm (2011年9月18日アクセス)

¹²⁵ “Sino-Russian Joint Military Exercise Pose no Threat to Any,” *China Military Online*, August 18, 2005. http://english.chinamil.com.cn/site2/special-reports/2005-08/18/content_276427.htm (2011年9月18日アクセス)

¹²⁶ 『共同通信』2005年8月18日。

¹²⁷ “China, Russia Kick off 3rd-stage of Military Drill,” *China Military Online*, August 24, 2005.

http://english.chinamil.com.cn/site2/special-reports/2005-08/24/content_280370.htm (2011年9月18日アクセス)

¹²⁸ 「軍事演習「平和の使命2007」(2) ミサイル発射」『サーチナ』2007年8月14日。

http://news.searchina.net.jp/disp.cgi?y=2007&d=0814&f=politics_0814_003.shtml (2011年9月18日アクセス)

¹²⁹ 「反テロ合同軍事演習参加の中国陸軍ヘリ編隊、露に出発」『中国国際放送局』2007年7月29日。 <http://japanese.cri.cn/151/2007/07/29/1@99552.htm> (2011年9月18日アクセス)

¹³⁰ 「反テロ合同軍事演習に参加する中国の空挺部隊が出動」『中国国際放送局』2007年7月31日。 <http://japanese.cri.cn/151/2007/07/31/1@99718.htm> (2011年9月18日アクセス)

¹³¹ “SCO Leaders Observe Joint Anti-Terror Drill,” *China Military Online*, August 18, 2007.

http://english.chinamil.com.cn/site2/special-reports/2007-08/18/content_923429.htm (2011年9月18日アクセス)

反政府活動を起こした A 国のテロ組織を SCO 加盟国軍が壊滅させるというもので¹³²、第 1 フェーズは交渉と指揮（ウルムチ）、第 2 フェーズは戦略決定・戦闘計画策定・戦闘準備・対テロ作戦遂行（チェリヤビンスク州）¹³³、第 3 フェーズは実弾射撃（チェリヤビンスク州）である。

8 月 17 日には SCO 加盟国首脳が演習を視察した。演習終了後、胡錦濤国家主席はプーチン大統領との会談の際「今回の軍事演習は円満に成功した。SCO の合同による反テロ能力を向上させたと同時に、各加盟国のテロ反対の決意と意志を示した。この演習が地域の安全を保障する上での SCO の役割発揮を大きく推し進めるものと信じている」と述べ、プーチン大統領は「今回の演習は、ロシアと中国の戦略的協力パートナーシップが高いレベルにあることを示し、地域の安全と安定を維持する上で重要な意義を持ち、また、SCO の枠組み内における安全保障での協力が新しいレベルに引き上げられたことを示した¹³⁴」と語った。

• Peace Mission 2009

2009 年 7 月、Peace Mission 2009 がハバロフスク、瀋陽、吉林省で実施され、中露合わせて 2,600 人が参加した。演習目的は、両国の伝統ある友情のアピール、テロ取り締まりと地域安定維持の決意を示すことである¹³⁵。シナリオは、人質をとり独立軍事政権を目指す「テロ部隊」に対し、輸送ヘリからパラシュート降下した中国の要員 10 名が偵察活動を行い、中露の戦闘機、爆撃機がテロリストの本拠地と通信センターを攻撃、戦車 100 両、装甲車、自走砲が包囲し、特殊部隊がテロリストを迎撃する計画である¹³⁶。第 1 フェーズは政治交渉（ハバロフスク）、第 2、3 フェーズは準備作業、部隊の管理問題の研究（吉林省）である¹³⁷。中国側は、演習の政治的・軍事的意義について、第一に地域の平和安定の促進、すなわち、国際テロリズム勢力、民族分裂勢力、宗教過激勢力の「3 つの勢力」を震え上がらせ良好な戦略安全環境を構築する上で重要な意義を持つこと、第二に両国の戦略的パートナーシップの深化にプラスであること、第三に両軍の戦闘能力および協力レベルの向上にプラスであり、第三国を標的にはしていないことを列挙した¹³⁸。

¹³² “SCO Conducts Final Stage of Anti-Terror Drill,” *China Military Online*, August 18, 2007. http://english.chinamil.com.cn/site2/special-reports/2007-08/18/content_923516.htm (2011 年 9 月 18 日アクセス)

¹³³ “SCO Anti-Terror Drill Holds Decision-Making Practice,” *China Military Online*, August 13, 2007. http://english.chinamil.com.cn/site2/special-reports/2007-08/13/content_917100.htm (2011 年 9 月 18 日アクセス)

¹³⁴ 「中露元首、上海協力機構の反テロ合同軍事演習を評価」『中国国際放送局』2007 年 8 月 18 日。 <http://japanese.cri.cn/151/2007/08/18/1@100946.htm> (2011 年 9 月 18 日アクセス)

¹³⁵ 「中露合同軍事演習「平和の使命 2009」、準備完了」『人民網日本語版』2009 年 7 月 16 日。 <http://j.people.com.cn/94474/6703214.html> (2011 年 9 月 18 日アクセス)

¹³⁶ Ministry of National Defense of the People's Republic of China, “Chinese, Russian Troops Showcase Anti-Terror Power in Joint Military Exercise,” July 27, 2009. http://eng.mod.gov.cn/SpecialReports/2009-07/27/content_4016912.htm (2011 年 9 月 18 日アクセス)

¹³⁷ 「7 月の中ロ合同軍事演習に兵力 2500 人が参加」『人民網日本語版』2009 年 7 月 10 日。 <http://j.people.com.cn/94474/6680964.html> (2011 年 9 月 18 日アクセス)

¹³⁸ 「中ロ合同軍事演習の意義と特徴」『人民網日本語版』2009 年 7 月 27 日。

② 評価

Peace Mission 2005 について、両国は「新たな課題や脅威への対応能力を高めるため、両軍間の相互信頼の深化、友好関係の促進、協力・調整の向上を目的」としているが、SCO の範囲内での対テロ演習と受け止める向きは少なく、目的について様々な分析がなされた。第一に、ロシアから中国への武器輸出目的である。共同軍事演習はロシアの武器売り込みのためともいわれ、演習後の 2005 年 9 月には 40 機の輸送機 IL76 の取引が成立した¹³⁹。中国にとっては、ロシア製兵器の運用方法やロシア軍の作戦教義の学習のための場とみなすことができる¹⁴⁰。第二に、多極化世界の一つの極としての中露の存在の誇示である¹⁴¹。ロシアと中国は、米国一極主義に反対し、対米協調以外にも外交上の選択肢があることを誇示しようともくろんだとの見方である¹⁴²。第三に、中国の台湾攻撃能力の誇示と日米安保体制の牽制である。共同軍事演習の実施にあたり中国は台湾有事を想定して浙江省での実施を主張したが、ロシアの反対によって結局は山東省での遼東半島で実施することに落ち着いたという経緯があり¹⁴³、中国はロシアを台湾有事に見立てた演習に誘い出すことに成功したとみられている¹⁴⁴。また、心理的な事由も指摘されている。ロシアも中国もソフトパワーの魅力を持ち合わせておらず、そのために「サーベルの音を高らかに鳴らす」こと以外に己の存在感を他に知らしめる方法を思いつかないという分析である¹⁴⁵。

Peace Mission 2007 については、チェリヤビンスク州及び新疆ウイグル自治区ウルムチで行われており、上陸作戦などが含まれていた Peace Mission 2005 と比較すると規模は小さくテロ対策目的との印象を与える。しかし、SCO 首脳が Peace Mission 2007 を視察する前日、キルギスで首脳会議が開かれ、テロ対策を中心に安保面での共同歩調やエネルギー分野での協力を進めることを明記したビシケク宣言が採択されており、同宣言では、中央アジア地域の安定と安全保障は第一に域内の連携で確保されると指摘し、間接的な表現ながらキルギスに駐留する米軍の撤退を求める内容も盛り込まれている¹⁴⁶。このようなことから、SCO 以外の国では、Peace Mission 2007 が米国の軍事的な一極支配に対抗する目的があるとの見方が強い¹⁴⁷。

Peace Mission 2009 は、Peace Mission 2005、2007 と比較して、規模が小さく対テロを主

<http://j.people.com.cn/94474/6704809.html> (2011 年 9 月 18 日アクセス)

¹³⁹ 岩下明裕「プーチン政権下の対中国アプローチとその特徴」岩下明裕編『ロシア外交の現在 II』21 世紀 COE プログラム「スラブ・ユーラシア学の構築」(2006 年 5 月) 20 頁。

¹⁴⁰ 防衛庁編『防衛白書』平成 18 年版。

¹⁴¹ 防衛庁編『防衛白書』平成 18 年版。

¹⁴² 木村汎「中露の合同軍事演習—その狙い—」『海外事情』(2005 年 10 月号) 52 頁。

¹⁴³ 小泉悠「露 2020 年までの『国家安全保障戦略』と東アジアの安全保障環境」早稲田大学アジア研究機構「アジア地域のネットワーク解析研究拠点構築」プロジェクトワーキングペーパー No. 3 (2010 年 2 月) 10 頁。

¹⁴⁴ 岩下「プーチン政権下の対中国アプローチとその特徴」20 頁。

¹⁴⁵ 木村「中露の合同軍事演習」52 頁。

¹⁴⁶ 『読売新聞』2007 年 8 月 17 日。

¹⁴⁷ 「軍事演習「平和の使命 2007」(2) ミサイル発射」『サーチナ』2007 年 8 月 14 日。

http://news.searchina.net.jp/dispatch.cgi?y=2007&d=0814&f=politics_0814_003.shtml (2011 年 9 月 18 日アクセス)

軸としたものとなっている。中国当局は新疆ウイグル自治区で演習直前の7月5日に起きた大規模暴動を、国内外のテロリズム、分裂主義など反動勢力が画策したと位置付けており、同演習はウイグル独立勢力が存在する中央アジア諸国に対して、不穏な動きを自制するよう威嚇効果を狙うものとみられる¹⁴⁸。また、過去2回の共同軍事演習で観察されたような米国を牽制するという政治的プレイ・アップが見られないことも特徴となっている¹⁴⁹。

(6) 露印

① 実績

陸軍間では2005年と2007年にIndoraが、海軍間では、2003年、2005年、2007年及び2009年にIndoraが行われた。

・ Indra (陸軍演習)

Indra 2005は、2005年10月、インドのラージャスターンの砂漠で行われた。ロシアから第76空挺師団、Il-76 3機、ミサイル巡洋艦1隻と揚陸艦3隻が、インドから第50空挺旅団、An-32が参加した¹⁵⁰。演習目的はテロ対応であり、露印双方の空挺部隊の兵士が降下し、テロリストの基地を破壊するというシナリオで行われた¹⁵¹。イワノフ国防相は、この演習について、Peace Mission 2005もIndra 2005も第三国に対して脅威となるものではなく、この地域で新たな国際的軍事・政治ブロックを形成する計画を示すものでもなく、演習の主な目的は、対テロ共同作戦の訓練であると述べている¹⁵²。

2回目の陸上演習となるIndra 2007は、2007年9月、ロシア中央部(第76空挺師団のプスコフ基地¹⁵³)で、ロシア空挺軍とインド陸・空軍が参加して行われた。テロ対応を目的とし、戦闘訓練では初めてインドの空挺要員をIL-76からロシア地上に降下させた¹⁵⁴。

・ Indra (海軍演習)

初の露印共同海軍演習Indra 2003は、2003年5月、インド西海岸と東海岸で行われた。ロシア海軍からはスラヴァ級ミサイル巡洋艦Moskva、ウダロイ級駆逐艦Marshal Shaposhnikov、Admiral Pantyeyev、タンカーVladimir Kolechitskyが参加した。インド海

¹⁴⁸ 『産経新聞』2009年7月23日。

¹⁴⁹ 兵頭慎治、秋本茂樹、山添博史「ロシアの国家安全保障戦略ーロシア経済、対中関係の視角からー」『防衛研究所紀要』第13巻第3号(2011年3月)89頁。

¹⁵⁰ “INDRA 2005: From Sea to the Desert,” Institute of Peace and Conflict Studies(October 2005). <http://www.ipcs.org/article/military/indra-2005-from-sea-to-the-desert-1854.html> (2011年7月31日アクセス), India Defence, “1600 Russian troops to participate in the Indra-2005,” October 8, 2005. [http://www.india-defence.com/reports-541\(2011年7月31日アクセス\)](http://www.india-defence.com/reports-541(2011年7月31日アクセス))

¹⁵¹ Institute of Peace and Conflict Studies, op.cit.,

¹⁵² “Sergei Ivanov Quotes,” Quote of the Day, <http://www.1-famous-quotes.com/quote/1216138> (2011年7月31日アクセス)

¹⁵³ “Indian Paratroopers to Take Part in 'Indra-2007' in Russia,” *One India News*, September 5, 2007. <http://news.oneindia.in/2007/09/05/indian-paratroopers-to-take-part-in-indra-2007-in-russia-1189004732.html> (2011年7月31日アクセス)

¹⁵⁴ Ministry of Defence, Government of India, *Annual Report 2007-08*.

軍からは西海岸での演習にデリー級駆逐艦 Mumbai、Mysore、空母 Viraat、ブラマプトラ級フリゲート Brahmaputra、ゴードーヴァリ級フリゲート Gomati、シンドゥゴージュ級潜水艦 Sindhuvijay が、東海岸での演習にラージプート級駆逐艦 Rajput、Ranjit、Ranvijay、シンドゥゴージュ級潜水艦 Sindhuvir が参加した¹⁵⁵。Indra の目的は、海洋法規の執行、海賊、テロ、麻薬密輸対応における協力の推進であり、2年ごとに実施される¹⁵⁶。

Indra 2005 は、2005年10月、インド東海岸で行われた。ロシア海軍からはミサイル巡洋艦 Varyag、ウダロイ級ミサイル駆逐艦 Admiral Tributs と Admiral Panteleyev、タンカー Pechenega とタグボート Kalar が参加し¹⁵⁷、中・上級レベルの対潜戦、海上阻止作戦、合法的な立入検査、水上・航空目標への実射が行われた¹⁵⁸。共通の装備を有する両国海軍のインターオペラビリティ向上の機会でもあり、印露両国のインド洋における利益の共有を強調することにもなった¹⁵⁹。

Indra 2007 は 2007年4月、ウラジオストック海軍基地と海上で行われ、ロシア海軍からウダロイ級駆逐艦 Marshal Shaposhnikov、Admiral Vinogradov、ドゥブナ級給油艇 Pechenga、ミサイルボート、ディーゼル潜水艦、掃海艇、タグボート、対潜ヘリ Ka-27、IL-38 哨戒機が、インド海軍からデリー級駆逐艦 Mysore、ラージプート級駆逐艦 Rana、Ranjit、ククリ級コルベット Kuthar、補給艦 Jyoti が参加した。演習内容は、海上での実弾射撃、防空・対潜戦、海上交通路での機雷除去、海上秩序維持関連の訓練（船舶の保護、海賊・テロ・麻薬密輸対処）である。ハイライトは、テロリストに強奪された船舶開放のための特殊部隊員の乗船と、テロリストが乗る船を破壊する実射訓練であった¹⁶⁰。

4回目の Indra 2009 の第一段階は 2009年1月にインド西海岸（アラビア海）で実施された。ロシア海軍から原子力ミサイル巡洋艦 Pyotr Veliky とウダロイ級駆逐艦 Admiral Vinogradov が、インド海軍からデリー級駆逐艦とタルワ級フリゲートが参加した¹⁶¹。第二段階は、同年2月、ソマリア沖で行われ、ロシアからウダロイ級駆逐艦 Admiral Vinogradov、Admiral Levchenko、原子力ミサイル巡洋艦 Pyotr Veliky と支援船が、インドからタルワ級フリゲートが参加し、海賊対策の訓練を行った¹⁶²。

② 評価

露印間では、プーチン政権発足後の 2000年10月、戦略的パートナーシップ宣言¹⁶³が、

¹⁵⁵ Ministry of Defence, Government of India, *Annual Report 2003-04*.

¹⁵⁶ “Six Russian Warship to Take Part in Joint Drills with India Navy,” *RIA Novosti*, January 11, 2009. <http://en.rian.ru/russia/20090111/119424753.html> (2011年7月31日アクセス)

¹⁵⁷ Institute of Peace and Conflict Studies, op.cit.,

¹⁵⁸ Ministry of Defence, Government of India, *Annual Report 2005-06*.

¹⁵⁹ Ibid.

¹⁶⁰ “Indra '07,” *Bharat Rakshak*.

<http://www.bharatrakshak.com/NAVY/Galleries/Bridges/2007/Indra/> (2011年7月31日アクセス)。

なお、インド海軍の参加部隊は不明である。

¹⁶¹ Ministry of Defence, Government of India, *Annual Report 2009-10*.

¹⁶² *RIA Novosti*, op.cit.

¹⁶³ この宣言には、互いを敵視する同盟や連合に参加しないことを定めた文言があり、1996年に行われた中露の戦略的パートナーシップ宣言にはこのような文言が見られないことに着目し、この文言が中国を意識したものであるとの指摘がある。岩下明裕「プーチン政権下の対中国外交—現実と幻想の狭間」日本国際問題研究所『プーチン政権下のロシアの対アジア・太平

2002年12月には、戦略的パートナーシップの一層の強化に関するデリー共同宣言が調印された。安全保障面の協力関係は冷戦期から兵器調達中心であり、両国軍はほとんど共同軍事演習を行ってこなかった¹⁶⁴。

Indora（陸軍演習）の実施の背景には、両国がアフガニスタンのタリバーン政権がイスラム原理主義戦士の基地となっていて、インドのカシミールやロシアのチェチェンでの反政府テロを支援していることに苦しんできた¹⁶⁵という共通の認識がある。Indra 2005、Indra 2007ともに、Peace Mission 2005にも参加したロシア最強といわれる¹⁶⁶第76空挺師団を加え、インターオペラビリティの向上や対テロ作戦での経験の交換など演習内容を充実させている。実施回数は少ないが、Indra（陸軍演習）は単なる交流目的の共同軍事演習¹⁶⁷を超えたものとなりつつある。

ロシアにとって、印露海軍演習は特にインド海軍に対してロシアの装備を展示し、対潜ミサイル、ミサイル魚雷、対空ミサイル、サマーラ級原潜の有効性を評価させるチャンスでもある¹⁶⁸。2000年代に大きく改善した露印安全保障関係の中心は、長年継続してきた武器売却や共同開発・生産であり、露日、米露共同軍事演習の参加艦艇と比較すると、ロシアが武器売却のための展示の機会として露印共同軍事演習を捉えていることが理解できる。また、ロシア海軍にとっては、冷戦終結によりインド洋におけるプレゼンスがほとんどなくなり、2001年10月にロシア海軍が初めてムンバイを訪問するまで約10年を要したことも背景にある。Indra 2003は、2002年にイワノフ・ロシア国防相による海軍共同軍事演習の提案にインドが応じたものであり¹⁶⁹、ロシアにとって、南方に向けて長大な海洋国境を持つ南アジア最大国家インドの地政学的な意味の大きさが伺える¹⁷⁰。また、ロシアにとってアジア・太平洋政策における最重要課題（インド、中国との連携を構築し、ロシアが新興諸国の台頭の方向性を制御できるような環境の構築¹⁷¹）に取り組む上でも、インドとの良好な関係は有用である。さらに、2000年代中盤以降、ロシアはPeace Missionの実施など中国と接近しているが、一方で、台湾有事という中国の安全保障上のリスクを

洋外交』平成12年度外務省委託研究報告書（2001年3月）67頁。

¹⁶⁴ 対照的に米印共同軍事演習は過去7年の間に50回以上行われているとの指摘がある。

“India, Russia Begin Joint Combat Exercise,” *The Times of India*, October 17, 2010.

http://articles.timesofindia.indiatimes.com/2010-10-17/india/28243653_1_joint-combat-exercise-russian-counterpart-anatoly-serdyukov-chaubattia（2011年8月9日アクセス）

¹⁶⁵ 吉田修「インドと旧ソ連・ロシア—国際関係の連続性と相違」岩下明裕編『ロシア外交の現在 II』21世紀COEプログラム「スラブ・ユーラシア学の構築」（2004年3月）112頁。

¹⁶⁶ 「ロシア最強のテロ対策部隊 訓練を公開」『日テレNEWS24』2011年10月13日。

<http://www.news24.jp/articles/2011/02/20/10176404.html>（2011年10月13日アクセス）

¹⁶⁷ インド国防省当局者は「ロシアとの共同軍事演習は概して象徴的なものではあるが、両国関係の重要なバロメーターである」と認めている。“Russia Snubs India,” *India Today*, June 6, 2011.

<http://indiatoday.intoday.in/site/story/moscow-cancels-two-military-exercises-in-india/1/139527.html>（2011年8月9日アクセス）

¹⁶⁸ Institute of Peace and Conflict Studies, op.cit.

¹⁶⁹ Ibid.

¹⁷⁰ 伊藤庄一「ロシアの対アジア政策：中国・北朝鮮・インド・日本」日本国際問題研究所、平成15年度「イラク戦争後のプーチン政権の対外政策全般」（2004年3月）59頁。

¹⁷¹ 加藤美保子「ロシアのアジア・太平洋地域へのアプローチ—台頭する中国との協調・自立の観点から—」『国際安全保障』第39巻第1号（2011年6月）50頁。

背負う意思はなく¹⁷²、中国への潜在的警戒感も存在するため、中国一辺倒ではないことを強調する上でも¹⁷³、共同軍事演習を通じた緊密な露印関係のアピールは有効だといえる。

インドにとって、露印共同軍事演習は、兵器供給源としてのロシアとの関係維持のために重要である。兵器購入先として米国やイスラエルが存在感を増しているものの、ロシアとの新たな契約も次々と結ばれており、これまでにソ連やロシアから導入された兵器の維持・管理の観点からも、ロシアとの関係を維持する必要がある。また、中国の背後に位置するロシアとの関係を強化することにより、パキスタンなどインドの周辺国との安全保障協力を進める中国への牽制になるという意味がある¹⁷⁴。

(7) 中印

① 実績

- 2003年 Dolphin 0311 (海軍)
- 2004年 山岳地での演習 (陸軍)¹⁷⁵
- 2005年 海軍共同軍事演習
- 2007年 Hand-in-Hand (陸軍)
海軍共同軍事演習
- 2008年 Hand-in-Hand (陸軍)

・ Hand-in-Hand

2007年12月、中印陸軍共同軍事演習 Hand-in-Hand 2007 が、雲南省昆明で実施された。これは、2006年に署名された「防衛分野における交流と協力に関する了解覚書」にそったものである¹⁷⁶。中国人民解放軍約100名、インド陸軍約100名が参加した。演習の目的は、中印陸軍間の理解と相互信頼の促進、対テロ分野での交流の強化、分離主義者、過激派、テロリストという「3つの悪」の抑止、そして中印間の平和と繁栄のための戦略パートナーシップの促進である¹⁷⁷。5日間の共同軍事演習の最終段階がハイライトであり、国際テロ組織の56人のテロリストが中印国境地帯に侵入し訓練基地を構築、国境の貿易港の攻撃を計画しているとの想定で、共同指揮所の設置、共同での戦闘意思決定、テロリストの排除・人質救出という対テロ作戦が実施された。ヘリ、戦車、迫撃砲、グレネード・

¹⁷² 岩下「プーチン政権下の対中国アプローチとその特徴」22頁。

¹⁷³ 同上、20頁。

¹⁷⁴ 溜和敏「インドをめぐるロシアの動き—戦略的パートナーシップ」西原正、堀本武功編『軍事大国化するインド』（亜紀書房、2010年）82-84頁。

¹⁷⁵ 2004年8月、中印24名（中国からはチベット軍区の国境防衛軍12名）が参加し、チベット自治区プラン県で実施された。Blasko, op. cit., p. 427.

¹⁷⁶ Indian Embassy, "India & China First Joint Training Exercise," December 19, 2007.

http://www.indianembassy.org.cn/Press/20071220_1.htm (2008年8月26日アクセス)

¹⁷⁷ "China-India Joint Military Training Aims to Enhance Mutual Trust," *China Military Online*, December 20, 2007.

http://english.chinamil.com.cn/site2/special-reports/2007-12/21/content_1065725.htm (2011年8月16日アクセス)

ランチャーも用いられた¹⁷⁸。

2008年12月には、2回目となる中印陸軍共同軍事演習 Hand-in-Hand 2008 が、インドのカルナタカ州ベルガウム（陸軍特殊部隊訓練校所在地）で行われ、中国の成都軍区司令部の歩兵大隊第1中隊、インドの第8マラータ軽歩兵大隊が参加した¹⁷⁹。両軍間の絆の拡大・強化を目的に、共同作戦、インターオペラビリティ、統合指揮、共同対テロ作戦について訓練を行った¹⁸⁰。

2009年に予定されていた Hand-in-Hand は中華人民共和国建国60周年記念祭実施のため中止となったとされている¹⁸¹。

・ 海軍間

2003年11月、中印初の海軍合同演習である搜索救難演習 Dolphin 0311 が上海沖で行われた。中国海軍からジャンウェイ II 級フリゲート Jiaying、補給艦 Panyang Hu が、インド海軍からラージプート級駆逐艦 Ranjit、コーラ級コルベット Kulish が参加した¹⁸²。想定商業船舶の中国補給艦から出火、中印艦艇・ヘリによる搜索、消火、負傷者の移送が行われ、中国海軍将校によれば演習は完全に成功したとのことである¹⁸³。

2005年12月にはアラビア海のコチ沖で、通信訓練、作戦手順、負傷者救難を焦点とした海軍共同軍事演習が行われた¹⁸⁴。2007年にはインド海軍の艦艇2隻が青島に寄港し、中国海軍と共同軍事演習を行った¹⁸⁵。

② 評価

Hand-in-Hand 2007 の終了式典で、中国視察団団長の馬曉天空軍中將は、共同軍事演習は中印陸軍の対テロ戦闘能力を高め、陸軍間の相互理解と信頼を向上させ、中印戦略的協力パートナーシップの進展を促進し、テロとの戦いに対する中印と両陸軍の信頼と力

¹⁷⁸ “China, India Wrap up Anti-Terror Military Training,” *China Military Online*, December 25, 2007. http://english.chinamil.com.cn/site2/special-reports/2007-12/26/content_1068046.htm (2011年8月16日アクセス)

¹⁷⁹ “Exercise Hand in Hand: Sino-Indian Soldiers Do Counter Terror Training,” *AndhraNews.net*, December 9, 2008.

<http://www.andhranews.net/India/2008/December/9-Exercise-Hand-77981.asp> (2012年4月4日アクセス)

¹⁸⁰ Press Information Bureau, Government of India, Ministry of Defence, “Sino-Indian Joint Army Training Exercise,” December 4, 2008. <http://pib.nic.in/newsite/PrintRelease.aspx> (2011年8月14日アクセス)

¹⁸¹ “India, China Planning Joint Army Exercise in 2012,” *The Times of India*, November 13, 2011. http://articles.timesofindia.indiatimes.com/2011-11-13/india/30393664_1_defence-exchanges-dai-bing-guo-bilateral-military-exchanges (2012年5月2日アクセス) しかし、ミャンマー北部を經由し昆明とインドアッサム州を結ぶ幹線道路の再建取りやめをインドが発表した直後に Hand-in-Hand が中止となったため、両国の関係悪化も原因として考えられる。

¹⁸² Ministry of Defence, Government of India, *Annual Report 2003-04*.

¹⁸³ “Indian Warship Fleet Winds up Visit,” *China Daily*, November 14, 2003. http://www.chinadaily.com.cn/en/doc/2003-11/14/content_281740.htm (2011年8月14日アクセス)

¹⁸⁴ Bhartendu Kumar Singh, “Sino-Indian Relations Recent Development,” *IPCS Special Report 18* (May 2006), p. 9.

¹⁸⁵ Press Information Bureau, Government of India, Ministry of Defence, op. cit.,

の反映そのものであると述べ、防衛分野での相互理解と信頼の向上、交流と協力において共同軍事演習が積極的役割を果たすだろうとの見解を示した¹⁸⁶。Hand-in-Hand 2007は、初めての陸軍間演習¹⁸⁷という象徴的な点に加え、両国が三つの悪（分離主義者、過激派、テロリスト）の犠牲になっているため実質的な中身もあり小規模ながら良いスタートとの指摘がある¹⁸⁸。一方で、2009年のHand-in-Handの中止に見られるように、演習の実施が時々の二国間関係に左右され、不安定な側面があることも事実である。

海軍演習については、中国とインドには、中国とロシアあるいはロシアとインドほどの信頼関係は構築されておらず、相互に軍事演習を行うメリットも現段階では乏しく、実際、インド軍が台湾有事の際に中国を支援することは想定できず、中国にとってインドを積極的に海上演習に誘う意味はないとの指摘があり¹⁸⁹、信頼醸成上の象徴的な意味合いが強いといえよう。

中国もインドも相手国を仮想敵国と公式に述べたことはない。しかし、インドにとって中国は戦略上、「仮想敵国」であり、中国もインドを同様にみていると考えられるため中国にとって対印政策はインドの台頭を阻止する点に集約される¹⁹⁰。共同軍事演習を含めたインドとの軍事交流は、二国間関係の緊張を緩和すると同時に、米印関係を牽制することが目標である¹⁹¹。第二期クリントン政権頃からの米国の対印接近開始以降、印中関係にも拍車がかかっている。中国からすると、インドが米国への傾斜を強めて自国包囲網に参加することを防ぐとともに、台頭するアジア大国への関与政策を展開しているといえよう¹⁹²。

一方、インドでも、対中警戒論・脅威論は根強く、共同軍事演習の実施など関係改善の動きの一方で、中国の軍事力の近代化や国防費の動向を注視しており¹⁹³、両国間に緊張があることは事実である。さらに、中印関係は中パキスタン関係や中国の近隣諸国に対する政策にも影響を受け続けている¹⁹⁴。Hand-in-Hand 2007についても、その狙いが信頼醸成ばかりでなく、2007年1月以降同年夏にピークを迎えたパキスタンにおける中国新疆のイスラム過激派支援や中国人誘拐事件により、パキスタンのイスラム要因に対する中国の

¹⁸⁶ “China, India Wrap up Anti-Terror Military Training,” *China View*, December 25, 2007.

http://news.xinhuanet.com/english/2007-12/25/content_7306697.htm (2011年8月12日アクセス)

¹⁸⁷ 2004年に中印陸軍間で共同軍事演習が実施されているが、両国ともHand-in-Hand 2007を初めての陸軍間共同演習と呼んでいる。

¹⁸⁸ “Sino-Indian Anti-Terror Drill Begins,” *China Military Online*, December 21, 2007.

http://english.chinamil.com.cn/site2/special-reports/2007-12/21/content_1065726.htm (2011年8月14日アクセス)

¹⁸⁹ 岩下「プーチン政権下の対中国アプローチとその特徴」20頁。

¹⁹⁰ 堀本武功「インド・南アジア・インド洋・アフガニスタンの将来」西原正、堀本武功編『軍事大国化するインド』（亜紀書房、2010年）216頁。

¹⁹¹ 松田「中国の軍事外交試論」31頁。

¹⁹² 堀本武功「アンビバレントな中印関係—協調と警戒」天児慧、三船恵美編『膨張する中国の対外関係 パクス・シニカと周辺国』（勁草書房、2010年）73頁。

¹⁹³ Ministry of Defence, Government of India, *Annual Report 2006-2007*.

¹⁹⁴ D. S. Rajan, “China: Role of the People’s Liberation Army and Anti-Terrorism Drill with India,” Paper No. 2512(South Asia Analysis Group, December 24, 2007)

<http://www.southasiaanalysis.org/%5Cpapers26%5Cpaper2512.htm> (2011年8月12日アクセス)

懸念の高まりを念頭に、パキスタンに対する牽制もあったとの指摘がある¹⁹⁵。

(8) 米・東南アジア

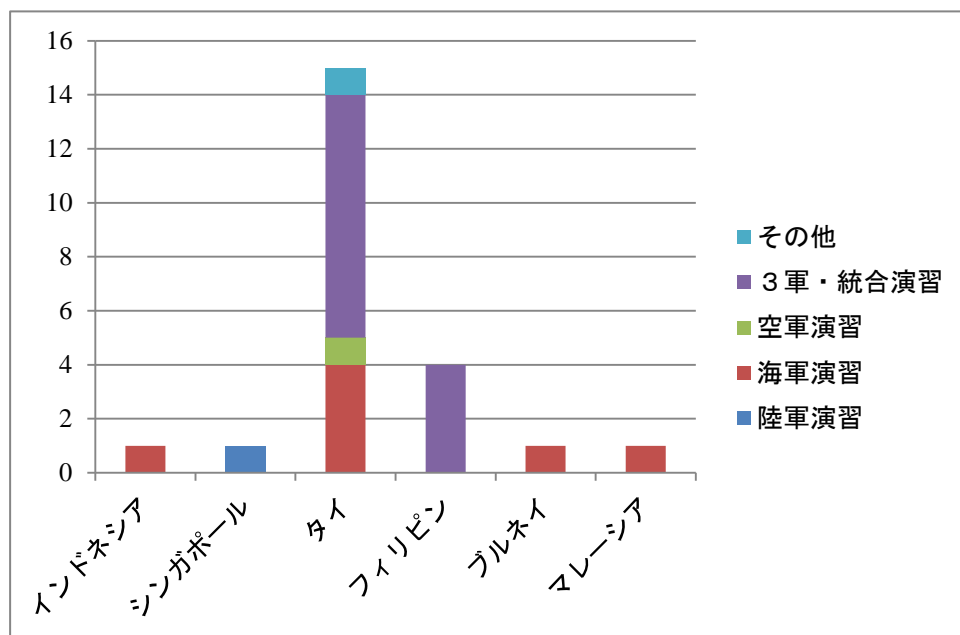
① 実績

米・東南アジア各国間の演習は、リンク数、実施数ともに増加傾向にある。

i 1980年代

陸軍演習は、米シンガポール間で行われた。海軍演習は、米インドネシア、米タイ、米ブルネイ、米マレーシア間で実施され、米タイ間では、Sea Eagle（対潜演習）、Sea of Siam（主に対潜演習）などが行われた。空軍演習は、米タイ間でのみ実施された。また、米タイ間では、以前から実施していたいくつかの共同軍事演習を一つの演習（Cobra Gold）にまとめ、タイ防衛を目的として毎年シャム湾周辺やコラートで実施した。

図1-12 米国の共同軍事演習相手国と実施数（東南アジア、1980年代）



注) 陸軍演習、海軍演習、空軍演習には、米海兵隊との演習を含む。

ii 1990年代

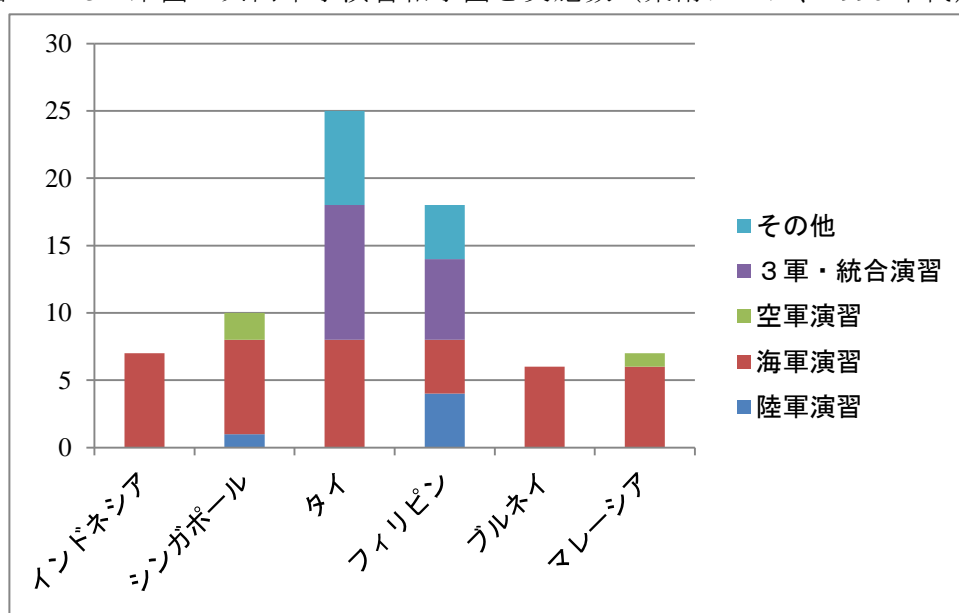
陸軍演習は、米フィリピン、米シンガポールで実施された。海軍演習は、6カ国全てで行われたが、それぞれの実施回数の大部分は、1995～1996年に米国と6カ国との間で開始された年次のCARAT（協力海上即応演習）である。CARATは米第7艦隊から東南アジア諸国に実施を提案し開始され¹⁹⁶、地域協力の推進、相手国との友好関係の確立、各レベ

¹⁹⁵ 三船恵美「インドをめぐる中国の動き」西原正、堀本武功編『軍事大国化するインド』（亜紀書房、2010年）61頁。

¹⁹⁶ Ministry of Defence, Singapore, “United States and Singapore Navies in Annual Bilateral Exercise Programme,” July 21, 1997.

ルの能力向上を目的とし、米太平洋艦隊が概ね2～3月かけて各国の実情に応じた演習を行うものである¹⁹⁷。CARATの他には例えば、タイとの間でSea Eagle（対潜演習）、シンガポールとの間でMercury（機雷除去）、マレーシアとの間でMekar（対潜、対空演習）などが行われている。空軍演習については、シンガポール、マレーシアとの間で行われている。米・マレーシア間のCope Taufan（戦闘機戦闘演習）ではマレーシア保有のMIG29と米空軍のF15が戦闘訓練を行い、両国とも演習成果に大いに満足した¹⁹⁸といわれている。3軍・統合演習については、米タイ間でCobra Gold、米フィリピン間でBalikatanが実施された。

図1-13 米国の共同軍事演習相手国と実施数（東南アジア、1990年代）



注) 陸軍演習、海軍演習、空軍演習には、米海兵隊との演習を含む。

iii 2000年代

陸軍演習は、米フィリピン、米インドネシア、米ブルネイ、米マレーシアで行われた。海軍演習は6カ国全てと実施された。1990年代と同様大部分はCARAT（海賊・海上テロ対策を含む）であり、他に、米フィリピン間でPalah、Flash Piston（爆発物処理等の演習）などが行われた。空軍演習は、米シンガポール、米マレーシア、米タイ、米フィリピン、米インドネシア間で行われ、米マレーシア間ではCope Taufanなどが実施された。米フィリピン間ではPhiblex（上陸演習）などの海兵隊間の演習も行われている。また、3軍・統合演習には、災害救援や平和維持活動が内容に含まれるようになり、多国間化した米タイ間のCobra Gold、米フィリピン間のBalikatan、Baker Piston（麻薬密輸対策演習）などが実

http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1997/jul/21jul97_nr.html（2011年11月23日アクセス）

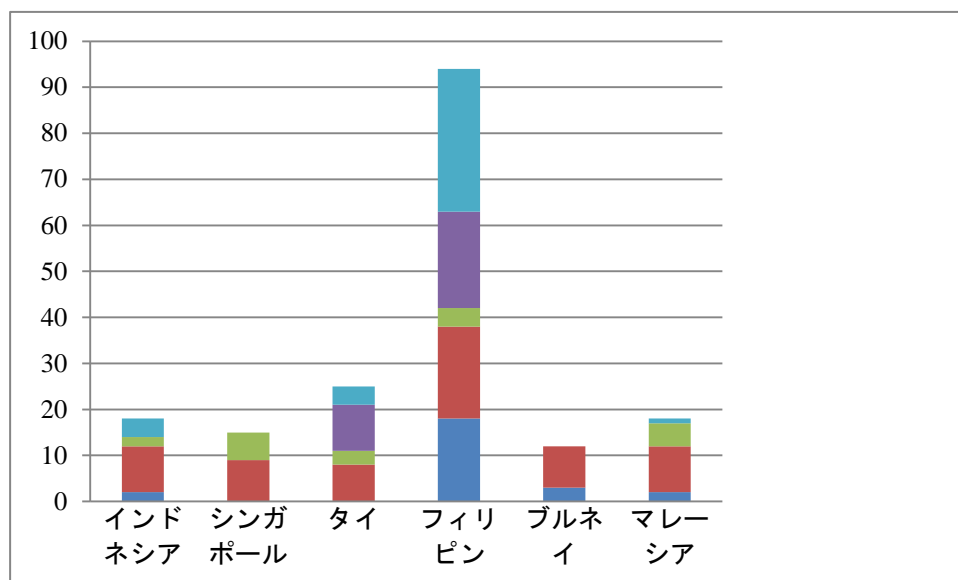
¹⁹⁷ “Cooperation Afloat Readiness and Training (CARAT),” *GlobalSecurity.org*,

<http://www.globalsecurity.org/military/ops/carat.htm>（2011年11月3日アクセス）

¹⁹⁸ William E. Berry, Jr., “Threat Perception in the Philippines, Malaysia, and Singapore,” INSS Occasional Paper 16(September 1997). p. 39.

施された。

図1-14 米国の共同軍事演習相手国と実施数（東南アジア、2000年代）



注) 陸軍演習、海軍演習、空軍演習には、米海兵隊との演習を含む。

② 評価

冷戦下の1980年代、東南アジアではカンボジア紛争、中ソ対立の波及といった問題が深刻化していた。米政府はカンボジア紛争について、反ベトナム勢力への支援方針を明確にしたが、東南アジア各国の反応は様ではなかった。米国の方針を歓迎したのはタイ、シンガポール、フィリピンであり、なかでもタイはレーガン政権発足以来1987年に至るまで米政府との間で防衛協力体制を積極的に強化した¹⁹⁹。一方で、インドネシアとマレーシアは、米国が中国の軍事力強化に協力することに不安を抱いていた。

共同軍事演習の実施状況をみると、全般的に実施回数が少ない中で、米タイ間の共同軍事演習が多く行われた。米国の方針を歓迎する国との間でも共同軍事演習実施数が少ないのは、米国が、軍事協力において、共同軍事演習よりも東南アジア諸国の軍事力強化を優先したためだと考えられる。フィリピンは新人民軍の勢力拡大など国内治安不安が進むなかで国内対策用の軍事力強化を迫られており、また、シンガポールはソ連の脅威に対する抑止力として1985年米国よりF16戦闘機8機を購入した²⁰⁰。

1990年代半ば以降、米国と東南アジア各国との共同軍事演習は実施回数、軍種ともに増加した。タイ、フィリピンとの実施回数が圧倒的に多く、シンガポールが続いている。米タイ間では1992年、タイの軍事クーデターによりCobra Goldのために配備中の米軍を引

¹⁹⁹ 今川暎一「米国＝ASEAN諸国関係の20年」岡部達味編『ASEANの20年—その持続と発展』（日本国際問題研究所、1987年）133頁。

²⁰⁰ 同上、134頁。

き上げる事態や²⁰¹、1994年のシヤム湾における軍事装備品と補給品の事前集積に関する米国の要求をタイが拒絶するといった出来事があったが、共同軍事演習はほぼ着実に実施されてきた。1992年に11月に米軍が全面撤収したフィリピンでは、1993年に米比相互防衛条約に基づく米比防衛協議が行われ、米艦船、航空機の立ち寄り、共同軍事演習が合意された。しかし、1995年にはBalikatanも休止し、1998年に訪問軍基地協定(Visiting Forces Agreement)が調印されてようやく各種共同軍事演習が行われるようになった。フィリピン政府は、国軍の能力と維持に危機感を抱いており、そうした状況を打開する手段として協定の締結により軍事経済援助がもたらされることを期待した。また、冷戦後の地域情勢を踏まえ、米比同盟が「忘れられた同盟」と化していることにも懸念を抱いていた²⁰²。フィリピンにとって、米軍との共同軍事演習は国軍の能力強化を低コストで行える機会であり、積極的にならざるを得ない状況にあった。一方、シンガポールは、1998年、国内に新たに建設している海軍基地に米軍艦艇の寄港を認めることに合意し、2000年には物品・役務相互提供協定の署名を行い、米軍との関係を強化し、共同軍事演習も積極的に実施した。

2000年代に入ると米国と東南アジア諸国の共同軍事演習は実施回数、軍種ともさらに増加した。国別に見ると、フィリピンとの実施回数が圧倒的に多く、次にタイとなっている。内容面では、対テロ、海賊対応、災害救援などの非伝統的脅威対応が増加した。2001年と2003年には、米豪共同軍事演習Tandem Thrust、米タイ共同軍事演習Cobra Gold、米フィリピン共同軍事演習Balikatanを統合して、平和維持と人道支援を焦点にTeam Challengeとして実施した。このように、2000年代、米国中心の東南アジア共同軍事演習ネットワークはさらに緊密化が進んだ。なかでも、インドネシア津波の際のOUAでの迅速な活動の一因となったCobra Goldについて、米国は、安全保障協力ネットワークの拡大の一例として高く評価している²⁰³。一方で、非伝統的脅威、中でも対テロ、海賊対応などについては、法執行のプロではなく、ハイテク化された戦艦を重視する軍による対策には限界も多い²⁰⁴。また、海洋安全保障に関する課題への対応にあたっては、米国、豪州などからの支援・協力に際して、東南アジア諸国が主権侵害への抵抗感を常に抱いている点にも留意する必要がある²⁰⁵。

また、米国と東南アジア各国との共同軍事演習では、戦闘訓練とともに地元住民に対する医療援助や道路建設などの民生活動プログラムが行われることも多く、こうした活動が演習開催地の住民の生活水準の向上や米軍への親しみにつながり、共同軍事演習が東南アジア各国の国民からの支持獲得にも寄与している²⁰⁶。このように、米国中心の東南アジ

²⁰¹ “Pentagon Pulls out of Cobra Gold '92,” *Pacific Stars and Stripes*, May 21, 1992.

²⁰² 伊藤裕子「冷戦後の米比同盟—基地撤廃、VFA、「対テロ戦争」と米比関係—」日本国際政治学会編『国際政治』第150号(2007年11月)175-176頁。

²⁰³ Donald Rumsfeld, “The United States and Asia’s Emerging Security Architecture,” International Institute for Strategic Studies, Shangri-La Dialogue, June 3, 2006.

²⁰⁴ むしろ、捜査力や軽装備のパトロールボートが必要である。本名純「日本の得意分野を生かした協力を—テロ対策と海賊対策」『外交フォーラム』(2008年10月号)50頁。

²⁰⁵ Sheldon W. Simon, “Safety and Security in the Malacca Straits: The Limits of Collaboration,” *Asian Security*, Vol. 7, No. 1(2011), pp. 27-28.

²⁰⁶ 米国防省が世界で実施する人道支援・民生活動プログラムについて、1990年代初頭と2007会計年度を比較すると件数は8倍(480件)に、予算は1998会計年度470億ドルから2007会

アにおける共同軍事演習ネットワークは、東南アジア各軍の能力強化や友好関係向上に役立ったとみてよいだろう。さらに、共同軍事演習は、地域の安全保障に対する米国のコミットメントの目に見える証明ともなっている²⁰⁷。

(9) 東南アジア内

① 実績

東南アジア諸国間の共同軍事演習は、1972年、インドネシアとマレーシア及びフィリピン²⁰⁸との間で初めて行われて以降、リンク数、実施回数ともに増加してきた。

i 1980年代

陸軍演習実施国は、インドネシア、マレーシア、シンガポール、ブルネイであり、リンク数は4である。インドネシア・マレーシア間の実施回数が多く、「マレーシア・インドネシア国境委員会²⁰⁹」による *Kekar Malindo*²¹⁰に加え、*Tatar Malindo*、*Kirpura Malindo* が行われた。海軍演習については、6カ国全てがいずれかの国と演習を行っている。リンク数は7であり、例えば、シンガポール・マレーシア間では *Malapura* が実施されている。空軍演習はインドネシア、タイ、マレーシア、シンガポールが実施しており、リンク数は5である。インドネシア・タイ間では *Elang Thainesia*、タイ・マレーシア間では *Air Thamal* を実施している。このほか、インドネシア・マレーシア間では1982年、ASEAN内で初めて3軍演習 *Darsasa Malindo* を行った²¹¹。

図1-15 東南アジア内の共同軍事演習の実施数（1980年代）

計年度 1,103 億ドルに増加している。Nina M. Serafino, “The Department of Defense Role in Foreign Assistance: Background, Major Issues, and Options for Congress,” *CRS Report for Congress* (December 9, 2008), p. 38.

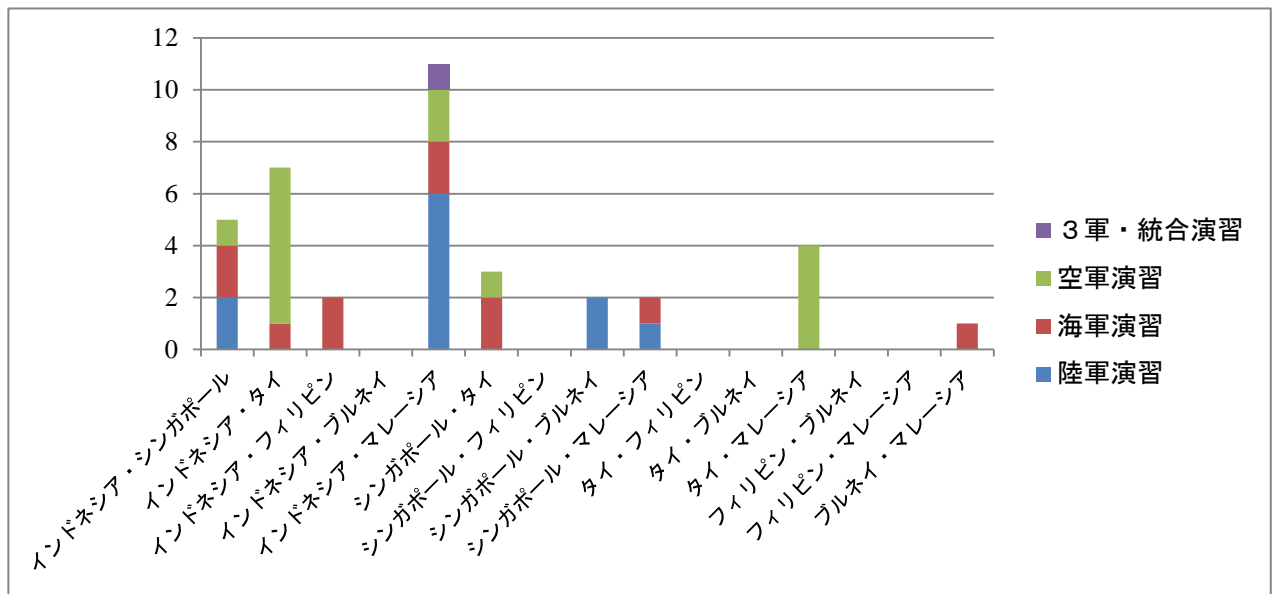
²⁰⁷ 例えば、1996年の *Cobra Gold* における在タイ米大使の発言。“Cobra Gold 96,” *All Partners Access Network*, http://forum.apan-info.net/SPRING_97/Cg96_r.html (2010年3月16日アクセス)

²⁰⁸ 玉木「ASEAN諸国の安全保障協力」62頁。

²⁰⁹ 1972年調印の国境安全保障協定に基づき開催する委員会会議であり、治安、防衛協力関係の拡大強化、軍の交流、共同軍事演習の推進などで合意している。

²¹⁰ Acharya, *op. cit.*, p. 16.

²¹¹ *Ibid.*, p. 17.



ii 1990年代

陸軍演習の実施国は、6国すべてであり、リンク数は6である。1990年代、新たにフィリピン・マレーシア間、ブルネイ・マレーシア間、シンガポール・タイ間、シンガポール・フィリピン間で共同軍事演習が開始された。実施数が多いシンガポール・ブルネイ間では **Bold Castle** (工兵の戦闘演習)、**Flaming Arrow** (大隊レベルの実弾演習) 等が行われている。インドネシア・シンガポール間では **Safkar Indopula** (戦闘・実弾演習) が実施された。海軍演習では6カ国全てがいずれかの国と演習を行っている。リンク数は10であり、新たなリンクは、インドネシア・ブルネイ、タイ・マレーシア、フィリピン・マレーシア、シンガポール・フィリピン及びシンガポール・ブルネイである。インドネシア・シンガポール間では **Eagle** (対潜・水上実弾演習) 等が、シンガポール・ブルネイ間では **Pelican** (水上・対潜・防空演習) が行われた。空軍演習の実施国はシンガポール、インドネシア、マレーシア、タイ、ブルネイであり、リンク数は6である。新たなリンクはブルネイ・マレーシア、シンガポール・ブルネイである。実施数が多いシンガポール・ブルネイ間では **Air Guard** (防空演習) 等が、インドネシア・シンガポール間では **Elang Indopura** (空中戦演習)、**Camar Indopura** (海上監視演習) が実施された。

図1-16 東南アジア内の共同軍事演習の実施回数 (1990年代)

可能性に対する共通の懸念の反映だと指摘されている²¹⁷。

1990年代になると、東南アジア内ではほぼ全ての国同士で共同軍事演習が行われるようになるが、実施数を見るとシンガポール（50）、ブルネイ（26）、インドネシア（24）の順になっており、1990年代のハブはシンガポールであったことが分かる。各リンクをみると、シンガポールとブルネイ間の実施回数が最も多い（19回）。シンガポールとブルネイの関係は1984年のブルネイ独立以前から良好で、シンガポールはブルネイに訓練基地を設置していることに示されるとおり、緊密な協力関係にある²¹⁸。次いで実施回数が多いリンクは、インドネシア・シンガポール間（17回）であった。各軍種で実施回数が増加している背景には、ARFの設立などにみられる安全保障協力の拡大、長年の実績に伴う安全保障における協力の深化、冷戦終結後の軍事交流の活発化、あるいはASEAN諸国の治安維持型の軍隊から国防軍への整備の進展などの要素が考えられる²¹⁹。陸軍演習では、シンガポール・ブルネイ間のBold CastleやFlaming Arrowのような通常戦に備えた演習が多く、シンガポール・インドネシア間のSafkar Indopulaでは戦闘作戦の演習に初めてコンピュータを使用するなど技術面での向上が図られている。海軍演習では、主に対潜や水上作戦、空軍演習では、戦闘演習や防空演習が主要な内容であった。このように、各国とも演習相手国との信頼関係構築やインターオペラビリティの向上を重要視していることがわかる。

2000年代をみると、演習実施数が多い国は、シンガポール（73回）、マレーシア（56回）、インドネシア（48回）、ブルネイ（45回）の順になっており、上記4カ国を中心に共同軍事演習を実施したといえる。各リンクをみると、緊密な近隣諸国であり潜在的な競争相手でもあるインドネシア・シンガポール間の実施回数が最も多い（29回）。次いで、シンガポール・ブルネイ間（23回）となっている。

また、2000年代、東南アジアにおいてもテロや自然災害が多発し、以前から存在した海賊や麻薬密売などが非伝統的脅威として地域の課題と位置付けられたため、従来から行ってきた共同軍事演習の内容を変更し、非伝統的脅威に焦点を当て始めたと考えられる。例えば、タイ・マレーシア間では、以前から実施されていたSeaex Tharmalで2002年以降、不法移民、麻薬密売等の対策に焦点を当て、法執行機関の要員も含めて行われるようになり²²⁰、航空演習Air Tharmalでは、2005年の演習内容に災害発生時の人道支援目的の捜索救難訓練を含めている²²¹。1980年代から実施されてきたインドネシア・マレーシア間のElang Malindoも2002年から捜索救難やテロ対策、災害救援に焦点を当ててようになった。一方で、従来からの内容を踏襲する共同軍事演習も継続しており、域内国間関係強化も引き続き重要な目的であることが分かる。

（10）豪・東南アジア

① 実績

²¹⁷ Acharya, op. cit., p. 18.

²¹⁸ 玉木「ASEAN諸国の安全保障協力」66頁。

²¹⁹ 長内「東南アジアにおける共同軍事演習の変遷と安全保障への影響」81頁。

²²⁰ “Malaysia, Thailand Begin Sea Exercise,” *Xinhua News Agency*, May, 20, 2002.

https://news.xinhuanet.com/english/2002-05/20/content_401096.htm（2010年5月20日アクセス）

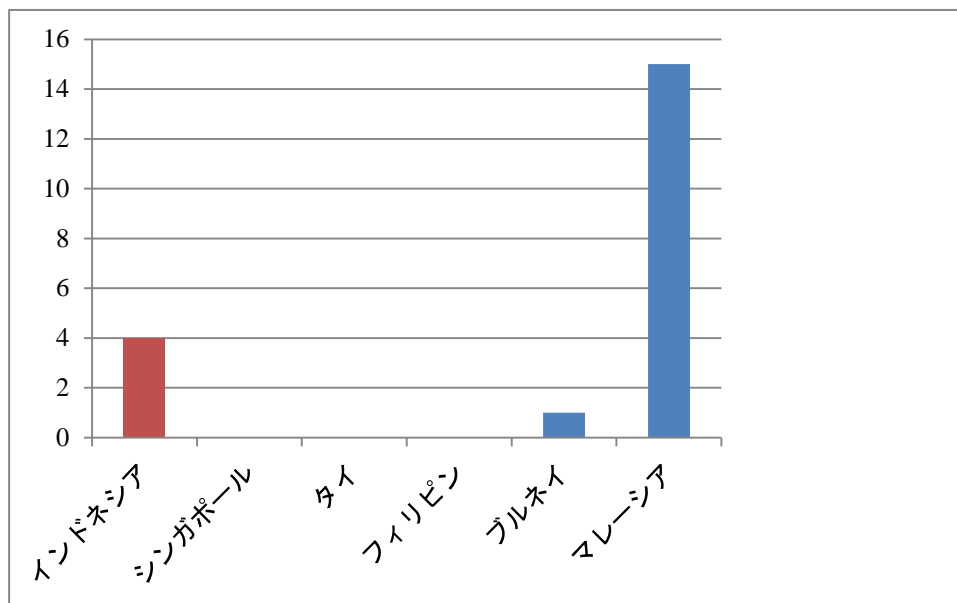
²²¹ *New Straits Times*, Jun 16, 2005.

豪・東南アジア各国間の共同軍事演習実施数は増加傾向にある。

i 1980年代

陸軍演習は、豪マレーシア、豪ブルネイ間で実施されており、豪マレーシア間では、マレーシアで **Haringaroo**（熱帯環境での戦術レベルの演習）などが行われた。海軍演習が行われたのは豪インドネシア間のみであり、**New Horizon** などが実施された。

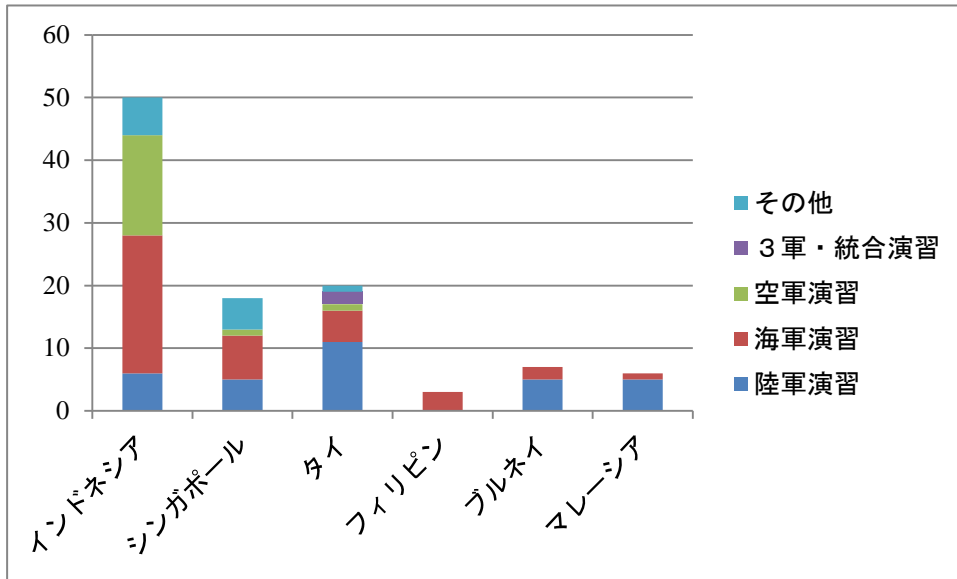
図1-18 豪州の共同軍事演習相手国と実施回数（東南アジア、1980年代）



ii 1990年代

陸軍演習は、フィリピン以外の5国との間で行われた。実施数が多いのは豪タイ間で、豪陸軍とタイ特殊部隊により **Day panther**、**Night Panther** が行われた。海軍上演習は、豪州と6カ国全ての間で行われている。豪インドネシア間では **Cassowary**（パトロール演習）、**Ausina**（パトロール演習）などが実施された。空軍演習については、豪インドネシア、豪シンガポール、豪タイ間で行われ、豪インドネシア間では **Albatros Ausindo**（海上監視の演習）、**Elang Ausindo**（防空演習）などが行われた。また、豪タイ間で平和維持活動についての机上統合演習 **Pirap Jabiru** が行われた。

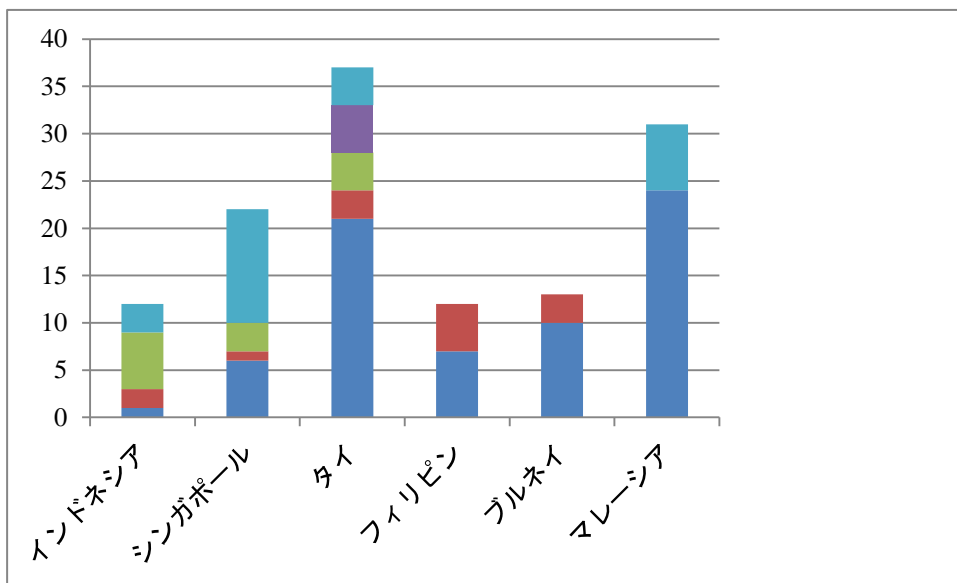
図1-19 豪州の共同軍事演習相手国と実施回数（東南アジア、1990年代）



iii 2000年代

陸軍演習は、豪州と6カ国全ての間で行われた。実施数が多い豪マレーシア間では、Haringarooなどが、豪タイ間ではChapel Gold(個人・戦術レベルの技能向上のための演習)等が実施された。海軍演習は、マレーシア以外の5国との間で行われた。豪フィリピン間では、Lumbas(パトロール演習、災害対応・人道支援演習)等が実施された。空軍演習は、豪インドネシア、豪タイ、豪シンガポール間で実施され、豪インドネシア間では、Albatros Ausindo、Elang Ausindo、Rajawali Ausindoが行われている。統合演習については、豪タイ間のPirap Jabiruが2006年から多国間化した。

図1-20 豪州の共同軍事演習相手国と実施回数(東南アジア、2000年代)



② 評価

第二次世界大戦以後、豪州にとって東南アジアは、北からの脅威に対する防護壁の役割を果たしており、同地域の安定と平和は、自らの安全保障に密接に関わるものであった²²²。ベトナム戦争での敗北以降、豪州は東南アジア地域における軍事的役割をシンガポールとマレーシアの防衛を主たる目的とした5カ国防衛取極（FPDA）への参加にほぼ限定してきた²²³が、1983年～1996年の労働党政権下で多国間外交主義とアジア重視の外交政策をとるようになり、アジア国家として自らを位置付ける観点からも、東南アジアとの緊密な関係構築が重要となった。

軍事面では、豪州はマレーシア、インドネシア及びブルネイの3カ国と共同軍事演習を実施していたが、1990年代には6カ国全てと行うようになり、実施回数も増加し、内容も多様化した。豪州が最も重視しているインドネシアとの間では、海上演習を中心に演習実施回数が6カ国中最多となった。1995年にキーティング首相とスハルト大統領の間で安全保障協定が署名されたものの、東ティモールへの豪軍の派遣など豪州の姿勢に対し反発が高まり、1999年にハビビ大統領が無効を宣言するなど両国関係は悪化した。他の東南アジア諸国も豪州の姿勢やHoward政権の国防政策に反発を示した²²⁴。

2000年代には、豪州とタイ、マレーシア、シンガポールとの間での共同軍事演習が活発化した。特に、豪タイ間では特殊部隊間の共同軍事演習、航空演習（戦闘訓練）などが行われた。共同軍事演習により築かれた両軍の良好な関係は、1999年の東ティモール国際軍（INTERFET）の活動において発揮された。Chapel Goldに参加していたタイ第31歩兵連隊第3歩兵大隊を中心として統合タスクフォースが組まれたため²²⁵、豪州主導のINTERFETの取り組みが大幅に促進されたという。また、平和維持活動を焦点とした机上演習Pirap Jabiruも1998年以降行われており、2006年には多国間化した。

豪シンガポール間でも、対潜・防空目的の演習や、機甲・ヘリボーン等の演習が実施されている。両国は1980年にショウルウォーター訓練地域など豪軍の施設でシンガポール軍が訓練・演習を行うことを合意しており、その後もシンガポール軍が円滑に訓練を実施できるよう了解覚書が改定されるなど協力が進んでいた。

豪フィリピン間、豪インドネシア間の実施数は、豪タイ間などに比べて少ないものの、豪フィリピン間では、2003年に国際テロと戦うための了解覚書が、2007年に地位協定が結ばれ、1990年代からみると共同軍事演習の実施回数も増加した。また、豪インドネシア間では2000年代後半になり再び共同軍事演習の実施回数が増加し、2006年に安全保障協力協定（ロンボク協定）が結ばれ、2009年には豪インドネシア防衛協力共同宣言が発表された。インドネシアは、二国間関係に左右されてきた豪州との防衛協力について、各々の国内間

²²² 永野隆行「東南アジア国際関係の変容とオーストラリアーオーストラリアにとっての英米軍事プレゼンスー」日本国際政治学会編『国際政治』第134号（2003年11月）86頁。

²²³ 竹田いさみ「1990年代におけるオーストラリアの外交・国防政策の転換—Howard保守系政権下の政策体系と東南アジアの豪州観」添谷芳秀・山本信人編『世紀末からの東南アジア 錯綜する政治・経済秩序のゆくえ』（慶応義塾大学出版会、2000年）109頁。

²²⁴ 同上123-127頁。

²²⁵ Alan Ryan, “Primary Responsibilities and Primary Risks. ADF Participation in the International Force East Timor,” Study Paper No. 304 (Land Warfare Studies Center, 2000), p. 51.

題と結びつけずに、テロ、不法移民など国際犯罪対策について実施することとしている²²⁶。このように、東南アジアの中でもフィリピンやインドネシアについては、特に対テロ分野で共同軍事演習を含めた豪州との協力が必要であるとの認識が存在するものとみられる²²⁷。

²²⁶ Ministry of Defence, Indonesia, *Defending The Country: Entering the 21st Century* – 2003.

²²⁷ Andrew Chau, “Security Community and Southeast Asia, Australia, the U.S., and ASEAN’s Counter-Terror Strategy,” *Asian Survey*, Vol. 48, No. 4 (July/August 2008), pp. 638-639. 一方で、軍によるテロ対策には限界も多いこと、米豪等からの支援・協力に対する東南アジア諸国の受け止め方にも留意が必要である。本章 2 (8) 米・東南アジア参照。

第2章 多国間演習

本章では、多国間演習について東アジア全体を概観し、主要演習を分析する。

1 東アジア全体の概観

(1) 実施総数と参加国

① 実施総数

FPDA 及び SCO の多国間演習を含め、年代を追うごとに、演習数が増加している

表2-1 多国間演習実施総数、実施国数

	1981-1990	1991-2000	2001-2009	合計
実施数	29	77	141	247
FPDA、SCO 以外	20	47	112	179
FPDA(注1)	9	30	26	65
SCO(注2)	0	0	3	3
実施国数	5	15	22	

注1) FPDA は、1971年に英国軍がスエズ以東から撤退した際に、英連邦5カ国(英国、豪州、ニュージーランド、シンガポール及びマレーシア)により、マレイ半島の防衛を目的として締結された²²⁸。

注2) Peace Mission については第2章2(5)で記述したため、表には含めていない。

② 名称と参加国

1990年代後半から演習数が増加し、また、多数の国が参加する共同軍事演習が行われるようになった。軍種別では、海軍が多くなっている。

表2-2 多国間演習の名称と参加国 (FPDA、SCO を除く) (開始年順)

	演習名等	参加国(最大時)	1981-90	1991-2000	2001-2009	開始年 ※	軍種	主な主催 国	目的
1	RIMPAC	豪、加、チリ、日、ベル 一、シンガポール、韓、米	5	5	4	1971	海軍	米	海上戦闘目的の 総合演習
2	Cope Thunder	豪、米、タイ等	13	14	15	1976	空軍	米	航空戦闘能力向 上
3	Pitch Black	豪、米、シンガポール等	1	4	4	1984※	空軍	豪	航空戦闘能力向 上
4	Bell Buoy	豪、米、加、韓、チリ等	1	4	7	1989※	海軍	豪	船舶の保護
5	Kakadu	豪、NZ、マレーシア、タ	0	4	5	1993	海軍	豪	能力向上

²²⁸ 永野秀雄「オーストラリア地位協定の研究—特に環境条項と軍事情報通信施設について—」法政大学人間環境学会『人間環境論集』大学院特集号(2003年6月)66頁。

		イ、インドネシア、比等							
6	Cope Tiger	米、タイ、シンガポール	0	5	9	1994	空軍	タイ、シンガポール	戦闘能力向上
7	Milan	豪、バングラ、ブルネイ、 印、インドネシア、マレー シア、ミャンマー、NZ、 比、シンガポール、スリラ ンカ、タイ、ベトナム	0	3	3	1995	海軍	インド	対テロ、海賊等
8	Pacific Airlift Rally	豪、バングラ、ブルネイ、 加、印、インドネシア、 日、ラオス、マレーシア、 モンゴル、PNG、比、 露、シンガポール、スリラ ンカ、タイ、韓、米、ベトナ ム	0	2	5	1997	空軍	米	空輸
9	Triclub	豪、米、シンガポール	0	3	3	1998	海軍	—	潜水、爆発物処 理
10	MCM	豪、マレーシア、NZ、 比、シンガポール、タイ、 英、米	0	1	1	1999	海軍	—	機雷、爆発物除 去
11	Pacific Reach (西太平洋潜水 艦救難訓練)	豪、加、中、日、シンガポ ール、韓、英、米	0	1	3	2000	海軍	持ち回り	潜水艦捜索救難
12	Tempest Express	米など 33 カ国	0	1	16	2000	統合	持ち回り	災害救援等
13	Regional MCMX	豪、米、シンガポール、マ レーシア	0	0	1	2001	海軍	—	機雷除去
14	Tri-Sling	豪、米、シンガポール	0	0	2	2001	空軍	—	戦闘能力向上
15	WPNS 多国間 海上訓練	豪、加、チリ、仏、独、 印、インドネシア、日、マ レーシア、PNG、NZ、 露、シンガポール、タイ、 韓	0	0	3	2001	海軍	シンガポ ール	能力向上
16	西太平洋掃海 訓練 (MCMEX)	豪、印、インドネシア、 日、マレーシア、シンガポ ール、韓、米	0	0	3	2001	海軍	持ち回り	掃海
17	SEACAT	米、シンガポール、ブル ネイ、マレーシア、インド ネシア、比、タイ	0	0	7	2002	海軍	米	対テロ

18	Pacific Protector PSI	豪、日、NZ、シンガポール、英、米	0	0	2	2003	海軍	豪	PSI
19	Team Samurai PSI	豪、仏、日、米	0	0	1	2004	海軍	日本	PSI
20	Deep Sabre PSI	ブルネイ、豪、加、仏、伊、日、NZ、比、露、シンガポール、韓、英、米	0	0	2	2005	海中心	シンガポール	PSI
21	RCTSMEE	豪、カンボジア、中、印、インドネシア、日、マレーシア、PNG、NZ、比、シンガポール、タイ、米、ベトナム	0	0	1	2005	特殊部隊	—	対テロ
22	Western Protector PSI	豪、日、NZ、シンガポール、英、米	0	0	1	2006	陸海空 特殊	豪	PSI
23	Aman	パキスタン、米、中、マレーシア等	0	0	2	2007	海軍	パキスタン	対テロ、海洋の安全
24	Pacific Shield PSI	豪、仏、日、NZ、シンガポール、英、米	0	0	1	2007		日本	PSI
25	Tendon Valiant	豪、カンボジア、インドネシア、マレーシア、比、シンガポール、タイ、米	0	0	3	2007	陸海空	米	医療
26	Maru PSI	豪、加、仏、日、NC、NZ、シンガポール、米	0	0	1	2008	海軍	NZ	PSI
27	Shanti Doot	米、バングラ、ブルネイ、カンボジア、印、インドネシア、モンゴル、ネパール、スリランカ、韓、トンガ	0	0	1	2008	陸軍	米	平和活動
28	ARF 災害救援演習	豪、ブルネイ、中、インドネシア、日、モンゴル、NZ、PNG、比、シンガポール、韓、スリランカ、米、EU	0	0	2	2008	陸海空	豪・インドネシア、米・比	災害救援
29	米印日海軍共同演習	米、印、日	0	0	1	2007	海軍		戦術技量向上
30	豪NZ中海軍共同演習	豪、NZ、中	0	0	1	2007	海軍		捜索救難
31	米豪日共同演習	米、豪、日	0	0	2	2007	海軍		戦術技量向上

注) 開始年に※の表示があるものは、対象期間内で確認された最も古い開催実績を記載している。

表2-3 多国間演習の名称、軍種等 (FPDA) (開始年順)

	演習名	1981-90	1991-00	2001-09	開始年 (注)	軍種	場所
1	ADEX	1	3	1	1972	空→海 空	シンガポール・マレー シア上空・南シナ海 上空
2	Bersama Lima	0	1	4	1972	空→陸 海空	シンガポール・マレー シア・南シナ海
3	Lima Bersatu	1	0	0	1972	空	不明
4	Platypus	1	0	0	1981	陸	豪
5	Starfish	3	6	0	1987	海	南シナ海、マレーシ ア海峡、パラオ・チオ マン周辺
6	Kris Sakti	1	0	0	1987※	陸	マレーシア
7	Lion Spirit	1	0	0	1989※	陸	シンガポール
8	Sea Lion	1	0	0	1989※	陸	シンガポール
9	Churinga	0	4	1	1998※	空	バターワース(マレー シア)
10	Flying Fish	0	3	1	1991※	海空	シンガポール・マレー シア・南シナ海
11	IDAS ADEX	0	5	2	1994※	海空	シンガポール
12	Lumutex	0	1	0	1994※	海	不明
13	Major ADEX	0	2	0	1998※	海空	パヤレパー(シンガポ ール)
14	Minor ADEX	0	1	0	1998※	海空	不明
15	Suman Warrior	0	3	8	1996※	陸	豪、NZ、マレーシア

16	Stardex	0	1	2	1999※	海空	シンガポール・マレーシア・南シナ海
17	Bersama Padu	0	0	1	2004※	海空	マレー半島周辺・南シナ海
18	Bersama Shield	0	0	5	2004※	海空	南シナ海
19	Suman Protector	0	0	1	2007※	陸海空	バターワース(マレーシア)
		9	30	26			

注) 開始年※は、対象期間内で確認された最も古い開催実績を記載。

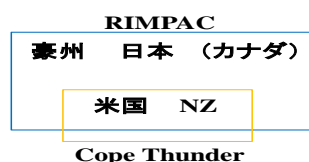
表2-4 多国間演習の名称、軍種等 (SCO) (開始年順)

	演習名	1981-90	1991-00	2001-09	開始年	軍種	場所	その他(参加国)
1	Coalition 2003	0	0	1	2003	陸	カザフスタン(ウチアラル)、中国(新疆ウイグル自治区)	中国、カザフスタン、キルギスタン、ロシア、タジキスタン
2	Nurek-Antiterror 2009	0	0	1	2009	陸	タジキスタン(ファクラバード)	中国、カザフスタン、キルギスタン、ロシア、タジキスタン
3	Bogorodsk 災害救難演習	0	0	1	2009	陸	ロシア(ノギンスク、モスクワ)	中国、カザフスタン、ロシア、タジキスタン

③ 実施状況

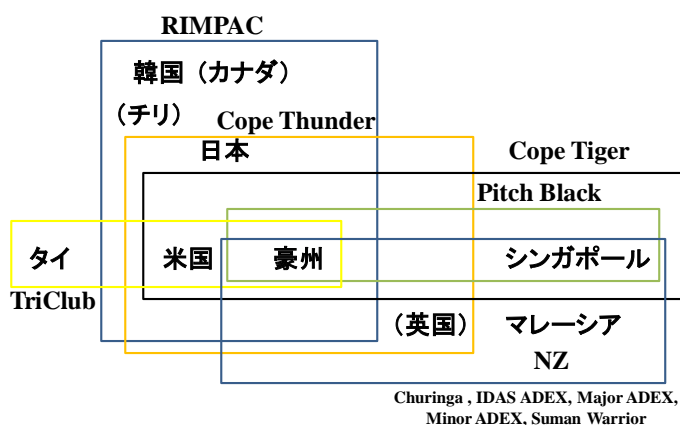
各年代における特定の1年の実施状況を概観すると、1980年代は、多国間演習の参加国数自体が少ない中で、米国とその同盟国間で多国間演習が行われた。例えば、1982年には2つの多国間演習が実施された。実施国は4国であり、各国の実施数は、米国2、ニュージーランド2、日本1、豪州1であった。

図2-1 多国間演習実施状況 (1982年の例。東アジア以外の参加国は記載していない)



1990年代も米国、豪州中心に多国間演習が行われた。例えば、1998年には10の演習が実施された。実施国は8国であり、各国の実施数は、豪州10、シンガポール9、米国5などであった。FPDAの枠組みでの演習が数回実施されたため、豪州、シンガポールの実施数が多くなっている。

図 2 - 2 多国間演習実施状況（1998 年の例。東アジア以外の参加国は記載していない）



2000 年代になると、米国、豪州、シンガポールを中心に多国間演習が多数実施された。2008 年には 15 の演習が実施された。実施国は 19 国であり、各国の実施数は、米国 11、豪州 8、シンガポール 8 などとなっている。また、Tempest Express のように、米国とその同盟国・友好国を多数含む形の多国間演習が行われるようになった。

表 2 - 5 多国間演習実施状況（2008 年の例。FPDA、東アジア以外の参加国は記載していない）

	Bell buoy	Cope Thunder	Cope Thunder	Cope Tiger	Kakadu	Maru	Milan	Pitch Black	RIMPAC	SEA CAT	Shanti Doot	Tempest Express 14	Tempest Express 15	Tendon Valiant	ARF 災害救援演習
豪州		○			●	○	○	●	○					○	●
バングラデシュ							○				○				
ブルネイ							○			○	○				
カンボジア											○	●		○	
インド							○				○				
インドネシア							○			○	○		●	○	●
日本			○		○	○			○						
ラオス															
マレーシア					○		○	○		○				○	

モンゴル											○				
NZ					○	●	○								
パキスタン					○										
フィリピン											○			○	
シンガポール				○	○	○	○	○	○	○				○	
韓国									○		○				
スリランカ								○			○				
タイ				●	○		○	○		○				○	
米国	●	●	●	○		○		○	○	○	○		○	○	
ベトナム							○							○	

注1) 共同軍事演習参加国に関する資料が最も豊富な2008年について例示した。

注2) ●は主催国。

注3) Tempest Expressについては、例年20カ国前後が参加しているが、主催国と米国のみを○を記載している。

(2) 各国の参加実績

① 参加実績の多い国

各年代を通じて、米、豪州の参加実績が多い。1990年代以降はシンガポールの参加数が増加し、日本、タイが続いている。

表2-6 多国間演習参加実績(上位10国)

(各年代合計)

	国名	参加回数
1	米国	132
2	豪州	97
3	シンガポール	87
4	日本	54
5	タイ	51
6	マレーシア	39
7	韓国	32
8	インドネシア	31
9	ニュージーランド	28
10	インド	19
10	フィリピン	19

(1980年代)

	国名	参加回数
1	米国	20
2	豪州	10
3	日本	5
4	ニュージーランド	4
5	韓国	1

(1990年代)

	国名	参加回数
--	----	------

(2000年代)

	国名	参加回数
--	----	------

1	米国	36
2	豪州	27
3	シンガポール	25
4	タイ	12
5	日本	11
6	韓国	8
7	インドネシア	6
8	マレーシア	6
9	ニュージーランド	6
10	インド	3
10	スリランカ	3

1	米国	76
2	シンガポール	62
3	豪州	60
4	タイ	39
5	日本	38
6	マレーシア	33
7	インドネシア	25
8	韓国	23
9	ニュージーランド	18
10	フィリピン	17

注1) FPDA 及び SCO の演習を除く。

注2) 東アジア以外の参加国は記載していない。

注3) 2000 年以降の Tempest Express については、主催国と米国のみを参加国として集計している。

② 各国の参加状況

1980 年代は、多国間演習の参加国数自体が少ない中で、米国、豪州を中心に多国間演習が実施された。

表 2-7 各国の参加状況 (FPDA 及び SCO を除く)

1980 年代は、米国、豪州を中心に多国間演習が行われている。

(1980 年代)

	Bell Buoy	Cope Thunder	Pitch Black	RIMPAC
豪	○	○	○	○
日本				○
NZ		○	○	○
韓国				○
米国	○	○	○	○

注1) 1 回以上参加した演習に○を記載している。

注2) 東アジア以外の参加国は記載していない。

1990 年代は、米国、豪州の参加数が多く、シンガポール、タイ、日本と続いている。Kakadu (豪州主催)、Milan (インド主催) のように米国を含まない多国間演習への参加もみられた。

(1990 年代)

	Bell buoy	Cope Thunder	Cope Tiger	Kakadu	MCM	Milan	Pacific Airlift Rally	Pacific Reach	Pitch Black	RIMPAC	Tempest Express	Tricrab

豪州	○	○		○		○	○			○		○
バング ラ						○						
ブルネ イ		○										
中国	○											
インド						○						
インド ネシア		○		○		○						
日本		○						○		○		
マレー シア		○		○		○						
NZ	○			○		○						
フィリ ピン				○							○	
シンガ ポール	○	○	○	○	○	○		○	○			○
韓国	○	○						○		○		
スリラ ンカ		○				○						
タイ		○	○	○		○						
米国	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○

注1) 1回以上参加した演習に○を記載している。

注2) 東アジア以外の参加国は記載していない。

2000年代も、米国、豪州、シンガポールの参加数が多く、日本、タイ、マレーシアが続いている。ARF 災害救援演習のように多数の国が参加する多国間演習も現れた。

(2000年代①)

	Aman	ARF 災 害救援 演習	Bell Buoy	Cope Thunder	Cope Tiger	Kakadu	Milan	MCM	Regional MCMX	MCMEX	Pitch Black	Pacific Airlift Rally	Pacific Reach
豪	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
バング ラ デシュ	○	○		○			○					○	
ブルネ イ		○				○						○	
カンボ ジア		○										○	
中国	○	○											
インド		○		○			○			○		○	

インドネシア		○				○	○			○		○	
イタリア	○												
日本	○	○		○		○				○		○	○
ラオス		○										○	
マレーシア	○	○		○		○	○	○	○	○		○	
モンゴル		○		○								○	
ミャンマー		○					○						
NZ		○	○			○	○	○				○	
パキスタン	○	○				○							
フィリピン		○				○		○				○	
ロシア		○										○	
シンガポール		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
韓国		○	○	○						○		○	○
スリランカ		○		○			○					○	
タイ		○			○	○	○	○		○	○	○	
米国	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○
ベトナム		○					○					○	

(2000年代②)

	PSI	RIMPAC	RCTSMEE	SEACAT	Shanti Doot	Tempest Express	TriClub	Tri-Sling	Tendon Variant	WPNS	米印日 海軍共 同軍事 演習	豪NZ中 海軍共 同演習	米豪日 海軍共 同軍事 演習
豪	○	○	○			○	○	○	○	○		○	○
バングラ デシュ					○	○							
ブルネイ	○			○	○	○							
カンボジア			○		○	○			○				
中国			○									○	
インド			○		○	○				○	○		
インドネシア			○	○	○	○			○	○			
イタリア	○					○							
日本	○	○	○			○				○	○		○
ラオス													
マレーシア			○	○		○			○	○			

モンゴル						○							
ミャンマー													
NZ	○		○			○				○		○	
パキスタン													
フィリピン			○	○		○			○				
ロシア	○									○			
シンガポール	○	○	○	○		○	○	○		○			
韓国	○	○			○	○				○			
スリランカ					○	○							
タイ			○	○		○			○	○			
米国	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
ベトナム			○			○							

注1) 1回以上参加した演習に○を記載している。

注2) 東アジア以外の参加国は除外している。

注3) Tempest Express については、全参加国が確認出来た 2008 年の実績を表している。

③ 主催実績

参加状況と同様に、米国、豪州、シンガポールの主催実績が圧倒的に多く、インドネシア、日本、タイが続いている。また、2000年代に入り、Pacific Reach や Tempest Express のように持ち回りで主催するケースが増えており、中小国も多国間演習の主催を経験するようになってきている。

表2-8 多国間演習の主催実績（1981年～2009年、共催を含む。FPDA及びSCOの演習を除く。）

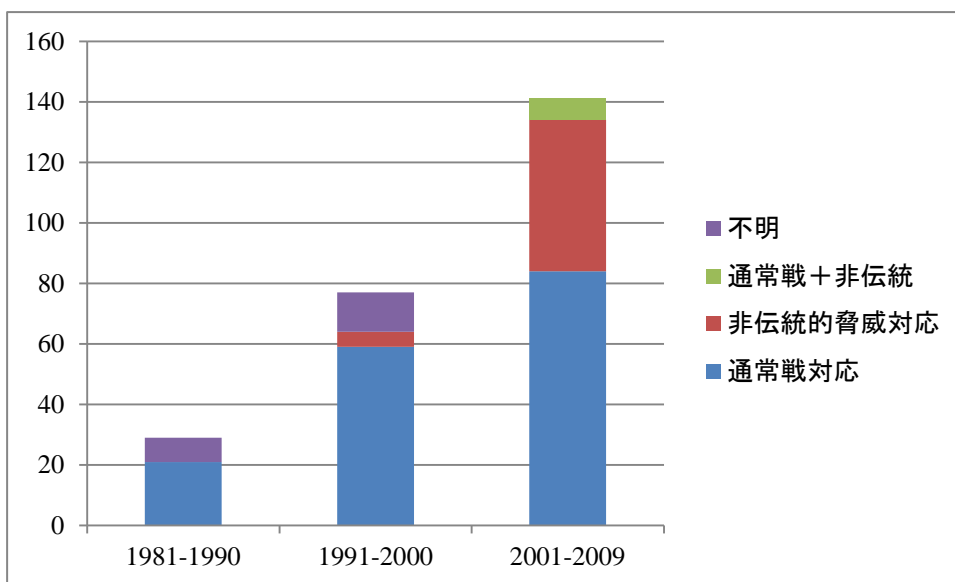
順位	国名	コードネーム数	演習名
1	米国	8	RIMPAC, Cope Thunder, Pacific Airlift Rally, Tempest Express, SEACAT, Tendon Valiant, Shanti Doot, ARF 災害救援演習
2	豪州	7	Pitch Black, Bell Buoy, Kakadu, Tempest Express, Pacific Protector (PSI), Western Protector(PSI), ARF 災害救援演習
2	シンガポール	7	Cope Tiger, Pacific Reach, Tempest Express, 西太平洋掃海訓練、WPNS 多国間海上訓練, Deep Sabre(PSI), Deep Sabre II(PSI)
4	インドネシア	4	Tempest Express, 西太平洋掃海訓練, Tendon Valiant, ARF 災害救援演習
5	日本	3	Pacific Reach, Team Samurai(PSI), Pacific Shield(PSI)
6	タイ	2	Cope Tiger, Tempest Express
6	フィリピン	2	Tempest Express, ARF 災害救援演習
6	インド	2	Milan, Tempest Express

6	韓国	2	Tempest Express, Pacific Reach
10	マレーシア	1	西太平洋掃海訓練
10	バングラデシュ	1	Shanti Doot
10	カンボジア	1	Tempest Express
10	モンゴル	1	Tempest Express
10	ニュージーランド	1	Maru (PSI)
10	パキスタン	1	Aman

(3) 想定する軍事作戦

1980年代、1990年代は通常戦主体であったが、2000年代は通常戦全体で全体の6割まで低下（非伝統的脅威対応の増加）した。非伝統的脅威対応の具体的な作戦能力を向上させつつ、多国間インターオペラビリティ向上、関係強化、信頼醸成を図るようになったと考えられる。

図2-3 想定する軍事作戦



2 主要演習の分析

(1) RIMPAC（環太平洋合同演習）

① 実績

RIMPAC (Rim of the Pacific) は、1971年以降隔年で実施されてきた米国主催の多国間での大規模な戦力投射・制海演習である。環太平洋諸国の協力関係と共同作戦能力の向上によりシーレーンの安全向上と海上での紛争発生時の共同対処能力を高めることを目的としている²²⁹。米国、カナダ、豪州、ニュージーランドの4カ国で開始され、主

²²⁹ “Rim of the Pacific Exercise(RIMPAC),” *GlobalSecurity.org*, <http://www.globalsecurity.org/military/ops/rimpac.htm> (2012年1月23日アクセス)

にハワイ周辺海域で行われている。

表 2 - 9 RIMPAC 参加国の推移

	1982	1984	1986	1988	1990	1992	1994	1996	1998	2000	2002	2004	2006	2008
豪	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カナダ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
チリ								○	○	○	○	○	○	○
日本	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
NZ	○	○												
ペルー										○	○		○	○
シンガポール														○
韓国					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
英国			○							○		○	○	
米国	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
参加国数	5	5	5	4	5	5	5	6	6	8	7	7	8	8

1980年代、東アジアからは米豪日が毎回 RIMPAC に参加し、通常兵器による海上戦闘を前提として行われた。例えば、RIMPAC84 では訓練は4段階（準備訓練、対抗形式の訓練、事後研究会、ミサイル・魚雷発射訓練）に分かれ、第2段階の対抗形式の訓練では、参加国がオレンジとブルー部隊に分かれ、対潜戦、水上打撃戦、防空戦、電子戦などを実施した。また、米国は初めて原子力空母 Enterprise と Carl Vinson を参加させ、全体では艦艇約 80 隻、航空機約 250 機、人員 5 万人以上の参加となった²³⁰。

1990年以降参加国が徐々に増加し、東アジアからは、1990年に韓国、2008年にシンガポールが加わった。基本的には対潜戦や水上作戦の訓練を行っているが、国際環境の変化にも対応しており、従来からの内容に加え、海上テロ対応が追加されるようになった²³¹。また、2000年の RIMPAC 2000 には初めて人道支援活動が含まれ、米海兵隊、赤十字代表、国連人道問題調整事務所代表が参加して訓練を行った²³²。2004年の RIMPAC 2004 では、非戦闘員救出や人道支援が内容に含まれた²³³。

② 評価

東アジア海域での最大の脅威がソ連の原子力潜水艦であった冷戦時代、RIMPAC では、各国海軍からなるチームを作り、約2週間、実戦さながらに戦い、西側陣営の海軍力と

²³⁰ 『朝雲』1984年7月12日。防衛庁編『防衛白書』昭和57年版。

²³¹ Space and Naval Warfare Systems Command,, “Maritime Domain Awareness: The Key to Maritime Security Operational Challenges and Technical Solutions,” June 2006. p. 7.

<http://www.dtic.mil/dtic/tr/fulltext/u2/a463128.pdf> (2012年2月24日アクセス)

²³² GlobalSecurity.org, op. cit.

²³³ Australian Government, Department of Defence, “Ex RIMPAC 04,” <http://www.defence.gov.au/rimpac04/> (2008年8月15日アクセス)

結束を誇示した。しかし、冷戦後の 1990 年代半ばからは地域紛争への対応に軸足を移し、RIMPAC もヘリコプターを使って紛争地に取り残された人々の救出や、不審な船舶の検査など「戦争以外の軍事作戦」が主要なテーマとなった²³⁴。

近年は、海・空軍力を中心とした軍の近代化の一環として東アジア各国が潜水艦の調達を進めており²³⁵、対潜戦の訓練を継続してきた RIMPAC に対し、対潜能力を高める場としての期待が高まっている²³⁶。また、RIMPAC 2006 では戦闘行動時の同盟国間の調整のための情報システム(CENTRIXS)を導入して情報化を進めるなど²³⁷、引き続き戦闘能力の向上に努めている²³⁸。

RIMPAC のようなコアリシオンタイプの多国間演習への参加を通じて、各国軍は互いの領海で訓練し、互いの文化や弱点についての認識を向上させ、ひいては、相互理解や友好関係の促進と戦時ストレス下での協力にも貢献することになる²³⁹。

(2) SEACAT (東南アジア対テロ協力演習)

① 実績

SEACAT (Southeast Asia Cooperation Against Terrorism) は、2002 年に開始された米海軍と東南アジア諸国 (シンガポール、ブルネイ、インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ) 海軍間の対テロ共同軍事演習である。海洋での情報共有と安全保障課題への対応に関する協力を目的とし²⁴⁰、南シナ海、マラッカ海峡などで毎年行われている。

SEACAT と CARAT (協力海上即応演習)²⁴¹ は別々の演習であるが、連続して行われ、CARAT のアセットを使用し、CARAT 参加国の連絡将校が参加する²⁴²。開始当初は、数隻の艦船での小規模演習だったが、徐々に規模が拡大した²⁴³。2009 年の SEACAT では、シンガポールのチャンギ海軍基地での指揮所演習の後、南シナ海で実動演習を行った。

²³⁴ 本段落の内容は、朝日新聞「自衛隊 50 年取材班『自衛隊 知られざる変容』(朝日新聞社、2005 年) 173-174 頁による。

²³⁵ 防衛省編『防衛白書』平成 23 年版。

²³⁶ Kerry Lynn Nankivell, "The View from the West: RIMPAC, an Exercise in Politics," *Canadian Naval Review*, Vol. 4, No. 1(Spring 2008), pp. 37-38.

²³⁷ The Department of the Navy's Information Technology Magazine, "Coalition Interoperability Reaches New Heights in RIMPAC 2006,"

<http://www.doncio.navy.mil/CHIPS/ArticleDetails.aspx?ID=2988> (2012 年 2 月 3 日アクセス)

²³⁸ 米軍と共通の通信システムを保有していない海軍に対しては、RIMPAC 時に限り、米海軍が通信システムを貸与しているとのことである。海上自衛隊幹部への筆者によるインタビュー、2012 年 5 月 14 日。

²³⁹ Joint Standing Committee on Foreign Affairs, Defence and Trade Defence Sub-Committee, "Inquiry into Australia's Defence Relations with the United States," February 10, 2004, p. 6.

²⁴⁰ Ministry of Defence, Singapore, "Singapore Participates in Naval Exercise SEACAT 2007," August 20, 2007.

http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2007/aug/20aug07_nr3.html (2011 年 12 月 27 日アクセス)

²⁴¹ 第 1 章第 2 節 (8) 参照。

²⁴² "Helping to Ensure Secure Seas," Asia Pacific Defense Forum(Fall 2004).

<http://forum.apan-info.net/fall04/4-7/4.html> (2010 年 5 月 27 日アクセス)

²⁴³ "Transcript of Vice Adm. Jonathan Greenert's interview with Stars and Stripes," *Stars and Stripes*, April 17, 2005.

<http://www.stripes.com/news/transcript-of-vice-adm-jonathan-greenert-s-interview-with-stars-and-stripes-1.32044> (2011 年 12 月 27 日アクセス)

揚陸艦 USS Harpers Ferry (LSD49)、ミサイルフリゲート USS Crommelin (FFG37)、修理救難艦 USNS Safeguard (T-ARS50) 及び貨物輸艦 USNS PFC Dewayne T. Williams (T-AK 3009) が参加し、臨検拿捕の技術を米海軍が連絡将校に訓練した²⁴⁴。

② 評価

9/11 後、米国にとって東南アジアでの安全保障上の懸念はシーレーンの自由の維持に対する関与とイスラム過激派のテロとなった。米国は、国境を超えた脅威について同盟関係による対応からコアリションでの対応に移行し、東南アジア諸国との関係においても対テロに高い優先順位を与えた。このような米国の利益と支援を踏まえ、東南アジア各国としても域内のテロ対応への関与を示す必要に迫られた²⁴⁵。SEACAT のような取り組みは、テロとの戦いにおける重要な第一歩を意味し²⁴⁶、米・東南アジア関係の強化にも役立った。

SEACAT では米国との共同軍事演習を通じて東南アジア各国の海洋安全保障能力、インターオペラビリティが向上するため、将来共同作戦を実施する場合の円滑な協力が期待できる²⁴⁷。SEACAT 2006 に参加したマレーシア海軍の連絡将校 Mustakim 大尉は「この規模の艦船に乗船する機会がほとんどないため、マレーシア海軍にとって演習は大変有益である。また、米軍は将来役に立つ経験やアイデアを与えてくれる」²⁴⁸と評価し、SEACAT タスクグループの司令である米海軍 Collins 大佐も「素晴らしいアイデアは独り占めしない。これまで協力して行動計画を良いものにしてきた」²⁴⁹と述べている。また、SEACAT 2007 に参加したシンガポール海軍連絡将校 Chua 大尉も「他国の海軍がどのように行動し、司令官に情報を伝えるか見ることができる。SEACAT は情報を共有し互いに学ぶ素晴らしい機会である」²⁵⁰と述べている。一方で、第 1 章 2 (8) 米・東南アジアでも述べたとおり、軍によるテロ対策には限界も多いことに留意する必要がある。

SEACAT 開始時には、多国間協力の効果を最大化するための試みがなされた。7 カ国が一つの演習に参加するための調整は非常に困難であるため、東南アジア各国と米国との 2 国間ベースの枠組みとした。2 国間演習を同時に行い、連絡将校を同じ米海軍の艦

²⁴⁴ 本段落の記述は、United States Navy, “SEACAT Shows Benefits of Cooperation At Sea, Ashore,” August 21, 2009. http://www.navy.mil/search/display.asp?story_id=47789 (2012 年 4 月 12 日アクセス) による。

²⁴⁵ Sheldon Simon, “The United States, Japan, and Australia: Security Linkages to Southeast Asia,” 2011 Pacific Symposium: The New Security Environment-Implications for American Security in the Asia-Pacific Region, April 4-5, 2011, pp. 3-4.

²⁴⁶ Space and Naval Warfare Systems Command, op. cit., p. 7.

²⁴⁷ Victor Huang, “Building Maritime Security in Southeast Asia,” *Naval War College Review*, vol. 61, No. 1(Winter 2008), p. 99.

²⁴⁸ United States Navy, “SEACAT Fosters Exchange Between Future Naval Leaders,” May 25, 2006, http://www.navy.mil/search/print.asp?story_id=23773&VIRIN=34718&imagetype=1&page=1 (2012 年 1 月 5 日アクセス)

²⁴⁹ Ibid.

²⁵⁰ United States Navy, “Malaysia, Singapore Boardings Wrap Up Anti-Terrorism Exercise,” August 21, 2007. <http://www.c7f.navy.mil/news/2007/08-august/30.htm> (2012 年 1 月 5 日アクセス)

艇に乗船させることで多国間演習と同じ効果をもたらし、各国の能力と目標に応じたシナリオを作ることにも可能になっている。このような配慮は、SEACATの円滑化だけでなく、東南アジアにおける海洋安全保障協力ネットワークの拡大にも寄与すると考えられる²⁵¹。

(3) PSI (拡散に対する安全保障構想阻止演習)

① 実績

PSI (Proliferation Security Initiative) とは、大量破壊兵器等の拡散を阻止するため参加国が共同してとり得る措置を検討する構想である。2003年に、ブッシュ大統領が提案し各国に呼びかけた。具体的には、PSIは大量破壊兵器等の関連物資の拡散を防止するために、①既存の国際法、国内法に従いつつ、参加国が共同してとりうる措置を検討し、②関連する国際法、国内法の強化に努めようとする提案であり、特定の国を対象としない取組である²⁵²。

2003年から2009年までの間に、東アジアの国が主催し東アジア地域で行われたPSI阻止演習は8回である²⁵³。内容は、架空の拡散事例に係るシナリオとして、ある国が陸上輸送、海上輸送、航空輸送により大量破壊兵器関連物資の入手を試みているとの設定に基づき、関係機関が連携して陸上・海上・航空阻止に係る諸活動を訓練するものである²⁵⁴。具体的には、洋上における捜索・発見・追尾／乗船、乗船・立入検査訓練、港における船内立入検査・貨物検査等である²⁵⁵。

表2-10 PSI阻止演習実施状況

開催年	演習名	参加国	主催国	開催地
2003	Pacific Protector	豪、日、NZ、シンガポール、英、米	豪	豪州沖
2004	Team Samurai	豪、仏、日、米	日	相模湾沖内及び横須賀港内
2005	Deep Sabre	ブルネイ、豪、加、仏、伊、日、NZ、比、露、シンガポール、韓、英、米	シンガポール	シンガポール及び同周辺海域
2006	Pacific Protector	豪、日、NZ、シンガポール、米	豪	ダーウィン
2006	Western Protector	豪、日、NZ、シンガポール、英、米	豪	ダーウィン
2007	Pacific Shield	豪、仏、日、NZ、シンガポール、英、米	日	伊豆大島東方海域、横

²⁵¹ 本段落の記述は、John Bradford, “Shifting the Tides against Piracy in Southeast Asian Waters,” *Asian Survey*, Vol. 48, No. 3 (May/June 2008), pp. 489-490.による。

²⁵² 本段落の記述は、防衛省運用企画局運用支援課「平成22年度 政策評価書（総合評価）」（2011年2月）4頁。

<http://www.mod.go.jp/j/approach/hyouka/seisaku/results/22/sougou/honbun/22sougou-03-2takokukan.pdf> (2011年12月26日アクセス)による。

²⁵³ 外務省「拡散に対する安全保障構想」2010年5月25日。

http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/fukaku_j/psi/psi.html (2011年12月26日アクセス)

²⁵⁴ 防衛省「政策評価書」4頁。

²⁵⁵ 外務省「我が国主催 PSI 海上阻止訓練「Pacific Shield 07」（概要と評価）」2007年10月18日。http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/fukaku_j/psi/ps07_gh.html (2011年12月26日アクセス)

				須賀港、横浜港
2008	Maru	豪、加、仏、日、NC、NZ、シンガポール、米	NZ	オークランド
2009	Deep Sabre II	豪、ブルネイ、加、仏、伊、日、韓、NZ、比、ロシア、シンガポール、米	シンガポール	シンガポール及び同周辺海域

② 評価

阻止演習は PSI 構想における重要な活動であり²⁵⁶、大量破壊兵器の拡散阻止に向けた力強いメッセージの発出、各国・関係機関の連携の強化、拡散阻止のための措置の実効性向上への貢献といった効果を持つと評価されている²⁵⁷。

PSI の支持国は 2010 年 5 月現在、96 カ国であり、うち、日本、米国、英国、イタリア、オランダ、オーストラリア、フランス、ドイツ、スペイン、ポーランド、ポルトガル、シンガポール、カナダ、ノルウェー、ロシアの 15 カ国は PSI 発足後の一定期間「コア・グループ」として PSI の発展に中心的な役割を果たした（2005 年に廃止）²⁵⁸。

PSI の支持国が順調に拡大しているのは確かだが、これらの国々の全てが PSI 活動に積極的に参加しているとは言えず、阻止訓練の実施を含め実質的に PSI の発展に尽力してきたのは、上記の 15 カ国である²⁵⁹。東アジアにおける PSI 阻止訓練への参加状況をみると、提唱国米国、豪州、日本、シンガポール、ニュージーランド（以上主催経験あり）、ブルネイ、フィリピン、ロシア、ニューカレドニア、韓国となっており、中国、インド、インドネシアなどは含まれていない。

このような PSI 阻止演習への参加状況の背景には、PSI そのものに対する批判がある。主な批判として①国際法上の違法性をめぐるもの、②組織や運営手法に関するもの、③政策としての妥当性に対するものがある。①は PSI がその活動の柱とする公海上における船舶の臨検活動が国際法に抵触する恐れがあるとの指摘である。②は PSI をブッシュ政権による単独行動主義の表れとして否定的に捉える見方である。③は PSI が過度に挑発的なため相手国を刺激し、戦争を引き起こすことになるかもしれないという政策論的観点からの慎重意見である²⁶⁰。中国は、海上阻止活動と国際法との整合性の問題、国連との関係がないこと、実施に対する情報と失敗に対する対処機能がないこと、平和的手段ではない軍事的手段で解決すること等への懸念を表明している²⁶¹。東南アジアでは、インドネシアとマレーシアが、PSI を主権侵害としてとらえている²⁶²。

²⁵⁶ PSI の主な活動内容としては、阻止訓練のほかに、参加国・協力国の拡大に向けた努力（アウトリーチ活動）、各種会合を通じた活動内容の精査がある。

²⁵⁷ 外務省「拡散に対する安全保障構想」

²⁵⁸ 本段落の記述は、外務省「我が国主催 PSI 海上阻止訓練」による。

²⁵⁹ 山崎元泰「大量破壊兵器不拡散体制の間隙と PSI の意義—阻止体制の重層化に向けて—」『早稲田政経済学雑誌』No. 365（2006 年 10 月）55 頁。

²⁶⁰ 同上 42-43 頁。

²⁶¹ 中西宏晃「大量破壊兵器の拡散の阻止に関する国際法の現状と問題点—「拡散防止構想（PSI）」に関連して—」『龍谷大学大学院法学研究』No. 9（2007 年 7 月）251 頁。

²⁶² Sheldon W. Simon, 'The United States, Japan, and Australia: Security Linkages to Southeast Asia'

東アジアにおける大量破壊兵器の拡散問題での重要な焦点は北朝鮮とマラッカ海峡である。したがって、中国や東南アジア諸国の積極的な関与が不可欠であるが、双方とも上記の理由から、また、中国は北朝鮮を過度に刺激するのは避けたいとの配慮から、PSI に対して極めて消極的である²⁶³。

(4) Pacific Reach (西太平洋潜水艦救難演習)

① 実績

1999年2月、豪州、日本、韓国、シンガポール、英国、米国²⁶⁴の6カ国が参加した Pacific Reach シンポジウムでの米海軍による潜水艦救難に関する多国間協力に関する提案を受け、翌年、Pacific Reach 2000 が行われた²⁶⁵。2000年8月にはロシアの潜水艦クルスクの沈没事故が発生し、アジア太平洋諸国の海軍にとって、迅速で効果的な潜水艦救難に関する協力が重要課題となっていた²⁶⁶。

主催国は持ち回りであり、初回の Pacific Reach 2000 はシンガポールが主催した。演習海域は南シナ海北東約 200 海里であり、参加装備は、艦艇 4 隻、潜水艦 4 隻、潜水艦救難船であった²⁶⁷。内容は、あらかじめ定められた海域に参加国の艦艇を沈座させておき、他国の救難艇などにより、その潜水艦から数名の乗組員を脱出させるという各国の潜水艦救難技術を展示するものであった²⁶⁸。

トゥアス海軍基地で行われた Pacific Reach 2000 開会式のスピーチで、シンガポールの Lui Tuck Yew 海軍少将は、アジア太平洋地域初の潜水艦救難演習 Pacific Reach 2000 は地域海洋協力の重要なマイルストーンであり、2つの重要な側面（潜水艦救難能力・インターオペラビリティの向上が危機時に役立つこと、地域の多国間防衛関係の拡大に寄与すること）を持っていると述べた²⁶⁹。

演習参加国は徐々に増加しており、4回目の演習となる豪主催の Pacific Reach 2007 に

in *The U.S.-Japan Security Alliance : Regional Multilateralism*, eds., Takashi Inoguchi, G. John Ikenberry and Yoichiro Sato. Palgrave Macmillan, 2011, p. 247.

²⁶³ 山崎「大量破壊兵器不拡散体制の間隙と PSI の意義」55-56 頁。

²⁶⁴ 「潜水艦「李億祺」、西太平洋潜水艦救難訓練に参加」『ワウコリア』2007年11月26日 <http://www.wowkorea.jp/news/Korea/2007/1126/10036308.html> (2011年12月22日アクセス)

²⁶⁵ The Republic of Korea Navy, “Pacific Reach,” http://www.navy.mil.kr/english/sub_guide/sub_activ.jsp?menu=4 (2011年12月22日アクセス)

²⁶⁶ “Pacific Reach,” *GlobalSecurity.org*, <http://www.globalsecurity.org/military/ops/pacific-reach.htm> (2009年10月22日アクセス)

²⁶⁷ シンガポール国防省が事前に公表した演習内容。Ministry of Defence, Singapore, “Republic of Singapore Navy will Host Region’s First Combined Submarine Rescue Exercise,” September 18, 2000. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2000/sep/18sep00_nr.html (2011年12月22日アクセス)

²⁶⁸ 防衛庁編『防衛白書』平成13年版。

²⁶⁹ Ministry of Defence, Singapore, “Speech by Radm Lui Tuck Yew, Chief of Navy at the Opening Ceremony of Exercise Pacific Reach 2000 at Tuas Naval Base on 2 Oct 2000 at 7.00 pm,” October 2, 2000.

http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2000/oct/02oct00_nr/02oct00_speech.html (2011年12月22日アクセス)

は、カナダ、中国、英国が初めて参加した。参加装備は、艦艇6隻、潜水艦3隻、潜水艦救難システム2セット、多国籍潜水チームであった。英国からは潜水艦パラシュート支援グループが参加し、ヘリコプターから降下した要員が、脱出した乗組員に対して、救難船への移送前に医療処置を行う訓練も行った²⁷⁰。

表2-11 Pacific Reach 参加国（艦艇派遣国）の推移

	2000	2002	2004	2007
日本		豪	豪	豪
韓国		<u>日本</u>	日本	カナダ
<u>シンガポール</u>		韓国	<u>韓国</u>	日本
米		シンガポール	シンガポール	韓国
		米		中国
				シンガポール
				英国
				米国
	4	5	4	8

※ 下線は主催国。

② 評価

Pacific Reach は、シンガポールの Lui Tuck Yew 海軍少将が述べたとおり潜水艦救難能力とインターオペラビリティを向上させた。Pacific Reach 2000 では、参加各国は相互に潜水艦救難技術・要領を展示し確認を行った。例えば、海上自衛隊の潜水艦救難母艦ちよだは、水深約 80 メートルの海底に沈座した韓国海軍の潜水艦チョイムーンソンに、ちよだ搭載の深海救難艇をドッキングさせて乗組員3名を収容し、ちよだに移送した。同様の訓練は様々な国の組み合わせで行われ、潜水艦救難技術の向上という目的を十分に達成できたとみられる。また、各国が協力する訓練であることから、相互理解・相互信頼の増進にも貢献したといえる²⁷¹。

Pacific Reach は、多国間協力の拡大にも寄与した。Pacific Reach 2002 は日本が主催する初めての多国間共同軍事演習であり²⁷²、韓国にとっても Pacific Reach 2004 は貴重な主催経験となった。また、Pacific Reach 2007 には初めて中国が初めて参加した。これは、1999年の豪州主催の Bell Buoy、2007年パキスタン主催 Aman への参加に続く中国の多国間海軍演習への参加となった。軍事力の透明性向上を求める国際社会の声に対し中国が前向きな姿勢を見せない中、潜水艦救難演習のような、比較的秘匿度が低い情報のみを含む活動に中国を関与させることで、将来的な中国軍の近代装備の透明性の向上につながると

²⁷⁰ Australian Government, Department of Defence, “International Submarine Escape and Rescue exercised off the West Coast,” December 3, 2007.
http://www.navy.gov.au/International_Submarine_Escape_and_Rescue_exercised_off_the_West_Coast (2011年12月22日アクセス)

²⁷¹ 本段落の記述は、防衛庁編『防衛白書』平成13年版による。

²⁷² 防衛庁編『防衛白書』平成17年版。

期待される²⁷³。

(5) Tempest Express (テンペスト・エクスプレス)

① 実績

1990年代後半のINTERFETなどでの活動を踏まえ、東アジア各国は小規模な緊急事態や戦争以外の軍事作戦への多国間での対応を向上させる必要性を認識していた。なかでも、軍事作戦における多国間調整の方策を模索していた米太平洋軍のイニシアチブにより、1999年、これらの認識を共有する国が集まり、多国籍活動立案・能力強化チーム(MPAT)が設立された。2000年5月には、米国、豪州、フィリピン、シンガポール、タイの5カ国が参加した初のワークショップでMPATの概念整理、目標や実施方法の特定を行った。その後、MPATではコアリションやCTFで用いられる標準手続規則(SOPs)を検討してきた²⁷⁴。

Tempest Expressは、MPATにおいて、シミュレーション上で設定したタスクフォース本部で各国の幕僚がSOPsに慣熟し、危機時の計画策定能力を高めることを目的として行われるワークショップである²⁷⁵。2000年11月、マニラで第1回目のTempest Expressが米フィリピン共催で行われ、18カ国が参加した²⁷⁶。Tempest Expressの主催は各国持ち回りであり、MPAT参加国²⁷⁷から毎回20数カ国が参加している。各国の政府官庁やNGOの参加も進んでいる²⁷⁸。

内容は、例えば、2000年にフィリピンで実施された初回のTempest Expressでは、ルソン島を襲った台風被害に対してフィリピンの国立災害調整評議会とNGOが対応する中、さらに台風がフィリピン南部に接近し、同時に火山が噴火する可能性がある状況で、フィリピン政府が国際支援を求め、人道支援を行う多国籍軍をフィリピン軍が指揮統制するという想定で行われた。統合タスクフォースが設置され、多国籍軍本部の計画担当者が、行動計画策定支援のために到着するという内容での訓練となった²⁷⁹。また、2008年3月にプノンペンで行われたTempest Express 14は、人道支援と災害救援を焦点とし、24カ国(軍、

²⁷³ Lyle Goldstein and William Murray, 'International Submarine Rescue: A Constructive Role for China?' *Asia Policy*, No. 5 (January 2008), p. 182.

²⁷⁴ Scott A. Weidie, U.S Navy, "Multinational Crisis Response in the Asia Pacific Region: The Multinational Planning Augmentation Team Model", *Liaison*, Vol. 3, No.3 (2006)
http://coe-dmha.org/Publications/Liaison/Vol_3No_3/Dept16.htm (2012年1月31日アクセス)

²⁷⁵ Ibid. なお、MPATプログラムではTempest Expressの他に多国間標準手続規則(Multinational Force Standing Operating Procedure)を検討するワークショップが開催されている。

²⁷⁶ "Tempest Express," *GlobalSecurity.org*,
<http://www.globalsecurity.org/military/ops/tempest-express.htm> (2012年1月31日アクセス)

²⁷⁷ 確認できた範囲(2007年時点)で、豪州、バングラデシュ、ブルネイ、カンボジア、カナダ、東チモール、フランス、フィジー、ドイツ、インド、インドネシア、イタリア、日本、韓国、マダガスカル、マレーシア、モルジブ、モーリシャス、モンゴル、ネパール、ニュージーランド、パプアニューギニア、フィリピン、シンガポール、ソロモン諸島、スリランカ、タイ、トンガ、ツバル、英国、米国、バヌアツ、ベトナムである(John M Bratton, "Multinational Planning Augmentation Team and Asia-Pacific Area Network (MPAT & APAN) in Asia and the Pacific" Powerpoint, May 2, 2007.) このほか、これまでにデンマーク、フィンランド、スウェーデンの参加が確認されている。

²⁷⁸ Paul L. Muller, "A Coalition Warm Starter," *Naval War College*(November 2007), p. 10.

²⁷⁹ *GlobalSecurity.org*, op. cit.

各省庁)と国連食糧計画や国連人道問題調整事務所といった国連機関が参加した。メコン川、トンレサップ川から洪水が発生したとの想定の下、多国間での軍民協力をテーマとして行われた²⁸⁰。

表 2-12 Tempest Express の主催地と参加状況

年	月	名称	参加国数	開催地
2000	11	Tempest Express 1	19	フィリピン
2001	2	Tempest Express 2	19	タイ
2002	1	Tempest Express 3	25	韓国
2002	8	Tempest Express 4	25	シンガポール
2003	8	Tempest Express 5	22	モンゴル
2004	3	Tempest Express 6	25	オーストラリア
2004	8	Tempest Express 7	26	インド
2005	7	Tempest Express 8	25	ハワイ
2006	3	Tempest Express 9	29	タイ
2006	8	Tempest Express 10	25	モンゴル
2007	2	Tempest Express 11	28	シンガポール
2007	6	Tempest Express 12	23	インドネシア
2007	7	Tempest Express 13	不明	ハワイ
2008	3	Tempest Express 14	24	カンボジア
2008	7	Tempest Express 15	21	インドネシア
2009	3	Tempest Express 16	24	フィリピン
2009	8	Tempest Express 17	24	ネパール

② 評価

多国間協力において各国の政策の違いが阻害要因となりがちであることを踏まえ、米太平洋軍は、米国中心のプログラムから MPAT を切り離し「MPAT プログラムは関心を持つ国全てに属する」との趣旨により平等主義的性格を強調した²⁸¹。その結果、30 数カ国の参加を得ることになったが、MPAT の成功は米太平洋軍の支援によるところが大きいことも事実である。プログラムの検討・実施には全参加国が責任を負う一方で、米太平洋軍は MPAT プログラムの事務局を提供し²⁸²、MPAT の成果を APAN (Asia-Pacific Area Network)²⁸³ 上にアップし、安全なインターネット上のコミュニケーションと、機密ではないが慎重

²⁸⁰ Bobby Ray Gordon, “COE assists MPAT in HA/DR development,” *The Center for Excellence’s Center Works Quarterly*, Issue 6(Spring 2008), p. 5.

²⁸¹ Muller, op. cit., p. 10.

²⁸² Weidie, op.cit.

²⁸³ APAN は、共通のプラットフォーム上でパートナー間のインターオペラビリティと接続性を提供する、非機密で non.mil のネットワークである。APAN は、従来の米国防省のシステム・

に扱うべき情報を参加国の軍や行政当局に提供している。また、MPAT プログラムは、多国間協力に見られがちな、正式な参加手続等を省略しているため、解決策の合意やプログラムの目標達成が迅速である²⁸⁴。

Tempest Express を含め MPAT の成果は、実動演習や現実の作戦でも検証されている。米タイ中心の共同軍事演習 Cobra Gold の指揮所演習では SOPs が用いられ、CTF 本部には、MPAT プログラムで学んだ技能を多国間調整の場面などで発揮するよう、MPAT 参加国のスタッフが配置される²⁸⁵。さらに、MPAT の成果は、2004 年 12 月のインドネシア津波の際の OUA でも証明された。OUA では、中核となる本部の設置が被害地域のニーズへの適時適切な対応にとって不可欠であったが、MPAT がその役割を果たした²⁸⁶。統合救援作戦に参加した 21 カ国のうち 16 カ国が MPAT 参加国であり、PACOM のファーゴ司令官(当時)も「救援活動の基礎となったのは、地域 31 カ国が取り組んできた SOPs である。・・・あのようなスピードで活動することができたのは、我々が投資をしてきたからである」と述べている²⁸⁷。米太平洋軍は、救援活動が成功した 3 つの要因²⁸⁸のうちの地域安全保障協力(Theater Security Cooperation)について、地域各国と米国の計画担当者間の関係強化のための能力・信頼向上の手段である MPAT を通じて、地域の災害対応協力を一層強化していくとしている²⁸⁹。

このように、MPAT は災害時の多国間協力の円滑化をもたらしたが、MPAT を実質的に支える米国にとって最も重要な成果は、共同軍事演習により参加国間のインターオペラビリティが向上し、同盟・友好国がコアリションでの作戦に必要な SOPs を学ぶことで、地域の軍事課題への対応が促進されることだと考えられる²⁹⁰。

(6) ARF 災害救援演習

① 実績

東アジアでは、地震、津波、洪水などの自然災害が及ぼす社会・経済・環境面での長期

ネットワークへのアクセスを利用できない国、組織、機関、個人と米国防省の間での情報交換や協力の発展に役立っている。”APAN Community,” <https://community.apan.org/> (2012 年 2 月 4 日アクセス)

²⁸⁴ Weidie, op. cit.

²⁸⁵ Ibid.

²⁸⁶ Michael L. Smith, “A Better Disaster Response: Building on a Solid Foundation,” Naval War College, May 4, 2009. pp. 15-16.

²⁸⁷ Muller, op. cit., p. 14.

²⁸⁸ ①被害国と国際支援のギャップを埋めるための能力を軍が迅速に提供したこと、②省庁間協力、多国間の軍民協力が効果的な災害救援活動にとって鍵となったこと、③地域安全保障協力(軍間協力)が相互理解と努力を促進したこと、が指摘されている。

²⁸⁹ B.F. Griffard, Kent Hughes Butts, and Art Bradshaw, “Support to Civil Authority in Seismic Disasters: Regional Initiatives,” Issue Paper, Vol. 02-06, U.S. Pacific Command Southeast Asia Seismic Disaster Preparedness Conference, Center for Strategic Leadership, U.S. Army War College (February 2006), p. 3.

²⁹⁰ 本段落の記述は、Sheldon W. Simon, “Theater Security Cooperation in the U.S. Pacific Command: An Assessment and Projection,” *NBR Analysis*, Vol. 14, No. 2(August 2003), p. 7.による。

的な影響にさらされていることを背景に、ASEAN や東アジアサミットなどにおいて様々な取り組みがなされてきた。

ARF でも 2008 年 5 月、豪州とインドネシアが、ジャカルタで災害救援机上演習を共催し、ARF25 カ国から 100 名以上が参加した²⁹¹。2009 年 5 月には、米国・フィリピンの共催で初の ARF 災害救援実動演習が行われた。「大型台風による大規模な被害がフィリピン・ルソン島において発生し、フィリピン政府の要請を受けて、ARF 各国が人道支援を提供する」との想定に基づき、各国が人員や装備等をフィリピンに派遣し、海上における捜索救難訓練、医療活動、建設活動、被災者の後送訓練等を行った²⁹²。インドネシア、シンガポール等 ARF25 カ国と EU から約 500 人が参加し、14 の国や機関（日本、豪州、ブルネイ、中国、EU、インドネシア、モンゴル、ニュージーランド、パプアニューギニア、フィリピン、韓国、シンガポール、スリランカ、米国）がアセットを提供した²⁹³。

② 評価

これまで ARF は「トークショップ」の域を出ず、実際的な協力はできないといわれてきたが、最近、特に災害救援、テロ対策・国境を越える問題、不拡散・軍縮、海上安全保障、PKO 等の分野において、より具体的な協力をを行う枠組みに向けての整備が進みつつある。2009 年の ARF 災害救援実動演習は、ARF が行う初めての实動演習であり、ARF が具体的協力の場として着実に進展していることを示す重要な取組であるといえる²⁹⁴。

一方で、ARF における具体的協力の深化についての課題も指摘されている。ARF 加盟国の中に能力・資源不足の国があること及び参加国間の信頼不足である。後者については、主権や不干渉に関する原則の軽視・弱体化への懸念であり、例えばインドネシアなどは、災害救援関係国間での軍民・省庁間協力の促進において、主権の重要性を指摘している²⁹⁵。災害救援のみならず非伝統的安全保障問題への効果的な対処には主権や内政不干渉の柔軟な解釈が不可欠であり、伝統規範の創造的な継承²⁹⁶がなされるかどうかは ARF 災害救援演習の効果にも影響を与えることになる。

また、2009 年の災害救援実動演習では、米国、日本及び中国がそろって参加した点にも大きな特色がある。この点については、中国と日米豪などとの緊張が高まらないように希望しつつ、日米豪による対中牽制を追求する ASEAN 諸国による地域全体の緊張激化を避けようとする試みであったとの指摘がある²⁹⁷。

²⁹¹ Mike Kelly, Speech at 3rd Asia Pacific Conference on Military Assistance to Disaster Relief Operations, November 5, 2008. <http://www.defence.gov.au/minister/84tpl.cfm?CurrentId=8415> (2012 年 1 月 3 日アクセス)

²⁹² 防衛省「政策評価書」9 頁。

²⁹³ 防衛省防衛研究所『東アジア戦略概観 2010』（2010 年）153 頁。

²⁹⁴ 防衛省「政策評価書」9 頁。

²⁹⁵ Jürgen Haacke, ‘The ASEAN Regional Forum: from Dialogue to Practical Security Cooperation?’ *Cambridge Review of International Affairs*, Vol. 22, No. 3(September 2009), pp. 444-445.

²⁹⁶ 小笠原高雪「東南アジア諸国連合（ASEAN）」広瀬佳一、宮坂直史編『対テロ国際協力の構図—多国間連携の成果と課題—』（ミネルヴァ書房、2010 年）130-131 頁。

²⁹⁷ 浅野亮「「台頭する中国」と ASEAN—新たな東アジア秩序の摸索」黒柳米司編『ASEAN

(7) Milan (ミラン)

① 実績

インド海軍主催の Milan は、1995 年以降 2 年に 1 回のペースで 6 回実施されており、回を追うごとに参加国が増加している²⁹⁸。Milan の目的は、インド洋海域にある海軍が集まり友好関係を構築し相互理解を深めることである²⁹⁹。開催地はアンダマン諸島にあるポートブレアであり、演習を統制しているのは、統合コマンドのアンダマン・ニコバル・コマンドである³⁰⁰。

最も多くの国が参加した Milan 2008 は、2008 年 1 月にポートブレアで開催された。演習の目的は、共通利益と密漁、海賊、テロ活動からの海上交通路の安全確保についての理解と協力の促進、インターオペラビリティの向上、搜索救難・人道支援活動への取り組みであった。具体的には、海賊対処、搜索救難、汚染防止についての机上演習とセミナー、艦艇の相互訪問を行った³⁰¹。

表 2-13 Milan 参加国の推移

1995	1997	1999	2003	2006	2008
インド	<u>バングラデシュ</u>	バングラデシュ	豪	豪	豪
インドネシア	インド	インド	インド	バングラデシュ	バングラデシュ
シンガポール	インドネシア	インドネシア	インドネシア	インド	<u>ブルネイ</u>
スリランカ	マレーシア	マレーシア	マレーシア	インドネシア	インド
タイ	シンガポール	シンガポール	<u>ミャンマー</u>	マレーシア	インドネシア
	スリランカ	スリランカ	シンガポール	ミャンマー	マレーシア
	タイ	タイ	スリランカ	シンガポール	ミャンマー
			タイ	スリランカ	<u>ニュージーランド</u>
				タイ	シンガポール
					スリランカ
					タイ
					<u>ベトナム</u>
5 国	7 国	7 国	8 国	9 国	12 国

※ 下線は新規参加国。

再活性化への課題—東アジア共同体・民主化・平和構築』（明石書店、2011 年）129 頁。

²⁹⁸ 2001 年はインド海軍が International Fleet Review を主催したこと、2005 年は前年のインド洋津波の影響により Milan の実施を見送った。

²⁹⁹ 本段落の記述は、Indian Navy, “MILAN 2008, Home,”

<http://indiannavy.nic.in/Milan%202008.htm> (2011 年 12 月 21 日アクセス) による。

³⁰⁰ Indian Navy, “MILAN 2008, Milan Organization,”

http://indiannavy.nic.in/Milan%202008_files/Page362.htm (2011 年 12 月 22 日アクセス)

³⁰¹ 本段落の記述は、“Exercise MILAN 08: Friendship Across the Seas,” Bharat Rakshak, January 2008. <http://www.bharat-rakshak.com/NAVY/Articles/Article11.pdf>(2011 年 12 月 21 日アクセス) による。

② 評価

Milan は実動演習を含まないためセレモニー的な色合いが濃いといわれる³⁰²。しかし、机上演習やセミナーの内容は、密漁・テロ・海賊対策、搜索救難などであり、参加国が、インド洋の安全確保に関する共通利益と沿岸国の協力の必要性について認識を高める役割を果たしている。

Milan への各国の参加は、アンダマン海とマラッカ海峡での監視継続に関するインドとの協力意思の表示であり³⁰³、軍事外交としてはソフトなアプローチだが、海上での災害、搜索救難、海賊対処に関する協力を前向きな支持を作りだし、インド海軍がこれらの分野で役割を果たす効果的な土台となり、周辺海域に対する覇権主義的意図があるというイメージを一掃するとの評価がある³⁰⁴。

開催地ポートブレアのあるアンダマン諸島は、交通の要衝であるとともにインドの排他的経済水域の30%を占めている。インドにとって「戦略的空母」として存在感を高めている地域でもある³⁰⁵。Milan の参加国はインド洋海域の国であるが、パキスタンは含まれていない。一方で、東南アジアからの参加が増えており、インドのルック・イースト政策にも合致している。インドは、対中戦略上、インドネシア、ベトナム及びシンガポールとの関係により対中封じ込めの効果を、マレーシア、ミャンマーとの関係により中国の影響力最小化の効果を狙っているといわれており³⁰⁶、2006年のミャンマーのMilan への参加とミャンマー海軍の戦艦の初めての海外寄港は、中国とミャンマーの緊密な関係に照らして注目すべき出来事として受け止められた³⁰⁷。

(8) FPDA による多国間演習

① 実績

FPDA は1970年代からマレーシア・シンガポール防衛を目的に、主に空軍演習を行ってきたが、1980年代には陸軍、海軍演習も定期的に行うようになった。1990年代には空軍・海軍演習をStardexにまとめ、陸軍演習の規模を拡大した³⁰⁸。さらに、1997年にFDPAは空軍・海軍演習のMajor ADEXとStarfishを既存のFlying Fishにまとめ、本格的

³⁰² “Indian Navy at Crossroads and MILAN 08 - For Friendship,” *India Defense Update*, January 2008. <http://www.indiadenfenceupdate.com/news71.html> (2011年12月22日アクセス)

³⁰³ “Milan 08 to Boost India’s Naval Diplomacy,” *Indian Muslims*, January 12, 2008. http://www.indianmuslims.info/news/2008/jan/12/milan_08_boost_indias_naval_diplomacy.html (2011年12月22日アクセス)

³⁰⁴ Pankaj Kumar Jha, “India’s Defence Diplomacy in Southeast Asia,” *Journal of Defence Studies*, Vol. 5, No. 1(January 2011), p. 59.

³⁰⁵ 『産経ニュース』2011年10月31日。
<http://sankei.jp.msn.com/world/news/111031/asi11103108130000-n3.htm> (2011年12月22日アクセス)

³⁰⁶ Kumar Jha, op. cit., p. 50.

³⁰⁷ Gurpreet S Khurana, “China-India Maritime Rivalry,” *Indian Defence Review*, Vol. 23. 4 (October-December 2008), p. 2.

³⁰⁸ 陸軍演習自体は1981年からマレーシア・シンガポール以外の場所で行われていた。

な共同統合演習とした。2000年にはいくつかの陸軍演習を **Bersama Lima** にまとめた³⁰⁹。

2000年代になると、5カ国は9/11とマラッカ海峡でのテロを背景に非対称的脅威への対応の必要性で一致し、共同軍事演習にもこの認識を反映させ³¹⁰、2004年9月には初の対テロ演習 **Bersama Lima** を行った³¹¹。さらに、2004年のインドネシア津波後には人道支援や災害救援などにも活動の範囲を拡大させ、共同軍事演習に軍以外の機関の参加を促すこととし、2006年の **Bersama Padu** には赤十字も参加した³¹²。

表2-14 FPDAの多国間演習実施状況

	演習名	1981-90	1991-00	2001-09	開始年 (注)	軍種	場所
1	ADEX	1	3	1	1972	空→海 空	シンガポール・マレー シア上空・南シナ海 上空
2	Bersama Lima	0	1	4	1972	空→陸 海空	シンガポール・マレー シア・南シナ海
3	Lima Bersatu	1	0	0	1972	空	不明
4	Platypus	1	0	0	1981	陸	豪
5	Starfish	3	6	0	1987	海	南シナ海、マレーシ ア海峡、パラオ・チオ マン周辺
6	Kris Sakti	1	0	0	1987※	陸	マレーシア
7	Lion Spirit	1	0	0	1989※	陸	シンガポール
8	Sea Lion	1	0	0	1989※	陸	シンガポール
9	Churinga	0	4	1	1998※	空	バターワース(マレー シア)
10	Flying Fish	0	3	1	1991※	海空	シンガポール・マレー シア・南シナ海

³⁰⁹ 本段落の記述は、Carlyle A Thayer, “The Five Power Defence Arrangements: The Quiet Achiever,” Discussion Paper, 1st Berlin Conference on Asian Security, Berlin(September 14-15, 2006), pp. 5-7 による。

³¹⁰ Ibid., p. 8.

³¹¹ 防衛庁編『防衛白書』平成17年版。

³¹² Andrew T. H. Tan, “The the Five Power Defence Arrangements: The Continuing Relevance,” *Contemporary Security Policy*, Vol. 29, No.2 (August 2008), p. 295.

11	IDAS ADEX	0	5	2	1994※	海空	シンガポール
12	Lumutex	0	1	0	1994※	海	不明
13	major ADEX	0	2	0	1998※	海空	パヤレバー(シンガポール)
14	minor ADEX	0	1	0	1998※	海空	不明
15	Suman Warrior	0	3	8	1996※	陸	豪、NZ、マレーシア
16	Stardex	0	1	2	1999※	海空	シンガポール・マレーシア・南シナ海
17	Bersama Padu	0	0	1	2004※	海空	マレー半島周辺・南シナ海
18	Bersama Shield	0	0	5	2004※	海空	南シナ海
19	Suman Protector	0	0	1	2007※	陸海空	バターワース(マレーシア)

9 30 26

注) 開始年※は、対象期間内で確認された最も古い開催実績を記載。

② 評価

FPDA の共同軍事演習は、安全保障環境の変化を受け、軍種、規模、目的を変化させてきた。冷戦期の 1980 年代には演習開始当初から重視してきた空軍演習に加え、ベトナムのカンボジア侵攻、ソ連のアフガニスタン侵攻への対応として陸軍、海軍演習も定期的に行われた³¹³。1990 年代前後から、マレーシア・シンガポール関係の発展と戦略環境の変化を背景に、FPDA の活動は活発化した。冷戦終結以降、東南アジア諸国は、中国の台頭による経済的なチャンスを迎えつつ、中国の台頭には対抗できないと認識した。一方で、中国が自らの意図を強制することに対してヘッジを求めたが、ASEAN での軍事的協力ができないため、シンガポールとマレーシアは FPDA に着目した。FPDA は 5 カ国での会議体の設立など制度面での充実を行う一方で、複数の軍種でより複雑な内容の共同軍事演習を行うようになった。1997 年の統合共同軍事演習 Flying Fish では、艦船 35 隻、航空機 140 機、潜水艦 2 隻規模で、陸海空軍全てと 5 カ国全てから計画スタッフに参加し、FPDA の成熟度は十分に高まったと評価された³¹⁴。9/11 後は、マラッ

³¹³ Ralf Emmers, "The Role of the Five Power Defence Arrangements in the Southeast Asian Security Architecture," in Bhubhinder Singh and See Seng Tan eds., *From 'Boots' to 'Brogues: The Rise of Defence Diplomacy in Southeast Asia*, RSIS Monograph, No. 21(2011), p. 10.

³¹⁴ 本段落の記述は、Tan, op. cit., pp. 292-294.による。

カ海峡での海賊と海上テロの脅威が安全保障課題として認識されるようになったため、FPDA も共同軍事演習の範囲を拡大し³¹⁵、2004 年以降対テロや人道支援、災害救援に焦点をあてた共同軍事演習も実施するようになった。

FPDA は、地域の安全保障に対して様々な点で貢献している。第一は軍事協力によるマレーシア・シンガポール間の信頼醸成、第二は軍事協力の促進であり、共同軍事演習を通じた参加国の能力向上、関係向上に寄与している。第三に中国軍の近代化など地域各国の軍事力が向上する中で、FPDA は地域環境の複雑化と海上戦の近代化に共同軍事演習適応させ、伝統的脅威に対する抑止力の信頼性向上に役立っている。第四は主要な非伝統的脅威への対応であり、第五には FPDA 参加国の裨益である。シンガポールとマレーシアは、マレー半島防衛に豪州、ニュージーランド、英国を関与させ続け、FPDA を通じて近代的なプラットフォーム、装備、軍事ドクトリンなどへのアクセスを可能にしている。東南アジアとシーレーンの安定を戦略的利益とする豪州にとって、FPDA は地域関与戦略において不可欠である。ニュージーランドは、FPDA により地域での足がかりや地域の課題に対する重要な立場を確保している。英国にとっては、防衛外交を発展させ、武器売却を含め国益を守る上で自らの軍事力を見せつける場になっている。第六に、東ティモール支援、災害救援、アフガニスタンでの活動などへの 5 カ国の参加により、FPDA による域外の安全保障活動への波及効果も見られた³¹⁶。

このように、FPDA は共同軍事演習と制度面双方を発展させ、海洋安全保障、対テロ及び災害救援などの分野で地域安全保障上の役割を果たす可能性を持つ軍事協力の枠組みとなった。また、FPDA には米国が参加していないため、米国の戦略目的とのリンクを感じさせることなく、FPDA 独自のツールとして活用することができる。一方で、FPDA は、基本的に 5 カ国が合意した利益を推進する軍事的・政治的手段であり、その範囲内で共同軍事演習も行われるため、東南アジア全体の海洋安全保障やテロ対応に対する効果は一定範囲にとどまっている³¹⁷。

³¹⁵ Emmers, *op. cit.*, p. 11.

³¹⁶ 本段落の記述は、Carlyle A. Thayer, “The Five Power Defence Arrangements Exercises and Their Contribution to Regional Security, 2004-2010,” Paper for Conference on the Five Power Arrangements at Forty, co-sponsored by the Institute of Southeast Asian Studies and the S. Rajaratnam School of International Studies Traders Hotel, Singapore, March 2, 2011, pp. 10-13.による。

³¹⁷ 本段落の記述は、Tan, *op. cit.*, p.285, pp. 298-299.による。

第3章 東アジアにおける共同軍事演習の変容

本章では、東アジアにおける共同軍事演習に関し、全体像を概観した後、ターニングポイントとその原動力・カタリスト、共同軍事演習における国家間関係のダイナミクスについて分析する。

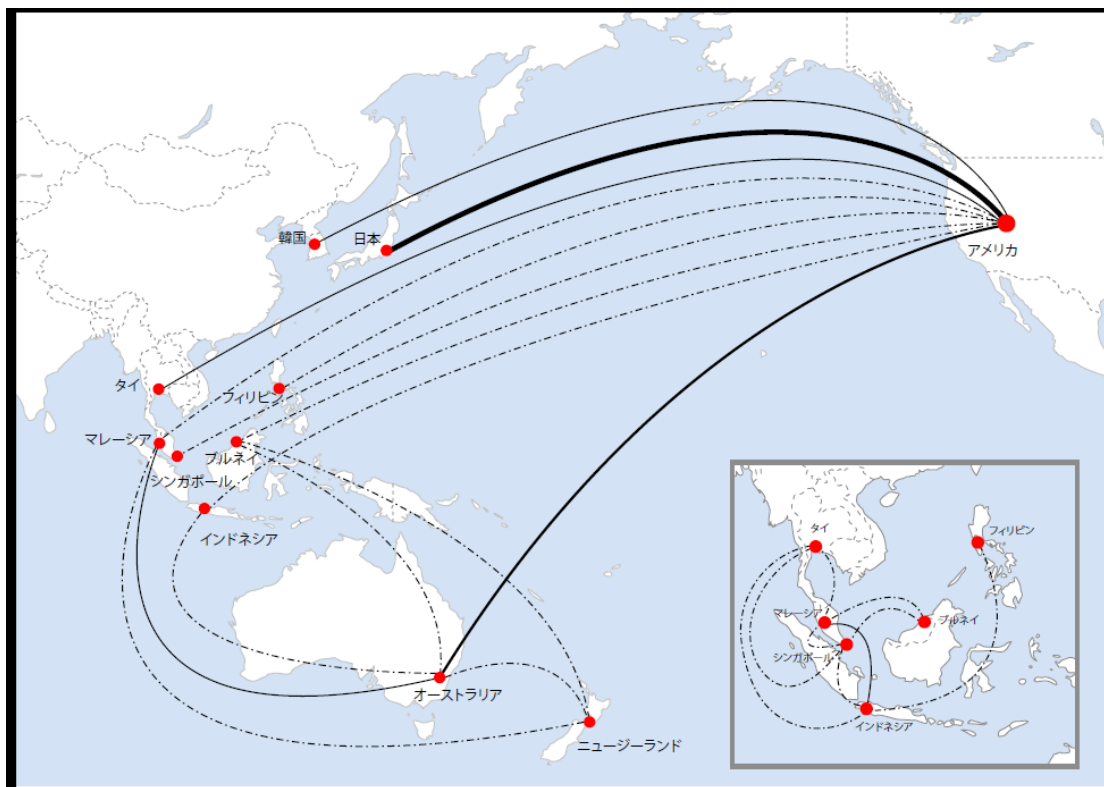
1 概観

東アジアにおける共同軍事演習実施状況について、各年代を概観する。

(1) 米国を中心に西側陣営で共同軍事演習を実施—1980年代

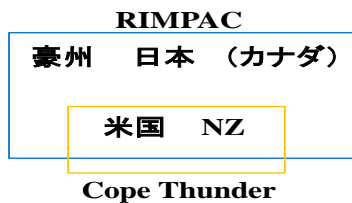
1980年代は東西冷戦期であり、東アジアでは米中ソが均衡していた。2国間演習については、西側陣営で米国を中心に共同軍事演習を実施していた。米国と同盟国など（日本、豪州、韓国、東南アジア）の間、豪東南アジア間、東南アジア内で共同軍事演習が行われた。多国間演習についても、米国と同盟国の間で実施された。

図3-1 2国間演習実施状況（1980年代）



注) 各種公刊資料に基づき、横山早春（GRIPS グローバル COE プログラム）が作成。

図 3 - 2 多国間演習実施状況（1982 年の例）

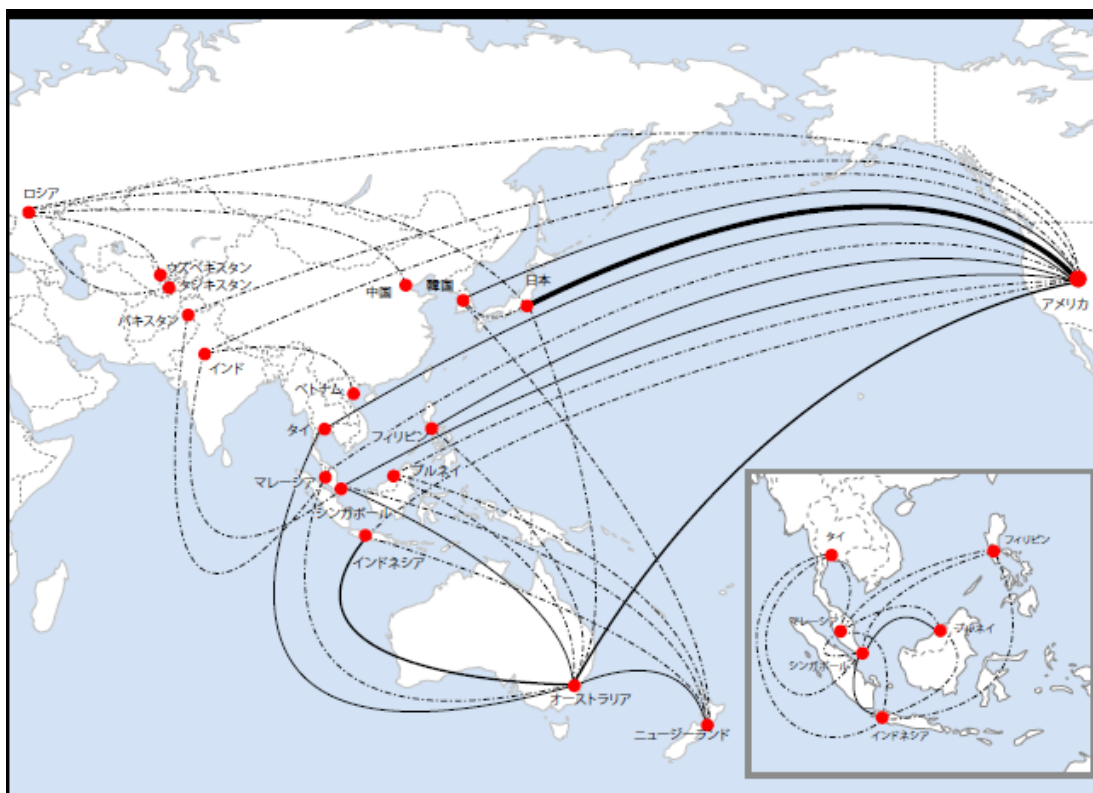


（2）米豪中心に同盟・友好国間での共同軍事演習が増加—1990 年代

冷戦終結後の 1990 年代は、米国が唯一の超大国となる一方で、米の同盟・友好国にも安全保障上の責任分担が求められ、また、多国間協調の摸索が始まった時期であった。

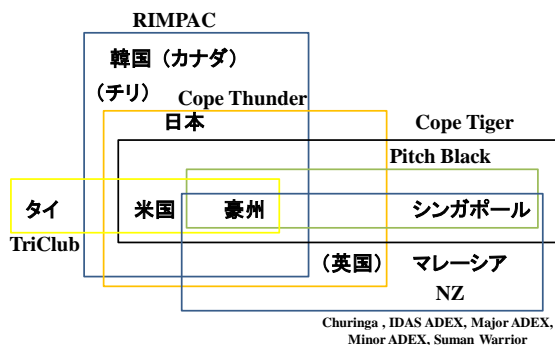
2 国間演習については、1980 年代に引き続き、米国と同盟国（日本、豪州、韓国）などの間、豪東南アジア間、東南アジア内を中心に行われ、特に、米豪間、豪東南アジア間で増加した。多国間演習については、米豪中心に実施された。

図 3 - 3 2 国間演習実施状況（1990 年代）



注）各種公刊資料に基づき、横山早春（GRIPS グローバル COE プログラム）が作成。

図 3 - 4 多国間演習実施状況（1998 年の例）



(3) 米国中心の共同軍事演習の増加とネットワーク化—2000 年代

2000 年代になると、米国における同時多発テロ (9/11) などの非伝統的脅威の増加、中国、インドなど新興国の台頭が目立つようになった。また、共同軍事演習を含めた安全保障協力が増加した時期でもある。

2 国間演習については、米国と同盟・友好国間で増加し、特に米印間、米豪間で増加した。また、インド、中国を中心としたリンクが現れた。多国間演習については、米国、豪州、シンガポールを中心に多数実施された。

図 3 - 5 2 国間演習実施状況（2000 年代）



注) 各種公刊資料に基づき、横山早春 (GRIPS グローバル COE プログラム) が作成。

表 3 - 1 多国間演習実施状況（2008 年の例）

	Bell buoy	Cope Thunder	Cope Thunder	Cope Tiger	Kakadu	Maru	Milan	Pitch Black	RIMPAC	SEA CAT	Shanti Doot	Tempest Express 14	Tempest Express 15	Tendon Valiant	ARF 災害 救援 演習
豪州		○			●	○	○	●	○					○	●
バングラ デシュ							○				○				
ブルネイ							○			○	○				
カンボジ ア											○	●		○	
インド							○				○				
インドネシ ア							○			○	○		●	○	●
日本			○		○	○			○						
ラオス															
マレーシ ア					○		○	○		○				○	
モンゴル											○				
NZ					○	●	○								
パキスタ ン					○										
フィリピン										○				○	
シンガポ ール				○	○	○	○	○	○	○				○	
韓国									○		○				
スリランカ							○				○				
タイ				●	○		○	○		○				○	
米国	●	●	●	○		○		○	○	○	○		○	○	
ベトナム							○							○	

注 1) 共同軍事演習参加国に関する資料が最も豊富な 2008 年について例示した。

注 2) ●は主催国

注 3) Tempest Express については、主催国と米国のみ○を記載している。

2 ターニングポイント

2 国間、多国間共同軍事演習について、実施回数が大きく増加する時期（ターニング・ポイント）に着目し、リンク及び内容を分析すると、大きな変化が見られることがわかる。以下、各ターニングポイント（①1997年、②2002年、③2006～2007年）における共同軍事演習の変化と、変化の原動力・カタリストについて分析する。

図3-6 2国間演習実施数の推移

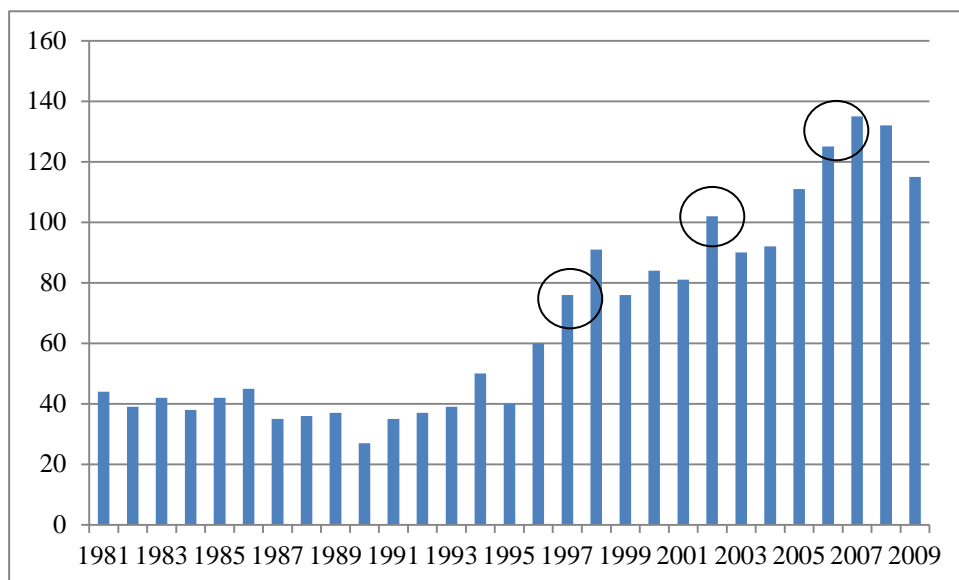


図3-7 想定する軍事作戦の推移（2国間演習）

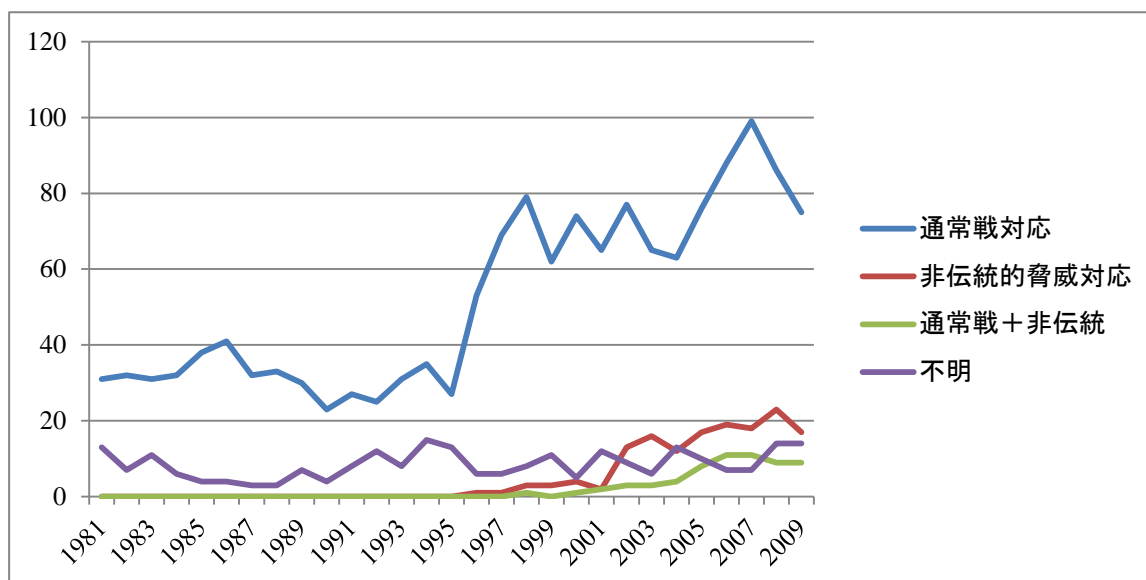


図3-8 多国間演習実施数の推移

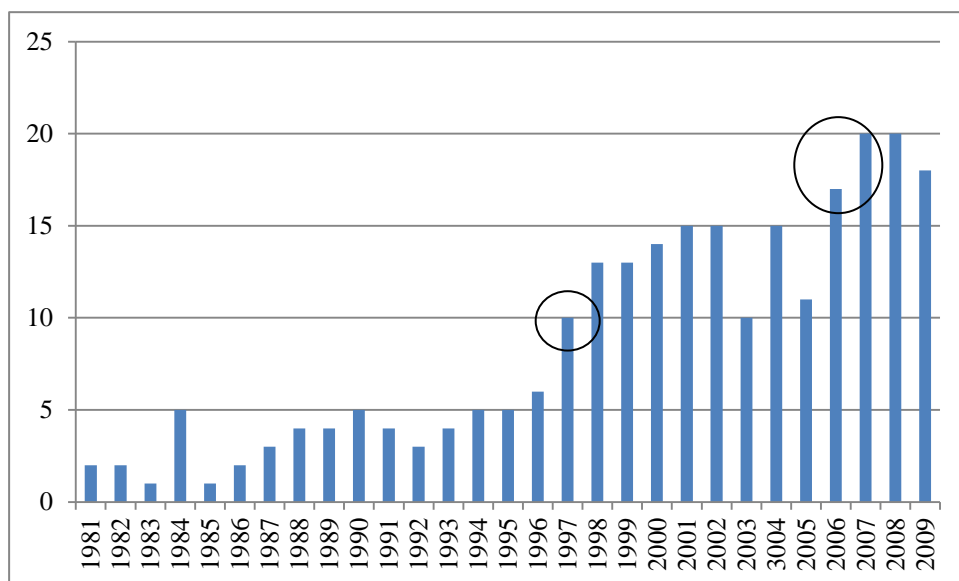
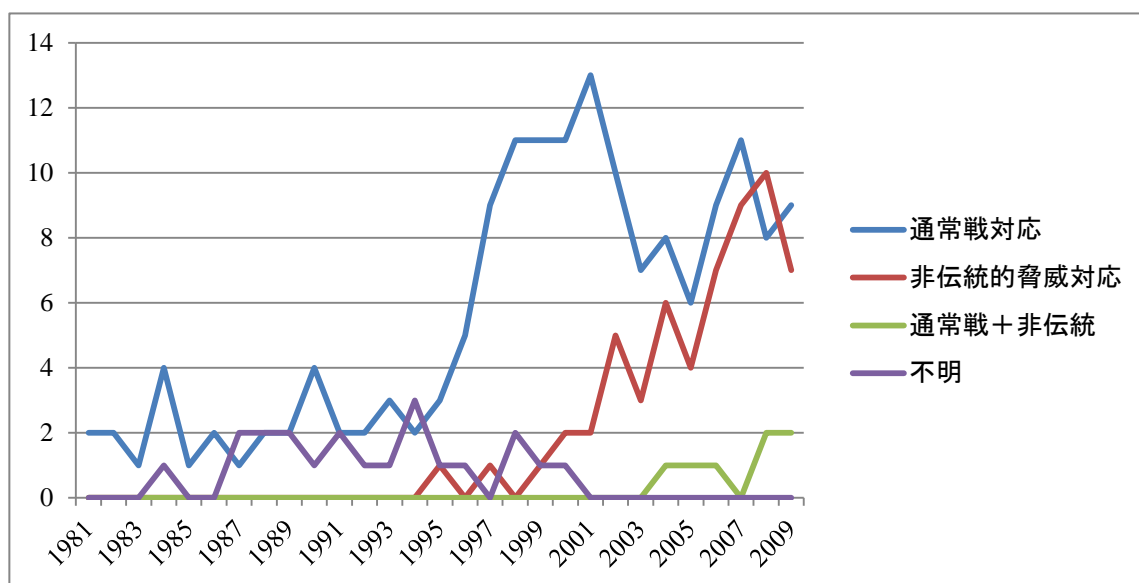


図3-9 想定する軍事作戦の推移（多国間演習）



(1) 1997年

① 2国間演習における変化

この時期の特徴は、米豪を中心とした既存の同盟・友好国間での通常戦対応の共同軍事演習の増加である。国別にみると米国、豪州の増加が大きい（米国の実施総数 37回（1996年）→46回（1997年））、豪の実施総数 12回（1996年）→30回（1997年））。大幅に増加しているリンクは、米豪、米パキスタン、豪ニュージーランド、豪タイである。想定する軍事作戦別にみると通常戦対応の大幅増がみられる。

② 多国間演習における変化

この時期の特徴は、米国を中心とした同盟・友好国間での多国間演習の増加である。増加要因は、Pacific Airlift Rally（米国主催の空軍（空輸）演習）の開始のほか、米国中心の既存の多国間演習の継続・定期化であり、通常戦対応が増加している。

③ 変化の原動力

上記の変化の原動力は、安全保障環境に対する 1994 年以降の各国の認識と政策の変化である。とりわけ、米国の政策変化が重要な原動力となった。まず、米国の冷戦後の安全保障環境についての認識が変化した。1994 年の『国家安全保障戦略』では、冷戦後の新たな時代の不確実性と脅威について①ソ連の将来の不確実性、②抑圧的な体制の中国、③大量破壊兵器の拡散、④東・南アフリカでの過激派の暴力や地域・民族紛争に言及している。さらに、テロ、麻薬密売、環境劣化、人口の急速な増加などの国境を超えた現象についても安全保障上のリスクとして指摘している³¹⁸。こうした認識に基づき、「関与と拡大」戦略を提案し、強い防衛力の維持と協調的安全保障措置、経済成長を通じた外国市場の拡大及び海外での民主主義の促進により「米国、同盟国及び米国の国益に対する脅威を抑止し封じ込める一方で、市場民主主義の共同体を拡大」することを目的とした³¹⁹。同盟国との協力を重視し、安全保障面での具体的な協力の例として、共同軍事演習の実施を筆頭に挙げた³²⁰。湾岸戦争において各国部隊間の調整を行い一つの戦闘部隊に統合することが非常に困難であったこと³²¹、将来米軍が関与するほぼ全ての作戦が同盟又は合同作戦になり、同盟・友好国軍との統合やインターオペラビリティ改善の最も有効な方法を探る必要があることを踏まえ³²²、共同軍事演習を重視したと考えられる。また、米軍の平時の海外駐留について、常駐、配備、共同軍事演習、寄港、訪問、軍間交流といった形態で維持すると表明した³²³。フィリピンのクラーク、スービック基地撤退後、米軍が他の東南アジア諸国への事前集積と共同軍事演習により戦略的アクセスを確保した「非駐留地域 (places not bases)」戦略³²⁴に見られるように、共同軍事演習が海外プレゼンスの一形態としての役割も果たすようになった。

1995年の『国家安全保障戦略』でも、問題、緊張及び紛争を危機に発展させないための予防外交の重要性が強調され³²⁵、1997年の『4年ごとの国防見直し』では、米国の国防戦略として、米国にとって好ましい戦略環境を形成 (shape)し、危機のあらゆる局面に対応

³¹⁸ The White House, *A National Security Strategy of Engagement and Enlargement*, July 1994.

³¹⁹ Kei Koga, "Regionalizing the Japan-US Alliance: Toward the Construction of a Peaceful Transition System in East Asia," *Issues and Insights*, Vol.10, No. 8. (March 2010), p. 43.

³²⁰ The White House, *A National Security Strategy of Engagement and Enlargement*, July 1994.

³²¹ Final Report to Congress, *Conduct of the Persian Gulf War*, Pursuant to Title V of the Persian Gulf Conflict Supplemental Authorization and Personnel Benefits Act of 1991 (Public Law 102-25), April 1992.

³²² Chairman of the Joint Chiefs of Staff, *Joint Vision 2010*, p. 9.

³²³ The White House, *A National Security Strategy of Engagement and Enlargement*, July 1994.

³²⁴ Jae-Jeok Park, "A Comparative Case Study of the U.S.-Philippines Alliance in the 1990s and the U.S.-South Korea Alliance between 1998 and 2008," *Asian Survey*, Vol. 51, No. 2 (March/April 2011), p. 277.

³²⁵ The White House, *A National Security Strategy of Engagement and Enlargement*, February 1995.

(respond) し、不確実な将来に向けて準備 (prepare) することが表明された³²⁶。同年の『国家軍事戦略』では、米軍は抑止と平時の軍事的関与を通じて、国際環境の形成を助けると記述されている³²⁷。これらを受け、各地域統合軍の司令官が、安全保障環境、関与目標及び共同軍事演習を含めた具体的な活動を記述した地域安全保障協力計画 (Theater Security Cooperation Plan) を作成することとなった³²⁸。このようにして、共同軍事演習の実施に関し、地域統合軍レベルで体系的なアプローチが行われるようになった³²⁹。

東アジアについては、1995年の『東アジア太平洋に対する米国安全保障戦略報告』において、不確実性と緊張が存在し、軍事大国が集中する地域であり続けているとの認識が示され、潜在的脅威の抑止、地域紛争への対応、地域の平和の確保、大量破壊兵器拡散の監視、シーレーン防衛についての同盟国・友好国との協力の必要に言及した³³⁰。さらに、1998年の『東アジア太平洋に対する米国安全保障戦略報告』では、共同軍事演習について以下のように述べている。

共同軍事演習は、地域安全保障への米国の関与の証明であり、各国軍とのインターオペラビリティや即応性を高め、共同作戦能力を提示し、同盟国・友好国との責任分担や地域統合を促進し、また、我々の能力と意思を示し、危機にそなえた訓練状況を付与し、地理の習熟や他国の理解を促すものである (Department of Defense, Office of International Security Affairs, *United States Security Strategy for the East Asia-Pacific Region*, November 1998.)

このように、米国の安全保障戦略の一手段としての共同軍事演習の重要性と位置づけが明確となり、具体的な共同軍事演習計画が作成されたことから、米国を中心とした既存の同盟・友好国間での2国間・多国間共同軍事演習が増加したとみてよい。通常戦対応の共同軍事演習が大きく増加しているが、この背景には、1994年の『国家安全保障戦略』や1997年の『4年ごとの国防見直し』³³¹などからもわかるように、テロに対する認識はなされていたが、米国内でテロが生じた場合の被害の最小限化や社会不安の鎮静化という被害管理に係わる対策を中心に対策が進められており³³²、コアリションによるテロリスト掃討を念頭においた他国との共同軍事演習の必要性までは明確に認識していなかったことが考えられる。また、災害救援などについても、国際協力の必要性は

³²⁶ Department of Defense, *Quadrennial Defense Review Report*, May 1997.

³²⁷ Joint Chief of Staff, *The National Military Strategy*, 1997.

³²⁸ Gregory Hager, "Supporting and Integrating Theater Security Cooperation Plans," U.S. Army War College (May 3, 2004), p. iii.

³²⁹ 筆者による米軍関係者へのインタビュー。2012年5月24日。

³³⁰ Department of Defense, Office of International Security Affairs, *United States Security Strategy for the East Asia-Pacific Region*, February 1995.なお、ARFの登場にもかかわらず、東アジアではハブスポークシステムを地域の安定の基盤とみなすと明言した。

³³¹ テロなどを表す「非対称脅威」という言葉を初めて用いた主要な国防省文書。福田毅『アメリカの国防政策—冷戦後の再編と戦略文化』(昭和堂、2011年)205頁。

³³² 宮坂直史「テロリズム対策—本土防衛を中心に」近藤重克、梅本哲也編『ブッシュ政権の国防政策』(日本国際問題研究所)2002年41頁。

認識されていたが、主に、情報収集や法執行機関との協力などが念頭にあり³³³、共同軍事演習を実施するまでには至らなかったとみられる。すなわち、非伝統的脅威対応については、共同軍事演習が増加する原動力は存在したもののカタリストはなかったため、実際の演習実施数の増加にはつながらなかったと考えられる。

共同軍事演習実施数が大幅に増加している豪州は、1994年時点で東アジアの安全保障環境について、冷戦終結により地域の戦略バランスにおいてロシアの影響力が低下し、米国は地域安全保障に重要な役割を果たし続けるものの、地域の戦略問題は日本、中国、インドを中心にアジア各国が決定するだろうと予測していた。この見通しの下、豪州にとって、特に東南アジアにおける二国間の防衛関係は、豪州の軍事能力の（東南アジアへの）集中と戦略的利益の共有に従って拡大し、一方で多国間協力も信頼や相互理解を深めるフレームワークになりうると認識していた。豪州は、インドネシアとの関係を最重要視した。インドネシア諸島が豪州北部海域と航空機進入路の大部分に及び、自らの東南アジアでの役割を重視し、豪州との関係に建設的なアプローチをとっているためである。豪州は、インドネシアとの関係強化のため両国軍の能力向上にも注意を払い、共同軍事演習を増加させた。マレーシア、シンガポールとの関係でも共同軍事演習を含めた具体的な活動の推進を打ち出している。また、豪州の防衛政策にとって、米国との関係は主要な要素であり、同盟活性化、重要性維持のための努力が強調された³³⁴。

（2）2002年

① 2国間演習における変化

この時期の特徴は、新規リンクを含め非伝統的脅威対応演習の増加及び米印間の共同軍事演習の増加である。国別ではシンガポール（11回（2001年）→20回（2002年））、米国（53回（2001年）→60回（2002年））、インドネシア（2回（2001年）→8回（2002年））が増加している。リンク別にみると、米印、インドネシア・シンガポールが大きく増加した。新規のリンクは米キルギスタン、中キルギスタン、印インドネシアである。2002年には通常戦対応の共同軍事演習数も増加しているが、非伝統的脅威対応の伸びの割合の方が大きく、米印、米比、米タイ、米キルギスタン、中キルギスタンなどの対テロ演習を中心に増加した。なお、9/11前に行われた2国間対テロ演習は、1996年、1997年の豪インドネシア間、1998～2000年の豪タイ間実施のみであった。

② 変化の原動力・カタリスト

上記の変化の原動力は、テロを中心とした非伝統的脅威が安全保障上の脅威として認識されたことであり、カタリストは9/11とみてよい。一方で、9/11がもたらした対テロ共同軍事演習には、東アジア大国間のパワーゲームの側面も見出すことができる。

³³³ Department of Defense, Office of International Security Affairs, *United States Security Strategy for the East Asia-Pacific Region*, November 1998.

³³⁴ 本段落の記述は、Australian Government, Department of Defence, *Defending Australia, Defence White Paper 1994*.による。

i 9/11による各国の脅威認識の変化

1990年代、米国では1993年の『ボトムアップレビュー』以降、脅威設定が戦力規模の現状維持正当化の方便だとの見方も強く、1997年の『4年ごとの国防計画の見直し』で脅威としていたテロについても、米本土以外の問題であるとの認識があった³³⁵。実際には、1993年2月のニューヨーク世界貿易センター爆弾テロ事件、1998年8月のケニア・タンザニア米国大使館爆破事件、2000年10月の米国駆逐艦コール号爆破事件（イエメン・アデン）が起きており、クリントン政権、ブッシュ政権も様々なテロ対策を講じていたが³³⁶、主に米国内でテロが発生した場合の被害管理を中心としており、国際協力の下、テロリスト掃討作戦を行い、対テロ目的の共同軍事演習を行う必要があることを自覚したのは、9/11後であり、9/11がカタリストの役割を果たしたといえる。この点について2001年の『国家安全保障戦略』では以下のように述べている。

『4年ごとの国防計画の見直し』と付属する報告は、2001年9月11日の米国へのテロ攻撃の前に、おおむね完成していた。重要なことは、この攻撃が本見直しから導き出される戦略的な方向性と計画に関する原則が正しかったことを確認させたことである。（その原則とは）特に、本土防衛、奇襲への対処、非対称的脅威への準備、抑止に関する新たな概念を生み出す必要性、能力ベースの戦略の必要性、そして、異なる次元のリスクへの対応の必要性である。一方で、我々がテロとの戦いをを行っている時においても、2001年9月11日の攻撃は、これらの方向へのより迅速な前進を求めることになった（括弧内筆者）
(Department of Defense, Quadrennial Defense Review Report, September 30, 2001.)。

その後2002年の『国家安全保障戦略』で示されているとおり、米国の関心の焦点は国際テロとなり、テロリストと一国では戦えないため、米国の戦略において同盟国は重要な役割を果たすことになった³³⁷。

東アジアでも、各国の事情を踏まえ、非伝統的脅威への対応の重要性についての認識が進んだ。例えば、インド国防省は、自国が長年テロの犠牲となっており、インド軍が国際テロに対応し一定の成果を収めてきたとし、これらの経験が他国への手助けになる可能性を指摘した³³⁸。また、インドネシアは、国内外の脅威は関連しており、切り離すことはできないとして、将来の軍事的利益に対する脅威として、国際テロ、分離主義、過激主義、地域での紛争、国際犯罪、不法移民、海上・航空安全保障に対する脅威、環境破壊を挙げた³³⁹。中国も、ここ数年来テロリズムの活動が著しく増え、世界の平和と発展に対し現実的な脅威を構成しており、9/11は重大な生命と財産の損害をもたらし、国際社会の普遍

³³⁵ 柿原国治「9・11パラダイム・シフト：対テロ戦争の行方と米国の新国防戦略」平和研レポート（2002年6月）10頁。

³³⁶ 詳細は、岡本篤尚「〈9・11〉以前のアメリカにおける対テロ法制の展開—〈9・11〉以後の「安全」と「自由」に関する予備的考察（1）」『神戸学院法学』第35巻第1号（2005年7月）（173）97 - （191）115を参照。

³³⁷ Koga, op. cit., p. 44.

³³⁸ Ministry of Defence, Government of India, *Annual Report 2002-2003*.

³³⁹ Indonesia' Ministry of Defence, *Defending The Country Entering the 21st Century*, March 2003.

的関心を引き起こしたとの認識を示した³⁴⁰。

ii 対テロ共同軍事演習の背景—米印リンクと中国・中央アジアリンク

9/11 をカタリストとした対テロ共同軍事演習の増加の背景には、テロ対応以外の意図も存在した。典型的な例として、米印リンクと中国・中央アジアリンクを取り上げる。1998年のインドの核実験実施、既存の核兵器国以外として初の核兵器保有宣言後、米国はインドに対し経済制裁を実施し、安全保障面での協力も中断した。経済制裁実施後、米印間では制裁の緩和に向けての努力が続けられ、2000年3月にはクリントン大統領がインドを訪問し「印米関係—21世紀へのヴィジョン声明」を共同発表、2001年9月にブッシュ政権により制裁が全面的に撤廃された。安全保障面では、1990年代後半に米国とインドがテロの標的となった経験から2000年1月に米印対テロ共同ワーキンググループが設置された。これは信頼醸成措置と受け止められたが、米国政府は国境を超えた脅威に地域レベルで対応するためインドのような新興国との協力の必要性を認識すると同時に、台頭する中国への対抗勢力を見つける必要性にもかられ、米印関係の緊密化は「グローバルなバランス・オブ・パワーを真に保証する唯一の機会」だと考えるようになった³⁴¹。

9/11 後、インドは米国のテロとの戦いに様々な協力を行い、2001年11月初旬、ワシントンでの国連総会の機会に行われた米印首脳会談において、防衛協力再開の決断が下された。その後、11月末のブレア太平洋軍司令官訪印を経て再開された防衛政策部会において、防衛協力の意義が確認され、共同軍事演習に関して、具体的に5つの分野（人道的航空輸送、特殊部隊作戦演習、小規模部隊の空地演習、海軍の人的交流・慣熟演習、海兵隊とインド側同組織との演習）が示された³⁴²。このように、中国を迫りくる大国とみていた初期のブッシュ政権がアジアで中国に対抗するパートナーとしてインドを位置づけ³⁴³、対テロ協力を中心にインドとの関係緊密化を図る最中9/11が発生し、共同軍事演習の増加に弾みをつけたといえる。

一方、中国、ロシア、中央アジアの間では、1990年代末までに、国際テロがユーラシア諸国の安全を脅かす主体として認識されるようになっていたが、上海ファイブ（中国、ロシア、カザフスタン、キルギスタン、タジキスタン）において脅威としてのテロリズムが明文化されたのは、1998年7月の第3回首脳会合が最初であった。その後、2001年6月のSCO首脳会合³⁴⁴で調印された「テロリズム、分離主義、過激主義との闘争に関する上海条約」で、SCOのテロ対処の仕組みが初めて具体化されたが、首脳会合から約3カ月後に9/11が発生したことで、テロ対処の重要性をより一層前面に押し出す際、SCOは国際社会との協調という文脈を利用できるようになった³⁴⁵。

³⁴⁰ 北京週報『2002年の中国の国防』

³⁴¹ 本段落の記述は、D'Souza, *op. cit.*, p. 1068.による。

³⁴² 伊豆山「インドをめぐる米国の動き」43-44頁。

³⁴³ Ashok Sharma, “Indo-US Strategic Convergence: An Overview of Defense and Military Cooperation,” CLAWS Papers No. 2, 2008, p. 16.

³⁴⁴ 2001年6月にウズベキスタンが正式参加、SCOの名称となった。

³⁴⁵ 本段落の記述は、湯浅剛「上海協力機構（SCO）—地域安全保障に向けた可能性と限界—」広瀬佳一、宮坂直史編『対テロ国際協力の構図』（ミネルヴァ書房、2010年）136-138頁によ

中国は 2002 年以降対テロ共同軍事演習を行うようになった。中国によると「東トルキスタン」のテロ勢力を念頭に様々な対テロ活動で各国と協力し、その一環として 2002 年にキルギスと対テロ共同軍事演習を行ったとのことである³⁴⁶。さらに、翌 2003 年にはカザフスタンと対テロ演習を実施した。9/11 後、キルギスタンとウズベキスタンに米軍が駐留し、カザフスタンは米国の重要な同盟国となっていたが、これらの対テロ演習は中央アジアにおける米国を含まない安全保障協力へ向けた一歩となり、また、米国により目立たなくなっていた中国の中央アジアにおける注目度を高める一歩ともなった³⁴⁷。

(3) 2006 年～2007 年

① 2 国間演習における変化

この時期の特徴は、米国、豪州、インドを含むリンクでの増加、災害救援等非伝統的脅威対応演習の増加である。国別にみると、豪州（24 回（2005 年）→40 回（2006 年）、インド 10 回（2006 年）→19 回（2007 年））の増加が大きい。リンク別では、米日、米シンガポール、豪ニューージーランド、豪マレーシアで増加し、新規のリンクは、パキスタン・ブルネイ、米中、露キルギスタン、中タジキスタン、印ニューージーランドである。通常戦対応の演習が増加する一方、災害救援等を中心に非伝統的脅威対応の演習も増加傾向にある。

② 多国間演習における変化

この時期の特徴は、非伝統的脅威対応の増加である。米国主導の SEACAT（対テロ）PSI（大量破壊兵器拡散対応）が毎年実施されたほか、パキスタン主催の Aman（対テロ、海洋安全）が開始された。また、Tempest Express（災害救援）、Pacific Reach（潜水艦救難）などに加え、Tendon Valian（医療活動）などが開始された。

③ 変化の原動力・カタリスト

上記の変化については、非伝統的脅威対応への軍事協力の必要性が原動力となり、中でも、災害救援分野の演習増加については 2004 年のインドネシア津波時の OUA がカタリストの役割を果たしたと考えられる。また、共同軍事演習増加の背景として中国の台頭が指摘されることもあるが、明確に対中牽制を意図したと考えられる共同軍事演習は一定数にとどまっている。

i 非伝統的脅威対応への協力の広がりとはインドネシア津波

9/11 以降も国際テロ組織の活動が継続していること、テロリスト等による大量破壊兵器の取得・使用の試みが明らかになったことなどから、これらの非伝統的脅威対応に関する国際協力の必要性について各国で認識が一層進んだ。米国は、テロとの長い戦いや大量破

る。

³⁴⁶ 北京週報『2002 年の中国の国防』

³⁴⁷ Hasan H. Karrar, *The New Silk Road Diplomacy: China's Central Asian Foreign Policy since the Cold War*, (UBC Press, 2009), p. 151.

壊兵器拡散、その他の非伝統的脅威に対する対応への努力におけるパートナー国との緊密な協力により、これらの同盟関係の必要性やその能力の継続的な向上が確保されるとの認識を示している³⁴⁸。豪州も、テロ、大量破壊兵器拡散、破綻国家などの深刻な脅威が存在する国際環境に対し、自国の防衛力の構築だけでなく、地域・世界との安全保障関係の強化という政策を示している³⁴⁹。インドも、グローバルな課題として、テロ、大量破壊兵器の拡散、麻薬密売、武器移転、人身売買、非国家主体による暴力などを挙げ、これらの危険を取り除くために各国の協力が必要との認識を示している³⁵⁰。中国も、非伝統的脅威への脅威に共同で対処することを主張し、人民解放軍は対テロ、海上捜査・救助、海賊対処、麻薬製造密売対処などの非伝統的安全分野の協力を積極的に参加してきたとしている³⁵¹。

また、対テロなど非伝統的脅威対応の活動ではコアリションの形態がとられ、東アジアの国も参加するようになった。例えば、アフガニスタン政府を支援する国際治安部隊 (ISAF) は NATO 諸国を中心に構成されているが、東アジアからも豪州、マレーシア、モンゴル、ニュージーランド、韓国、シンガポールの参加実績がある³⁵²。2003 年からのイラクの復興支援には、米国、豪州、日本、モンゴル、ニュージーランド、フィリピン、韓国、タイが³⁵³、2008 年以降のソマリア沖・アデン湾での海賊対処には、豪州、中国、インド、日本、マレーシア、ロシア、シンガポール、韓国、米国が参加した³⁵⁴。また、東アジア地域での活動では、1999 年の INTERFET に、豪州、マレーシア、ニュージーランド、フィリピン、シンガポール、韓国、タイ、米国が³⁵⁵、2004 年のインドネシア津波時の OUA には、米国、豪州、バングラデシュ、ブルネイ、インド、インドネシア、日本、マレーシア、パキスタン、シンガポール、韓国、スリランカが加わった³⁵⁶。このような非伝統的脅威に対するコアリションでの活動を通じて、各国が多国間インターオペラビリティの必要性を認識するようになったことが、通常戦対応、非伝統的脅威対応の共同軍事演習の増加にもつながったと考えられる。

対テロ目的の共同軍事演習の実施状況については、2001 年のメガワティ政権の成立以降の民主化推進の期待や対テロ分野における軍事協力の再開への気運などを踏まえ、2005 年、米国が、1992 年以降中断していたインドネシアに対する国際軍事教育訓練を再開する意向

³⁴⁸ Department of Defense, *Quadrennial Defense Review Report*, February 6, 2006.

³⁴⁹ Australian Government, Department of Defence, *Australia's National Security: Defence Update 2005*.

³⁵⁰ Ministry of Defence, Government of India, *Annual Report 2005-2006*.

³⁵¹ *China's National Defense in 2004*.

<http://www.fas.org/nuke/guide/china/doctrine/natdef2004.html#10> (2012 年 3 月 23 日アクセス)

³⁵² "Troop Numbers and Contributions," *ISAF-International Security Assistance Force*,

<http://www.isaf.nato.int/troop-numbers-and-contributions/index.php> (2013 年 3 月 6 日アクセス)

³⁵³ 防衛庁編『防衛白書』平成 16 年版。

³⁵⁴ 防衛省編『防衛白書』平成 22 年版。

³⁵⁵ Australian Government, Department of Defence, "INTERFET,"

<http://pandora.nla.gov.au/nph-wb/20001106130000/http://easttimor.defence.gov.au/index.html> (2013 年 3 月 6 日アクセス)

³⁵⁶ Paul E. Lefebvre, "Operation Unified Assistance,"

<http://www.ndu.edu/inss/symposia/Pacific2005/lefebvre.pdf> (2013 年 3 月 6 日アクセス)

を表明し、テロや海賊を想定した共同軍事演習を実施した。³⁵⁷ また、米国とフィリピンも対テロ共同軍事演習を実施したほか、米国とシンガポールは「防衛及び安全保障分野でのより緊密な協力パートナーシップのための戦略的枠組み協定」を締結し、対テロ、大量破壊兵器の拡散防止、共同軍事演習などの分野における協力の一層の強化に合意するなど³⁵⁸、米国と東南アジア諸国の関係が強化されている。一方で、中国とロシア、中央アジア、インド、タイなどとの間でも対テロ演習が継続している。

また、災害救援や平和活動に関する共同軍事演習の増加については、自然災害が多い東アジアでの災害救援のニーズの存在に加え、前述のとおり、INTERFETなどコアリションでの活動においてインターオペラビリティ向上の必要性が認識されたことが原動力だと考えられる³⁵⁹。これらの認識に基づいた共同軍事演習が行われる中で発生したのが、2004年12月のインドネシア津波であった。米国を中心としたOAUの迅速な実施は、以前からの共同軍事演習の成果の証明であるとともに、2000年代後半の非伝統的脅威対応の共同軍事演習増加のカタリストになったともいえよう。

OAUでは、多国間演習 Tempest Express を含めた MPAT プログラムの成果が確認された。OAU に参加した 21 カ国のうち 16 カ国が MPAT 参加国であり、MPAT で取り組んだ多国間 SOPs を基礎として³⁶⁰米日豪印が中心となったコアリションで救援活動を行った。また、米海軍にとっては、国際協力の重要性を認識し、海軍戦略において多国間協力を強調する大きなきっかけとなった³⁶¹。さらに、OAU 参加国も、災害救援における多国間協力と共同作戦成功の鍵となる共同軍事演習の重要性を改めて認識することとなった。インドは、米軍等と協力して津波の際の救援を迅速に実施した際、他国との共同軍事演習が新しい意味をもったとの認識を示している³⁶²。また、豪州も、豪軍が現地政府や他国軍と協力して救援を迅速かつ効果的に行ったことは、豪州と近隣諸国とのパートナーシップの価値を明確に示したと評価している³⁶³。

さらに、災害救援目的の共同軍事演習には、特に米国が重要性を見出している。米国防省は、災害救援・人道支援活動を「安全保障上の目的を達成するための最も重要な手段³⁶⁴」とみなし、安全保障上の目的には、受入国での国防省の認知度・アクセス・影響・インターオペラビリティの向上と同盟構築、受入国・地域の安全保障と安定の構築や強化、地域

³⁵⁷ 防衛庁編『防衛白書』平成 17 年版。

³⁵⁸ 防衛省編『防衛白書』平成 19 年版。

³⁵⁹ 米国は、1990 年代後半には災害救援・人道支援での国際協力の必要性を認識しており、軍はこの分野で最高的手段ではないかもしれないが、軍の能力の活用が必要かつ適切な場合もあるとし、米軍の支援実績として阪神・淡路大震災、インドネシアの山火事、中国の地震を挙げている。Department of Defense, Office of International Security Affairs, *United States Security Strategy for the East Asia-Pacific Region* (November 1998).

³⁶⁰ Muller, op. cit., p. 14.

³⁶¹ James Kraska and Brian Wilson, "The Global Maritime Partnership and Somali Piracy," *Defense & Security Analysis*, Vol. 25, No. 3 (September 2009), p. 226.

³⁶² Ministry of Defence, Government of India, *Annual Report 2005-2006*.

³⁶³ Australian Government, Department of Defence, *Australia's National Security: Defence Update 2005*.

³⁶⁴ Nina M. Serafino, "The Department of Defense Role in Foreign Assistance: Background, Major Issues, and Options for Congress," *CRS Report for Congress* (December 9, 2008), p. 8.

の安全保障環境を形成する能力を高めるための広報活動・親善関係の構築、受入国の災害対応能力の向上、米軍の作戦即応能力の促進が含まれるとしている³⁶⁵。さらに、軍の支援活動がもたらす利益として「人道問題を重視するアクター」という対外的な米国のイメージを促進し、外国政府、軍、国民との良好な関係を深めることなどを挙げている³⁶⁶。

OUA 後、2006 年の『4 年ごとの国防計画の見直し』でも、米軍は世界で人道支援・災害救援活動を実施しており、危機の悪化防止と被害の緩和は米国の価値観と国益にかなうものであって、米国の親善と思いやりを示すものであるとし、米軍が国際的な災害救援の先頭に立った例として OUA を紹介している³⁶⁷。さらに、米海軍、海兵隊、沿岸警備隊は、『新海洋戦略』（New Maritime Strategy for the 21st Century Superpower）において、主要能力のひとつとして人道支援・災害救援を新たに規定した³⁶⁸。また、以前から米太平洋軍は災害救援・人道支援に取り組んでいたが、統合救援作戦の教訓を踏まえ、多国間での災害救援・人道支援のシナリオに基づいた訓練・演習プログラムの向上などの検討を行うようになった³⁶⁹。

また、災害救援目的を掲げることで、東アジア各国が国際協力を進めやすくなる点も米国にとっての利点であるといえる。多くのイスラム人口を抱え、国内の分離運動への刺激を懸念する国が東南アジアには存在するため、多国間対テロ協力には米国が期待したほどの協力を得られなかった。逆に、災害救援・人道支援分野の多国間協力は、その特性により、政治的にも望ましいものと受け止められ、共同軍事演習も機会が生じればいつでも追求すべきものとして認識されている。テロとの戦いにおいて多国間協力の重要性が謳われていることを念頭に置くと、OUA で生まれた国際親善の価値は十分に強調されてよい³⁷⁰。以上は多国間協力に関する見解だが、米国は東アジアにおいて各国の協力を得るために、災害救援・人道支援分野の 2 国間・多国間共同軍事演習を有効なツールとしているといえよう。

ii 共同軍事演習増加の背景—明確な対中牽制目的の演習は限定的

この時期の共同軍事演習増加については、中国の台頭を背景としているとの指摘もある。特に、災害救援・人道支援に関する米国の優位性等を踏まえ、米国がこれらの共同軍事演習を対中牽制にも用いているとの見方がある。OUA では、米国が空母打撃群と遠征打撃群を派遣したのに対し、中国の対応は控えめなものだった。米太平洋軍司令官のファーゴ海軍大將は、中国は多国間のコアリションで効果的に仕事をするやり方がわからず、（多国間協力についての）体制も訓練もない状態であったと述べ、クリントン政権で国家安全保障会議のメンバーであったジェフリー・バーダー（アジア専門家）も、特に中国にはでき

³⁶⁵ Ibid., pp. 8-9.

³⁶⁶ Ibid., p. 18.

³⁶⁷ Department of Defense, *Quadrennial Defense Review Report*, February 6, 2006

³⁶⁸ U.S. Marine Corps, U.S. Navy & U.S. Coast Guard, *Cooperative Strategy for 21st Century Seapower*, October 2007.

³⁶⁹ Adrian W. Jope, “HA/DR: Is USPACOM “Really on Arrival”?”, Navy War College(May 2009), pp. 9-10.

³⁷⁰ Stewart Holbrook, “Bilateral vs. Multilateral Approach in Southeast Asia,” Naval War College (May 17, 2005), p. 11, 17.

ないが、米国にはできることがあるという点を地域各国が思い出す機会となったと分析している³⁷¹。災害救援・人道支援目的の共同軍事演習には各国が参加しやすく、また、脅威を特定することなく他軍との共同行動能力の増大にも寄与することができるため、米国を中心としたこれらの共同軍事演習の意味合いが、脅威に対する抑止や対抗といった側面をより強めているとの指摘である³⁷²。

一方、中国を含むリンクでの対テロ中心の共同軍事演習が継続・拡大についても、米国の対中包囲網形成の阻止及び弱体化を意図したとみる向きがある。中国は、2005年以降、タイとの間で捜索救難演習及び対テロ演習、シンガポールとの間で対テロ演習を行った。これらの共同軍事演習は、米国と友好国との共同軍事演習と比較すると非常に限定的であり、また、仮想敵国を想定した演習ではない³⁷³。中国は、東南アジア諸国との信頼を醸成し、中国に対する脅威認識を低減させることで、中国にとって有利な国際環境となるよう図っているとみられ、特に、共同軍事演習を含めた米国と東南アジア諸国との安全保障協力の拡大・深化に対して、中国は、対中封じ込めないし包囲網の強化との認識を持ち、東南アジアにおける米国の影響力増大の阻止を図っているとの分析がある³⁷⁴。

しかしながら、中国の台頭への対処をとりわけ抑止態勢の強化、政治的影響力の確保の文脈で明示することが対中関係の維持のために避けられているとはいえず³⁷⁵、災害救援等の非伝統的脅威対応の共同軍事演習については、その内容、実施時期や、関係者へのインタビューを総合すると、対中牽制を明確な目的としているとは断定できない³⁷⁶。また、2000年代後半に実施された通常戦対応の共同軍事演習についても、対中牽制目的を含んでいると考えられるものは、米国、豪州、日本、シンガポールが参加してベンガル湾で実施された2007年のMalabar 2007-02³⁷⁷、九州・沖縄海域での実施が増加した米日対潜演習³⁷⁸、離島防衛を内容とした米日陸軍演習³⁷⁹など、一定数にとどまっている。

³⁷¹ Bruce A. Elleman, *Naval War College Newport Papers 28 Waves of Hope: The U.S. Navy's Response to the Tsunami in Northern Indonesia*, Newport, Naval War College Press(February 2007), p. 104.

³⁷² 鈴木滋「米軍の海外における災害救援と民生活動—「トモダチ作戦」の外交・軍事戦略的背景—」『レファレンス』第61巻第9号（2011年9月）92頁。

³⁷³ 福田「東南アジアにおける米国と中国の軍事ネットワークの比較」218頁。また、東南アジア各国が中国との共同軍事演習で得た情報を米国と共有するのではないかという懸念から、中国は、慎重を期す必要のない非伝統的脅威対応の共同軍事演習にとどめており、同様に米国も東南アジア諸国に対して、中国との共同軍事演習に米国が供与した装備を配備することを望んでいないとの指摘がある。“Singapore Paper Reviews Cooperation between China, Southeast Asia,” *The Straight Times*, October 12, 2009.

³⁷⁴ 本段落の記述は、同上、218 - 219頁による。

³⁷⁵ 佐橋亮「中国の台頭とアジア太平洋における安全保障アーキテクチャの変容」『海外事情』第60巻1号（2012年1月）82頁。

³⁷⁶ 米海兵隊幹部は、災害救援目的の共同演習の増加が対中牽制であることを否定した。米海兵隊幹部への筆者によるインタビュー、2012年5月23日。

³⁷⁷ 本章3（2）③参照。

³⁷⁸ 第1章2（1）参照。

³⁷⁹ 2008年と2009年、陸上自衛隊西方普通科連隊等と米国第1海兵機動展開部隊が米国カリフォルニア州キャンプ・ペンドルトン等において実施した。

3 共同軍事演習のダイナミクス—変化と継続

それぞれの共同軍事演習には、2 国間又は多国間関係のダイナミクスがある。本節では、共同軍事演習をいくつかとりあげ（1）共同軍事演習開始のダイナミクス、（2）2 国間演習が多国間化するダイナミクス、（3）2 国間演習が長期間継続するダイナミクスの三類型について特徴を分析する。

（1）共同軍事演習開始のダイナミクス

① 米印（1992 年開始）

冷戦終結後の 1990 年 10 月、米国が対パキスタン援助を停止したことによりインドとの関係改善上の最大障壁が除去された。米国はインド経済の将来性と地政学的な位置づけに着目し、インドも米国を最重要の相手国として外交の中心に位置付けたため、経済関係のみならず、1980 年代に装備・技術面で徐々に進展していた安全保障協力も著しく進展した³⁸⁰。

1991 年のキッカイカー提案は、友好国の軍隊との「協力的関与」という米国の政策に沿う形で、初の米印共同軍事演習を可能にした³⁸¹。全体的な政策フレームワークがなかったにもかかわらず、この期間の安全保障協力は進んだ³⁸²。1989 年の米海軍からの共同軍事演習提案からわかるように米側が共同軍事演習に積極的であった一方、インドは他国の軍隊との交流の一環として米国と一連の演習を開始した³⁸³。

その後の 1995 年のペリー米国防長官の訪印は、両国関係にとって新たな基準をもたらした³⁸⁴。冷戦後の課題に対応するため防衛協力の強化・拡大を目的として両国防相が署名した「米印防衛に関する合意議事録³⁸⁵」では、共同軍事演習を軍同士だけではなく両国関係の緊密化にとって重要だと位置づけている。

このように、1992 年に開始した米印共同軍事演習は、冷戦終結後の国際環境を踏まえ、安全保障分野のみならず両国間関係全体の発展のため米国から積極的に提案したものであり、グローバルプレーヤーとして重要性を増すと見込まれるインドに対する米国のアプローチの一環だといえる。

表 3 - 2 1992 年前後の共同軍事演習開始前後の米印関係

1989.9	米太平洋軍司令官ジェレミア海軍大将が共同軍事演習を提案
1991.4	キッカイカー米陸軍中將訪印、米印陸軍ステアリングコミッティの設立を提言（キッカイカー提案）

³⁸⁰ 本段落の記述は、堀本武功「インド域外外交の新段階」古賀正則、内藤雅雄、中村平治編『現代インドの展望』（岩波書店、1998 年）233-235 頁による。

³⁸¹ Malik, op. cit., p. 84.

³⁸² Ravi Tomar, “India-US Relations in a Changing Strategic Environment,” Research Paper, No. 20, 2001-02(Information and Research Services, 2002), p. 7.

³⁸³ Sharma, op. cit., p. 11.

³⁸⁴ Malik, op. cit., p. 84.

³⁸⁵ “Agreed Minutes on Defense Relations Between the United States and India”
<http://mealib.nic.in/far/1995.pdf>（2011 年 7 月 28 日アクセス）

1992.1	陸軍ステアリングコミッティ設立
1992.2	Teak Iroquois 実施(米印陸空軍の空挺要員による初の共同軍事演習)
1992.3	第1回米印海軍ステアリングコミッティにおいて、米側から共同軍事演習提案
1992.5	第1回 Malabar 実施(海軍演習)
1992.8	空軍ステアリングコミッティ設立
1993.10	第2回 Teak Iroquois 実施
1994.9	第1回 Flash Iroquois 実施(特殊部隊間の演習)
1995.1	ペリー米国防長官訪印の際、米印防衛合意(the Agreed Minutes on Defense Relations Between the United States and India)に署名

② 露日(1998年開始)

冷戦終結後、1992年に始まった外務・防衛当局レベルにおける日露政策企画協議を契機に両国間の防衛交流も本格化した³⁸⁶。1996年、臼井防衛庁長官がソ連時代を含め初めてロシアを訪問、1997年にはロジオノフ国防大臣が初来日し、これまでの交流実績及び今後の課題などをまとめた「会談における議事録」が署名された³⁸⁷。1997年11月には、橋本首相とエリツィン大統領との非公式首脳会談で、防衛交流の一環として災害救助の共同訓練を行うことで合意し³⁸⁸、ロシア軍と自衛隊の初めての共同救難演習が7月、ウラジオストク東方海域で行われた。1999年に署名された防衛交流に関する覚書には「艦艇の相互訪問の継続的实施並びにその機会を利用した共同訓練及び親善訓練の実施」について記載されている。

露日共同捜索・救難演習には、捜索救難を通じた海上安全への貢献という目的はもちろん存在するが、冷戦時代のように国防組織間の交流が皆無であった状態そのものが特異であり、基本的に防衛交流を行うことそれ自体に意義があるとの見方も存在した³⁸⁹。日本にとってロシアは、欧州、中央アジア及びアジア太平洋地域の安全保障に大きな影響力を持ち、かつ日本の隣国でもあることから、防衛交流を深め、信頼・協力関係を増進させることはきわめて重要であるとの認識であり³⁹⁰、第1回共同軍事演習について、1999年版『防衛白書』では「より一層の信頼醸成に向けた第一歩」と題して囲み記事で取り扱っている³⁹¹。

ロシア側も、共同軍事演習は両国関係の発展に大きな役割を果たすものであり、目的は日本海の安定維持と災害派遣体制の維持・確立だとしている³⁹²。一方で、1998年当時のロシアは、部隊を立て直し、将兵の士気を高め、国防の効果を上げるという目的のために

³⁸⁶ 伊豆山真理、兵頭慎治、松浦吉秀「2国間交流と安全保障－軍事交流を中心として－」『防衛研究所紀要』第3巻第3号(2001年2月)17頁。

³⁸⁷ 防衛庁編『防衛白書』平成11年版。

³⁸⁸ 『朝雲』1999年6月4日。

³⁸⁹ 伊豆山、兵頭、松浦「2国間交流と安全保障」19頁。

³⁹⁰ 防衛省編『防衛白書』平成23年版。

³⁹¹ 防衛庁編『防衛白書』平成11年版。

³⁹² 『朝雲』1998年7月30日。

これまで接触を持たなかった西側海軍とも積極的に交流を図る³⁹³という側面もあったと考えられる。

③ Tempest Express (テンペスト・エクスプレス) (2000年開始)

1990年代後半のINTERFETなどでの活動を踏まえ、東アジア各国は小規模な緊急事態や戦争以外の軍事作戦への多国間協力向上の必要性を認識していた。1999年、軍事作戦における多国間調整の方策を模索していた米太平洋軍のイニシアチブにより、これらの認識を共有する国が集まってMPATが設立された。2000年5月には、米国、豪州、フィリピン、シンガポール、タイの5カ国が参加した初のワークショップでMPATの概念整理などが行われた。Tempest Expressは、シミュレーション上のタスクフォース本部で各国の幕僚が標準手続規則に慣熟し、危機時の計画策定能力を高めることを目的としており³⁹⁴、2000年11月、米比共催により第1回目のTempest Expressがマニラで行われ、18カ国が参加した³⁹⁵。

このように、MPATプログラムは、米国のイニシアチブにより関心を持つ少数の同盟国・友好国でコンセプトをまとめ、多数の国の参加を得て開始された。同盟国・友好国が米国との共同軍事演習で培った運用・装備のインターオペラビリティを多国間協力における基礎としている³⁹⁶点が特徴的である。

(2) 2国間演習が多国間化するダイナミクス

① Cobra Gold (コブラ・ゴールド)

Cobra Goldは1982年、米タイ間で通常戦対応の2国間演習として開始、毎年実施されてきたが、2000年にシンガポールを加え多国間化した。Cobra Goldでは1990年代からオブザーバーを招待しており、第三国は演習への正式な参加に先立ちオブザーバー参加する必要がある。シンガポールは1993年からオブザーバー参加していたが、Cobra Goldをより現実的なものとし、米国と地域の同盟国にとっての重要性を高めるために、タイ軍最高司令部が2000年にシンガポールを正式な参加国として招待した³⁹⁷

この背景には、米太平洋軍司令官ブレア海軍大将(当時)のイニシアチブとシンガポールの事情がある。ブレア海軍大将は、平和維持活動、人道支援、非伝統的脅威対応など、誰もが利益を受けるような活動に着目し、協調的安全保障のコーディネーターとしての米国の役割を強調しており、この方向性を示すものとして、Cobra Goldの多国間化を選んだ

³⁹³ 『朝雲』1999年8月6日。

³⁹⁴ Ibid. なお、MPATプログラムではTempest Expressの他に多国間SOPsを検討するワークショップが開催されている。

³⁹⁵ “Tempest Express,” *GlobalSecurity.org*, <http://www.globalsecurity.org/military/ops/tempest-express.htm> (2012年1月31日アクセス)

³⁹⁶ 高橋丈雄、川口貴久、米田富太郎「国際安全保障とコアリション：国際法学、軍事学、国際政治学の視点から、(2)その交錯：『中央学院大学社会システム研究所紀要』第9巻第2号(2009年3月)125頁。

³⁹⁷ “Cobra Gold 02,” *GlobalSecurity.org*, <http://www.globalsecurity.org/military/ops/cobra-gold-2002.htm> (2012年2月26日アクセス)

³⁹⁸。2000年の演習実施にあたり、21世紀初のCobra Goldを近代化し、直面する課題を地域で解決するため協同する要素を付加する必要があるとして、平和執行活動、非戦闘員救出作戦に焦点をあてた³⁹⁹。

一方、シンガポールは、地域安全保障が自国の防衛にとって重要であるとの認識からCobra Goldに参加した⁴⁰⁰。シンガポール軍のCobra Goldへの参加人数は少数であったが、米国、タイとともに演習を行う機会を手にしたことにより、政治・外交的利益を得ることになった⁴⁰¹。

表3-3 Cobra Gold 参加国の推移

実施年	参加国		オブザーバー参加国又は招待国
2000	米、タイ	シンガポール	インドネシア、マレーシア、フィリピン
2001	米、タイ	シンガポール	インドネシア、マレーシア、フィリピン、ベトナム、中国
2002	米、タイ	シンガポール	インドネシア、マレーシア、フィリピン、ベトナム
2003	米、タイ	シンガポール	(不明)
2004	米、タイ	シンガポール モンゴル	(不明)
2005	米、タイ	シンガポール 日本	豪、加、仏、独、印、インドネシア、マレーシア、NZ、フィリピン、スリランカ
2006	米、タイ	シンガポール 日本 インドネシア	豪、バングラ、中、仏、ラオス、マレーシア、韓国、UAE、ベトナム
2007	米、タイ	シンガポール 日本 インドネシア	豪、中、仏、独、フィリピン、韓国
2008	米、タイ	シンガポール 日本 インドネシア	豪、バングラ、ブルネイ、仏、伊、マレーシア、モンゴル、フィリピン、英
2009	米、タイ	シンガポール 日本 インドネシア	豪、バングラ、ブルネイ、カンボジア、加、中、独、伊、印、ラオス、モンゴル、ネパール、パキスタン、フィリピン、韓国、英、ベトナム

② Team Challenge (チーム・チャレンジ)

³⁹⁸ Sheldon W. Simon, "Southeast Asia," in Richard J. Ellings and Aaron L. Friedberg eds., *Strategic Asia 2001-02, Power and Purpose*, (The National Bureau of Asian Research, 2001), pp. 290-291. なお、東チモールに国連平和部隊への参加や、カンボジア国境で類似の事態の発生が予想されるタイ軍から(平和執行のような)訓練を要請してきたとの報道もある。石川巖「米タイ演習コブラゴールドの変貌「侵略対処」から「平和執行」へ、地域多国間演習へ・・・米国の思惑」『軍事研究』2000年8月号、192頁。

³⁹⁹ 一方で、米タイ間での統合作戦、海軍作戦、上陸作戦の訓練は引き続き行われた。U. S. Department of Defense, "Cobra Gold 2000 Links U.S., Thai, Singaporean Forces," May 16, 2000. <http://www.defense.gov/news/newsarticle.aspx?id=45208> (2012年2月26日アクセス)

⁴⁰⁰ 陸上自衛隊幹部への筆者によるインタビュー、2012年6月25日。

⁴⁰¹ Sheldon W. Simon, "Theater Security Cooperation in the U.S. Pacific Command: An Assessment and Projection," *NBR Analysis*, Vo. 14, No. 2(August 2003), p. 28, 30.

Team Challenge は、米国が豪州、フィリピン、タイとの間でそれぞれ実施してきた2国間演習を統合し、人道支援活動や国連平和維持活動などに焦点を当てた多国間共同軍事演習とする構想であり⁴⁰²、2001年と2002年に実施されている。

1990年代後半以降、米国はアジア太平洋地域の潜在的な紛争に多国間で対応できるよう共同軍事演習の大規模化・参加を検討してきたが⁴⁰³、1999年11月頃、米国防省からフィリピンに対し「アジア太平洋地域で行われている2国間の軍事演習をつなげる形で多国間演習をできないか」と提案を行った。さらに2000年4月、米国、豪州、フィリピン、タイ（マレーシアがオブザーバー参加）の軍関係者の会合で、米側は「国連平和維持活動としての訓練」として早期実現を働きかけていた⁴⁰⁴。

Team Challenge 2001は、Cobra Gold（米タイ）、Tandem Thrust（米豪）、Balikatan（米比⁴⁰⁵）をリンクさせ、米太平洋軍とタイ、豪、フィリピン、シンガポールが参加し、合同統合任務部隊が編成され、共通のシナリオの下で平和維持と人道支援を焦点としてそれぞれの演習が実施された。Team Challenge 2002では、Cobra GoldとBalikatanをリンクさせ、米、タイ、フィリピン、シンガポールが参加した⁴⁰⁶。

Team Challenge 構想は、1998年の『東アジア太平洋に対する米国安全保障戦略報告』で示された「プレゼンス・プラス」という概念（米軍の前方展開兵力が単に抑止と対処の機能を提供するばかりでなく、地域的な安全保障環境を「形成」する要になっているという認識）に則り、東アジアにおける多様な安全保障問題に積極的に関与していく意思を通して、米国のプレゼンスの基盤を強化することが目的であったとみられる⁴⁰⁷。また、領有権問題や海洋問題を原因とする紛争や自然災害などを含む地球的規模の諸問題により域内が不安定になり、米国主導で対応する場合、米国と同盟・友好国の2国間の安全保障態勢によって対処することは必ずしも効率的でなく、米国としてはそれにかかるコストを節減する必要性を認識していたと考えられる⁴⁰⁸。

ブレア太平洋軍司令官（当時）も、Team Challenge が地域の多国間作戦に向けた主要演習となることを期待していたが⁴⁰⁹、2003年以降 Team Challenge は行われていない。地域における米国の関与の低下を覆うために多国間アプローチが用いられるとの懸念や、米国主導の活動が中国の排除・封じ込めのスキームとなることに対する懸念⁴¹⁰、2国間演習

⁴⁰² 防衛庁編『防衛白書』平成13年版。

⁴⁰³ “Team Challenge,” *GlobalSecurity.org*,

<http://www.globalsecurity.org/military/ops/team-challenge.htm> (2012年2月26日アクセス)

⁴⁰⁴ 本段落の記述は、『朝日新聞』2000年4月6日による。

⁴⁰⁵ 米比両軍による共同記者会見で、米側は「BalikatanにTeam Challengeの活動は含まれない」と述べた。中国との領有権問題を抱え、2国間演習にこだわった比側の意向を考慮したとみられる。

⁴⁰⁶ “Team Challenge,” *op. cit.*

⁴⁰⁷ 神保謙「アジア太平洋地域における多国間安全保障」小島朋之編『21世紀の中国と東亜』（一藝社、2003年）148頁。

⁴⁰⁸ 森本敏「「チーム・チャレンジ01」演習と日本のアジア戦略」『世界週報』2001年5月29日、34-35頁。

⁴⁰⁹ Mark J. Valencia, “The U.S. Position on Co-operative Maritime Security Frameworks,” p. 5.

http://www.iips.org/Valencia_paper.pdf (2013年2月23日アクセス)

⁴¹⁰ *Ibid.*

の方が米国から高レベルの知識や技術を得ることが可能となる⁴¹¹ことなど、米国の同盟・友好国が抱える懸念がその理由であると考えられる。

③ Malabar (マラバール)

Malabar は、前節で述べたとおり、1992年に米印間で開始された海軍演習であるが、2006年、2007年及び2009年に第三国が参加した。最も注目を集めた2007年のMalabar 2007-2への豪州、日本、シンガポールの参加は、6月にシンガポールで開かれた第6回アジア安全保障会議の日米豪国防相会議や日印2カ国間防衛・国防相会議などで合意されたとのことである⁴¹²。この背景には、米国が、対アフガニスタン作戦及びインドネシア津波時のインドの実績を高く評価し、多国間協力を重視する海軍戦略⁴¹³の一環として技術レベルの異なる多角的パートナーとの間の相互運用の向上を目指す中で、米印をアジアでの多国間協力の核にすることを目指しているとの指摘がある⁴¹⁴。

他方、Malabar 2007-2は中国の「真珠の首飾り」戦略への対応や、安倍首相、ブッシュ大統領、ハワード首相といった日米豪の新保守主義的政治家が主導するあからさまな対中国封じ込め戦略に見える安保構想⁴¹⁵の一環としても解釈可能である。中国は、Malabar 2007-2に、外交ルートで各国へ苦情を申し入れ、共同軍事演習はアジア太平洋地域における中国の「封じ込め」であるとの懸念を表明した。米国防省は、演習は特定の国に向けたものではないと表明したが、ある当局者は「我々は共同作戦が実施可能であり、地域の安定確保のため協力するのだというメッセージを他国軍に送った」と述べた⁴¹⁶。また、Malabar 2007-2の直前に訪印した安倍首相は、インド国会で「日本とインドが結びつくことによって、「拡大アジア」は米国や豪州を巻き込み、太平洋全域にまで及ぶ広大なネットワークへと成長するでしょう」と演説した⁴¹⁷。

その後、インドがインド洋地域でのMalabarをすべて厳密に米印2国間の演習とし、多国間の場合は遠隔地での実施としたため、米印日豪4カ国が参加するMalabarは行われていない⁴¹⁸。

⁴¹¹ Bhubhinder Singh and See Seng, “Defence Diplomacy and Southeast Asia,” in Bhubhinder Singh and See Seng Tan eds., *From ‘Boots’ to ‘Brogues: The Rise of Defence Diplomacy in Southeast Asia*, RSIS Monograph, No. 21(2011), p.12.

⁴¹² 加治康男「日米豪でインド「抱き込み」戦略を展開—安倍首相訪印の背景」『メディアサポール』2007年9月3日。http://mediasabor.jp/2007/09/post_203.html (2012年3月1日アクセス)

⁴¹³ U.S. Marine Corps, U.S. Navy & U.S. Coast Guard, *Cooperative Strategy for 21st Century Seapower*, October 2007.

⁴¹⁴ 本段落の記述は、伊豆山「インドをめぐる米国の動き」46-47頁による。

⁴¹⁵ 福嶋輝彦「対米同盟の中国市場の狭間で—中国の台頭に対応するオーストラリア—」『国際安全保障』第39巻第2号(2011年9月)15頁。

⁴¹⁶ Emma Chanlett-Avery and Bruce Vaughn, “Emerging Trends in the Security Architecture in Asia: Bilateral and Multilateral Ties Among the United States, Japan, Australia, and India,” *CRS Report for Congress* (January 7, 2008), p. 14.

⁴¹⁷ 外務省、インド国会における安倍総理大臣演説「二つの海の交わり」平成19年8月22日 http://www.mofa.go.jp/mofaj/press/enzetsu/19/eabe_0822.html (2012年5月31日アクセス)

⁴¹⁸ Malabar 2009は、佐世保沖から沖縄に至る海域で行われた。

表 3 - 4 Malabar 参加国の推移

実施年	参加国	
1992 - 1996	米、印	
2002-2005	米、印	—
2006	米、印	加
2007	米、印	豪、日、シンガポール
2009	米、印	日

④ Khaan Quest (カーン・クエスト)

Khaan Quest は 2001 年、米モンゴル間で平和支援活動のため 2 国間演習として開始されて以降、毎年実施され、2006 年に米太平洋軍の提案により多国間化した⁴¹⁹。参加国の推移は以下のとおりである。

表 3 - 5 Khaan Quest 参加国の推移

実施年	参加国	
2001-2005	米、モンゴル	
2006	米、モンゴル	バングラデシュ、フィジー、印、タイ、トンガ
2007	米、モンゴル	バングラ、カンボジア、インドネシア、韓国、スリランカ、トンガ
2008	米、モンゴル	仏、印、ネパール、タイ
2009	米、モンゴル	カンボジア、印、日、韓国(バングラデシュ、独、マレーシア、フィリピン、タイ)

注) () 内は、オブザーバー参加国。

モンゴルは、平和維持活動に積極的に参加するため 1990 年代初期に米国との正式な防衛協力関係を築き、Khaan Quest などを通じて平和維持活動の専門技能を取得してきた。2006 年 8 月には、Khaan Quest 及び Tempest Express をグローバル平和活動イニシアチブ(GPOI)⁴²⁰の支援により初めて実施した⁴²¹。Khaan Quest 2006 では、米軍・モンゴル軍 850 名、バングラデシュ、フィジー、インド、タイ、トンガ合わせて 242 名が参加し、モンゴルにとっては米国だけでなくアジア太平洋諸国との軍事関係を深める機会となった⁴²²。多国

⁴¹⁹ “Multinational Peacekeeping Exercise to be Held in Mongolia,” *People's Daily Online*, July 31, 2011. <http://english.peopledaily.com.cn/90777/90851/7456009.html> (2012 年 3 月 26 日アクセス)

⁴²⁰ 国連・地域の平和活動の効果的な実施のための各国の能力向上について、米国政府(国務省管轄)が資金を提供する安全保障支援プログラム。“Global Peace Operations Initiative (GPOI),” <http://www.state.gov/t/pm/ppa/gpoi/> (2012 年 2 月 26 日アクセス)

⁴²¹ Jargalsaikhan Meddee, “Mongolian Army, Mongolia’s Peacekeeping Commitment, Training, Development, and Evolution of Field Information Capabilities,” National Defense Intelligence College, Washington, May 2007.

⁴²² Jhon C. K. Daly, “Mongolia Holds Khan Quest Military Exercise,” *Eurasia Daily Monitor*, Vol. 5, Issue 132(July 11, 2008).

http://www.jamestown.org/single/?no_cache=1&tx_ttnews%5Btt_news%5D=33794 (2012 年 2 月 26

間化した Khaan Quest は参加国のインターオペラビリティ向上の場としても重要性を増しており、主催国モンゴルは、地域の平和と安定に重要な役割を果たすようになってきている⁴²³。

モンゴルは、国内の反対にもかかわらず、イラクとアフガニスタンのコアリションに兵士を派遣した。この貢献が、米国がモンゴル軍に対し平和維持活動の訓練を供与する基盤となっている⁴²⁴。GPOI や 2006 年の Tempest Express との同時期開催からわかるように Khaan Quest の多国間化は、全面的に米国の提案・支援に基づくものである。米国は、共同軍事演習を含めたモンゴルへの軍事支援や経済援助の理由を両国による価値と共通の戦略的利益、つまり、民主主義の共有にあるとしている⁴²⁵。一方で、米国の意図については、ソ連・ロシアがいなくなった地政学的空白を利用しようとする地政学的又は戦略地政学的野心や⁴²⁶中国の軍事的台頭と経済・政治・外交面での影響力の強化に着目し、インド、ベトナム、モンゴルなど中国の近隣諸国との関係強化を図っているとの指摘もある⁴²⁷。

(3) 2 国間演習が長期間継続するダイナミクス

継続的にほぼ同じ内容で行われている 2 国間演習とそのリンクについて、演習の特徴や 2 国間関係を分析する⁴²⁸。

① 米日

米日間では、1997 年の新ガイドライン策定、9/11 などの国際環境の変化に伴い新たな内容が盛り込まれた共同軍事演習もあるが、基本的には、同内容の演習が継続的に行われてきた⁴²⁹。他のリンクでも同内容の共同軍事演習が継続される場合はあるが、米日間ほど長期間にわたり多数行われているリンクはない。

歴史的にみると、米日共同軍事演習は、海軍間では 1950 年から行われていたが⁴³⁰、1978 年の「日米防衛協力のための指針」（旧ガイドライン）により、自衛隊と米軍の作戦を機能的に統合することを目的とした共同研究・共同軍事演習を行うこととなった。日米の協力体制を整えるため、冷戦期において米国の戦略目的の中で自衛隊が果たす役割を日本の防衛を考えたときに必要とされる作戦のみに絞り、それまで自衛隊に禁止されていた任務

日アクセス)

⁴²³ “Exercise Khaan Quest 2011 Comes to an End,” *Hawaii Marine*, Vol. 42, No. 33 (August 19, 2011) <http://www.mcbh.usmc.mil/news/Aug19A11.pdf> (2012 年 3 月 1 日アクセス)

⁴²⁴ Li Narangoa, “Mongolia and Preventive Diplomacy,” *Asian Survey*, Vol. 49, No. 2 (March/April 2009), p. 373.

⁴²⁵ Alan M. Wachman, “Mongolia’s Geopolitical Gambit: Preserving a Precarious Independence While Resisting “Soft Colonialism,”” EAI Fellows Program Working Paper Series No. 18 (May 2009), p. 18

⁴²⁶ *Ibid.*, p. 19.

⁴²⁷ Narangoa, *op. cit.*, p. 373.

⁴²⁸ 対象期間中概ね同内容の訓練が概ね 10 回以上継続している共同軍事演習のうち、特徴的なものを取り上げている。

⁴²⁹ 米日間では、対潜、掃海、戦闘機戦闘など様々な内容の共同軍事演習が行われている。『防衛白書』等の資料から試算すると、共同軍事演習実施数の 9 割以上が同内容を継続するものであるため、演習名ごとの記述は行っていない。

⁴³⁰ 陸軍間では 1981 年、空軍間では 1978 年に開始。

に踏み込まないという、当時の国内事情に配慮した工夫がなされた⁴³¹。

第1章でも述べたとおり、冷戦終結後は共通の脅威がなくなったものの、共同軍事演習の継続により、自衛隊の能力向上、米日間のインターオペラビリティは着実に向上してきた。特に近年は、国際環境の変化を踏まえ、弾道ミサイル防衛など蓋然性の高いシナリオでの共同軍事演習の実施、対潜演習の実施場所の変化、連携要領の一層の重視などの特徴がみられるようになった。

一方で、東アジアの同盟国・友好国の中では先進的と評価される自衛隊だが、特に、米軍の指揮統制システムとの共通化が行われているかどうか、共同軍事演習の実効性に大きな影響を与えている⁴³²。さらに、小規模で機能的・基礎的な演習から、大規模で統合された演習へとレベルアップしていくためには、戦闘能力向上や運用方法も課題となる。米軍の技能をそのまま取り入れることは適切ではないかもしれないが、統合運用の推進⁴³³や市街地戦闘の技術、海空軍による防空作戦などについては、自衛隊が米軍から学べる点があると考えられる⁴³⁴。

比較のため、日本と同じく米国の同盟国で共同軍事演習実施数も多い豪州についてみると、通常戦対応の共同軍事演習が多い点は共通しているが、1990年代後半以降、Tandem Thrust (1997年以降4回、太平洋における危機対処を目的)、Crocodile (1999年以降2回、海上・上陸・航空作戦における能力向上を目的)、Talisman Saber (2004年以降3回、伝統的紛争から平和維持や人道支援に至る作戦分野における即応性やインターオペラビリティの向上を目的)といった大規模な統合演習が行われるようになった。直接のきっかけは、Tandem Thrustの実施を決定した1996年の米豪定期閣僚協議であり、また、豪軍が、海外での米軍との共同作戦においてインターオペラビリティ不足を深刻にとらえていること、米国の同盟国軍との統合作戦において意思決定により大きな役割を果たしたいとの希望も背景にあるとみられるが⁴³⁵、1996年に豪軍が統合運用に移行したことも要因の一つである⁴³⁶。

② 米韓

米韓では朝鮮半島有事を想定して Foal Eagle (1991年以降14回実施、後方地域における演習)、RSOI (1993年以降13回実施。2008年以降 Key Resolve に改名、連合戦時増援演習)、Team Spirit (14回実施。1996年以降停止、朝鮮半島における不測事態に対する共同防衛能力の向上)、Ulchi-Focus Lens (23回実施。2009年以降 UFL Guardian に改名、大規模戦闘指揮所演習) が行われてきた。1980年代後半には米韓 20万人を超す実動演習⁴³⁷となった Team Spirit は1996年以降実施されていないが、2001年からは Foal Eagle (後方

⁴³¹ 本段落は、スミス「日米同盟における防衛協力の進展」33-36頁による。

⁴³² 自衛隊幹部への筆者によるインタビュー、2012年5月9日、14日及び16日。

⁴³³ 米海兵隊幹部への筆者によるインタビュー、2012年5月23日。

⁴³⁴ 陸上自衛隊幹部への筆者によるインタビュー。2012年6月25日。

⁴³⁵ Simon, op. cit., p. 19.

⁴³⁶ 在日駐在豪武官への筆者によるインタビュー、2012年5月22日。

⁴³⁷ 本段落の記述は、川上高司『米軍の前方展開と日米同盟』（同文館出版、2004年）240頁による。

地域における大規模な野外機動演習)と RSOI (連合戦時増援演習)を同時期に行っている⁴³⁸。

各種共同軍事演習が毎年実施されてきたのは、戦時、予測される北朝鮮の侵入ルートに駐留する在韓米軍に対しスムーズに増援するためである⁴³⁹。例えば、1998年には、米韓連合軍による朝鮮半島有事を想定した作戦計画(OP5027)に基づき「奇襲攻撃と化学・生物戦」に焦点を当ててUlchi-Focus Lens、RSOI、Foal Eagleが実施された⁴⁴⁰。このように、朝鮮半島における戦争の抑止と危機に迅速に対応するため、米韓は共同軍事演習を通じて高レベルの軍事態勢を維持し、北朝鮮による軍事的挑発への対応に関する教訓を蓄積してきた⁴⁴¹。なお、近年においても、北朝鮮の核兵器開発や軍事的挑発に対する抑止力を高めるため米韓は共同軍事演習の実施などで合意している⁴⁴²。

② 豪・東南アジア

豪・東南アジア各国間で数多く行われている共同軍事演習のうち、継続的なものは以下の表のとおりである。

表3-6 継続している豪東南アジア共同軍事演習の例

リンク	演習名	軍種	内容	開始年	1981~2009の間の実施回数
豪シンガポール	Singaroo	海軍	対潜、対空	1996	12
豪マレーシア	Haringaroo	陸軍	熱帯環境での戦術(中隊規模)	1981	26
豪タイ	Chapel Gold	陸軍	熱帯環境での戦術(歩兵)	1998	9

上記の共同軍事演習は、豪州が比較的良好な関係を維持している東南アジア3国との間で行われている。豪州とシンガポールはFPDAの構成国である。両国間の安全保障協力は共同軍事演習を含め包括的であり、近年は対テロなど地域の安全保障課題に対する姿勢を共有している。また、シンガポールが、豪州の訓練地域にアクセス可能となっている点が大きな特徴である⁴⁴³。Singarooは豪州のダーウィン又は南シナ海で実施されて

⁴³⁸ “Foal Eagle,” *GlobalSecurity.org*, <http://www.globalsecurity.org/military/ops/foal-eagle.htm> (2012年2月27日アクセス)

⁴³⁹ Patrick M. Morgan, “American Grand Strategy and the US-ROK Alliance,” *Pacific Focus*, Vol. XXIV, No. 1 (April 2009), p. 32.

⁴⁴⁰ The Ministry of National Defense, The Republic of Korea, *Defense White Paper 1999*. p. 83.

⁴⁴¹ Jeongwon Yoon, “Alliance Activities: Meetings, Exercises, and the CFC's Roles” in Donald W. Boose, Jr. Balbina Y. Hwang, Patrick Morgan, Andrew Scobell, eds., *Recalibrating the US-Republic of Korea Alliance* (Carlisle: Strategic Studies Institute of the US Army War College, 2003), p.87, 96.

⁴⁴² *Joint Communiqué*, The 43rd U.S.-ROK Security Consultative Meeting, October 28, 2011.

⁴⁴³ Australian Government, Department of Foreign Affairs and Trade, “Singapore Country Brief,” http://www.dfat.gov.au/geo/singapore/singapore_country_brief.html (2012年3月1日アクセス)

いることから、豪シンガポール間の共同軍事演習は、豪州のダウナー外相が言うように「オーストラリアにとってのシンガポールとの防衛協力の形態と水準は重要な共通の戦略的認識・目標及びシンガポール側の海外訓練施設利用の必要性を反映したもの」であると考えられる⁴⁴⁴。

豪州とマレーシアも FPDA の構成国である。1964 年以來、豪州はマレーシアに軍事援助を行い、マレーシアのバターワース空軍基地には豪軍が駐留している。さらに、1992 年には共同軍事演習の実施も含んだ「豪マレーシア共同防衛プログラム」を結んでいる。また、2002 年には対テロ協力に関する了解覚書に署名している⁴⁴⁵。Haringaroo は、戦術レベルでのインターオペラビリティ向上を目的に個人の能力を高める中隊規模の演習⁴⁴⁶で、バターワース基地への駐留期間に豪ライフル中隊とマレーシア陸軍の間で行われる⁴⁴⁷基礎的なものであり、両国間の信頼関係の向上に寄与していると考えられる。

豪タイ間では、1988 年から豪タイ地域安全保障対話を実施しており⁴⁴⁸、2002 年には伝統的・非伝統的脅威対応についての協力に関する了解覚書を結んでいる⁴⁴⁹。Chapel Gold は、熱帯環境での戦術レベルの演習であり⁴⁵⁰、基礎的な内容と考えられ、両国間の信頼関係の向上を重視しているとみられる。

豪州と東南アジア諸国の共同軍事演習は、豪州が訓練を行うことで東南アジア諸国の能力を高めるという側面が強い。また、信頼関係の向上も大きな目的となっている。これは、豪州が、共同軍事演習を含め多種多様な協力をそれぞれの国の実情に応じて実施し、各国軍の質的向上を図ることで地域の安定を維持すること、地域の重要なパートナーとして認知されることなどを目指しているためであると考えられる⁴⁵¹。

④ 東南アジア内

東南アジア内の 2 国間演習は、冷戦時代に域内の強靱性強化のための自助努力として開始されたが、冷戦終結を経て 2 国間関係向上の側面が強くなってきた。第 1 章で述べたとおり、東南アジア内の共同軍事演習の実施状況はクモの巣状になり、ASEAN 諸国間の関係強化に寄与している。

⁴⁴⁴ 佐藤『ASEAN レジーム』237 頁。

⁴⁴⁵ Australian Government, Department of Foreign Affairs and Trade, “Malaysia Country Brief,” http://www.dfat.gov.au/geo/malaysia/malaysia_brief.html (2012 年 3 月 1 日アクセス)

⁴⁴⁶ Australian Government, Department of Defence, *Defence Annual Report 2007-08*.

⁴⁴⁷ *Defence Force Journal*, No. 82(May/June 1990).

⁴⁴⁸ Kriangsak Kittichaisaree, “Australia, Thailand's and Australia's places in the ASEAN Community in 2015 and beyond,” The Bob Hawke Prime Ministerial Centre, University of South Australia, May 5, 2011.

⁴⁴⁹ National News Bureau of Thailand, Public Relations Department, “Special Report: Thailand and Australia Celebrate the 60th Anniversary of Bilateral Relations,” February 1, 2012.

<http://thainews.prd.go.th/en/news.php?id=255501310030> (2012 年 3 月 1 日アクセス)

⁴⁵⁰ Australian Government, Department of Defence, *Defence Annual Report 2002-03*.

⁴⁵¹ 本段落の記述は、長尾、立川、塚本「冷戦終結後の軍事交流に関する研究」26 - 30 頁による。

表 3 - 7 継続している東南アジア内共同軍事演習の例

リンク	演習名	軍種	内容	開始年	1981～2009 の間の実施回数
インドネシア・シンガポール	Safkar Indopura	陸軍	歩兵旅団レベル(実射、シミュレーション)	1989	18
シンガポール・マレーシア	Malapula	海軍	海戦	1984	12
シンガポール・ブルネイ	Airguard	空軍	対空ミサイル	1994	12
シンガポール・ブルネイ	Pelican	海軍	海上、対潜、対空等	1979	10

上記の共同軍事演習実施国であるインドネシア、シンガポール及びマレーシアは 1980 年代から域内共同軍事演習に積極的な国であり、最も緊密な近隣諸国であるとともに潜在的な競争相手でもある⁴⁵²。インドネシア・シンガポール間の Safkar Indopura は、歩兵部隊中心の共同軍事演習であり、両軍が人的交流を重視しており⁴⁵³、関係強化に重点を置いていると考えられる。2008 年の Safkar Indopura に際し、シンガポール国防省は、近年の地域における災害救援活動での国際協力について、両陸軍間で発展してきた友情とプロの絆は、必要時の協役に役立つものであり、2004 年のインドネシア津波、2006 年のジョクジャカルタの地震での協力活動の成功は、両陸軍間の防衛協力の例であるとの認識を示し⁴⁵⁴、共同軍事演習の成果について高い評価を与えている。

シンガポール・マレーシア間には、シンガポールのマレーシアからの分離独立という歴史的経緯、対照的な人種構成といった微妙な要因が両国間に存在している⁴⁵⁵。1984 年開始の海軍演習 Malapula について、シンガポールは、全ての演習参加者に対し、両海軍間の相互理解の発展と関係向上のため有益な機会をもたらすとの認識を示している⁴⁵⁶。演習内容も、両国合わせて 5～7 隻の艦船が参加する通常戦対応中心の海戦演習であり、2 国間関係を踏まえると Malapula は関係強化に重点を置いていると考えられる。

⁴⁵² Evan A. Laksmana, "Defence Diplomacy in Southeast Asia: Trends, Prospects and Challenges," in Bhubhindar Singh and See Seng Tan eds., From 'Boots' to 'Brogues: The Rise of Defence Diplomacy in Southeast Asia, RSIS Monograph, No. 21(2011), p.83.

⁴⁵³ 佐藤『ASEAN レジーム』227 頁。

⁴⁵⁴ Ministry of Defence, Singapore, "Singapore, Indonesia Mark 20th Anniversary of Bilateral Army Exercise," October 30, 2008.

http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2008/oct/30oct08_nr.html (2012 年 3 月 2 日アクセス)

⁴⁵⁵ 玉木「ASEAN 諸国の安全保障協力」66 頁。

⁴⁵⁶ Ministry of Defence, Singapore, "Malaysia and Singapore Navies conduct Bilateral Naval Exercise," November 23, 2005,

http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2005/nov/23nov05_nr.html (2012 年 3 月 2 日アクセス)

シンガポール・ブルネイ関係は良好であり、シンガポールがブルネイに訓練基地を設置していることに示されるとおり、安全保障面でも緊密な協力関係にある⁴⁵⁷。Airguardの演習内容は、A4スカイホーク戦闘攻撃機と対空ミサイルを用いて⁴⁵⁸高速で移動する空中の標的に対する小火器を使用した防空演習であり⁴⁵⁹、参加人員は概ね100名以下である。シンガポールは、Airguardは両空軍間のインターオペラビリティの向上と協力関係の緊密化を進める素晴らしい機会であり、両国間の長年にわたる緊密な軍事関係の反映であると評価している⁴⁶⁰。

⁴⁵⁷ 玉木「ASEAN諸国の安全保障協力」66頁。

⁴⁵⁸ 佐藤『ASEANレジーム』229頁。

⁴⁵⁹ Ministry of Defence, Brunei Darussalam, “All Arms Air Defence Firing 13th Air Guard Exercise-Phase 2,” Thursday 23 August 2007, http://www.mindef.gov.bn/MOD_Brunei/index.php?option=com_content&view=article&id=93:all-arms-air-defence-firing-13th-air-guard-exercise-phase-2&catid=1:news&Itemid=92 (2012年3月9日アクセス)

⁴⁶⁰ Ministry of Defence, Singapore, “Singapore And Brunei Conduct Air Defence Exercise,” August 19, 2006. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2006/aug/19aug06_nr.html (2012年3月9日アクセス)

結論 東アジアにおける共同軍事演習の変容と要因

結論として、東アジアの共同軍事演習の変容と要因について得られた知見を述べる。

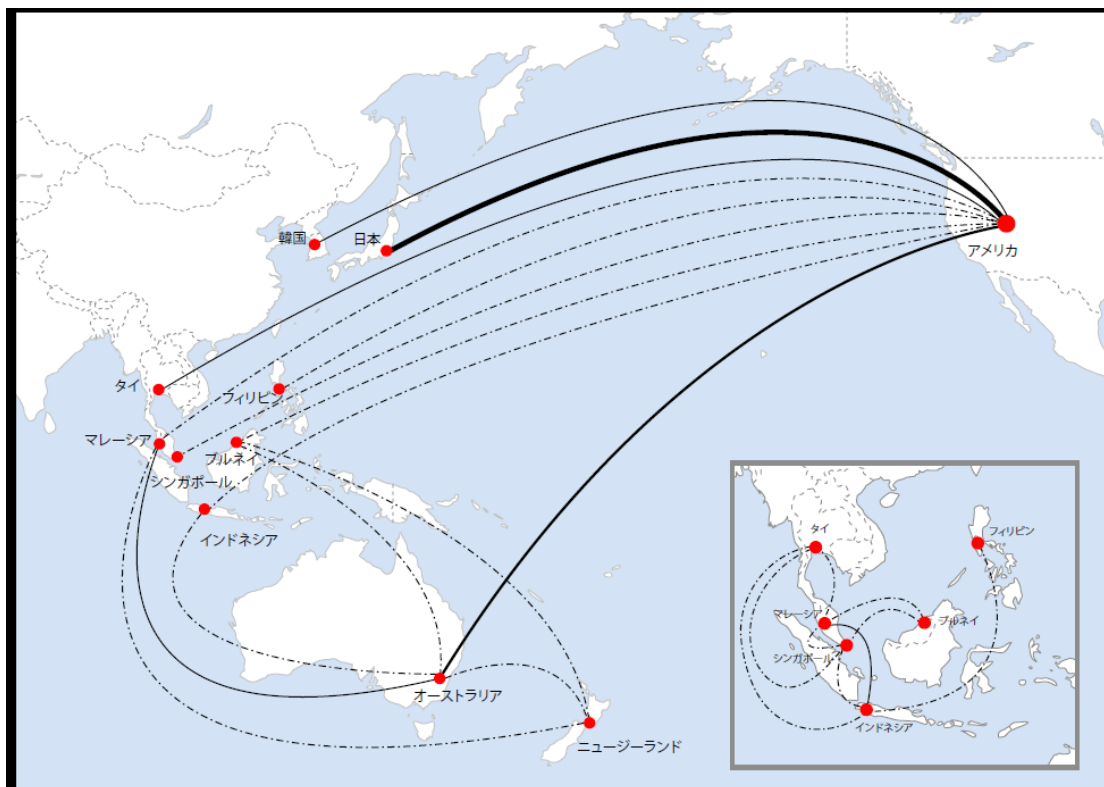
1 共同軍事演習の実施状況

本節では、2国間演習、多国間演習の年代毎の実施数、相手国から、その変化の特徴を明らかにする。

(1) 2国間演習

1980年代は、西側陣営内、主に米国と同盟国など（日本、豪州、韓国、東南アジア）の間、豪州と東南アジア間、東南アジア内で共同軍事演習が行われた。

図結－1 2国間演習実施状況（1980年代）



注) 各種公刊資料に基づき、横山早春（GRIPS グローバル COE プログラム）が作成。

1990年代は、1980年代に引き続き、主に米国と同盟国など（日本、豪州、東南アジア）の間、豪州と東南アジア間、東南アジア内で共同軍事演習が行われ、特に、米豪間、豪東南アジア間で増加した。

図結－2 2国間演習実施状況（1990年代）



注）各種公刊資料に基づき、横山早春（GRIPS グローバル COE プログラム）が作成。

2000年代は、米国と同盟・友好国間での共同軍事演習が増加。特に、米印間、米豪間の実施数が増加した。また、インド、中国を中心としたリンクが現れた。

図結－3 2国間演習実施状況（2000年代）



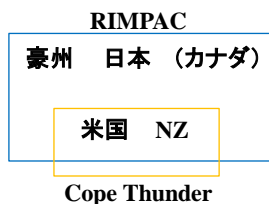
注）各種公刊資料に基づき、横山早春（GRIPS グローバル COE プログラム）が作成。

(2) 多国間演習

多国間演習の各年代のある1年における実施状況は以下のとおりである。

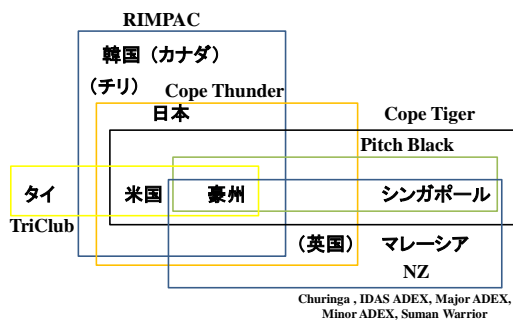
1982年には、2つの多国間演習が行われ、参加した国は4国であった。参加数が多いのは、米国とニュージーランドであり、それぞれ2つの演習に参加した。米国とその同盟国間の多国間演習であった。

図結-4 多国間演習実施状況 (1982年)



1998年には、10の多国間演習が行われ、参加した国は8国であった。参加数が多いのは、豪州(10)、シンガポール(9)、米国(5)であった。米豪中心に多国間演習が行われたといえる。

図結-5 多国間演習実施状況 (1998年)



2008年には、15の多国間演習が行われ、参加した国は19国であった。例えば、Tempest Express 15には、豪州、ブルネイ、カンボジア、インドネシア、日本、マレーシア、モンゴル、ニュージーランド、フィリピン、シンガポール、韓国、スリランカ、タイ、米国、ベトナムが参加した。参加数が多いのは、米国(11)、豪州(8)、シンガポール(8)であった。

表結－1 多国間演習実施状況（2008年の例）

	Bell buoy	Cope Thunder	Cope Thunder	Cope Tiger	Kakadu	Maru	Milan	Pitch Black	RIMPAC	SEA CAT	Shanti Doot	Tempest Express 14	Tempest Express 15	Tendon Valiant	ARF 災害 救援 演習
豪州		○			●	○	○	●	○					○	●
バングラ デシュ							○				○				
ブルネイ							○			○	○				
カンボジ ア											○	●		○	
インド							○				○				
インドネシ ア							○			○	○		●	○	●
日本			○		○	○			○						
ラオス															
マレーシ ア					○		○	○		○				○	
モンゴル											○				
NZ					○	●	○								
パキスタ ン					○										
フィリピン										○				○	
シンガポ ール				○	○	○	○	○	○	○				○	
韓国									○		○				
スリランカ							○				○				
タイ				●	○		○	○		○				○	
米国	●	●	●	○		○		○	○	○	○		○	○	
ベトナム							○							○	

注1) 共同軍事演習参加国に関する資料が最も豊富な2008年について例示した。

注2) ●は主催国。

注3) Tempest Expressについては、例年20カ国前後が参加しているが、主催国と米国のみ○を記載している。

(3) ネットワーク化への移行

1980年代から2000年代までの2国間演習、多国間演習の実施状況を振り返ると、1980年代は、米国と同盟・友好国間を中心に実施されるハブ・スポークス型であったが、徐々に実施国、実施数が増加し、2000年代には、ハブ・スポークスを含んだネットワーク型に

移行してきたことがわかる。

2 共同軍事演習の主導国

本節では2国間演習参加催実績、2国間演習の相手国の推移、2国間演習の提案状況、多国間演習の主催実績などをもとに、東アジアの共同軍事演習の主導国を特定する。

(1) 2国間演習

2国間演習の国別実施数は以下のとおりである。全ての年代で、米国、日本、豪州の実施数が多い。

表結-2 2国間演習国別実施数（上位10カ国）

（各年代合計）

	国	総数
1	米国	1245
2	日本	649
3	豪州	499
4	シンガポール	243
5	インドネシア	198
6	マレーシア	177
7	タイ	175
8	フィリピン	156
9	ブルネイ	119
10	インド	105

（1980年代）

	国	1980年代
1	米国	319
2	日本	227
3	豪州	66
4	マレーシア	37
5	インドネシア	30
6	タイ	29
7	韓国	28
8	シンガポール	13
9	ニュージーランド	9
10	フィリピン	6
10	ブルネイ	6

（1990年代）

	国	1990年代
1	米国	369
2	日本	206
3	豪州	184
4	シンガポール	86
5	インドネシア	82
6	タイ	53
7	ブルネイ	41
8	ニュージーランド	32
9	マレーシア	31
10	フィリピン	28

（2000年代）

	国	2000年代
1	米国	556
2	豪州	248
3	日本	216
4	シンガポール	144
5	フィリピン	122
6	マレーシア	109
7	インド	101
8	タイ	93
9	インドネシア	86
10	ブルネイ	72

次に、演習実施数が多い米国、日本、豪州、シンガポールについて相手国の推移をみると、年代を追うごとに相手国が増加している。1980年代の上記4カ国の相手国は各々の同盟国・友好国であった。1990年代、米国はインド、パキスタン、ロシアと共同軍事演習を開始した。豪州、シンガポール、日本も、米国の同盟国・友好国で軍事協力を行っていなかった国などとの間で共同軍事演習を行うようになった。2000年代になると、米国の共同軍事演習相手国は中国や中央アジアにも広がり、豪州、シンガポールも中国との共同軍事演習を開始した。

表結－3 米国の共同軍事演習相手国と実施数

1980年代		1990年代		2000年代	
相手国	実施数	相手国	実施数	相手国	実施数
日本	227	日本	199	日本	200
豪州	41	豪州	54	フィリピン	94
韓国	28	韓国	26	豪州	71
タイ	15	タイ	25	インド	41
フィリピン	4	フィリピン	18	韓国	35
ブルネイ	2	シンガポール	10	タイ	25
マレーシア	1	インド	8	マレーシア	18
インドネシア	1	マレーシア	7	インドネシア	18
シンガポール	1	インドネシア	7	シンガポール	15
		パキスタン	7	ブルネイ	12
		ブルネイ	6	モンゴル	9
		ロシア	2	パキスタン	6
				ロシア	3
				バングラデシュ	3
				台湾	2
				キルギスタン	2
				中国	2
(相手国数)9	9	(相手国数)12	11	(相手国数)17	17

表結－4 日本の共同軍事演習相手国と実施数

1980年代		1990年代		2000年代	
相手国	実施回数	相手国	実施回数	相手国	実施回数
米国	225	米国	200	米国	201
		豪州	3	ロシア	8
		ロシア	3	韓国	5
		韓国	1	豪州	4
(相手国数)1		(相手国数)4		(相手国数)4	

表結－5 豪州の共同軍事演習相手国と実施数

1980年代		1990年代		2000年代	
相手国	実施数	相手国	実施数	相手国	実施数
米国	41	米国	54	米国	71
マレーシア	15	インドネシア	50	ニュージーランド	45
ニュージーランド	5	ニュージーランド	24	タイ	37
インドネシア	4	タイ	20	マレーシア	31
ブルネイ	1	シンガポール	17	シンガポール	22
		ブルネイ	7	ブルネイ	13
		マレーシア	6	インドネシア	12
		フィリピン	3	フィリピン	12
		日本	3	日本	4
				中国	1
(相手国数)6	5	(相手国数)9	9	(相手国数)10	10

表結－6 シンガポールの共同軍事演習相手国と実施数

1980年代		1990年代		2000年代	
相手国	実施数	相手国	実施数	相手国	実施数
インドネシア	5	ブルネイ	19	インドネシア	29
タイ	3	豪州	17	ブルネイ	23
マレーシア	2	インドネシア	17	インド	23
ブルネイ	2	米国	10	豪州	22
米国	1	マレーシア	6	米国	15
		タイ	5	マレーシア	12
		インド	5	タイ	9
		ニュージーランド	4	ニュージーランド	8
		フィリピン	3	台湾	2
				中国	1
(相手国数)6	5	(相手国数)9	9	(相手国数)10	10

2国間演習提案の経緯について確認出来る資料は少ないが、主導的な国は以下のとおりだと考えられる。最も多く2国間演習を実施している米国は、インドに対して1989年から1991年にかけて、太平洋軍司令官が共同軍事演習の提案を行った。また、1995～1996年に東南アジア6カ国との間で開始されたCARAT（協力海上即応演習）は、米第7艦隊から東南アジア諸国に実施を提案したものである⁴⁶¹。さらに、1999年から2000年にかけて、米

⁴⁶¹ Ministry of Defence, Singapore, “United States and Singapore Navies in Annual Bilateral Exercise Programme,” July 21, 1997.

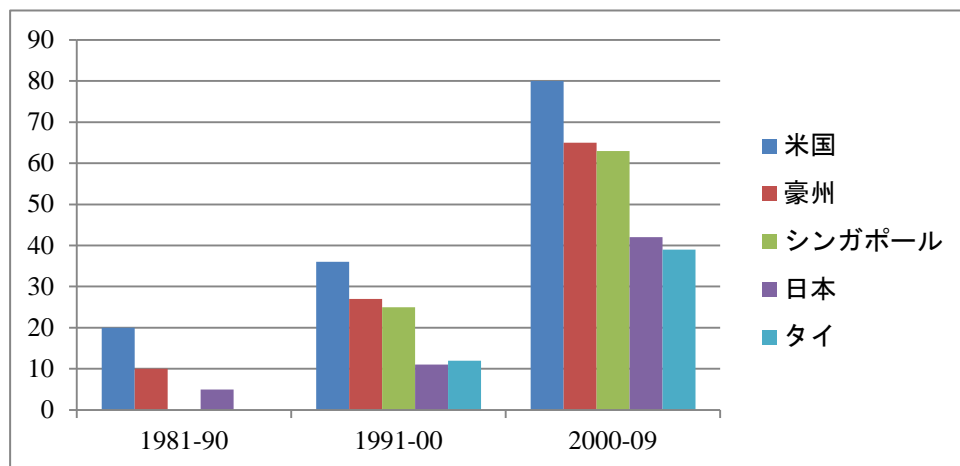
国防省は、米豪間、米フィリピン間、米タイ間の2国間演習を、多国間演習 Team Challenge に統合するよう働きかけを行っていた⁴⁶²。なお、自衛隊幹部によれば、米国に対し、同盟国・友好国側から具体的な共同軍事演習の提案を行った例は（当該幹部の知る限り）把握していないという⁴⁶³。

豪州は、1992年、日本に対し、安全保障対話の推進に加え豪本土での日豪共同軍事演習の可能性に言及した⁴⁶⁴。また、豪・東南アジア軍事協力の特徴は、豪州が援助を行うという片務的な形であることを踏まえると、共同軍事演習についても豪州が東南アジア各国に提案を行っている可能性が高い。中国については、2007年1月の東アジアサミットで、胡錦濤国家主席が各国首脳に共同軍事演習を非公式に打診し、さらに、曹剛川国防相の名でASEAN各国の軍部あてに共同軍事演習プランを盛り込んだ書簡が送付されたとのことである⁴⁶⁵。

（2）多国間演習

多国間演習参加国（総数で上位5カ国、米国、豪州、シンガポール、日本、タイ）の実績は以下のとおりである。1980年代は米国、豪州、1990年代以降は、米国、豪州に加えシンガポールの参加数が圧倒的に多い。多国間演習の主催実績（上位5カ国）でも、米国、豪州、シンガポールが多くなっている。

図結－6 多国間演習参加実績



http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1997/jul/21jul97_nr.html（2011年11月23日アクセス）

⁴⁶² 『朝日新聞』2000年4月6日。

⁴⁶³ 陸上自衛隊幹部への筆者によるインタビュー、2012年6月25日。

⁴⁶⁴ Alan Rix, “Australia and Japan,” James Cotton and John Ravenhill, eds., *Seeking Asian Engagement: Australia in World Affairs, 1991-1995* (Melbourne: Oxford University Press, 1997), p.145.

⁴⁶⁵ 『フォーサイト』2007年4月号。

表結－7 多国間演習主催実績（1981年～2009年）

順位	国名	コードネーム数	演習名
1	米国	8	RIMPAC, Cope Thunder, Pacific Airlift Rally, Tempest Express, SEACAT, Tendon Valiant, Shanti Doot, ARF 災害救援演習
2	豪州	7	Pitch Black, Bell Buoy, Kakadu, Tempest Express, Pacific Protector (PSI), Western Protector(PSI), ARF 災害救援演習
2	シンガポール	7	Cope Tiger, Pacific Reach, Tempest Express, 西太平洋掃海訓練、WPNS 多国間海上訓練, Deep Sabre(PSI), Deep Sabre II(PSI)
4	インドネシア	4	Tempest Express, 西太平洋掃海訓練, Tendon Valiant, ARF 災害救援演習
5	日本	3	Pacific Reach, Team Samurai(PSI), Pacific Shield(PSI)

米国、豪州、シンガポールの3カ国は、参加数が多いだけでなく、参加した多国間演習においても主導的な役割を果たしている。米国は、1980年代と1990年代のほとんどの多国間演習を主催した。2000年代は、持ち回り主催の多国間演習も行われるようになったが、PSIの提唱、ARF災害救援実動演習のフィリピンとの共催など引き続き多くの演習を主導している。

豪州は1980年代以降 Pitch Black（空軍演習）、Bell Buoy（海軍演習）を、1990年代以降は Kakadu（海軍演習）を主催している。2000年代には PSI や Pacific Reach（潜水艦救難）を主催し、ARF 災害救援机上演習をインドネシアと共催した。特に Kakadu は、戦術技量向上に関する総合的訓練の場として豪州が1993年から主催しており、参加国も初回の5カ国（豪州、マレーシア、ニュージーランド、タイ、シンガポール）から2008年には9カ国（豪州、仏、日本、マレーシア、ニュージーランド、パキスタン、パプアニューギニア、シンガポール、タイ）に拡大している。

シンガポールも、2000年代に西太平洋海軍シンポジウム（WPNS）多国間海上訓練、西太平洋掃海訓練、PSI、Pacific Reach を主催した。特に、西太平洋掃海訓練は、WPNS ワークショップで機雷掃海に関する多国間訓練の実施が提案されたものであり、これを受けてシンガポールが2001年に第1回目を主催した⁴⁶⁶。また、3国は MPAT の初回参加5国の一員（他の2国はフィリピン、タイ）であり、PSI の「コア・グループ」15カ国の一員でもある。

（3）共同軍事演習の主導国

以上から、1980年代から2000年代までの間、2国間、多国間演習とも米国が最大の主導国であり、次が豪州であったといえる。シンガポールも1990年代以降、多国間演習で積極的な役割を果たしている。

米国、豪州及びシンガポールが共同軍事演習を主導する要因は以下のとおりだと考えられる。安全保障環境や共同軍事演習の役割に関する認識について、米国は、冷戦期は共産

⁴⁶⁶ 防衛省「政策評価書」3頁。

圏との対峙から、冷戦後は好ましい国際環境形成の手段として共同軍事演習を位置づけた。9/11 後はテロとの戦いの一環としても共同軍事演習を行い、また、特に 2000 年代後半以降、非伝統的脅威対応のための多国間作戦におけるインターオペラビリティ向上、国際協力の推進や米国のイメージ向上などのためにも共同軍事演習を活用してきた。豪州は、従来から東アジアの安全保障について積極的な役割を果たしたいと考えており、近年では戦略的利益のひとつとしてアジア太平洋地域全体の安定の維持を挙げ、そのために日本、米国、中国、インド、インドネシアなどと連携して安保対話や協力を重ねていくことが有益だとしている⁴⁶⁷。シンガポールは、自国の繁栄にシーレーンと航空路の自由が必要であり、その国益は米国の東アジア戦略と合致している上⁴⁶⁸、安全保障課題の多様化・国際化につれて、多国間協力の重要性が高まり、特に海洋安全保障、災害救援、人道支援などの分野での協力が地域の平和と安全保障に貢献すると認識している⁴⁶⁹。

さらに、2000 年代以降行われるようになった非伝統的脅威対応のコアリションへの参加状況を見ても、米国、豪州、シンガポールは、ISAF、イラクの復興支援（シンガポールは不参加）、ソマリア沖・アデン湾での海賊対処、INTERFET、インドネシア津波時の OUA などに参加している。これらの活動を通じて、3 カ国は、多国間インターオペラビリティの必要性を強く認識するようになったと考えられる。また、一般に、同盟においてはインターオペラビリティや情報共有の度合い、コミュニケーションチャンネルの密度がそれ以外の国々とは段違いに濃密であるため⁴⁷⁰、コアリションや多国間演習においても、米豪、米シンガポール間の協力の枠組みが重要なインフラとして機能し、主導的な役割を果たすことに貢献したと考えられる。

なお、上記 3 国に次いで多数の実施数、主催数を持つ日本、インドネシアについて述べると、以下の通りである。日本の場合、2 国間演習の実施数は多いものの、そのほとんどが米日間であること、2 国間演習の相手国が限定的（米国、豪州、ロシア、韓国）であること、多国間演習の主催実績も上記 3 国と比べると少ないことから、主導国であったとは言い難い。この背景には、日本が憲法の範囲内で、日米安全保障体制を基調として防衛政策を考えてきたことがある。すなわち、集団的自衛権を行使して、我が国が直接攻撃されていないにもかかわらず他国に加えられた武力攻撃を実力で阻止することは憲法第 9 条のもとで許容される実力の行使の範囲を超えるものであり、日米安保体制を基調としてきたこととあいまって、日本有事を前提として米国以外の国と共同軍事演習を行うことは許されないとしてきたのである。さらに、近年の非伝統的脅威対応についても、豪州、シンガポールと比較してコアリションへの参加が少なく、多国間インターオペラビリティの必要性を認識する機会が限定されたことも背景のひとつであろう。2010 年に閣議決定された「平成 23 年度以降に係る防衛計画の大綱」においては「アジア太平洋地域において、二国間・多国間の安全保障協力を多層的に組み合わせてネットワーク化することは、日米同盟

⁴⁶⁷ Australian Government, Department of Defence, *Defending Australia: Force 2030, Defence White Paper 2009*.

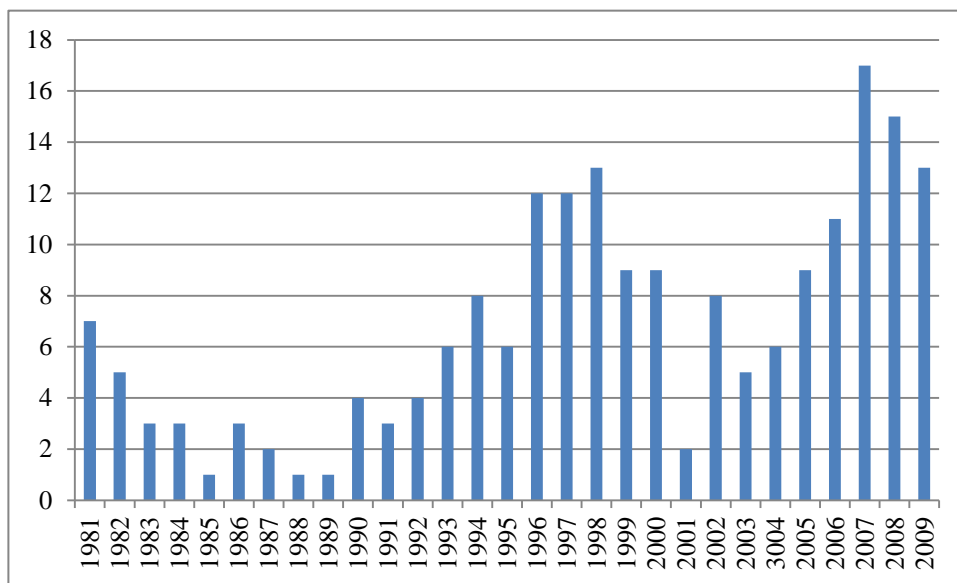
⁴⁶⁸ Simon, op. cit., p. 27.

⁴⁶⁹ Ministry of Defence, Singapore, *Defending Singapore in the 21st Century*. January 2000.

⁴⁷⁰ 高橋杉雄「アジア太平洋安全保障アーキテクチャと同盟の役割」『アジア太平洋の地域安全保障アーキテクチャー地域安全保障の重層的構造—』東京財団政策研究、2010 年、59 頁。

ともあいまって、同地域の安全保障環境の一層の安定化に効果的に取り組むために不可欠である。」と記述されているが、2000 年台後半までの間においては、共同演習を含めた安全保障協力の重要性は明確には認識されていなかったと考えられる⁴⁷¹。また、インドネシアについては、2 国間、多国間演習の実績も多く、相手国数も 6（1980 年代、1990 年代）、8（2000 年代）と比較的多いものの、2 国間演習の実施数にばらつきが大きいいため、主導国とは言い難い。この背景には、インドネシアの国内政治や米国、豪州などとの 2 国間関係における変動の大きさがあがあると考えられる。

図結一七 インドネシアの 2 国間演習実施数の推移



3 共同軍事演習内容・目的の変化

本節では、共同軍事演習の内容と目的の対応関係を整理した上で、その変化を説明する。次に、2 国間演習について、米国リンクと中国リンクを例にリンクの強度の違いを示し、さらに、個別の 2 国間演習に着目し、演習内容が高度化する場合の特徴を明らかにする。

(1) 共同軍事演習内容と目的の対応関係

序章で示した通り、共同軍事演習の内容を想定する軍事作戦により通常戦対応と非伝統的脅威対応に分類した上で、これまでの分析をもとに共同軍事演習の内容と目的対応関係を以下の図のように整理する。

⁴⁷¹ 2010 年以降、特に海上自衛隊を中心に、米国以外との共同演習が増加している。

表結－8 共同軍事演習の内容と目的の基本的な関係

	通常戦対応を内容とする共同軍事演習	非伝統的脅威対応を内容とする共同軍事演習
目的(政治面)	関係強化・信頼醸成、安全保障環境の改善	
目的(軍事面)	一般的な能力向上、インターオペラビリティ向上	
	(例) ・ 高烈度紛争の抑止・対処能力の向上 ・ 個別作戦対応能力の向上 ・ (関係強化・信頼醸成に重点を置きつつ)個別作戦対応能力の向上	(例) ・ 対テロ作戦能力の向上 ・ 大量破壊兵器拡散防止等能力の向上 ・ 災害救援・人道支援活動に関する能力の向上 ・ 平和活動に関する能力の向上

全ての共同軍事演習は、政治面の目的（同盟国・友好国間では関係強化、同盟国・友好国以外の間では信頼醸成など）及び軍事面の目的（能力向上・インターオペラビリティ向上）を共通して持っている。これらの共通目的に加え、通常戦対応の共同軍事演習では、想定される軍事作戦に応じて、高烈度紛争の抑止・対処能力の向上、個別作戦対応能力の向上といった目的を持つ。前者の例が、RIMPAC（米国とその同盟・友好国間で行われ、内容は戦力投射、制海）であり、後者の例が、米日間の掃海演習である。また、関係強化・信頼醸成（政治面の目的）に重点を置きつつ、個別作戦能力の向上も図る共同軍事演習もある。例えば、シンガポール・マレーシア間の Malapula は、関係強化を重視して行われている海軍演習だと考えられる⁴⁷²。

非伝統的脅威対応の共同軍事演習には、想定される軍事作戦により、対テロ能力向上、災害救援能力の向上などの目的がある。前者の例は、米国と東南アジア各国との間の対テロ演習 SEACAT であり、後者の例が ARF 災害救援演習である。

（2）共同軍事演習の内容・目的の変化

まず、2国間演習の内容についてみると、1980年代は通常戦対応のみを想定しており、高烈度紛争の抑止・対処を目的とした米日の Keen Edge、米韓の Team Spirit、Ulchi-Focus Lens、米タイ間の Cobra Gold などが行われたほか、個別作戦対応の演習も実施された。

1990年代も通常戦主体であり、上記の演習に加え米豪の Tandem Thrust、Crocodile といった高烈度紛争の抑止・対処を目的とした演習が一定程度行われた一方、関係強化・信頼醸成が主目的とみられる通常戦対応の演習が増加した。また、非伝統的脅威対応の共同軍事演習もわずかに行われた。

2000年代になると、印シンガポールの Simbex、米印の Malabar などの三次元の海上作戦能力の向上を目的とした演習が行われるようになったものの、通常戦対応の演習の割合は

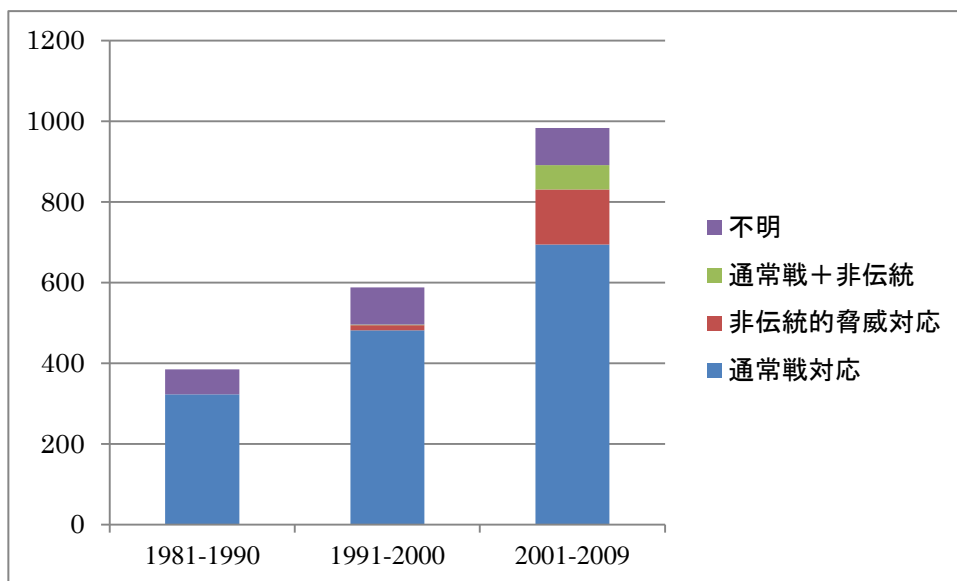
⁴⁷² シンガポール・マレーシア間には、シンガポールのマレーシアからの分離独立という歴史的経緯、対照的な人種構成といった微妙な要因が両国間に存在していること、演習規模も両国合わせて5～7隻の艦船であることを踏まえると、主目的は関係強化だと考えられる。

低下した。一方、非伝統的脅威対応が増加し、全体の14%弱を占めた。

以上から、2国間演習の目的について分析すると、1980年代と1990年代においては通常戦対応が主体であり、1980年代は共産圏との通常戦を念頭に、高烈度紛争の抑止・対処、個別作戦対応が中心であった。1990年代になると、関係強化、信頼醸成、安全保障環境の改善に重点を置く傾向がみられるようになった。一方で、高烈度紛争の抑止・対処目的の共同軍事演習も一定割合で実施された。2000年代になると、非伝統的脅威対応のための具体的な作戦能力の向上も目的とされるようになった。

また、2000年代になると、ひとつの共同軍事演習が複数の目的を持つ内容を含む例が見られるようになった。例えば、米タイ間のCobra Goldは、1990年代まではタイ防衛のため高烈度紛争の抑止・対処を目的としていたが、2000年以降は、災害救援等の能力向上も内容に含まれるようになり、2種類の目的を持つようになった。さらに、演習実施国が公表する目的以外の意図があるとみられる共同軍事演習も行われるようになった。例えば、2005年の中露間のPeace Mission 2005の目的はテロ対応と発表されたが、装備、実施場所などから台湾有事を想定しているとの指摘や、多極化社会のひとつの極として中露の存在のアピールも目的にしているのとの指摘がなされた。

図結－8 想定する軍事作戦（2国間演習）



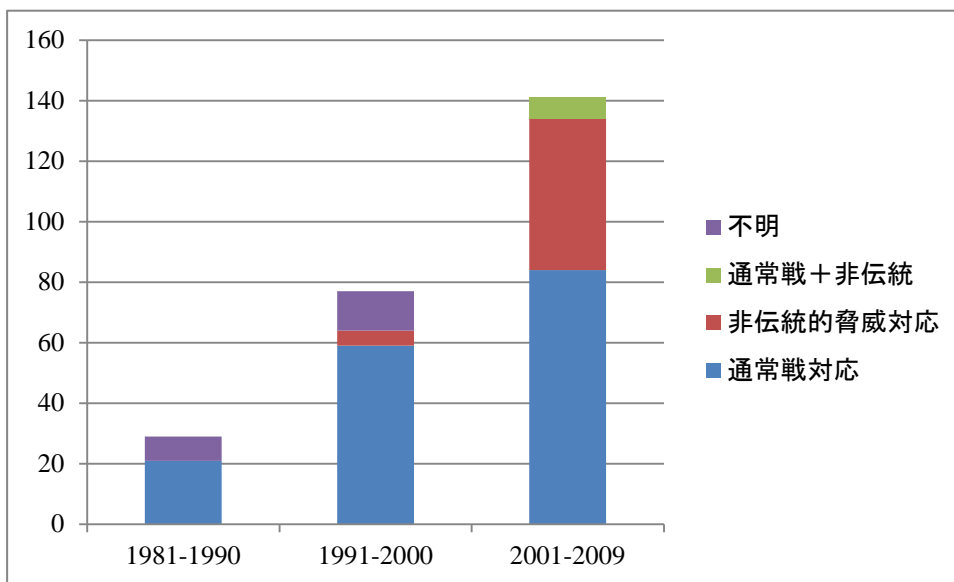
多国間演習でも1980年代は通常戦対応のみを想定しており、米国主催の空軍演習Cope Thunder、海軍演習RIMPACなどが行われた。1990年代も通常戦対応主体であり、引き続きCope ThunderやRIMPAC、豪州主催の海軍演習Kakadu、Bell Buoyが実施された。一方、インド主催のMilanなど、非伝統的脅威対応の共同軍事演習も行われた。

2000年代には、上記演習に加え、米シンガポール・タイ間の空軍演習Cope Tiger、米国主催の空軍(空輸)演習Pacific Airlift Rallyやシンガポール主催のWPNS多国間海上訓練、持ち回り主催の西太平洋掃海訓練などが行われた。一方で、非伝統的脅威対応が増加し、全体の35%を超えた。米東南アジア間の対テロ海軍演習SEACAT、大量破壊兵器拡散防止

を目的とした PSI、災害救援を目的とする Tempest Express などが実施された。

以上から、多国間演習の目的について分析すると、1980年代は一定水準以上の戦力を持つ国が参加する米国主催の演習を中心に、対ソ戦を念頭に高烈度紛争のための戦闘能力向上を目的としていたと考えられる。1990年代は、米国などが高烈度紛争の抑止・対処のための多国間演習を継続する一方で、主に関係強化、信頼醸成、安全保障環境の改善を目的としたとみられる通常戦対応の共同軍事演習も実施された。2000年代になると、多くの国が参加する非伝統的脅威対応演習が増加し、関係強化や信頼醸成に加えて、非伝統的脅威対応のための具体的な作戦能力の向上も目的となったと考えられる。2国間演習と比べて多国間演習で非伝統的脅威対応の割合が多いのは、非伝統的脅威対応には多国間協力が必要であるという認識を各国が共有しているためであると考えられる。

図結－9 想定する軍事作戦（多国間演習）



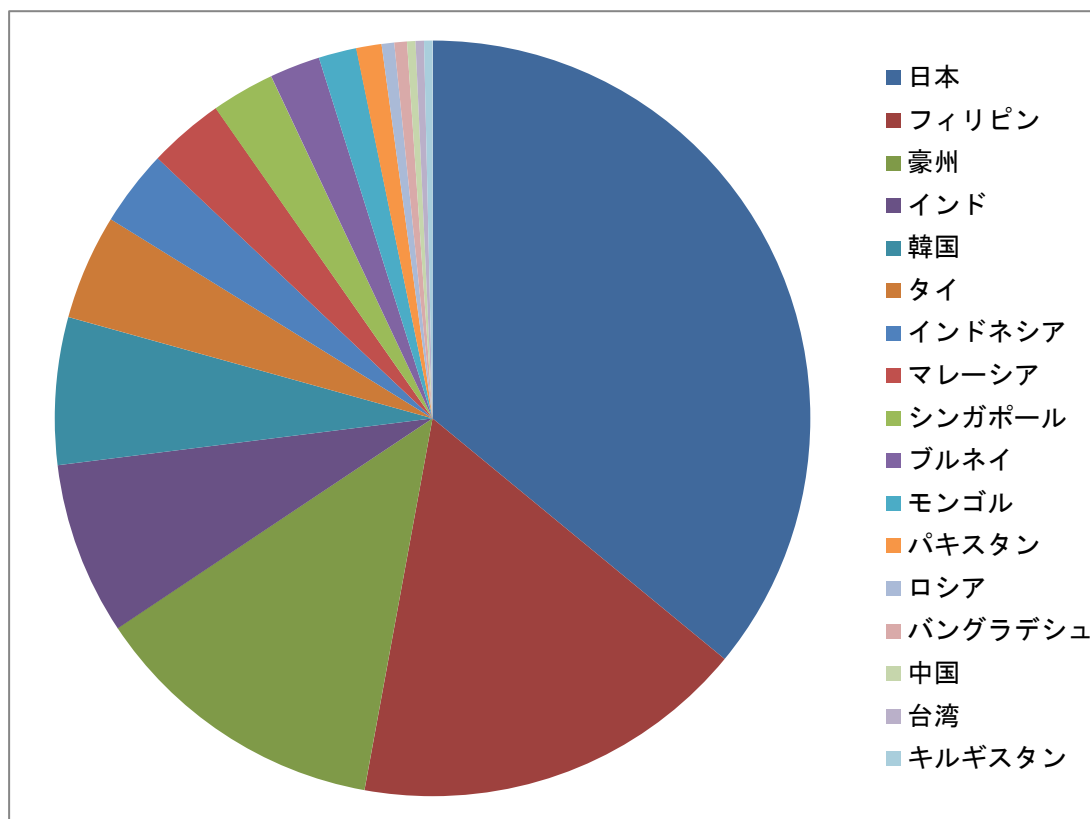
（3）2国間演習におけるリンクの強度－米国リンクと中国リンクの比較－

2国間演習実施国の中には、実施数には差があるが、多くの相手国を持つ国がいくつか存在する。例えば、2000年代の米国リンクと中国リンクを比較すると、実施総数には20倍以上の差がある一方で、両国とも多くの国と共同軍事演習を行っている。以下、両国のリンクの強度にどのような違いがあるのかを明らかにする。

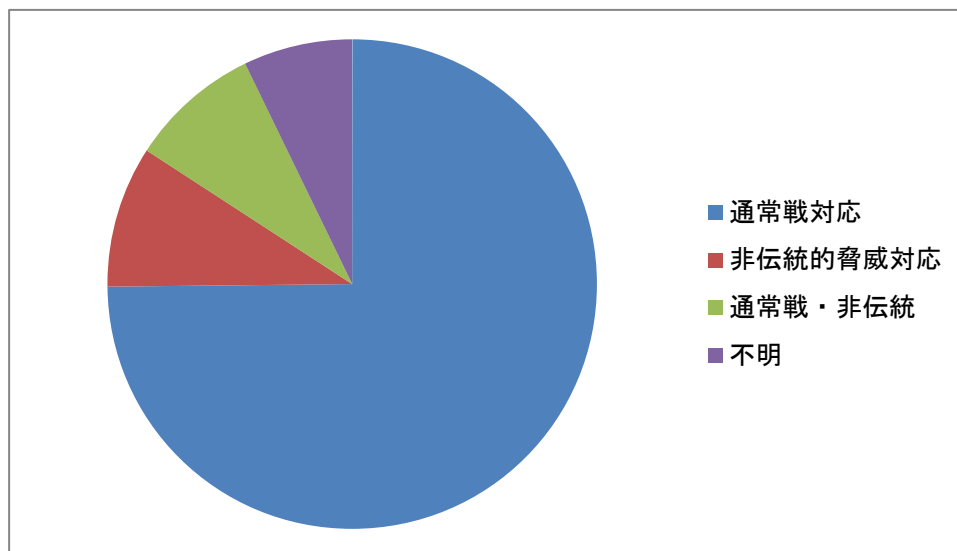
まず、米国リンクの実施数と相手国の内訳を見ると、相手国17国、実施数556であり、冷戦期からの同盟国・友好国との演習実施数が多くなっている。また、軍事作戦別に見ると、通常戦対応が約4分の3を占めている。米日間、米韓間では各年代を通じ全て通常戦対応、米豪間では2009年の統合演習 Talisman Sabre で一部平和維持や人道支援の内容が含まれる以外は通常戦対応であり、能力・インターオペラビリティ向上、関係向上に加え通常戦対応能力の向上が目的である。一方、米インドネシア間、米タイ間、米フィリピン間、米印間では、非伝統的脅威対応目的の演習が比較的多く行われており、対テロ、災害救援などについての能力向上が必要な国との間では非伝統的脅威対応目的の共同軍事演習も一

定数実施されている。

図結-10 米国リンクの共同軍事演習相手国と実施数（2000年代）



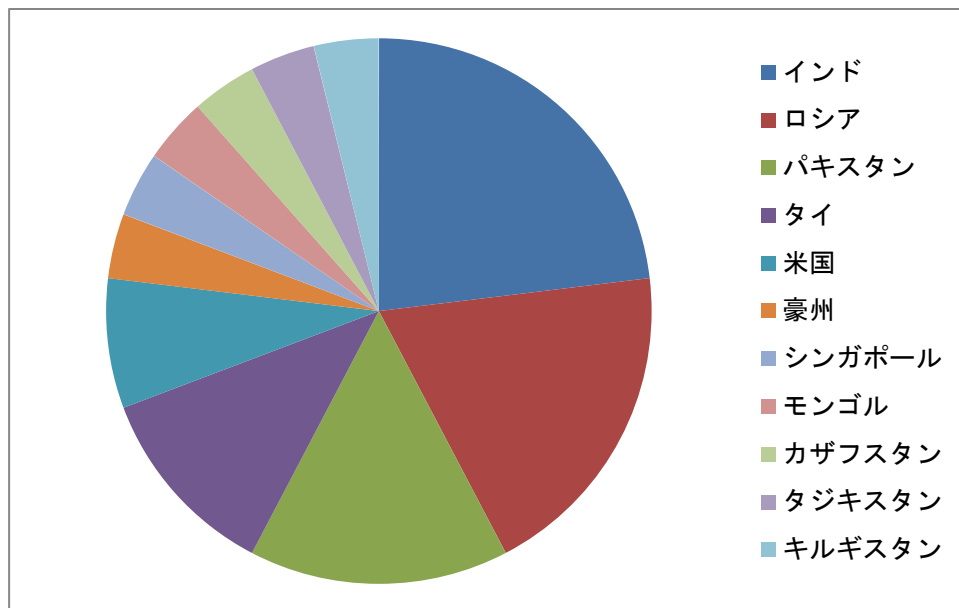
図結-11 米国リンクの共同軍事演習の軍事作戦（2000年代）



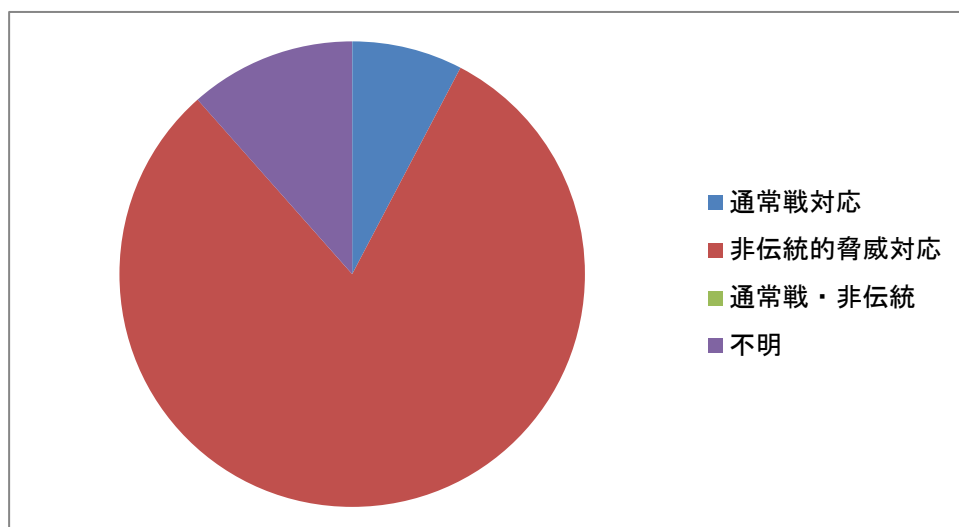
次に、中国についてみると、2002年から本格的に共同軍事演習を開始し、2000年代全体では相手国11国、実施数26であった。相手国のうち最も実施数が多いのは、仮想敵国といわれるインド（6）であり、また、11国中4国はSCO加盟国である。軍事作戦別に見ると、非伝統的脅威対応が8割以上を占めており、その内訳は、対テロ16、捜索救難5、

平和維持活動1である。中国の共同軍事演習に非伝統的脅威対応が多い点については、テロ対応といった具体的な必要性を掲げることで防衛協力の実績がない国とも共同軍事演習を行いやすく、第三国の懸念を引き起こさずに軍事協力を公然と進めることが可能だからだとの指摘がある⁴⁷³。また、中国は、演習相手国との間で同盟関係を構築しようとはしておらず、短期的には共同軍事行動を念頭には置いていないとみられることから⁴⁷⁴、中国に対する脅威認識の低減という政治的な目的のウェイトが高いと推察できる。さらに、中国は、米国の同盟・友好国との共同軍事演習を通じて自国軍の情報が米国に伝わる可能性を懸念しており、秘匿度の低い内容の非伝統的脅威対応の共同軍事演習にとどめている面もあると考えられる。

図結-12 中国リンクの共同軍事演習相手国と実施数（2000年代）



図結-13 中国リンクの共同軍事演習の軍事作戦（2000年代）



⁴⁷³ 松田「中国の軍事外交試論」14頁。

⁴⁷⁴ 福田「東南アジアにおける米国と中国の軍事ネットワークの比較」218 - 219頁。

このように、米中リンクを比較すると、相手国が多い点は共通しているが、実施数については米国リンクが圧倒的に多い。相手国との関係についても、米国リンクでは同盟国・友好国との間のものが主体であり、これらの2国間演習においては高レベルのインターオペラビリティ、情報共有、コミュニケーションを伴っていると考えられる。中国リンクでは、友好国以外との間で信頼醸成を図る目的のものも少なくない。また、軍事作戦をみても、米国リンクでは、個別作戦対応から高烈度紛争抑止・対処まで通常戦対応の演習を幅広く行い、実施国の軍事力の向上に寄与していると考えられるのに対し、中国リンクでは、非伝統的脅威対応がほとんどである。非伝統的脅威対応の共同軍事演習では人民解放軍本来の任務である情報化条件下での局地戦を戦うための能力向上への貢献は限定的であるが、Peace Mission 2005 以外の対テロ共同軍事演習については、台湾など第三国に向けたものではないという公式見解に沿うよう、注意深く、演習規模や装備等を限定的なものとしている⁴⁷⁵。これらの相違点を考えると、米国リンクと中国リンクの強度については、米国リンクの方が強いといえる。

(4) 個別の2国間演習の内容の変化

2国間演習が継続しているリンクでは、演習内容が変化する場合がある。例えば、米印海軍演習 Malabar は実施回数を重ねるにつれて、初歩的なものから高度なものに内容が変化していった。一方で、同じ内容の演習を定期的に繰り返す場合もある。以下、海軍演習を実施しているいくつかのリンクを例に、演習内容の変化⁴⁷⁶について特徴を明らかにする。

- ・ 初歩的内容から開始、段階的に高度化したリンク

米印間では 1992 年に共同軍事演習を開始し、1998 年のインドの核実験による米印交流停止を経て 2001 年に再開している。米印リンクでは 3 つの海軍演習が実施されたが、Malabar は初歩的な内容から開始し、徐々に高度な内容に移行したことがわかる。

表結－9 米印海軍演習の推移

演習名	主な内容	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09
Malabar	内容不明※ (注)	○																	
	戦術運動、 通信、補給 など											○							
	戦術運動、 対空戦、対				○	○							○	○	○	○	○	○	○

⁴⁷⁵ Blasko, op. cit., pp. 411-412.

⁴⁷⁶ 海軍演習に含まれる訓練行動には様々な水準のものがあるが、初歩的なものから順に並べると、通信訓練、戦術運動訓練、捜索救難訓練、潜水艦救難訓練、海上阻止訓練、個別作戦訓練（対水上戦、対潜戦、対空戦、掃海等）、総合戦訓練となる。

	潜戦、対水上戦など																			
SALVEX	海難救助																		○	○
SAREX	搜索救難																		○	○

注) 詳細は明らかではないが、Malabar 92 は、試行的・予備的な内容であった⁴⁷⁷。

米印間の他に、初歩的内容から開始し、高度化したリンクは豪日間である。1998年から初歩的な海軍演習が行われていたが、2009年には通信訓練、戦術運動訓練、ヘリコプター発着艦訓練、対潜訓練を含む演習となり、内容が高度化していることがわかる。

・ 搜索救難から開始したリンク

海軍演習を搜索救難演習から開始したリンクは、米中間、中印間、豪中間、露日間、露韓間、日韓間、中パキスタン間である。いずれのリンクでも搜索救難演習を主な内容として継続している。

表結-10 搜索救難演習から開始したリンク

リンク	名称・内容	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
米中	搜索救難									○			
中印	Dolphin 0311(搜索救難)						○						
	海上演習(通信など)								○		○		
豪中	搜索救難							○					
露日	搜索救難	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
露韓	搜索救難							○					
日韓	搜索救難		○			○	○		○		○		○
中パキスタン	搜索救難						○		○				

注) 詳細は不明。

・ 個別作戦から開始したリンク

海軍演習を個別作戦から開始したリンク、すなわち、一定レベル以上の内容から開始したリンクは、印シンガポール間、豪シンガポール間、露印間である。印シンガポール間では対潜戦から、豪シンガポール間では対潜、対空、対水上戦から、露印間では海上阻止から開始し、その後徐々に訓練行動の増加や演習規模の拡大がみられるようになった。

⁴⁷⁷ Malik, op. cit., p. 84.

表結－11 印シンガポール海軍演習の推移

演習名	主な内容	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	97	08	09
ASW	対潜	○			○	○		○	○		○	○					
Simbex	対潜						○										
	対潜、対水上戦												○				
	対潜、対空、対水上戦													○	○	○	○

表結－12 豪シンガポール海軍演習の推移

演習名	主な内容	96	97	98	99	00	01	02	03	094	05	06	07	08	09
Axolotl	機雷掃海			○		○									
Hunter	機雷掃海		○	○		○		○							
Singapore	海上演習 (詳細不明)			○											
Singaroo (注)	対潜、対空、対水上戦	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○

注) 海空軍演習 (空軍が支援)

表結－13 露印海軍演習の推移

演習名	主な内容	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
Indra	海上阻止、立入検査等				○						
	海上阻止、立入検査、対潜戦等						○				
	海上阻止、立入検査、防空・対潜戦等								○		
	具体的な内容不明										○

・ その他

海軍演習は継続しているが、内容が直線的に高度化しない例もある。例として豪インドネシア間を示す。

表結-14 豪インドネシア海軍演習の推移
(1981~1994年)

演習名	主な内容	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95
ANZAC/SYDNEY	港湾での訓練															
CANBERRA/SYDNEY	港湾での訓練															
Indonesia/Jakarta	港湾での訓練															
Indonesia/Surabaya	港湾での訓練															
Cassowary	海洋監視															
PATROLEX	海洋監視													○	○	
AUSINA	海上演習										○		○	○	○	○
New Horizon	海上演習	○	○		○							○		○		
Passex	不明															

(1995年~2009年)

演習名	主な内容	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09
ANZAC/SYDNEY	港湾での訓練			○											
CANBERRA/SYDNEY	港湾での訓練				○										
Indonesia/Jakarta	港湾での訓練				○										
Indonesia/Surabaya	港湾での訓練			○											
Cassowary	海洋監視	○	○	○	○							○			
PATROLEX	海洋監視														
AUSINA	海上演習														
New Horizon	海上演習	○		○											
Passex	不明												○		

以上をまとめると、演習内容が初歩的のものから高度化する典型的な例は、米印間、豪日間である。搜索救難演習から海軍演習を開始したリンクもあるが、その後、個別作戦演習に移行した例はなかった。また、個別作戦レベルから開始した例は、印シンガポール間と豪シンガポール間、露印間であり、いずれの場合も2回目以降、訓練行動の増加や演習規模の拡大がみられている。一方で、演習内容が直線的に高度化しない例として、中印間、豪インドネシア間のように複数のレベルの海軍演習が前後して実施されるリンク、米中間、露日間のように搜索救難演習だけを継続しているリンクがある。

演習内容が高度化しているリンク、個別作戦レベルから開始しているリンクの特徴は、2国間軍事協力に対する政府レベルの強い関与があることである。米印間では、1995年に「米印防衛に関する合意議事録」、2005年に「米印防衛関係の新たな枠組み」が、豪日間では2007年に「安全保障協力に関する日豪共同宣言」が結ばれている。印シンガポール間では2003年に「防衛協力合意」が、豪シンガポール間では2008年に「防衛関係強化に関する了解覚書」が、露印間では2000年に「戦略的パートナーシップ宣言」、2002年に「テロとの戦いにおける露印相互理解覚書」が締結されている。一方で、露日間にも1999年「日露防衛交流に関する覚書」が、豪インドネシア間には1995年「安全保障協定」（1999年破棄）、2006年「安全保障協力枠組協定」（ロンボク協定）が結ばれており、協定や合意が海軍演習内容高度化の十分条件とはいえない。しかし、軍事協力について少なくとも政府レベルの関与がある場合には、海軍演習の高度化、軍事関係の一段の強化が行われやすいといえよう。

また、搜索救難演習は海上事故発生時に必須の技能の向上を目的としており、海洋安全への貢献姿勢や良好な2国間関係をアピールできる演習である。つまり、共通の利益が見出せるだけでなく、進めやすい分野での軍事協力を2国間で制度化することによって友好関係と相互信頼感を内外にアピールするという政治的効果を高めることができる⁴⁷⁸。また、演習内容の秘匿度や難易度もさほど高くないことから実施のハードルは低いといえる。しかし、搜索救難演習から個別作戦レベルの演習への移行は時々の安全保障環境や演習相手国との防衛関係強化に対する方針などにより決定されるものであり、搜索救難演習のみを継続している米中間、露日間などのリンクでは海軍演習を高度化する状況にはないと判断していると考えられる。

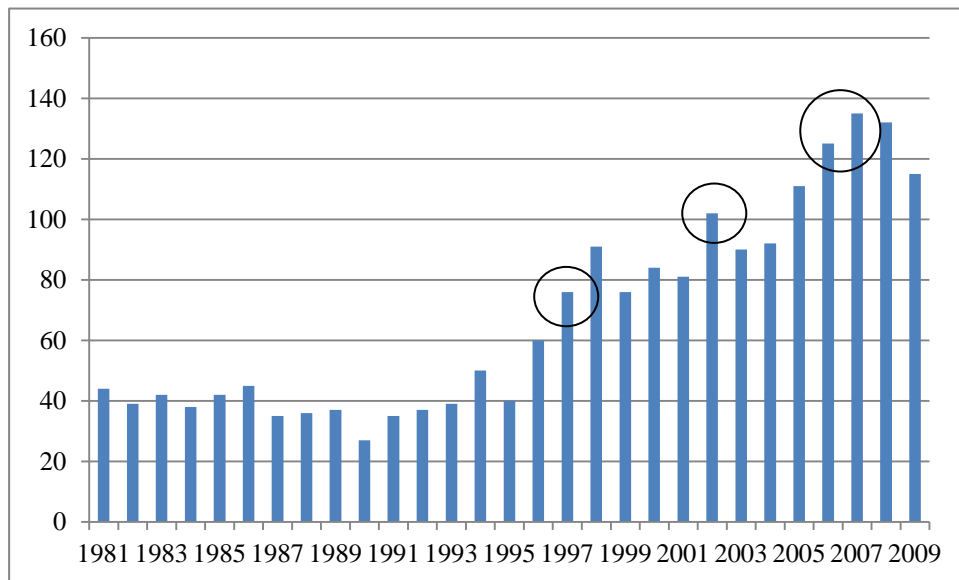
4 共同軍事演習変容の要因

本節では、共同軍事演習の実施数、内容・目的の変容について、共同軍事演習実施数が大きく増加する時期に着目し、その要因を明らかにする。共同軍事演習実施数の推移は以下のとおりである。2国間演習については、1980年代から1990年代前半まではほぼ横ばいであり、1997年、2002年、2006～2007年に大きな増加を見せた。多国間演習は、1990年代前半まではばらつきがあるものの一定数を超えることはなかったが、1997年、2006～2007年に大きく増加した。なお、共同軍事演習の内容・目的の変化について

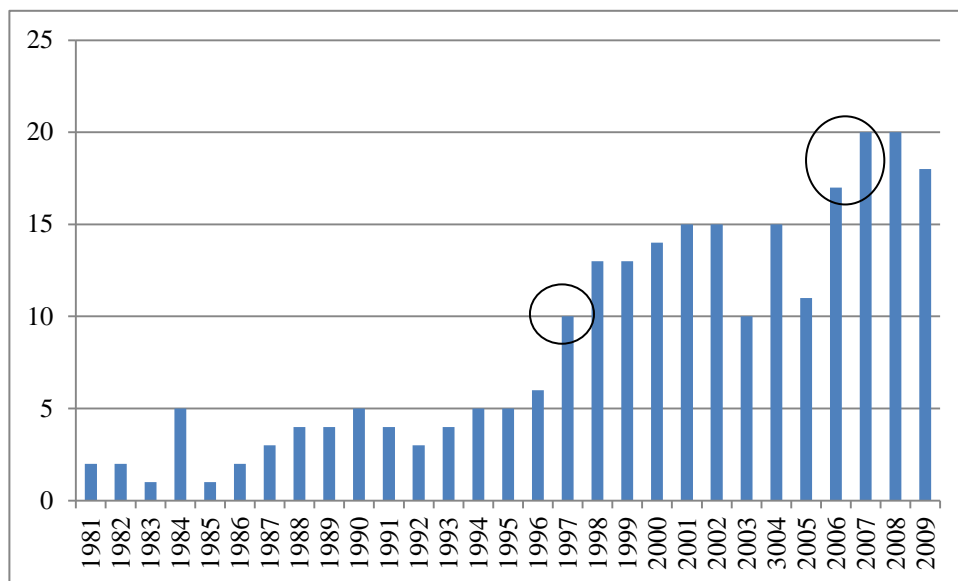
⁴⁷⁸ 福嶋輝彦「日本外交における対オーストラリア関係の意味—戦後日豪関係の発展過程—」『日本外交と国際関係』（内外出版、2009年）210頁。

は、本章第3節で述べたとおりである。

図結-14 2国間演習実施数の推



図結-15 多国間演習実施数の推移



1997年の共同軍事演習変容の主な要因は、国際環境の変化に基づく米国の政策変化、すなわち、望ましい安全保障環境形成のための手段として共同軍事演習をみなすようになったことである。米国防省は、特に東アジアにおける共同軍事演習について、地域安全保障への米国の関与の証明であり、各国軍とのインターオペラビリティや即応性を高め、共同作戦能力を提示し、同盟国・友好国との責任分担や地域統合を促進し、また、米国の能力と意思を示し、危機にそなえた訓練状況を付与し、地理の習熟や他国の理解を促すものであると位置づけた。さらに、共同軍事演習の実施に当たっては、地域統合軍レベル（東ア

ジアでは米太平洋軍) で具体的な安全保障協力に関する計画を作成することとされ、体系的なアプローチがとられるようになった。

2002年に共同軍事演習実施数が増加した要因は、対テロを中心に非伝統的脅威対応の必要性が認識されたことであり、カタリストは9/11である。米国を筆頭に、インド、中国などでもテロ対応の必要性が強調される一方、テロ対策以外にも考慮された点があった。米印間で対テロ演習が大幅に増加した背景には、9/11以前から米国がアジアで中国に対抗するパートナーとしてインドを位置付け、関係緊密化を図っていたことがある。また、中国も中央アジア諸国との間で対テロ演習を開始した。キルギスタンとウズベキスタンに米国が駐留する中で、中国は、中央アジアにおける中国の存在感を高め、米国を含まない軍事協力への一歩となるよう、これらの対テロ演習を活用したとみられる。

2006～2007年の共同軍事演習の実施数増加は、災害救援や平和協力活動などコアリションによる多国間協力が行われ、多国間インターオペラビリティの必要性が認識されたことが主な要因であると考えられる。特に、1999年から豪州が中心となって行った INTERFETでの活動において、各国のインターオペラビリティの欠如や多国間協力における経験不足により効果的な協力ができなかった点を踏まえ、米国を中心に多国間演習が開始された。その成果が、2004年のインドネシア津波時の OUA で実証され、災害救援を中心に非伝統的脅威対応の共同軍事演習が増加した。また、この時期の演習実施数の増加の背景として中国の台頭が指摘されることがあるが、対中牽制目的が主目的だと考えられる共同軍事演習は一定数にとどまっている。

参考文献

【和文書籍】

- 秋山昌廣・朱鋒編『日中安全保障・防衛交流の歴史・現状・展望』（亜紀書房、2011年）
- 朝日新聞「自衛隊50年取材班『自衛隊 知られざる変容』（朝日新聞社、2005年）
- 天児慧『等身大の中国』（勁草書房、2003年）
- アルバート＝ラズロ・バラバシ『新ネットワーク思考－世界のしくみを読み解く』（日本放送出版協会、2002年）
- 天児慧、三船恵美編『膨張する中国の対外関係 パクス・シニカと周辺国』（勁草書房、2010年）
- 五百旗頭真編『新版 戦後日本外交史』（有斐閣、2006年）
- 猪口孝『国際関係論の系譜』（東京大学出版会、2007年）
- 岩田一政、小寺彰、山影進、山本吉宣編『国際関係研究入門』（東京大学出版会、1996年）
- 大西康雄編『冷戦後の北東アジア：新たな相互関係の模索』（アジア経済研究所/アジア経済出版会、1993年）
- 岡部達味編『ASEANの20年－その持続と発展』（日本国際問題研究所、1987年）
- 岡部達味『中国の対外戦略』（東京大学出版会、2002年）
- 金沢工業大学国際学研究所編『日本外交と国際関係』（内外出版、2009年）
- 川上高司『米軍の前方展開と日米同盟』（同文館出版、2004年）
- 川島真・服部龍二編『東アジア国際政治史』（名古屋大学出版会、2007年）
- 国分良成編『中国の統治能力』（慶應義塾大学出版会、2006年）
- 国分良成編『中国政治と東アジア』（慶應義塾大学出版会、2004年）
- 小島朋之編『21世紀の中国と東亜』（一藝社、2003年）
- 佐藤考一『ASEAN レジーム－ASEANにおける会議外交の発展と課題』（勁草書房、2003年）
- G・ジョン・アイケンベリー『アフター・ヴィクトリー 戦後構築の論理と行動』（NTT出版、2004年）
- ジェームズ・マン『ウルカヌスの群像 ブッシュ政権とイラク戦争』（共同通信社、2004年）
- 下斗米伸夫『アジア冷戦史』（中央公論新社、2004年）
- 白石隆『帝国とその限界』（NTT出版、2004年）
- 白石隆、ハウ・カロライン『中国は東アジアをどう変えるか 21世紀の新地域システム』（中公新書、2012年）
- 須藤季夫『東南アジア国際関係の構図 理論地域学をめざして』（勁草書房、1996年）
- 添谷芳秀・田所昌幸編『現代東アジアと日本1 日本の東アジア構想』（慶應義塾大学出版会、2004年）
- 添谷芳秀・山本信人編『世紀末からの東南アジア 錯綜する政治・経済秩序のゆくえ』（慶應義塾大学出版会、2000年）
- 田中明彦『新しい「中世」－21世紀の世界システム』（日本経済新聞社、1996年）

- 竹田いさみ、森健、永野隆行『オーストラリア入門 第2版』（東京大学出版会、2007年）
- 土山實男『安全保障の国際政治学—焦りと傲り』（有斐閣、2004年）
- ナイ・ジョセフ・S・ジュニア『国際紛争—理論と歴史〔原書第7版〕』（有斐閣、2009年）
- 西原正、堀本武功編『軍事大国化するインド』（亜紀書房、2010年）
- 日本国際政治学会編『日本の国際政治学4 歴史の中の国際政治』（有斐閣、2009年）
- 日本国際問題研究所編『南アジアの安全保障』（日本評論社、2005年）
- 花井等編『名著に学ぶ国際関係論』（有斐閣、1999年）
- 広瀬佳一、宮坂直史編『対テロ国際協力の構図』（ミネルヴァ書房、2010年）
- 福田毅『アメリカの国防政策—冷戦後の再編と戦略文化』（昭和堂、2011年）
- 藤原帰一・李鍾元・古城佳子・石田淳編『国際政治講座4 国際秩序の変動』（東京大学出版会、2004年）
- 船橋洋一『同盟を考える—国々の生き方—』（岩波新書、1998年）
- 船橋洋一編『同盟の比較研究 冷戦後秩序を求めて』（日本評論社、2001年）
- 古矢旬『アメリカ 過去と現在の間』（岩波新書、2004年）
- ブル・ヘドリー『国際社会論—アナーキカル・ソサイエティ』（岩波書店、2000年）
- マイケル・グリーン、パトリック・クローニン編、川上高司監訳『日米同盟 米国の戦略』（勁草書房、1999年）
- 松岡完、広瀬佳一、竹中佳彦編『冷戦史 その起源・展開・終焉と日本』（同文館出版、2007年）
- 山本吉宣『「帝国」の国際政治学：冷戦後の国際システムとアメリカ』（東信堂、2006年）
- 山本吉宣編『アジア太平洋の安全保障とアメリカ』（彩流社、2005年）
- リチャード・J・サミュエルズ『日本防衛の大戦略 富国強兵からゴルディロックス・コンセンサスまで』（日本経済新聞出版社、2009年）
- 渡辺昭夫『アジア・太平洋の国際関係と日本』（東京大学出版会、1992年）

【和文論文】

- 浅野亮「「台頭する中国」と ASEAN—新たな東アジア秩序の摸索」黒柳米司編『ASEAN 再活性化への課題—東アジア共同体・民主化・平和構築』（明石書店、2011年）
- 伊豆山真理、兵頭慎治、松浦吉秀「2国間交流と安全保障—軍事交流を中心として—」『防衛研究所紀要』第3巻第3号（2001年2月）
- 伊藤庄一「ロシアの対アジア政策：中国・北朝鮮・インド・日本」日本国際問題研究所、平成15年度「イラク戦争後のプーチン政権の対外政策全般」（2004年3月31日）
- 伊藤裕子「冷戦後の米比同盟—基地撤廃、VFA、「対テロ戦争」と米比関係—」『国際政治』第150号（2007年11月）
- 岩下明裕「プーチン政権下の対中国アプローチとその特徴」スラブ研究センター21世紀COEプログラム「スラブ・ユーラシア学の構築」No.2 ロシア外交の現在II（2006年5月）
- 柿原国治「9.11パラダイム・シフト：対テロ戦争の行方と米国の新国防戦略」平和研レポート（2002年6月）
- 片原栄一「米豪同盟関係の動向と今後の課題」『防衛研究所紀要』第11巻第3号（2009年

3月)

- 菊地茂雄、塚本勝也「米軍の共同軍事演習の傾向とアジア太平洋の安全保障」『防衛研究所紀要』第6巻第2号(2003年12月)
- 小泉悠「露2020年までの『国家安全保障戦略』と東アジアの安全保障環境」早稲田大学アジア研究機構「アジア地域のネットワーク解析研究拠点構築」プロジェクトワーキングペーパーNo.3(2010年2月)
- 佐橋亮「中国の台頭とアジア太平洋における安全保障アーキテクチャの変容」『海外事情』第60巻1号(2012年1月)
- 神保謙「アジア太平洋の地域安全保障アーキテクチャと日米同盟」『日米関係の今後の展開と日本の外交』日本国際問題研究所(2011年3月)
- 鈴木滋「米軍の海外における災害救援と民生活動—「トモダチ作戦」の外交・軍事戦略的背景—」『レファレンス』2011年9月号(2011年9月)
- 高橋杉雄「アジア太平洋安全保障アーキテクチャと同盟の役割」『アジア太平洋の地域安全保障アーキテクチャー—地域安全保障の重層的構造—』東京財団政策研究(2010年8月)
- 高橋丈雄、川口貴久、米田富太郎「国際安全保障とコアリション:国際法学、軍事学、国際政治学の視点から、(2)その交錯」『中央学院大学社会システム研究所紀要』第9巻第2号(2009年3月)
- 玉木一徳「ASEAN諸国の安全保障協力」『国際問題』No.335(1988年2月)
- 長尾雄一郎、石津朋之、立川京一「戦闘空間の外延的拡大と軍事力の変遷」石津朋之編『戦争の本質と軍事力の諸相』(彩流社、2004年)
- 長尾雄一郎、立川京一、塚本勝也「冷戦終結後の軍事交流に関する研究」『防衛研究所紀要』第4巻第3号(2002年2月)
- 永野隆行「東南アジア国際関係の変容とオーストラリア—オーストラリアにとっての英米軍事プレゼンス—」日本国際政治学会編『国際政治』第134号(2003年11月)
- 兵頭慎治、秋本茂樹、山添博史「ロシアの国家安全保障戦略—ロシア経済、対中関係の視角から—」『防衛研究所紀要』第13巻第3号(2011年3月)
- 福嶋輝彦「対米同盟の中国市場の狭間で—中国の台頭に対応するオーストラリア—」『国際安全保障』第39巻第2号(2011年9月)
- 福田保「東南アジアにおける米国と中国の軍事ネットワークの比較」「日米中関係の中長期的展望」日本国際問題研究所(2012年3月)
- 堀本武功「インド域外外交の新段階」古賀正則、内藤雅雄、中村平治編『現代インドの展望』(岩波書店、1998年)
- 松田康博「中国の軍事外交試論—対外戦略における意図の解明—」『防衛研究所紀要』第8巻第1号(2005年10月)
- 道下徳成「第7章 自衛隊のシーパワーの発展と意義」立川京一、石津朋之、道下徳成、塚本勝也編『シー・パワー—その理論と実践—シリーズ軍事力の本質②』(芙蓉書房出版、2008年)
- 宮坂直史「テロリズム対策—本土防衛を中心に」近藤重克、梅本哲也編『ブッシュ政権の国防政策』(日本国際問題研究所、2002年)

- 森本敏 「「チーム・チャレンジ 01」 演習と日本のアジア戦略」『世界週報』（2001年5月29日）
- 山崎元泰 「大量破壊兵器不拡散体制の感激と PSI の意義—阻止体制の重層化に向けて—」『早稲田政経済学雑誌』 No. 365（2006年10月）
- 吉田修 「インドと旧ソ連・ロシア—国際関係の連続性と相違」スラブ研究センター21世紀 COE プログラム「スラブ・ユーラシア学の構築」No.2 ロシア外交の現在 I（2004年3月）

【英文書籍】

- Andrew J. Bacevich, *American Empire: the Realities and Consequences of U.S. Diplomacy* (Cambridge: Harvard University Press, 2002).
- Avery Goldstein, *Rising to the Challenge : China's Grand Strategy and International Security* (Stanford: Stanford University Press, 2005).
- Christopher Hubbard, *Australian and US Military Cooperation: Fighting Common Enemies* (Hampshire: Ashgate, 2005).
- Christopher Layne, *The Peace of Illusions: American Grand Strategy from 1940 to the Present* (Ithaca: Cornell University Press, 2006).
- David C. Kang, *China Rising: Peace, Power, and Order in East Asia* (New York: Columbia University Press, 2008).
- David M. Malone and Yuen Foong Khong, eds., *Unilateralism and U.S. foreign Policy: International Perspective*(Boulder: Lynne Rienner, 2003).
- David Shambaugh, *Power Shift: China and Asia's New Dynamics* (Berkeley: University of California Press, 2005).
- Donald W. Boose, Jr. Balbina Y. Hwang, Patrick Morgan, Andrew Scobell, eds., *Recalibrating the US-Republic of Korea Alliance* (Carlisle: Strategic Studies Institute of the US Army War College, 2003).
- Hasan H. Karrar, *The new Silk Road diplomacy: China's central Asian foreign policy since the Cold War* (Vancouver: UBC Press, 2009).
- James Cotton and John Ravenhill, eds., *Seeking Asian Engagement: Australia in World Affairs, 1991-1995*, (Melbourne: Oxford University Press, 1997).
- Jhon G. Ikenberry and Michael Mastanduno, eds., *International Relations Theory and the Asia-Pacific* (New York: Columbia University Press, 2003).
- John J. Mearsheimer, *The Tragedy of Great Power Politics*(New York: Norton, 2001).
- Jhon G. Ikenberry, *America Unrivaled: The Future of the Balance of Power* (Ithaca: Cornell University Press, 2003).
- Kevin Pollpete, *U.S.-China security management: Assessing the Military-to-Military Relationship*(Santa Monica: RAND, 2004).
- Michael Cox, Jhon Ikenberry and Takashi Inoguchi, eds., *American Democracy Promotion: Impulses, Strategies, and Impacts* (Oxford: Oxford University Press, 2000).

- Muthiah Alagapp, ed., *Asian Security Order: Instrumental and Normative Features* (Stanford: Stanford University Press, 2003).
- Peter J. Katzenstein, *A World of Regions: Asia and Europe in the American Imperium* (Ithaca: Cornell Studies in Political Economy, 2005).
- Peter J. Katzenstein and Takashi Shiraishi, eds., *Network Power: Japan in Asia* (Ithaca: Cornell University Press, 1997).
- Takashi Inoguchi, John G. Ikenberry and Yoichiro Sato, eds., *The U.S.-Japan Security Alliance: Regional Multilateralism*(Palgrave: Macmillan, 2011).
- T. J. Pempel, ed., *Remapping East Asia : the Construction of a Region*(Ithaca: Cornell University Press, 2005).
- Vojtech Mastny, Sven Holtsmark, and Andreas Wenger, eds., *War plans and Alliances in the Cold War: Threat Perceptions in the East and West*(London; New York: Routledge, 2006).

【英文論文】

- Alan Ryan, "Primary Responsibilities and Primary Risks. ADF Participation in the International Force East Timor," Study Paper No. 304(Land Warfare Studies Center, 2000), p.51.
- Amitav Acharya, "A Survey of Military Cooperation among the ASEAN States: Bilateralism or Alliance?," Occasional Paper No. 14(Centre for International and Strategic Studies, May 14, 1990).
- Andrew Chau, "Security Community and Southeast Asia, Australia, the U.S., and ASEAN's Counter-Terror Strategy," *Asian Survey*, Vol. 48, No. 4 (July/August 2008).
- Andrew T. H. Tan, "The the Five Power Defence Arrangements: The Continuing Relevance," *Contemporary Security Policy*, Vol.29, No.2 (August 2008).
- Ashok Sharma, "Indo-US Strategic Convergence: An Overview of Defense and Military Cooperation," CLAW Papers No. 2(2008).
- Bobby Ray. Gordon, "COE assists MPAT in HA/DR development," *The Center for Excellence's Center Works Quarterly*, Issue 6(Spring 2008).
- Bhubhindar Singh and See Seng, "Defence Diplomacy and Southeast Asia," From 'Boots' to 'Brogues: The Rise of Defence Diplomacy in Southeast Asia,' eds., Bhubhindar Singh & See Seng Tan, S. Rajaratnam School of International Studies, RSIS Monograph No. 21 (2011).
- Carlyle A. Thayer, "The Five Power Defence Arrangements Exercises and Their Contribution to Regional Security, 2004-2010," Paper for Conference on the Five Power Arrangements at Forty(March 2, 2011).
- Christine Fair, "US-Indian Army-to-Army Relations: Prospects for Future Coalition Operations", *Asian Security*, Vol. 1, No. 2 (April 2005).
- Christopher S. Ford, "Theater Security Cooperation Plan with China: Enabling a Blue Water Dragon," Naval War College(April 23, 2008).
- Dennin J. Blasko, 'People's Liberation Army and People's Armed Police Ground Exercises with Foreign Forces, 2002-2009,' Roy Kamphausen, David Lai and Andrew Scobell eds., *The PLA at*

- Home and Abroad: Assessing the Operational Capabilities of China's Military, Strategic Studies Institute, United States Army War College(June 2010).
- Emma Chanlett-Avery and Bruce Vaughn, "Emerging Trends in the Security Architecture in Asia: Bilateral and Multilateral Ties Among the United States , Japan, Australia, and India," *CRS Report for Congress* (January 7, 2008).
- Evan A. Laksmana, "Defence Diplomacy in Southeast Asia: Trends, Prospects and Challenges," Bhubhindar Singh and See Seng Tan eds, *From 'Boots' to 'Brogues: The Rise of Defence Diplomacy in Southeast Asia*, RSIS Monograph No. 21(2011).
- Gurpreet S Khurana, "China-India Maritime Rivalry," *Indian Defence Review*, Vol. 23. 4 (October-December 2008).
- Ian Storey, "China's Defence Diplomacy in Southeast Asia, Bhubhindar Singh and See Seng Tan eds., " *From 'Boots' to 'Brogues: The Rise of Defence Diplomacy in Southeast Asia*, RSIS Monograph No. 21(2011).
- Jae-Jeok Park, "A Comparative Case Study of the U.S.-Philippines Alliance in the 1990s and the U.S.-South Korea Alliance between 1998 and 2008," *Asian Survey*, Vol. 51, No. 2 (March/April 2011).
- James Kraska and Brian Wilson, "The Global Maritime Partnership and Somali Piracy," *Defense & Security Analysis*, Vol. 25, No. 3 (September 2009).
- John Bradford, "Shifting the Tides against Piracy in Southeast Asian Waters," *Asian Survey*, Vol. 48, No. 3 (May/June 2008), pp. 489-490.
- Kei Koga, "Regionalizing the Japan-US Alliance: Toward the Construction of a Peaceful Transition System in East Asia," *Issues and Insights*, Vol.10, No. 8. (March 2010).
- Keiichi Tsunekawa "Institutional Architecture for Asian Security: Clumsy Interactions and Poor Construction" BASC Working Paper Series 2006-03(November 2005).
- Kerry Lynn Nankivell, "The View from the West: RIMPAC, an Exercise in Politics," *Canadian Naval Review*, Vol. 4, No. 1(Spring 2008), pp. 37-38.
- Li Narangoa, "Mongolia and Preventive Diplomacy," *Asian Survey*, Vol. 49, No. 2 (March/April 2009).
- Lyle Goldstein and William Murray, 'International Submarine Rescue: A Constructive Role for China?' *Asia Policy*, No. 5 (January 2008).
- Michael L. Smith, "A Better Disaster Response: Building on a Solid Foundation," *Naval War College*(May 4 , 2009).
- Nina M. Serafino,"The Department of Defense Role in Foreign Assistance: Background, Major Issues, and Options for Congress," *CRS Report for Congress* (December 9, 2008).
- Pankaj Kumar Jha, "India's Defence Diplomacy in Southeast Asia," *Journal of Defence Studies*, Vol. 5, No. 1(January 2011).
- Patrick M. Morgan, "American Grand Strategy and the US-ROK Alliance," *Pacific Focus*, Vol. XXIV, No. 1 (April 2009).
- Paul L. Muller, USMC, "A Coalition Warm Starter," *Naval War College*(November 2007).

- Ralf Emmers, “The Role of the Five Power Defence Arrangements in the Southeast Asian Security Architecture,” RSIS Working Paper No. 195 (May 2010).
- Ramesh Thakur, “Australia’s Regional Engagement,” *Contemporary Southeast Asia*, Vol. 20, No. 1 (April 1998).
- Rahul Roy Chaudhry, “US Naval Policy in the Indian Ocean,” *Strategic Analysis*, Vol. 22, Issue 9 (December 1998).
- Ravi Tomar, “India-US Relations in a Changing Strategic Environment,” Research Paper No. 20, 2001-2002(Department of the Parliamentary Library, 2002).
- R. Nicholas Burns, “America’s Strategic Opportunity with India: The New U.S.-India Partnership” *Foreign Affairs*, Vol. 86, No. 6 (November/December 2007).
- Scott A. Weidie, U.S Navy, “Multinational Crisis Response in the Asia Pacific Region: The Multinational Planning Augmentation Team Model”, *Liaison*, Vol. 3, No.3 (2006).
- Shanthie Mariet D'Souza, “Indo-US Counter-Terrorism Cooperation: Rhetoric Versus Substance,” *Strategic Analysis*, Vol. 32, Issue 6 (November 2008).
- Sheldon W. Simon, “Theater Security Cooperation in the U.S. Pacific Command: An Assessment and Projection,” *NBR Analysis*, Vol. 14, No. 2(August 2003).
- Sheldon Simon, “The United States, Japan, and Australia: Security Linkages to Southeast Asia,” 2011 Pacific Symposium: The New Security Environment-Implications for American Security in the Asia-Pacific Region(April 4-5, 2011).
- Stewart Holbrook, Commander, United States N., “Bilateral vs. Multilateral Approach in Southeast Asia,” Naval War College(May 17, 2005).
- Victor Huang, “Building Maritime Security in Southeast Asia,” *Naval War College Review*, Vol. 61, No. 1(Winter 2008).
- V. P. Malik, “Indo-US Defense and Military Relations,” Sumit Ganguly, et al., eds., *US-Indian Strategic Cooperation into the 21st Century* (London & NY: Routledge, 2006).
- William E. Berry, Jr., “Threat Perception in the Philippines, Malaysia, and Singapore,” INSS Occasional Paper 16(September 1997).

【主なウェブサイト、その他】

- 防衛省 (<http://www.mod.go.jp/>)
- 外務省 (<http://www.mofa.go.jp/mofaj/index.html>)
- 米国防省 (<http://www.defense.gov/>)
- 米陸軍 (<http://www.army.mil/news>)
- 米海軍 (<http://www.navy.mil/index.asp>)
- 米空軍 (<http://www.af.mil/news/index.asp>)
- 米海兵隊 (<http://www.marines.mil/News.aspx>)
- 米太平洋軍 (<http://www.pacom.mil/>)
- 豪国防省 (<http://www.defence.gov.au/>)
- シンガポール国防省 (<http://www.mindef.gov.sg/imindef/home.html>)

インド国防省 (<http://mod.nic.in/>)

日本貿易振興機構アジア経済研究所アジア動向データベース

(http://d-arch.ide.go.jp/infolib/meta/MetDefault.exe?DEF_XSL=DIASearch&GRP_ID=G0000001&DB_ID=G0000001ASIADB&IS_TYPE=meta&IS_STYLE=default)

GlobalSecurity.org(<http://www.globalsecurity.org/>)

防衛省編『防衛白書』各年版

朝雲新聞社編『防衛ハンドブック』各年版

資 料

1 2国間演習(米日のみ軍種別)

1 米日

陸軍演習

年	月	演習名	資料源
1981	9	通信訓練(準備訓練)	『防衛ハンドブック』昭和58年版、朝雲新聞社編。
1981	9	通信訓練	『防衛ハンドブック』昭和58年版、朝雲新聞社編。
1982	2	指揮所訓練	『防衛ハンドブック』昭和58年版、朝雲新聞社編。
1982	6	指揮所訓練	『防衛ハンドブック』昭和59年版、朝雲新聞社編。
1982	9	通信訓練	『防衛ハンドブック』昭和59年版、朝雲新聞社編。
1982	11	実動訓練	『防衛ハンドブック』昭和59年版、朝雲新聞社編。
1982	12	指揮所訓練	『防衛ハンドブック』昭和59年版、朝雲新聞社編。
1983	5	指揮所訓練	『防衛ハンドブック』昭和60年版、朝雲新聞社編。
1983	10	実動訓練	『防衛ハンドブック』昭和60年版、朝雲新聞社編。
1983	11	指揮所訓練	『防衛ハンドブック』昭和60年版、朝雲新聞社編。
1984	5	指揮所訓練	『防衛ハンドブック』昭和60年版、朝雲新聞社編。
1984	9	実動訓練(総合訓練)	『防衛ハンドブック』昭和60年版、朝雲新聞社編。
1984	10	実動訓練(機能別訓練)	『防衛ハンドブック』昭和60年版、朝雲新聞社編。
1985	1	指揮所訓練	『防衛ハンドブック』昭和61年版、朝雲新聞社編。
1985	2	実動訓練(機能別訓練)	『防衛ハンドブック』昭和61年版、朝雲新聞社編。
1985	5	指揮所訓練	『防衛ハンドブック』昭和61年版、朝雲新聞社編。
1985	10	実動訓練(機能別訓練)	『防衛ハンドブック』昭和61年版、朝雲新聞社編。
1985	11	師団指揮所演習	『防衛ハンドブック』昭和61年版、朝雲新聞社編。
1985	11	実動訓練(総合訓練)	『防衛ハンドブック』昭和61年版、朝雲新聞社編。
1986	1	指揮所訓練	『防衛ハンドブック』昭和62年版、朝雲新聞社編。
1986	1	実動訓練(機能別訓練)	『防衛ハンドブック』昭和62年版、朝雲新聞社編。
1986	2	実動訓練(機能別訓練)	『防衛ハンドブック』昭和62年版、朝雲新聞社編。
1986	9	指揮所演習(YS-10)	『防衛ハンドブック』昭和62年版、朝雲新聞社編。
1986	10	師団指揮所演習	『防衛ハンドブック』昭和62年版、朝雲新聞社編。
1986	10	実動訓練(総合訓練)	『防衛ハンドブック』昭和62年版、朝雲新聞社編。
1986	11	実動訓練(機能別訓練)	『防衛ハンドブック』昭和62年版、朝雲新聞社編。
1987	1	指揮所演習(YS-11)	『防衛ハンドブック』昭和63年版、朝雲新聞社編。
1987	1	実動訓練(機能別訓練)	『防衛ハンドブック』昭和63年版、朝雲新聞社編。
1987	2	実動訓練(機能別訓練)	『防衛ハンドブック』昭和63年版、朝雲新聞社編。
1987	5	方面隊指揮所演習(YS-12)	『防衛ハンドブック』昭和63年版、朝雲新聞社編。
1987	11	師団指揮所演習	『防衛ハンドブック』昭和63年版、朝雲新聞社編。
1987	11	実動訓練(総合訓練)	『防衛ハンドブック』昭和63年版、朝雲新聞社編。
1987	12	実動訓練(機能別訓練)	『防衛ハンドブック』平成元年版、朝雲新聞社編。
1988	1	方面隊指揮所演習(YS-13)	『防衛ハンドブック』平成元年版、朝雲新聞社編。
1988	1	実動訓練(機能別訓練)	『防衛ハンドブック』平成元年版、朝雲新聞社編。
1988	2	実動訓練(機能別訓練)	『防衛ハンドブック』平成元年版、朝雲新聞社編。
1988	5	方面隊指揮所演習(YS-14)	『防衛ハンドブック』平成元年版、朝雲新聞社編。

2008	1	米陸軍との実動訓練	『防衛ハンドブック』平成21年版、朝雲新聞社編。
2008	2	米海兵隊との実動訓練	『防衛ハンドブック』平成21年版、朝雲新聞社編。
2008	3	実動訓練	防衛省編『防衛白書』平成20年版。
2008	7	方面隊指揮所演習(米国)	防衛省編『防衛白書』平成21年版。
2008	10	米国における諸職種協同訓練	防衛省編『防衛白書』平成21年版。
2008	11	米海兵隊との実動訓練	防衛省編『防衛白書』平成21年版。
2008	12	方面隊指揮所演習(日本)	防衛省編『防衛白書』平成21年版。
2009	1	米海兵隊との実動訓練その2	防衛省編『防衛白書』平成21年版。
2009	1-2	米国における実動訓練	防衛省編『防衛白書』平成21年版。
2009	1-2	米陸軍との実動訓練その1	防衛省編『防衛白書』平成21年版。
2009	3	米陸軍との実動訓練その2	防衛省編『防衛白書』平成21年版。
2009	7	日米共同方面隊指揮所演習(米国)	防衛省編『防衛白書』平成22年版。
2009	9	米国における米陸軍との実動訓練	防衛省編『防衛白書』平成22年版。
2009	10	米陸軍との実動訓練	防衛省編『防衛白書』平成22年版。
2009	10-11	米海兵隊との実動訓練	防衛省編『防衛白書』平成21年版。
2009	12	日米共同方面隊指揮所演習(日本)	防衛省編『防衛白書』平成22年版。

海軍演習

年	月	演習名	資料源
1981	2	対潜特別訓練	『防衛ハンドブック』昭和57年版、朝雲新聞社編。
1981	5	対潜訓練	『防衛ハンドブック』昭和58年版、朝雲新聞社編。
1981	6	小規模訓練	『防衛ハンドブック』昭和58年版、朝雲新聞社編。
1981	8	対潜訓練	『防衛ハンドブック』昭和58年版、朝雲新聞社編。
1981	9	対潜訓練	『防衛ハンドブック』昭和58年版、朝雲新聞社編。
1982	2	対潜訓練	『防衛ハンドブック』昭和58年版、朝雲新聞社編。
1982	8	対潜訓練	『防衛ハンドブック』昭和59年版、朝雲新聞社編。
1982	8	対潜訓練	『防衛ハンドブック』昭和58年版、朝雲新聞社編。
1982	8	小規模訓練	『防衛ハンドブック』昭和59年版、朝雲新聞社編。
1983	1	対潜訓練	『防衛ハンドブック』昭和59年版、朝雲新聞社編。
1983	8	小規模訓練	『防衛ハンドブック』昭和60年版、朝雲新聞社編。
1983	8	対潜訓練	『防衛ハンドブック』昭和60年版、朝雲新聞社編。
1984	2	掃海訓練	『防衛ハンドブック』昭和60年版、朝雲新聞社編。
1984	2	対潜訓練	『防衛ハンドブック』昭和60年版、朝雲新聞社編。
1984	6	日米共同指揮所訓練	『防衛ハンドブック』昭和60年版、朝雲新聞社編。
1984	7	掃海特別訓練	『防衛ハンドブック』昭和60年版、朝雲新聞社編。
1984	8	対潜特別訓練	『防衛ハンドブック』昭和60年版、朝雲新聞社編。
1984	8	小規模特別訓練	『防衛ハンドブック』昭和60年版、朝雲新聞社編。
1984	11	対潜特別訓練	『防衛ハンドブック』昭和60年版、朝雲新聞社編。
1985	2	掃海訓練	防衛庁編『防衛白書』昭和60年版。
1985	6	指揮所演習	『防衛ハンドブック』昭和61年版、朝雲新聞社編。
1985	7	掃海訓練	『防衛ハンドブック』昭和61年版、朝雲新聞社編。
1985	8	小規模訓練	『防衛ハンドブック』昭和61年版、朝雲新聞社編。
1985	8	対潜訓練	『防衛ハンドブック』昭和61年版、朝雲新聞社編。
1985	12	対潜訓練	『防衛ハンドブック』昭和62年版、朝雲新聞社編。
1986	2	掃海訓練	『防衛ハンドブック』昭和62年版、朝雲新聞社編。
1986	4	指揮所演習	『防衛ハンドブック』昭和62年版、朝雲新聞社編。
1986	6	対潜訓練	『防衛ハンドブック』昭和62年版、朝雲新聞社編。
1986	7	掃海訓練	『防衛ハンドブック』昭和62年版、朝雲新聞社編。
1986	7	小規模訓練	『防衛ハンドブック』昭和62年版、朝雲新聞社編。
1987	2	掃海訓練	『防衛ハンドブック』昭和63年版、朝雲新聞社編。

1989	5	防空戦闘訓練、戦闘機 戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成2年版、朝雲新聞社編。
1989	7	防空戦闘訓練、戦闘機 戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成2年版、朝雲新聞社編。
1989	9	防空戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成2年版、朝雲新聞社編。
1989	10	防空戦闘訓練、戦闘機 戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成2年版、朝雲新聞社編。
1989	10	戦闘機戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成2年版、朝雲新聞社編。
1989	10	戦闘機戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成2年版、朝雲新聞社編。
1989	12	救難訓練	『防衛ハンドブック』平成3年版、朝雲新聞社編。
1990	2	戦闘機戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成3年版、朝雲新聞社編。
1990	4	防空戦闘訓練、戦闘機 戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成3年版、朝雲新聞社編。
1990	5	戦闘機戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成3年版、朝雲新聞社編。
1990	7	戦闘機戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成3年版、朝雲新聞社編。
1990	7	防空戦闘訓練、戦闘機 戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成3年版、朝雲新聞社編。
1990	9	戦闘機戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成3年版、朝雲新聞社編。
1990	10	防空戦闘訓練、戦闘機 戦闘訓練(航空自衛隊 総合演習の際に実施)	『防衛ハンドブック』平成3年版、朝雲新聞社編。
1990	11	戦闘機戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成3年版、朝雲新聞社編。
1991	2	防空戦闘訓練、戦闘機 戦闘訓練、航空輸送訓 練	『防衛ハンドブック』平成4年版、朝雲新聞社編。
1991	5	防空戦闘訓練、戦闘機 戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成4年版、朝雲新聞社編。
1991	7	戦闘機戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成4年版、朝雲新聞社編。
1991	7	防空戦闘訓練、戦闘機 戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成4年版、朝雲新聞社編。
1991	8	防空戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成4年版、朝雲新聞社編。
1991	10	防空戦闘訓練(航空総 隊統合演習の際に実	『防衛ハンドブック』平成5年版、朝雲新聞社編。
1991	10	戦闘機戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成5年版、朝雲新聞社編。
1992	2	防空戦闘訓練、戦闘機 戦闘訓練、航空輸送訓 練	『防衛ハンドブック』平成5年版、朝雲新聞社編。
1992	3	救難訓練	『防衛ハンドブック』平成5年版、朝雲新聞社編。
1992	4	戦闘機戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成5年版、朝雲新聞社編。
1992	6	防空戦闘訓練、戦闘機 戦闘訓練、航空輸送訓 練、再発進準備訓練	『防衛ハンドブック』平成5年版、朝雲新聞社編。
1992	7	指揮所演習	『防衛ハンドブック』平成5年版、朝雲新聞社編。
1992	7	防空戦闘訓練、戦闘機 戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成5年版、朝雲新聞社編。
1992	10	防空戦闘訓練(航空総 隊統合演習の際に実	『防衛ハンドブック』平成5年版、朝雲新聞社編。
1992	11	戦闘機戦闘訓練、再発 進準備訓練	『防衛ハンドブック』平成5年版、朝雲新聞社編。
1993	2	救難訓練	『防衛ハンドブック』平成6年版、朝雲新聞社編。
1993	2	防空戦闘訓練、戦闘機 戦闘訓練、航空輸送訓 練、再発進準備訓練	『防衛ハンドブック』平成6年版、朝雲新聞社編。
1993	4	戦闘機戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成6年版、朝雲新聞社編。
1993	5	防空戦闘訓練、戦闘機 戦闘訓練、航空輸送訓 練、再発進準備訓練	『防衛ハンドブック』平成6年版、朝雲新聞社編。
1993	7	防空戦闘訓練、戦闘機 戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成6年版、朝雲新聞社編。

1993	9	防空戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成6年版、朝雲新聞社編。
1993	10	防空戦闘訓練(自衛隊総合演習の際に実施)	『防衛ハンドブック』平成6年版、朝雲新聞社編。
1993	11	防空戦闘訓練、戦闘機戦闘訓練、航空輸送訓練、再発進準備訓練	『防衛ハンドブック』平成6年版、朝雲新聞社編。
1994	2	防空戦闘訓練、戦闘機戦闘訓練、航空輸送訓練、再発進準備訓練	『防衛ハンドブック』平成7年版、朝雲新聞社編。
1994	6	指揮所演習	『防衛ハンドブック』平成7年版、朝雲新聞社編。
1994	7	防空戦闘訓練、戦闘機戦闘訓練、救難訓練	『防衛ハンドブック』平成7年版、朝雲新聞社編。
1994	10	防空戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成7年版、朝雲新聞社編。
1994	11	防空戦闘訓練、戦闘機戦闘訓練、航空輸送訓練、再発進準備訓練(航空総隊総合演習の際に実施)	『防衛ハンドブック』平成7年版、朝雲新聞社編。
1995	2	戦闘機戦闘訓練、航空輸送訓練	『防衛ハンドブック』平成8年版、朝雲新聞社編。
1995	2	防空戦闘訓練、戦闘機戦闘訓練、航空輸送訓練、再発進準備訓練	『防衛ハンドブック』平成8年版、朝雲新聞社編。
1995	7	防空戦闘訓練、戦闘機戦闘訓練、救難訓練	『防衛ハンドブック』平成8年版、朝雲新聞社編。
1995	10	戦闘機戦闘訓練(航空総隊総合演習の際に)	『防衛ハンドブック』平成8年版、朝雲新聞社編。
1995	11	防空戦闘訓練、戦闘機戦闘訓練、航空輸送訓練、再発進準備訓練	『防衛ハンドブック』平成8年版、朝雲新聞社編。
1996	2	防空戦闘訓練、戦闘機戦闘訓練、航空輸送訓練、再発進準備訓練	『防衛ハンドブック』平成9年版、朝雲新聞社編。
1996	2	防空戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成9年版、朝雲新聞社編。
1996	7	戦闘機戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成9年版、朝雲新聞社編。
1996	11	防空戦闘訓練、戦闘機戦闘訓練(航空自衛隊総合演習の際に実施)	『防衛ハンドブック』平成10年版、朝雲新聞社編。
1997	2	防空戦闘訓練、戦闘機戦闘訓練、再発進準備訓練	『防衛ハンドブック』平成10年版、朝雲新聞社編。
1997	3	防空戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成10年版、朝雲新聞社編。
1997	7	防空戦闘訓練、戦闘機戦闘訓練、救難訓練	『防衛ハンドブック』平成10年版、朝雲新聞社編。
1997	10	防空戦闘訓練(航空自衛隊総合演習の際に)	『防衛ハンドブック』平成10年版、朝雲新聞社編。
1997	11	防空戦闘訓練、戦闘機戦闘訓練、再発進準備訓練	『防衛ハンドブック』平成10年版、朝雲新聞社編。
1998	1	防空戦闘訓練、戦闘機戦闘訓練、再発進準備訓練	防衛庁編『防衛白書』平成10年版。
1998	7	防空戦闘訓練、戦闘機戦闘訓練、救難訓練	防衛庁編『防衛白書』平成11年版。
1998	7	指揮所演習	防衛庁編『防衛白書』平成11年版。
1998	10	防空戦闘訓練、戦闘機戦闘訓練(航空自衛隊総合演習の際に実施)	防衛庁編『防衛白書』平成11年版。

1999	2	防空戦闘訓練、戦闘機 戦闘訓練、再発進準備 訓練	防衛庁編『防衛白書』平成11年版。
1999	2	防空戦闘訓練	防衛庁編『防衛白書』平成11年版。
1999	6	防空戦闘訓練、戦闘機 戦闘訓練、再発進準備 訓練	『防衛ハンドブック』平成13年版、朝雲新聞社編。
1999	7	救難訓練	『防衛ハンドブック』平成13年版、朝雲新聞社編。
1999	7	指揮所演習	『防衛ハンドブック』平成13年版、朝雲新聞社編。
1999	11	防空戦闘訓練、戦闘機 戦闘訓練、再発進準備 訓練	『防衛ハンドブック』平成13年版、朝雲新聞社編。
2000	3	防空戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成13年版、朝雲新聞社編。
2000	5	防空戦闘訓練、戦闘機 戦闘訓練、再発進準備 訓練	『防衛ハンドブック』平成13年版、朝雲新聞社編。
2000	8	防空戦闘訓練、戦闘機 戦闘訓練、再発進準備 訓練	『防衛ハンドブック』平成13年版、朝雲新聞社編。
2000	12	救難訓練	『防衛ハンドブック』平成13年版、朝雲新聞社編。
2001	1	指揮所演習	防衛庁編『防衛白書』平成13年版。
2001	2	防空戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成14年版、朝雲新聞社編。
2001	4	防空戦闘訓練、戦闘機 戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成14年版、朝雲新聞社編。
2001	6	防空戦闘訓練、戦闘機 戦闘訓練、再発進準備 訓練	『防衛ハンドブック』平成14年版、朝雲新聞社編。
2001	7	戦闘機戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成14年版、朝雲新聞社編。
2001	11	防空戦闘訓練、戦闘機 戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成14年版、朝雲新聞社編。
2001	12	戦闘機戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成14年版、朝雲新聞社編。
2002	1	戦闘機戦闘訓練	防衛庁編『防衛白書』平成14年版。
2002	3	防空戦闘訓練	防衛庁編『防衛白書』平成14年版。
2002	4	防空戦闘訓練、戦闘機 戦闘訓練、再発進準備 訓練	『防衛ハンドブック』平成16年版、朝雲新聞社編。
2002	10	防空戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成16年版、朝雲新聞社編。
2003	1	指揮所演習	『防衛ハンドブック』平成16年版、朝雲新聞社編。
2003	3	防空戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成16年版、朝雲新聞社編。
2003	3	救難訓練	『防衛ハンドブック』平成16年版、朝雲新聞社編。
2003	5	防空戦闘訓練、戦闘機 戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成16年版、朝雲新聞社編。
2003	5	防空戦闘訓練、基地防 空訓練、戦術空輸訓練	『防衛ハンドブック』平成16年版、朝雲新聞社編。
2003	8	防空戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成16年版、朝雲新聞社編。
2003	11	防空戦闘訓練、戦闘機 戦闘訓練、再発進準備 訓練	『防衛ハンドブック』平成16年版、朝雲新聞社編。
2004	2	防空戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成19年版、朝雲新聞社編。
2004	2	救難訓練	『防衛ハンドブック』平成19年版、朝雲新聞社編。
2004	6	防空戦闘訓練、戦闘機 戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成19年版、朝雲新聞社編。
2004	6	救難訓練	『防衛ハンドブック』平成19年版、朝雲新聞社編。
2004	7	防空戦闘訓練、基地防 空訓練	『防衛ハンドブック』平成19年版、朝雲新聞社編。
2005	2	防空戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成19年版、朝雲新聞社編。
2005	5	防空戦闘訓練、戦闘機 戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成20年版、朝雲新聞社編。

2005	5	防空戦闘訓練、基地防空訓練	『防衛ハンドブック』平成20年版、朝雲新聞社編。
2005	6	戦闘機戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成20年版、朝雲新聞社編。
2005	6	防空戦闘訓練、戦闘機戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成20年版、朝雲新聞社編。
2005	7	防空戦闘訓練、空対地射爆撃訓練	『防衛ハンドブック』平成20年版、朝雲新聞社編。
2005	10	防空戦闘訓練、戦闘機戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成20年版、朝雲新聞社編。
2005	11	防空戦闘訓練、戦闘機戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成20年版、朝雲新聞社編。
2006	2	防空戦闘訓練、戦闘機戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成20年版、朝雲新聞社編。
2006	2	防空戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成20年版、朝雲新聞社編。
2006	3	救難訓練	『防衛ハンドブック』平成20年版、朝雲新聞社編。
2006	5	防空戦闘訓練、戦闘機戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成20年版、朝雲新聞社編。
2006	5	戦闘機戦闘訓練、防空戦闘訓練、空対地射爆撃訓練	『防衛ハンドブック』平成20年版、朝雲新聞社編。
2006	7	防空戦闘訓練、基地防空訓練	『防衛ハンドブック』平成20年版、朝雲新聞社編。
2006	12	防空戦闘訓練、戦闘機戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成20年版、朝雲新聞社編。
2007	3	戦闘機戦闘訓練(米軍再編に係る訓練移転)	『防衛ハンドブック』平成20年版、朝雲新聞社編。
2007	4	戦闘機戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成20年版、朝雲新聞社編。
2007	5	救難訓練	『防衛ハンドブック』平成20年版、朝雲新聞社編。
2007	5	戦闘機戦闘訓練(米軍再編に係る訓練移転)	『防衛ハンドブック』平成20年版、朝雲新聞社編。
2007	5	戦闘機戦闘訓練、防空戦闘訓練、空対地射爆撃訓練	『防衛ハンドブック』平成20年版、朝雲新聞社編。
2007	6	戦闘機戦闘訓練(米軍再編に係る訓練移転)	『防衛ハンドブック』平成20年版、朝雲新聞社編。
2007	7	防空戦闘訓練、基地防空訓練	『防衛ハンドブック』平成20年版、朝雲新聞社編。
2007	7	戦闘機戦闘訓練(米軍再編に係る訓練移転)	『防衛ハンドブック』平成20年版、朝雲新聞社編。
2007	9	戦闘機戦闘訓練(米軍再編に係る訓練移転)	『防衛ハンドブック』平成20年版、朝雲新聞社編。
2007	10	戦闘機戦闘訓練(米軍再編に係る訓練移転)	『防衛ハンドブック』平成20年版、朝雲新聞社編。
2007	11	戦闘機戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成20年版、朝雲新聞社編。
2008	1	戦闘機戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成21年版、朝雲新聞社編。
2008	2	戦闘機戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成21年版、朝雲新聞社編。
2008	2	戦闘機戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成21年版、朝雲新聞社編。
2008	2	戦闘機戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成21年版、朝雲新聞社編。
2008	3	防空戦闘訓練、戦闘機戦闘訓練	『防衛ハンドブック』平成21年版、朝雲新聞社編。
2008	4	要撃戦闘訓練	防衛省編『防衛白書』平成21年版。
2008	5	防空戦闘訓練	防衛省編『防衛白書』平成21年版。
2008	5	戦闘機戦闘訓練等	防衛省編『防衛白書』平成21年版。
2008	7	戦闘機戦闘訓練	防衛省編『防衛白書』平成21年版。
2008	9	戦闘機戦闘訓練	防衛省編『防衛白書』平成21年版。
2008	11	防空戦闘訓練	防衛省編『防衛白書』平成21年版。
2008	12	戦闘機戦闘訓練	防衛省編『防衛白書』平成21年版。
2008	12	戦闘機戦闘訓練	防衛省編『防衛白書』平成21年版。

2009	1-2	戦闘機戦闘訓練(コープ・ノース)	防衛省編『防衛白書』平成21年版。
2009	2	救難訓練	防衛省編『防衛白書』平成21年版。
2009	2	戦闘機戦闘訓練等	防衛省編『防衛白書』平成21年版。
2009	3	戦闘機戦闘訓練	防衛省編『防衛白書』平成21年版。
2009	4	戦闘機戦闘訓練	防衛省編『防衛白書』平成21年版。
2009	7	戦闘機戦闘訓練	防衛省編『防衛白書』平成22年版。
2009	9-10	戦闘機戦闘訓練、基地防空訓練	防衛省編『防衛白書』平成21年版。
2009	10	戦闘機戦闘訓練	防衛省編『防衛白書』平成21年版。
2009	11	戦闘機戦闘訓練	防衛省編『防衛白書』平成22年版。

統合演習

年	月	演習名	資料源
1986	2	指揮所演習	『防衛ハンドブック』昭和62年版、朝雲新聞社編。
1986	10	統合実動演習	『防衛ハンドブック』昭和62年版、朝雲新聞社編。
1987	7	指揮所演習	『防衛ハンドブック』昭和63年版、朝雲新聞社編。
1988	5	統合指揮所演習	『防衛ハンドブック』平成元年版、朝雲新聞社編。
1989	2	統合指揮所演習	『防衛ハンドブック』平成2年版、朝雲新聞社編。
1990	1	統合指揮所演習	『防衛ハンドブック』平成3年版、朝雲新聞社編。
1991	1	統合指揮所演習	『防衛ハンドブック』平成4年版、朝雲新聞社編。
1992	1	統合指揮所演習	『防衛ハンドブック』平成5年版、朝雲新聞社編。
1992	11	統合実動演習	『防衛ハンドブック』平成5年版、朝雲新聞社編。
1994	1	日米共同統合指揮所演習	『防衛ハンドブック』平成7年版、朝雲新聞社編。
1994	11	日米共同統合演習(指揮所演習)	『防衛ハンドブック』平成7年版、朝雲新聞社編。
1994	11	日米共同統合演習(実動演習)	『防衛ハンドブック』平成7年版、朝雲新聞社編。
1996	1	日米共同統合指揮所演習	『防衛ハンドブック』平成9年版、朝雲新聞社編。
1996	11	日米共同統合実動演習	『防衛ハンドブック』平成9年版、朝雲新聞社編。
1998	2	日米共同統合指揮所演習	防衛庁編『防衛白書』平成10年版。
1998	11	日米共同統合演習(実動演習)	防衛庁編『防衛白書』平成11年版。
2000	2	日米共同統合演習(指揮所演習)	『防衛ハンドブック』平成13年版、朝雲新聞社編。
2000	11	日米共同統合演習(実動演習)	『防衛ハンドブック』平成13年版、朝雲新聞社編。
2002	2	日米共同統合演習(指揮所演習)	防衛庁編『防衛白書』平成14年版。
2002	11	日米共同統合演習(実動演習)	『防衛ハンドブック』平成16年版、朝雲新聞社編。
2004	2	日米共同統合演習(指揮所演習)	『防衛ハンドブック』平成19年版、朝雲新聞社編。
2004	11	日米共同統合演習(実動演習)	『防衛ハンドブック』平成19年版、朝雲新聞社編。
2006	2	日米共同統合演習(指揮所演習)	『防衛ハンドブック』平成21年版、朝雲新聞社編。
2007	1	日米共同統合演習(指揮所演習)	『防衛ハンドブック』平成21年版、朝雲新聞社編。
2007	11	日米共同統合演習(実動演習)	『防衛ハンドブック』平成21年版、朝雲新聞社編。
2009	1	日米共同統合演習(指揮所演習)	防衛省編『防衛白書』平成21年版。

2007	7	日米共同弾道ミサイル 対処訓練	『防衛ハンドブック』平成21年版、朝雲新聞社編。
2008	7	日米共同弾道ミサイル 対処訓練	『防衛ハンドブック』平成21年版、朝雲新聞社編。

2 米豪

年	月	演習名	資料源
1981	2	Valiant Usher 81-3	Department of the Navy, "Command History," August 23, 1982. http://www.history.navy.mil/shiphist/t/lha-1/1981.pdf (2012年8月1日アクセス)
1981	10	Kangaroo 81	Royal Australian Navy, "HMAS Oxley(II)," http://www.navy.gov.au/HMAS_Oxley_(II) (2010年9月19日アクセス)
1981		Beacon South 81-2	Parliament of Australia, "Parlinfo Search, Answers to Questions, Defence Exercise," May 6, 1987.
1981		Beacon South 81-3	Parliament of Australia, Parlinfo Search, Answers to Questions, Defence Exercise, May 6, 1987.
1981		Pacific Bond 81	Parliament of Australia, Parlinfo Search, Answers to Questions, Defence Exercise, May 6, 1987.
1981		Pacific Reserve 81-2	Parliament of Australia, Parlinfo Search, Answers to Questions, Defence Exercise, May 6, 1987.
1981		Tropic Lightning 81-2	Parliament of Australia, Parlinfo Search, Answers to Questions, Defence Exercise, May 6, 1987.
1982	7	Pacific Reserve	Frank P. Donnini, <i>Anzus in Revision: Changing Defense Features of Australia and New Zealand in the Mid-1980s</i> (Alabama: Air University Press 1991), p. 169.
1982	7	Freedom Pennant	Frank P. Donnini, <i>Anzus in Revision: Changing Defense Features of Australia and New Zealand in the Mid-1980s</i> (Alabama: Air University Press 1991), p. 169.
1982	10	Thermal gale	Frank P. Donnini, <i>Anzus in Revision: Changing Defense Features of Australia and New Zealand in the Mid-1980s</i> (Alabama: Air University Press 1991), p. 169.
1982	10	Bomb Comp	Frank P. Donnini, <i>Anzus in Revision: Changing Defense Features of Australia and New Zealand in the Mid-1980s</i> (Alabama: Air University Press 1991), p. 169.
1982	11	Sandgroper	Frank P. Donnini, <i>Anzus in Revision: Changing Defense Features of Australia and New Zealand in the Mid-1980s</i> (Alabama: Air University Press 1991), p. 169.
1982		Pacific Bond 82	Parliament of Australia, Parlinfo Search, Answers to Questions, Defence Exercise, May 6, 1987.
1982		Silent Pearl 82-3	Parliament of Australia, Parlinfo Search, Answers to Questions, Defence Exercise, May 6, 1987.
1982		Tamex 82-5	Parliament of Australia, Parlinfo Search, Answers to Questions, Defence Exercise, May 6, 1987.
1983	1	Pacific Reserve	Frank P. Donnini, <i>Anzus in Revision: Changing Defense Features of Australia and New Zealand in the Mid-1980s</i> (Alabama: Air University Press 1991), p. 169.
1983	6	Volant Rodeo	Frank P. Donnini, <i>Anzus in Revision: Changing Defense Features of Australia and New Zealand in the Mid-1980s</i> (Alabama: Air University Press 1991), p. 170.
1983	9-10	Kangaroo 83	Royal Australian Navy, "HMAS Oxley(II)," http://www.navy.gov.au/HMAS_Oxley_(II) (2010年9月19日アクセス)
1983	10	Valiant Usher 83-2	"Marine Medium Helicopter Squadron-262," <i>GlobalSecurity.org</i> http://www.globalsecurity.org/military/agency/usmc/hmm-262.htm (2010年10月19日アクセス)

1983		Beacon South 81-2	Parliament of Australia, Parlinfo Search, Answers to Questions, Defence Exercise, May 6, 1987.
1983		Pacific Bond 83	Parliament of Australia, Parlinfo Search, Answers to Questions, Defence Exercise, May 6, 1987.
1983		Readex 83	Royal Australian Navy, "HMAS Swan(III)," http://www.navy.gov.au/HMAS_Swan_(III) (2010年10月19日アクセス)
1983		Silent Pearl 83-3	Parliament of Australia, Parlinfo Search, Answers to Questions, Defence Exercise, May 6, 1987.
1983		Tropic Lightning 83	Parliament of Australia, Parlinfo Search, Answers to Questions, Defence Exercise, May 6, 1987.
1984	5	Tamex 84-3	Royal Australian Navy, "HMAS Oxley(II)," http://www.navy.gov.au/HMAS_Oxley_(II) (2010年9月19日アクセス)
1984		Sandgroper	Royal Australian Navy, "HMAS Oxley(II)," http://www.navy.gov.au/HMAS_Oxley_(II) (2010年9月19日アクセス)
1985		Coral Sea	Parliament of Australia, Parlinfo Search, Answers to Questions, Defence Exercise, May 6, 1987.
1985		Pacific Bond 85	Parliament of Australia, Parlinfo Search, Answers to Questions, Defence Exercise, May 6, 1987.
1985		Silent Pearl 85-2	Parliament of Australia, Parlinfo Search, Answers to Questions, Defence Exercise, May 6, 1987.
1985		Silent Pearl 85-3	Parliament of Australia, Parlinfo Search, Answers to Questions, Defence Exercise, May 6, 1987.
1985		Silent Pearl 85-4	Parliament of Australia, Parlinfo Search, Answers to Questions, Defence Exercise, May 6, 1987.
1985		Silent Pearl 85-7	Parliament of Australia, Parlinfo Search, Answers to Questions, Defence Exercise, May 6, 1987.
1985		Tropic Lightning 85-2	Parliament of Australia, Parlinfo Search, Answers to Questions, Defence Exercise, May 6, 1987.
1986		Pacific Bond 86	Parliament of Australia, Parlinfo Search, Answers to Questions, Defence Exercise, May 6, 1987.
1986		Silent Pearl 86-1	Parliament of Australia, Parlinfo Search, Answers to Questions, Defence Exercise, May 6, 1987.
1986		Silent Pearl 86-4	Parliament of Australia, Parlinfo Search, Answers to Questions, Defence Exercise, May 6, 1987.
1986		Tropic Lightning 86-2	Parliament of Australia, Parlinfo Search, Answers to Questions, Defence Exercise, May 6, 1987.
1986		Valiant Usher 86-5	Parliament of Australia, Parlinfo Search, Answers to Questions, Defence Exercise, May 6, 1987.
1987		Pacific Reserve 87-1	Parliament of Australia, Parlinfo Search, Answers to Questions, Defence Exercise, May 6, 1987.
1988	11	Extendex 88-1	Royal Australian Navy, "HMAS Oxley(II)," http://www.navy.gov.au/HMAS_Oxley_(II) (2010年9月19日アクセス)
1989	8	Kangaroo 89	Royal Australian Navy, "HMAS Oxley(II)," http://www.navy.gov.au/HMAS_Oxley_(II) (2010年9月19日アクセス)
1991	11	Lungfish 91	Royal Australian Navy, HMAS Oxley(II) http://www.navy.gov.au/HMAS_Oxley_(II) (2010年9月19日アクセス)
1992		Kangaroo 92	Embassy of the United States, Australia-United States Ministerial Consultations Joint Communiqué, October 1, 1992. http://canberra.usembassy.gov/irc/us-oz/1992/10/01/communique.html (2010年8月2日アクセス)

1992		Tamex 92-4	Department of the Parliamentary Library, Auditing ANZUS, 1992, p. 11.
1994		Bell Thunder	"Dolphins Meet Navy 'Seals'," <i>Royal Australian Navy News</i> , Vol. 37, No. 13, July 15, 1994.
1994		Dugong	"Exercise Dugong," <i>Royal Australian Navy News</i> , Volume 37, No. 22, November 18, 1994.
1995	7-8	Kangaroo 95	Tom Worthington, "Web Reports from Exercise Kangaroo 95," June 29, 1999. http://www.tomw.net.au/nt/k95.html#defence1995n (2010年8月2日アクセス)
1996	4	Vector Flash Action 96-2	Jerry L. Thigpen, <i>The Praetorian STARShip : the untold story of the Combat Talon</i> (Alabama: Air University Press 2001), 427.
1996	5-6	Southern Frontier	United States Marine Corps, History Division, "Yearly Chronologies of the United States Marine Corps - 1996," http://www.tecom.usmc.mil/HD/Chronologies/Yearly/1996.htm (2012年2月15日アクセス)
1997	3	Tandem Thrust	"Tandem Thrust," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/tandem-thrust.htm (2009年10月22日アクセス)
1997		Day Cougar	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997-1998.
1997		Dugong/Shortscope 97	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997-1998.
1997		Extendex 97-3	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997-1998.
1997		Lungfish 97	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997-1998.
1997		Pacific Bond 97	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997-1998.
1997		Pacific Reserve 97	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997-1998.
1997		Silent Pearl	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997-1998.
1997		Vigilant Blade	"CI and HUMINT in Multinational Operations: The Lessons of Vigilant Blade 97," <i>Military Intelligence Professional Bulletin</i> , January-March 1999. http://www.fas.org/irp/agency/army/tradoc/usaic/mipb/1999-1/pick-rentner-dukate.htm (2010年2月14日アクセス)
1998	5	Pac Fleetex 99-1	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
1998	7	Extendex 98-3	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
1998	7-8	Day Cougar	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
1998	7-8	Pacific Bond 98	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
1998	8	Vigilant Shield 98	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
1998	8-9	Pacific Reserve 98	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
1998	10	Silent Pearl 98-3	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999
1998	11	Dugong 98	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.

1998	11	Tamex 98-2	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
1998		Cope Jabiru 98-1	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997-1998.
1998		Extendex 98-1	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997-1998.
1998		Extendex 98-2	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997-1998.
1998		Lungfish 98	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997-1998.
1998		Tamex 98-1	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997-1998.
1998		Valiant Usher 98	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997-1998.
1999	2	Vector Flash Action	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
1999	2-3	Gold Eagle 99	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
1999	3	Bell Thunder99	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
1999	3-4	Tandem Thrust 99	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
1999	4-5	Day Cougar	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
1999	5-6	Crocodile99 CPX	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
1999	6	Pacific Joint Task Force Ex (99-01)	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
1999	6-7	Pacific Bond	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1999-2000.
1999	7	Pac Jtfex 99-1	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1999-2000.
1999	11	Pac Jtfex 00-1	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1999-2000.
1999	11	Shoortscope/Dugong 99	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1999-2000.
1999	12	Lungfish 99	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1999-2000.
1999		Crocex 99	"DD975 O'Brien," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/agency/navy/dd-975.htm (2012年7月28日アクセス)
1999		Extendex Series	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1999-2000.
2000	1-2	Fleetex	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1999-2000.
2000	5	USN CVBG Aswex	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1999-2000
2000	6-7	Extendex Series	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2000-2001.
2000	6-7	Gold Eagle 00	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2000-2001.
2000	6-7	Pacific Bond 00	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2000-2001.
2000	7-8	Pacific Reserve 00-2	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2000-2001.
2000	7-8	Lungfish 00	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2000-2001.

2000	10-11	Computex Series	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2000-2001.
2001	2-3	Computex Series	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2000-2001.
2001	3	Gold Eagle	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2000-2001.
2001	4-5	Flash Action	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2000-2001.
2001	5	Tandem Thrust 01	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2000-2001.
2001	6-7	Gold Eagle 01	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2001-2002.
2001	7	Pacific Reserve 01	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2000-2001.
2001	7	Vigilant Shield	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2001-2002.
2001	7-9	Extendenx Series 01-4	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2001-2002.
2001	8	Lungfish 01	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2001-2002.
2001	9	Day Cougar 01	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2001-2002.
2001	9	Pacific Bond 01	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2001-2002.
2002	1-3	Extendenx Series 02-2	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2001-2002.
2002	4-6	Extendenx Series 02-3	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2001-2002.
2002	6-7	Gold Eagle 02	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2001-2002.
2002	6-8	Southern Frontier 2002	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2002-2003.
2002	7	Vigilant Blade 02	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2002-2003.
2002	7	Pacific Reserve 02	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2002-2003.
2002	7-8	Pacific Bond 02	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2002-2003.
2002	8	Lungfish 02	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2002-2003.
2002	9	Extendenx Series 02-4	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2002-2003.
2002	11	Computex 03-1	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2002-2003.
2003	3-4	Emu Moon 03	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2002-2003.
2003	4-5	Tandem Thrust 03	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2002-2003.
2003	5-7	Gold Eagle 03	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2003-2004.
2003	6	Extendenx Series 03-3	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2002-2003.
2003	6	Southern Frontier	Embassy of the United States, "U.S.-Australia Relations," http://brisbane.usvpp.gov/irc/us-oz/2003/ (2010年2月12日アクセス)
2003	6	Vigilant Shield 03	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2002-2003.
2003	7	Pacific Bond 03	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2003-2004.

2003	7	Pacific Reserve 03	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2003–2004.
2003	8	Crocex 2003	"Command History for 2003," January 14, 2005. http://www.uscarriers.net/ddg54history.htm (2012年7月29日アクセス)
2003	8	Lungfish 03	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2003–2004.
2003	9	Crocodile 03	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2003–2004.
2004	3	Gold Eagle 04	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2003–2004.
2004	9	Southern Frontier	Australian Government, Department of Defence, "US F/A-18 Hornet Crash in Australia– Pilot Ejected Safely," September 14, 2004. (2010年8月17日アクセス)
2005	3	Squadex	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2004–2005.
2005	5–6	Talisman Sabre 05	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2004–2005.
2005	9	Southern Frontier	Torii Teller, "Southern Frontier 2005," Volume 50, Number 32, September 2, 2005.
2005	9–10	Lungfish 05	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2005–2006.
2005	10	Vigilant pacific 05	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2005–2006.
2005	10–11	Dugong 05	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2005–2006.
2005		Air Warrior II 05	Official Committee Hansard, Senate, Foreign Affairs, Defence and Trade Legislation Committee, November 2, 2005.
2005		Gold Eagle 05	Official Committee Hansard, Senate, Foreign Affairs, Defence and Trade Legislation Committee, November 2, 2005.
2006	2–3	Extendex 06–1	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2005–2006.
2006	4	Vital Launch	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2005–2006.
2006	4	Lone Arrow 06	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2005–2006.
2006	5	Vital Prospect 06	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2005–2006.
2006	5	Tamex 06–2	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2005–2006.
2006	5–6	Aces North 06	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2005–2006.
2006	8	Lungfish 06	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2006–2007.
2006	9	Southern Frontier	United States Marine Corps, "Sole Marine provides postal services during Exercise Southern Frontier," September 26, 2006. (2013年3月12日アクセス)
2006	10–11	Gold Eagle 06	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2006–2007.
2006	12	Tamex 06–3	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2006–2007.
2007	2–3	Computex 07	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2006–2007.
2007	3	Carrier Air Wing 5	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2006–2007.
2007	5	Talisman Sabre 07	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007–2008.

2007	7	Southern Frontier	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007–2008.
2007	8	Passex	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007–2008.
2007	9	Comptex 07	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007–2008.
2007	10	UNCR Engagement	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007–2008.
2007	10	Vigilant Pacific 07	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007–2008.
2007	11	Air Warrior 07–2	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007–2008.
2008	3	Cobb Ring	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007–2008.
2008	3	Tamex 08–1	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007–2008.
2008	4–5	Blackwood	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007–2008.
2008	5	Austere Challenge	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007–2008.
2008	10	Dugong 08	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2008–2009.
2008	12	Aces North	United States Air Force, "Deployed Warbirds Participate in Australian Aces North Exercise, 2 December 8, 2008. http://www.af.mil/news/story.asp?id=123126702 (2010年2月13日アクセス)
2009	3	Tamex 09–1	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2008–2009.
2009	7	Talisman Saber	United States Air Force, "Exercise Talisman Saber Concludes," July 27, 2009. http://www.af.mil/news/story.asp?id=123160541 (2012年4月6日アクセス)
2009	9–10	Gold Eagle 09	The United States Marine Corps, "USMC Concepts & Programs 2010."
2009		Dugong	"Full fathom five," <i>The Navy Reservist</i> , Issue #2, December 17, 2009. p. 13.

3 米印

年	月	演習名	資料源
1992		Malabar	V. P. Malik, "Indo-US Defense and Military Relations," Sumit Ganguly, et al., eds., <i>US-Indian Strategic Cooperation into the 21st Century</i> (London & NY: Routledge, 2006), p. 84.
1992	2	Teak Iroquise	Jyotika Saksena and Suzette Grillot, "The Emergence of Indo-US Defense Cooperation," Gary K Bertsch, et al., eds., <i>Engaging India: US Strategic Relations with the World's Largest Democracy</i> (London & NY: Routledge, 1999), p. 158.
1993	10	Teak Iroquise	Jyotika Saksena and Suzette Grillot, "The Emergence of Indo-US Defense Cooperation," Gary K Bertsch, et al., eds., <i>Engaging India: US Strategic Relations with the World's Largest Democracy</i> (London & NY: Routledge, 1999), p. 158.
1994	9	Flash Iroquise	V. P. Malik, "Indo-US Defense and Military Relations," Sumit Ganguly, et al., eds., <i>US-Indian Strategic Cooperation into the 21st Century</i> (London & NY: Routledge, 2006), p. 84.

1995		Malabar	V. P. Malik, "Indo-US Defense and Military Relations," Sumit Ganguly, et al., eds., <i>US-Indian Strategic Cooperation into the 21st Century</i> (London & NY: Routledge, 2006), p. 84.
1995		Teak Iroquise 95-4	Jerry L. Thigpen, <i>The Praetorian STARShip : the untold story of the Combat Talon</i> (Alabama: Air University Press 2001), p. 411.
1996	9	Flash Iroquise	V. P. Malik, "Indo-US Defense and Military Relations," Sumit Ganguly, et al., eds., <i>US-Indian Strategic Cooperation into the 21st Century</i> (London & NY: Routledge, 2006), p. 84.
1996		Malabar	V. P. Malik, "Indo-US Defense and Military Relations," Sumit Ganguly, et al., eds., <i>US-Indian Strategic Cooperation into the 21st Century</i> (London & NY: Routledge, 2006), p. 84.
2001	1	Yudh Abhyas	United States Army Pacific, "Yudh Abhyas Exercise History," http://www.usarpac.army.mil/ya10/history.asp (2011年1月14日アクセス)
2002	5	Blance Iroquois	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2002-2003.
2002	10	Cope India	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2002-2003.
2002	9-10	Geronimo Thrust 02-1	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2002-2003.
2002	9-10	Malabar 2002	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2002-2003.
2002		Sarex	"Indo-US Naval Cooperation," <i>Indianetzone</i> , December 1, 2009. http://www.indianetzone.com/37/indo-us_cooperation_indian_navy.htm (2010年4月11日アクセス)
2003	4	Balance Iroquois 03-1/Vajra Prahar 03-1	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2003-2004.
2003	7	Sarex 2003	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2003-2004.
2003	9	Balance Iroquois 03-4/Vajra Prahar 03-3	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2003-2004.
2003	10	Malabar CY-2003	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2003-2004.
2004	3	Yudh Abhyas 2004	United States Army Pacific, "Yudh Abhyas Exercise History," http://www.usarpac.army.mil/ya10/history.asp (2011年1月14日アクセス)
2004	7	Yudh Abhyas 2004	United States Army Pacific, "Yudh Abhyas Exercise History," http://www.usarpac.army.mil/ya10/history.asp (2011年1月14日アクセス)
2004	2	Cope India 04	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2003-2004.
2004	9	Balance Iroquois/Vajra Prahar	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2004-2005.
2004	10	(Flash Iroquise) Sangam 04	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2004-2005.
2004	10	Malabar CY-04	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2004-2005.
2005	1	Shatrujeet 05	"Marines Take to Kabaddi during Indo-US Army Exercise," <i>Outlookindia.com</i> , October 31, 2006. http://news.Outlookindia.com/printitem.aspx?426114 (2011年7月20日アクセス)
2005	9	Malabar CY-2005	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2005-2006.

2005	9	Salvex CY-05	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2005-2006.
2005	9	Yudh Abhyas 05-01	United States Army Pacific, "Yudh Abhyas Exercise History," http://www.usarpac.army.mil/ya10/history.asp (2011年1月14日アクセス)
2005	11	Cope India 05	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2005-2006.
2005		Yudh Abhyas 05-02	United States Army Pacific, "Yudh Abhyas Exercise History," http://www.usarpac.army.mil/ya10/history.asp (2011年1月14日アクセス)
2006	1	Yudh Abhyas 06-01	United States Army Pacific, "Yudh Abhyas Exercise History," http://www.usarpac.army.mil/ya10/history.asp (2011年1月14日アクセス)
2006	9	Yudh Abhyas 06-02	United States Army Pacific, "Yudh Abhyas Exercise History," http://www.usarpac.army.mil/ya10/history.asp (2011年1月14日アクセス)
2006	10	Malabar 2006	United States Navy, "Boxer Expeditionary Strike Group, Indian Navy Begin Exercise Malabar 2006," October, 27, 2006. http://www.navy.mil/search/display.asp?story_id=26296 (2011年7月28日アクセス)
2006	10	Shatrujeet	Marine Corps News Room, "Shatrujeet a Success for Marines," November 8, 2006. http://www.marine-corp-news.com/2006/11/shatrujeet_a_success_for_marin.htm (2011年7月20日アクセス)
2007	4	MALABAR 2007-1	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2007-2008.
2007	9	MALABAR 2007-2	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2007-2008.
2007	9	Yudh Abhyas 07-01	United States Army Pacific, "Yudh Abhyas Exercise History," http://www.usarpac.army.mil/ya10/history.asp (2011年1月14日アクセス)
2007	10	Salvex CY-07	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2007-2008.
2007	11	Yudh Abhyas 07-02	United States Army Pacific, "Yudh Abhyas Exercise History," http://www.usarpac.army.mil/ya10/history.asp (2011年1月14日アクセス)
2008	3	Shatrujeet 2008	Pakistan Defense, "Exercise Shatrujeet 2008 a Learning Experience for "Blackhearts", Gorkhas," March 15, 2008. http://www.defence.pk/forums/military-photos-multimedia/10680-exercise-shatrujeet-2008-marines.html (2011年7月20日アクセス)
2008	8	Vajra Prahar 08-1	Embassy of India, India-US Defense Relations http://www.indianembassy.org/india-us-defense-relations.php (2011年7月17日アクセス)
2008	8	Vajra Prahar 08-2	Embassy of India, India-US Defense Relations http://www.indianembassy.org/india-us-defense-relations.php (2011年7月17日アクセス)
2008	9	Habunag 08	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2008-2009.
2008	10	Malabar 08	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2008-2009.
2008	10-11	Yudh Abhyas 08	United States Army Pacific, "Yudh Abhyas Exercise History," http://www.usarpac.army.mil/ya10/history.asp (2011年1月14日アクセス)
2009	4-5	Malabar CY 09	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2009-2010.

2009	10	Yudh Abhyas 09	United States Army Pacific, "Yudh Abhyas Exercise History," http://www.usarpac.army.mil/ya10/history.asp (2011年1月14日アクセス)
2009	10	Cope India	United States Air Force, "Exercise Cope India begins," October 21, 2009. http://www.af.mil/news/story.asp?id=123173876 (2012年7月28日アクセス)
2009	10	Yudh Abhyas 09	United States Army Pacific, "Yudh Abhyas Exercise History," http://www.usarpac.army.mil/ya10/history.asp (2011年1月14日アクセス)

4 米露

年	月	演習名	資料源
1994	6	合同海軍演習	防衛庁編『防衛白書』平成7年版。
1998		(演習名記載なし)	United States Navy, "Patriot, Lassen Strengthen U.S.-Russia Alliance with Conclusion of Pacific Eagle," October 3, 2007. http://www.navy.mil/submit/display.asp?story_id=32281 (2011年8月22日アクセス)
2005		共同演習	"State of the Russian Navy," <i>Russian Military analysis</i> , http://warfare.ru/?linkid=1720&catid=243&fleet=PAC (2011年8月23日アクセス)
2006		Passex 2006	United States Navy, "Current Collection," March 27, 2006. http://www.navy.mil/view_photos.asp?page=3218&sort_type=1&sort_row=1 (2011年8月23日アクセス)
2007	9	Pacific Eagle	United States Navy, "Patriot, Lassen Strengthen U.S.-Russia Alliance with Conclusion of Pacific Eagle," October 3, 2007. http://www.navy.mil/submit/display.asp?story_id=32281 (2011年8月22日アクセス)

5 米中

年	月	演習名	資料源
2006	9	共同搜索救難演習	防衛省編『防衛白書』平成19年版。
2006	11	共同搜索救難演習	防衛省編『防衛白書』平成19年版。

6 豪日

年	月	演習名	資料源
1998	10	Japan/Tokyo Bay	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
1999	5	Japan/Australia/NAXA	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
2000	10	Goodwillex	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2000-2001.
2002	10	Goodwillex 02	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2002-2003.
2004		Goodwill 04	Official Committee Hansard, Senate, Foreign Affairs, Defence and Trade Legislation Committee, November 2, 2005.
2006	5-6	Goodwillex 06	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2005-2006.
2009	9	日豪共同訓練	「平成21年度政策評価書(総合評価)」 http://www.mod.go.jp/j/approach/hyouka/seisaku/results/21/sougou/honbun/01.pdf (2012年7月25日アクセス)

7 豪中

年	月	演習名	資料源
2004	10	搜索救難演習	「中・豪海軍、初の合同救助演習が無事終了」『人民日報日本語版』2004年10月15日。 http://j.peopledaily.com.cn/2004/10/15/print20041015_44335.html (2009年1月21日アクセス)

8 中露

年	月	演習名	資料源
1999		海軍演習	Stephen Blank, "Defense diplomacy, Chinese Style," <i>Asia Times Online</i> , November 11, 2003. http://www.atimes.com/atimes/China/EK11Ad02.html (2012年2月28日アクセス)
2000		海軍演習	Stephen Blank, "Defense diplomacy, Chinese Style," <i>Asia Times Online</i> , November 11, 2003. http://www.atimes.com/atimes/China/EK11Ad02.html (2012年2月28日アクセス)
2003		不法越境者検挙演習	Dennin J. Blasko, "People's Liberation Army and People's Armed Police Ground Exercises with Foreign Forces, 2002-2009," Roy Kamphausen, David Lai and Andrew Scobell eds., <i>The PLA at Home and Abroad: Assessing the Operational Capabilities of China's Military</i> , Strategic Studies Institute, United States Army War College, June 2010. p. 384.
2005	8	Peace mission2005	防衛庁編『防衛白書』平成18年版。
2007	8	Peace mission2007	防衛省編『防衛白書』平成20年版。
2009	7	平和の使命 2009	防衛省編『防衛白書』平成22年版。
2009		国境封鎖演習	Dennin J. Blasko, "People's Liberation Army and People's Armed Police Ground Exercises with Foreign Forces, 2002-2009," Roy Kamphausen, David Lai and Andrew Scobell eds., <i>The PLA at Home and Abroad: Assessing the Operational Capabilities of China's Military</i> , Strategic Studies Institute, United States Army War College, June 2010. p. 428. Yu Bin, "China-Russia Relations: "Between Crisis and Cooperation," <i>Comparative Connections, A Quarterly E-Journal on East Asian Bilateral Relations</i> , April 2009.

9 露印

年	月	演習名	資料源
2003	5	Indra 2003	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2003-2004.
2005	10	Indra 05	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2005-2006.
2005	10	Indra 05	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2005-2006.
2007	4	Indra 2007	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2007-2008.
2007	9	Indra 07	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2007-2008.
2009	1	Indra 01/09	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2009-2010.

10 中印

年	月	演習名	資料源
---	---	-----	-----

2003	11	Dolphin 0311	"Indian Warship Fleet Winds up Visit," <i>Chinadaily</i> , November 14, 2003. http://www.chinadaily.com.cn/en/doc/2003-11/14/content_281740.htm (2011年3月21日アクセス)
2004	8	(演習名記載なし)	Dennin J. Blasko, "People's Liberation Army and People's Armed Police Ground Exercises with Foreign Forces, 2002-2009," Roy Kamphausen, David Lai and Andrew Scobell eds., <i>The PLA at Home and Abroad: Assessing the Operational Capabilities of China's Military</i> , Strategic Studies Institute, United States Army War College, June 2010. p. 427.
2005	11	合同捜索・救難演習	防衛省編『防衛白書』平成19年版。
2007	4	通信訓練	防衛省編『防衛白書』平成19年版。
2007	12	Hand in Hand(握手2007)	防衛省編『防衛白書』平成20年版。
2008	12	Hand in Hand	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2008-2009.

11 露日

年	月	演習名	資料源
1998	7	日露捜索・救難共同訓練	防衛庁編『防衛白書』平成11年版。
1999	9	日露捜索・救難共同訓練	防衛庁編『防衛白書』平成12年版。
2000	9	日露捜索・救難共同訓練	防衛庁編『防衛白書』平成13年版。
2001	9	日露捜索・救難共同訓練	防衛庁編『防衛白書』平成14年版。
2003	9	日露捜索・救難共同訓練	防衛庁編『防衛白書』平成16年版。
2004	9	日露捜索・救難共同訓練	防衛庁編『防衛白書』平成17年版。
2005	6	日露捜索・救難共同訓練	防衛庁編『防衛白書』平成18年版。
2006	10	日露捜索・救難共同訓練	防衛省編『防衛白書』平成22年版。
2007	8	日露捜索・救難共同訓練	防衛省編『防衛白書』平成22年版。
2008	9	日露捜索・救難共同訓練	防衛省編『防衛白書』平成22年版。

12 米韓

年	月	演習名	資料源
1981	4	Team Spirit	川上高司『米軍の前方展開と日米同盟』同文館出版、2004年、240頁。
1981	8	Kernel Usher 81-7/Twin Dragon XVI	"United States Ship Monticello(LSD35)," http://www.ussmonticello.com/moboat_history.pdf (2013年3月12日アクセス)
1981	12	ASWEX 82-1K	"Narrative Events of 1981," http://www.sterett.org/public/31shiphistory/1981.htm (2011年1月16日アクセス)
1982	2	Team Spirit	川上高司『米軍の前方展開と日米同盟』同文館出版、2004年、240頁。
1982	3	Multiplex 1-82/Tae Kwon Do	"DD 967 Elliot, Courage, Honor, Integrity," <i>GlobalSecurity.org</i> . http://www.globalsecurity.org/military/agency/navy/dd-967.htm (2011年1月23日アクセス)

1983	2-4	Team Spirit	川上高司『米軍の前方展開と日米同盟』同文館出版、2004年、240頁。
1983	6	Valiant Blitz	"Valiant Blitz," <i>GlobalSecurity.org</i> . http://www.globalsecurity.org/military/ops/valiant-blitz.htm (2009年10月22日アクセス)
1983	9	Tae Kwon Do	"DD 967 Elliot, Courage, Honor, Integrity," <i>GlobalSecurity.org</i> . http://www.globalsecurity.org/military/agency/navy/dd-967.htm (2011年1月23日アクセス)
1983		Ulchi Focus Lens	Marine Corps, Mobile Military Radar, March 29, 2011. http://www.mobileradar.org/unit_1_75.html (2011年3月29日アクセス)
1984	2-4	Team Spirit	川上高司『米軍の前方展開と日米同盟』同文館出版、2004年、240頁。
1984	8	Ulchi Focus Lens	「アジア動向データベース」日本貿易振興機構アジア経済研究所 http://d-arch.ide.go.jp/infolib/meta/MetDefault.exe?DEF_XSL=DIASearch&GRP_ID=G0000001&DB_ID=G0000001ASIADB&IS_TYPE=meta&IS_STYLE=default (2013年3月4日アクセス)
1984		Valiant Blitz85-1KS	Robert R. Scofield, "History of the USS Schenectady (LST1185)," http://www.ussschenectadylst1185.org/History%20of%20the%20USS%20Schenectady.pdf (2012年7月24日アクセス)
1985	2-4	Team Spirit	川上高司『米軍の前方展開と日米同盟』同文館出版、2004年、240頁。
1985	9	Tae Kwon Do XLVII/Aswex 85-4K	DD 967 Elliot, Courage, Honor, Integrity," http://www.globalsecurity.org/military/agency/navy/dd-967.htm (2011年1月23日アクセス)
1985		Ulchi Focus Lens	「アジア動向データベース」日本貿易振興機構アジア経済研究所 http://d-arch.ide.go.jp/infolib/meta/MetDefault.exe?DEF_XSL=DIASearch&GRP_ID=G0000001&DB_ID=G0000001ASIADB&IS_TYPE=meta&IS_STYLE=default (2013年3月4日アクセス)
1986	2-4	Team Spirit	川上高司『米軍の前方展開と日米同盟』同文館出版、2004年、240頁。
1986	10	ASW exercise	Naval History and Heritage Command, "Berkeley," February 9, 2006. http://www.history.navy.mil/danfs/b5/berkeley-i.htm (2012年7月24日アクセス)
1986		Tae Kwan Do 86-1	"DD-975 O'Brien, Loyalty, Unity, Freedom," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/agency/navy/dd-975.htm (2012年7月24日アクセス)
1987	2-5	Team Spirit	川上高司『米軍の前方展開と日米同盟』同文館出版、2004年、240頁。
1987	10	Valiant Blitz 88-1	"USS Duluth (LPD 6)," http://www.navysite.de/ships/lpd6.htm (2010年10月19日アクセス)
1987		Ulchi Focus Lens 87	Marine Corps, Mobile Military Radar, March 29, 2011. http://www.mobileradar.org/unit_1_75.html (2011年3月29日アクセス)
1988	2-5	Team Spirit	川上高司『米軍の前方展開と日米同盟』同文館出版、2004年、240頁。
1988	11	Valiant Blitz 89-1	Department of the Navy, "Command History for Calendar Year 1988," http://www.history.navy.mil/shiphist/o/lpd-5/1988.pdf (2012年7月24日アクセス)
1989	1-4	Team Spirit	川上高司『米軍の前方展開と日米同盟』同文館出版、2004年、240頁。

1989	10	Pacex 89	平和・安全保障研究所『アジアの安全保障 1990—1991年』朝雲新聞社、1990年。
1989	10	Valiant Blitz	"USS Barbour Country(LST 1195)," http://navysite.de/lst/lst1195.htm (2010年2月4日アクセス)
1990	1-4	Team Spirit	防衛庁編『防衛白書』平成2年版。
1990		Valiant Blitz 90	"Valiant Blitz," <i>GlobalSecurity.org</i> . http://www.globalsecurity.org/military/ops/valiant-blitz.htm (2009年10月22日アクセス)
1991	1-4	Team Spirit	防衛庁編『防衛白書』平成3年版。
1991	7	ASWEX 91-2K	Department of the Navy, "Command History," April 18, 1992. http://www.history.navy.mil/shiphist/t/ffg-43/1991.pdf (2013年2月11日アクセス)
1991	11	Foal Eagle 91	"36FS/CC History," http://mindlace.com/fiends/history.htm#Top (2013年3月11日アクセス)
1991		Valiant Blitz	"History of Marine Medium Helicopter Squadron 364," http://www.hmm-364.org/history.html (2010年2月4日アクセス)
1992	8	Ulchi Focus Lens	United States Marine Corps, History Division, "Yearly Chronologies of the United States Marine Corps - 1992," http://www.tecom.usmc.mil/HD/Chronologies/Yearly/1992.htm (2011年1月20日アクセス)
1992	11	ASWEX 93-1K	Department of the Navy, "1992 Command History for USS Curts(FFG 38)," July 24, 1993. http://www.history.navy.mil/shiphist/c/ffg-38/1992.pdf (2013年3月11日アクセス)
1992	11	Foal Eagle	"36FS/CC History," http://mindlace.com/fiends/history.htm#Top (2013年3月11日アクセス)
1993	8-9	Ulchi Focus Lens 93	Department of the Army, "Historical Summary: FY 1993," p. 50. http://www.history.army.mil/books/DAHSUM/1993/ch04.htm (2012年7月24日アクセス)
1993	11	Valiant Blitz 94	"USSO'Brien (DD 975)," http://www.united-states-navy.com/dd/dd975.htm (2010年2月4日アクセス)
1993		Team Spirit	防衛庁編『防衛白書』平成5年版。
1994	4	RSOI(連合戦時増援演習)	"Reception, Staging, Onward movement, and Intergration," <i>GlobalSecurity.org</i> . http://www.globalsecurity.org/military/ops/rsoi.htm (2009年10月22日アクセス)
1994	8	Ulchi Focus Lens 94	United States Marine Corps, History Division, "Yearly Chronologies of the United States Marine Corps - 1994," http://www.tecom.usmc.mil/HD/Chronologies/Yearly/1994.htm (2011年1月20日アクセス)
1995	10	Foal Eagle	"Marine Medium Helicopter Squadron-262," <i>GlobalSecurity.org</i> . http://www.globalsecurity.org/military/agency/usmc/hmm-262.htm (2012年7月24日アクセス)
1995		Ulchi Focus Lens 95	United States Marine Corps, History Division, "Yearly Chronologies of the United States Marine Corps - 1995," http://www.tecom.usmc.mil/HD/Chronologies/Yearly/1995.htm (2011年1月20日アクセス)
1996	8	ULCHI-FOCUS Lens 96	"Marine Heavy Helicopter Squadron-466," <i>GlobalSecurity.org</i> . http://www.globalsecurity.org/military/agency/usmc/hmh-466.htm (2012年7月24日アクセス)

1997	8	Ulchi Focus Lens	"Ulchi-Focus Lens '97," <i>JFG</i> (Autumn and Winter, 1997-98)
1997		Foal Eagle 97	"Marine Medium Helicopter Squadron-262," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/agency/usmc/hmm-262.htm (2012年7月24日アクセス)
1997		Valiant Blitz 97	"Valiant Blitz," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.grobalsecurity.org/military/ops/valiant-blitz.htm (2009年10月22日アクセス)
1998		Foal Eagle 98	"DDG54-USS Curtis Wilbur," http://www.seaforces.org/usnships/ddg/DDG-54-USS-Curtis-Wilbur.htm (2011年1月18日アクセス)
1998		Sharem 127	"USS Curtis Wilbur DDG54," October 2, 2009. http://www.uscarriers.net/ddg54history.htm (2010年2月5日アクセス)
1998		Ulchi Focus Lens	"Ulchi-Focus Lens," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.grobalsecurity.org/military/ops/ulchi-focus-lens.htm (2009年10月20日アクセス)
1999		Foal Eagle	"USS Cushing," http://navysite.de/dd/dd985.htm (2012年7月24日アクセス)
1999		Ulchi Focus Lens	"Ulchi-Focus Lens," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.grobalsecurity.org/military/ops/ulchi-focus-lens.htm (2009年10月20日アクセス)
2000	10	Foal Eagle	防衛庁編『防衛白書』平成13年版。
2000		Sharem 132	Department of the Navy, "Command History for 2000," http://www.history.navy.mil/shiphist/c/ddg-54/2000.pdf (2012年7月24日アクセス)
2000		Ulchi Focus Lens	"Ulchi-Focus Lens," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.grobalsecurity.org/military/ops/ulchi-focus-lens.htm (2009年10月20日アクセス)
2001	3	Rapid Thunder	Ralph A. Cossa, "Regional Overview: Bush Asia Policy off to a Rocky Start," http://csis.org/files/media/isis/pubs/0101qoverview.pdf (2012年7月24日アクセス)
2001	7	Csofex	"USS John S. McCain(DDG56)," http://www.navysite.de/dd/ddg56.htm (2011年1月18日アクセス)
2001	11	Foal Eagle	"RSOI/Foal Eagle," <i>GlobalSecurity.org</i> . http://www.globalsecurity.org/military/ops/rsoi-foal-eagle-2001.htm (2009年10月20日アクセス)
2001		RSOI(連合戦時増援演習)	"Reception, Staging, Onward Movement, and Intergration," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.glabalsecurity.org/military/ops/rsoi.htm (2009年10月22日アクセス)
2001		Ulchi Focus Lens	"Ulchi-Focus Lens," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.grobalsecurity.org/military/ops/ulchi-focus-lens.htm (2009年10月20日アクセス)
2002	3	Csofex 02	"DDG54-USS Curtis Wilbur," http://www.seaforces.org/usnships/ddg/DDG-54-USS-Curtis-Wilbur.htm (2011年1月18日アクセス)
2002	3	Foal Eagle	防衛庁編『防衛白書』平成14年版。
2002	3	RSOI(連合戦時増援演習)	防衛庁編『防衛白書』平成14年版。
2002	10	Sharem 142	Department of the Navy, "Command History Report for CY 2002," http://www.history.navy.mil/shiphist/j/ddg-56/2002.pdf (2012年7月24日アクセス)
2002		Ulchi Focus Lens	"Ulchi-Focus Lens," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.grobalsecurity.org/military/ops/ulchi-focus-lens.htm (2009年10月20日アクセス)

2003	3	Foal Eagle	防衛庁編『防衛白書』平成15年版。
2003	3	RSOI(連合戦時増援演習)	防衛庁編『防衛白書』平成15年版。
2003	9	Ulchi Focus Lens	"Ulchi-Focus Lens," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/ulchi-focus-lens.htm (2009年10月20日アクセス)
2003		Csofex	"DDG54-USS Curtis Wilbur," http://www.seaforces.org/usnships/ddg/DDG-54-USS-Curtis-Wilbur.htm (2011年1月18日アクセス)
2004	3	Foal Eagle	防衛庁編『防衛白書』平成16年版。
2004	3	RSOI(連合戦時増援演習)	防衛庁編『防衛白書』平成16年版。
2004	8	Ulchi Focus Lens	"Machine Language Translation Systems: Demonstration and Assessment Report," Marine Corps Forces Pacific Experimentation Center, September 3, 2004.
2005	3	Foal Eagle	防衛庁編『防衛白書』平成17年版。
2005	3	RSOI(連合戦時増援演習)	防衛庁編『防衛白書』平成17年版。
2005	5	Csofex 05-2	"Curtis Wilbur, POKN Counter Special Ops," <i>Navy NewsStand</i> , June 7, 2005. http://www.globalsecurity.org/military/library/news/2005/06/mil-050607-nns07.htm (2011年1月18日アクセス)
2005	8	Ulchi Focus Lens	「アジア動向データベース」日本貿易振興機構アジア経済研究所 http://d-arch.ide.go.jp/infolib/meta/MetDefault.exe?DEF_XSL=DIASearch&GRP_ID=G0000001&DB_ID=G0000001ASIADB&IS_TYP E=meta&IS_STYLE=default (2013年3月4日アクセス)
2006	3	Foal Eagle	防衛庁編『防衛白書』平成18年版。
2006	3	RSOI(連合戦時増援演習)	防衛庁編『防衛白書』平成18年版。
2006	8	Ulchi Focus Lens	「アジア動向データベース」日本貿易振興機構アジア経済研究所 http://d-arch.ide.go.jp/infolib/meta/MetDefault.exe?DEF_XSL=DIASearch&GRP_ID=G0000001&DB_ID=G0000001ASIADB&IS_TYP
2007	3	Foal Eagle	防衛庁編『防衛白書』平成19年版。
2007	3	RSOI(連合戦時増援演習)	防衛庁編『防衛白書』平成19年版。
2007	8	Ulchi Focus Lens	防衛省編『防衛白書』平成20年版。
2007	11	Linkex	"Patron One, Command History," http://www.vp1.navy.mil/history.htm (2012年7月24日アクセス)
2008	3	Foal Eagle	防衛省編『防衛白書』平成20年版。
2008	3	RSOI(連合戦時増援演習)	防衛省編『防衛白書』平成20年版。
2008		Ulchi Focus Lens 2008	US Army Pacific, "Ulchi Freedom Guardian (UFG) Exercise," September 2, 2008. http://www.usarpac.army.mil/news2/Ulchi.asp (2012年7月24日アクセス)
2009	2-4	Foal Eagle	防衛省編『防衛白書』平成21年版。
2009	2-4	Key Resolve	防衛省編『防衛白書』平成21年版。
2009	5	Csofex 09-3	United States Navy, "USS Mustin Trains with Republic of Korea during CSOFEX 09-3," May 7, 2009. http://www.c7f.navy.mil/news/2009/05-may/08.htm (2011年1月18日アクセス)
2009	8	Ulchi Focus Lens	防衛省編『防衛白書』平成22年版。

13 米フィリピン

年	月	演習名	資料源
---	---	-----	-----

1981		Balikatan	U. S. Department of Defense, "Exercise BALIKATAN Kicks off in Philippines," February 8, 2000. http://www.defense.gov/News/NewsArticle.aspx?ID=44566 (2013年2月19日アクセス)
1983	5	Balikatan/Tangent Flash	"DD967 Elliot," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/agency/navy/dd-967.htm (2011年3月13日アクセス)
1984	5	Balikatan	"The History of the United States Ship Monticello(LSD-35)," http://www.ussmonticello.com/moboat_history.pdf (2013年2月11日アクセス)
1985	5	Balikatan	The History of the United States Ship Monticello(LSD-35) http://www.ussmonticello.com/moboat_history.pdf (2013年2月11日アクセス)
1991		Balikatan	"Balikatan," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/balikatan.htm (2009年10月20日アクセス)
1992		Balikatan	"Balikatan," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/balikatan.htm (2009年10月20日アクセス)
1993	7-8	Balance Piston 93-3	Jerry L. Thigpen, <i>The Praetorian STARShip The Untold Story of the Combat Talon</i> (Alabama, Air University Press, 2001), p. 427.
1993		Balikatan	"Balikatan," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/balikatan.htm (2009年10月20日アクセス)
1994		Balikatan	"Balikatan," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/balikatan.htm (2009年10月20日アクセス)
1995	7	Palah 95-02	"At the Door of All the East," Special Reports No. 2(Focus on the Global South, November 2007). http://focusweb.org/sites/www.focusweb.org/files/at-the-door-of-all-the-east.pdf (2013年3月8日アクセス)
1995		Balikatan	"Balikatan," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/balikatan.htm (2009年10月20日アクセス)
1996	1	Balance Piston 96-1	Jerry L. Thigpen, <i>The Praetorian STARShip The Untold Story of the Combat Talon</i> (Alabama, Air University Press, 2001) 426.
1996		CARAT 1996	"CARAT," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/carat.htm (2013年2月11日アクセス)
1998		CARAT 1998	"CARAT," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/carat.htm (2013年2月11日アクセス)
1999	4-5	Balance Piston 99-3	Norman E. Gardner et al., "Philippines-U.S. joint Combined Exchange Training Balance Piston 99-3," Asia-Pacific Defense Forum, Winter 1999-2000. http://forum.apan-info.net/win99-2k/BalPiston-1.html (2011年2月20日アクセス)
1999	5	Palah 99-01	"At the Door of All the East," Special Reports No. 2(Focus on the Global South, November 2007). http://focusweb.org/sites/www.focusweb.org/files/at-the-door-of-all-the-east.pdf (2013年3月8日アクセス)
1999	6	Marsurvex	"At the Door of All the East," Special Reports No. 2(Focus on the Global South, November 2007). http://focusweb.org/sites/www.focusweb.org/files/at-the-door-of-all-the-east.pdf (2013年3月8日アクセス)
2000	1	Balikatan	防衛庁編『防衛白書』平成12年版。

2000	8	Flash Piston	"US Navy Seals to Be Summoned," <i>Philippine Star</i> , December 23, 2000. http://www.mangossubic.com/local_news_02.htm (2010年2月26日アクセス)
2000	8-9	Balance Piston 2000-5	"40 US Military Men Here, but not for Abu-Mercado," <i>Manila Bulletin</i> , September 1, 2000. http://www.highbeam.com/doc/1G1-64825978.html (2013年2月11日アクセス)
2000	9	Marsurvex	"At the Door of All the East," Special Reports No. 2(Focus on the Global South, November 2007). http://focusweb.org/sites/www.focusweb.org/files/at-the-door-of-all-the-east.pdf (2013年3月8日アクセス)
2000		CARAT 2000	"CARAT," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/carat.htm (2013年2月11日アクセス)
2001	4	Balikatan01	Office of the President, "Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, RP-US Bilateral Activities Monitored from 2001 to 2008." http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2010年2月26日アクセス)
2001	5	Balance Piston 01-3	Office of the President, "Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, RP-US Bilateral Activities Monitored from 2001 to 2008." http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2010年2月26日アクセス)
2001	6	Palah 01-2	Office of the President, "Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, RP-US Bilateral Activities Monitored from 2001 to 2008." http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2010年2月26日アクセス)
2001	6	Balance Piston 01-6	Office of the President, "Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, RP-US Bilateral Activities Monitored from 2001 to 2008." http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2010年2月26日アクセス)
2001	8	Flash Piston 01-1	Office of the President, "Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, RP-US Bilateral Activities Monitored from 2001 to 2008." http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2010年2月26日アクセス)
2001	8-10	Balance Piston 01-5	Office of the President, "Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, RP-US Bilateral Activities Monitored from 2001 to 2008." http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2010年2月26日アクセス)
2001	11	Marsurex 02-1	Office of the President, "Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, RP-US Bilateral Activities Monitored from 2001 to 2008." http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2010年2月26日アクセス)
2001	11	Teak Piston	"At the Door of All the East," Special Reports No. 2(Focus on the Global South, November 2007). http://focusweb.org/sites/www.focusweb.org/files/at-the-door-of-all-the-east.pdf (2013年3月8日アクセス)
2001		CARAT 2001	"CARAT," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/carat.htm (2013年2月11日アクセス)
2002	1	Balikatan 02-1	防衛庁編『防衛白書』平成17年版。

2002	1-2	Balance Piston 02-2	Office of the President, "Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, RP-US Bilateral Activities Monitored from 2001 to 2008." http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2010年2月26日アクセス)
2002	4	Balikatan 02	Office of the President, "Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, RP-US Bilateral Activities Monitored from 2001 to 2008." http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2010年2月26日アクセス)
2002	8	Project Bayanihan	Office of the President, "Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, RP-US Bilateral Activities Monitored from 2001 to 2008." http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2010年2月26日アクセス)
2002	10	Palah	Office of the President, "Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, RP-US Bilateral Activities Monitored from 2001 to 2008." http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2010年2月26日アクセス)
2002	10	Talon Vision 02	Office of the President, "Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, RP-US Bilateral Activities Monitored from 2001 to 2008." http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2010年2月26日アクセス)
2002	11-12	Vector Balance Piston 02-3	Office of the President, "Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, RP-US Bilateral Activities Monitored from 2001 to 2008." http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2010年2月26日アクセス)
2002		CARAT 2002	United States Navy, "CARAT Strengthens Ties Between US, Philippines," July 25, 2002. http://www.navy.mil/submit/display.asp?story_id=2799 (2012年7月19日アクセス)
2003	1	Balance Piston 03-5	Office of the President, "Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, RP-US Bilateral Activities Monitored from 2001 to 2008." http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2010年2月26日アクセス)
2003	2	CARAT	"CARAT," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/carat.htm (2013年2月11日アクセス)
2003	2	Bayanihan	"U.S., Filipino Soldiers Begin New exercises," <i>Kyodo News</i> , February 23, 2003. http://www.thefreelibrary.com/U.S.,+Filipino+soldiers+begin+new+exercises.-a098002277 (2011年2月20日アクセス)
2003	4	Balance Piston 03-6	Office of the President, "Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, RP-US Bilateral Activities Monitored from 2001 to 2008." http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2010年2月26日アクセス)
2003	4	Balikatan 03	Office of the President, "Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, RP-US Bilateral Activities Monitored from 2001 to 2008." http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2010年2月26日アクセス)

2003	11	Talon Vision 2004	"Talon Vision," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/talon-vision.htm (2009年10月22日アクセス)
2003		Baker Piston	"Sinors llord over RP's Illegal Drugs Trade," <i>The Philippine Star</i> , May 11, 2006. http://www.newsflash.org/2004/02/ht/ht006214.htm (2011年2月20日アクセス)
2003		Phiblex 04	United States Navy, "Forward Deployed Sailors, Marines Begin PHIBLEX 06," October 24, 2005. http://www.navy.mil/submit/display.asp?story_id=20727 (2011年2月28日アクセス)
2004	2	Balikatan 04	防衛庁編『防衛白書』平成16年版
2004	2	Marsurvex 04-2	Department of National Defense, Accomplishment Report January-June 2004. http://www.dnd.gov.ph/DNDWEBPAGE_files/html/accreport.html (2011年2月23日アクセス)
2004	2-3	Palah 04-02	Department of National Defense, Accomplishment Report January-June 2004. http://www.dnd.gov.ph/DNDWEBPAGE_files/html/accreport.html (2011年2月23日アクセス)
2004	3	Balance Piston04-2	Department of National Defense, Accomplishment Report January-June 2004. http://www.dnd.gov.ph/DNDWEBPAGE_files/html/accreport.html (2011年2月23日アクセス)
2004	7	CARAT 2004	United States Navy, "CARAT Exercise Series Concludes with Closing of Philippines Phase," August 5, 2004. http://www.navy.mil/search/display.asp?story_id=14591 (2011年4月13日アクセス)
2004	7	Fusion Piston 04-2	Public Information Office, Camp General Emilio Aguinaldo, News Release, "AFP outlines activities in the Joint RP-US Training Exercises," July 5, 2004 http://www.afp.mil.ph/pio-crs/search2.php?entry_id=62
2004	8-9	Baker Piston 04-2	"US Troops Start Anti-'Narcoterrorism' Exercise," <i>The Philippine Star</i> , August 31, 2004. www.mapinc.org/drugnews/v04/n1240/a02.html http://www.limes.com/september/us-troops-start-anti-narcoterrorism-exercise.html (2011年1月10日アクセス)
2004	8	Balance Piston	Republic of the Philippines, "DFA Cites Strength of US-RP Relations," August 23, 2004 http://www.gov.ph/index.php?option=com_content&task=view&id=10385&Itemid=2 (2009年11月25日アクセス)
2004	8-12	Palah 04-01	"At the Door of All the East," Special Reports No. 2(Focus on the Global South, November 2007). http://focusweb.org/sites/www.focusweb.org/files/at-the-door-of-all-the-east.pdf (2013年3月8日アクセス)
2004		Talon Vision	Office of the President, "Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, RP-US Bilateral Activities Monitored from 2001 to 2008." http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2010年2月26日アクセス)
2005	1	Baker Piston 05-1	Public Information Office, Camp General Emilio Aguinaldo, News Release, "RP-US Counter -Narcotics Training Opens at Davao City," January 19, 2005. http://www.afp.mil.ph/pio-crs/search2.php?entry_id=37 (2011年2月20日アクセス)
2005	1-2	Balance Piston 05-1	The Official Government Portal of the Republic of the Philippines, "RP-US Exercise Balance Piston 05-1 Opens Today at Fort Magsaysay," January 31, 2005.

2005	4	Balance Piston05-3	Office of the President, "Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, RP-US Bilateral Activities Monitored from 2001 to 2008." http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2010年2月26日アクセス)
2005	4	Marsurex 05-2	Office of the President, "Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, RP-US Bilateral Activities Monitored from 2001 to 2008." http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2010年2月26日アクセス)
2005	10	Talon Vision 2006	"Talon Vision," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/talon-vision.htm (2009年10月22日アクセス)
2005	11	Marine Tactical Warfare Simulation	"III MEF Marines and Philippine Marines Train with MTWS," <i>Marine Corps News</i> , November 16, 2005. http://www.military.com/features/0,15240,80618,00.html (2011年2月23日アクセス)
2005		Balikatan 2005	防衛庁編『防衛白書』平成17年版。
2005		Bayanihan	Office of the President, "Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, RP-US Bilateral Activities Monitored from 2001 to 2008." http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2010年2月26日アクセス)
2005		CARAT 2005	United States Navy, "End of Successful Philippines Phase Brings CARAT Series to Close," August 23, 2005. http://www.navy.mil/submit/display.asp?story_id=19729 (2012年7月19日アクセス)
2005		Phiblex 04	United States Navy, "Forward Deployed Sailors, Marines Begin PHIBLEX 06," October 24, 2005. http://www.navy.mil/submit/display.asp?story_id=20727 (2011年2月28日アクセス)
2005		Palah	Office of the President, "Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, RP-US Bilateral Activities Monitored from 2001 to 2008." http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2010年2月26日アクセス)
2006	2	Balikatan 06	Office of the President, "Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, RP-US Bilateral Activities Monitored from 2001 to 2008." http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2010年2月26日アクセス)
2006	5	Baker Piston	"Sinos llord over RP's Illegal Drugs Trade," <i>The Philippine Star</i> , May 11, 2006. http://www.newsflash.org/2004/02/ht/ht006214.htm (2011年2月20日アクセス)
2006	7	Kapit Bisig	Comelio H Valencia Jr., "KAPIT BISIG, RP-US Military Exercises: A Key to the War on Terror in the Philippines," Air Command and Staff College, Air University(April 2007).
2006	10	Phiblex	"At the Door of All the East," Special Reports No. 2(Focus on the Global South, November 2007). http://focusweb.org/sites/www.focusweb.org/files/at-the-door-of-all-the-east.pdf (2013年3月8日アクセス)
2006	10	Talon Vision 2007	Marine Corps, "Talon Vision and PHIBLEX Come to a Close," November 1, 2006. http://www.marines.mil/unit/iiimef/3rdmef/Pages/2006/Talon%20Vision%20and%20PHIBLEX%20come%20to%20a%20close.aspx (2010年2月22日アクセス)

2006		Balance Piston	Office of the President, "Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, RP-US Bilateral Activities Monitored from 2001 to 2008." http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2010年2月26日アクセス)
2006		Bayanihan	Office of the President, "Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, RP-US Bilateral Activities Monitored from 2001 to 2008." http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2010年2月26日アクセス)
2006		CARAT2006	United States Navy, "Final Phase of CARAT 2006 Exercise Series Begins in Philippines," August 15, 2006. http://www.navy.mil/submit/display.asp?story_id=25122 (2013年2月11日アクセス)
2007	4	Balance Piston 07-03	"3-month RP-US military Exercise Starts in Mindanao," <i>Inquirer.net</i> , April 27, 2007. http://www.newsinfo.inquirer.net/breakingnews_article.php?article_id=62860 (2011年2月20日アクセス)
2007	5	CARAT 2007	"First CARAT Exercise Phase Concludes in Phillipines," <i>MarineLink.com</i> , June 13, 2007. http://www.marinelink.com/news/article/first-carat-exercise-phase-concludes-in/314053.aspx (2011年4月13日アクセス)
2007	10	Phiblex	Office of the President, "Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, RP-US Bilateral Activities Monitored from 2001 to 2008." http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2010年2月26日アクセス)
2007	10	Talon Vision 08 and Phiblex	Office of the President, "Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, RP-US Bilateral Activities Monitored from 2001 to 2008." http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2010年2月26日アクセス)
2007		Balikatan	"Balikatan," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/balikatan.htm (2009年10月20日アクセス)
2008	1-2	Baker Piston 08-1	Office of the President, "Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, RP-US Bilateral Activities Monitored from 2001 to 2008." http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2010年2月26日アクセス)
2008	1-2	Vector Balance Piston	Office of the President, "Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, RP-US Bilateral Activities Monitored from 2001 to 2008." http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2010年2月26日アクセス)
2008	2	Balikatan 08	防衛省編『防衛白書』平成20年版。
2008	3	Teak Piston	Office of the President, "Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, RP-US Bilateral Activities Monitored from 2001 to 2008." http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2010年2月26日アクセス)
2008	5-6	Baker Piston 08-2	Office of the President, "Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, RP-US Bilateral Activities Monitored from 2001 to 2008." http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2010年2月26日アクセス)

2008	6	CARAT 2008	United States Navy, "CARAT Phase One in the Philippines Ends on a High Note," June 11, 2008. http://www.navy.mil/submit/display.asp?story_id=37668 (2012年7月19日アクセス)
2008	6	Medrete	Office of the President, "Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, RP-US Bilateral Activities Monitored from 2001 to 2008." http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2010年2月26日アクセス)
2008	7	Flash Piston	United States Navy, "U.S., Philippines Special Operations Forces Train Together as Part of Flash Piston," July 7, 2008. http://www.navy.mil/search/display.asp?story_id=38131 (2010年2月26日アクセス)
2008	7	Lantem Piston	Office of the President, "Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, RP-US Bilateral Activities Monitored from 2001 to 2008." http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2010年2月26日アクセス)
2008	7	Leather Piston	Office of the President, "Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, RP-US Bilateral Activities Monitored from 2001 to 2008." http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2010年2月26日アクセス)
2008	7-8	MTWS	Office of the President, "Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, RP-US Bilateral Activities Monitored from 2001 to 2008." http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2010年2月26日アクセス)
2008	8	Balance Piston	Office of the President, "Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, RP-US Bilateral Activities Monitored from 2001 to 2008." http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2010年2月26日アクセス)
2008	9	Para Operations Training	Office of the President, "Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, RP-US Bilateral Activities Monitored from 2001 to 2008." http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2010年2月26日アクセス)
2008	10	Baker Piston 08-3	Office of the President, "Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, RP-US Bilateral Activities Monitored from 2001 to 2008." http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2010年2月26日アクセス)
2008	10	Talon Vision 08	"Talon Vision and Amphibious Landing Exercise 2009," <i>DVIDS</i> , October 27, 2008. http://www.dvidshub.net/image/126819/talon-vision-and-amphibious-landing-exercise-2009 (2013年3月12日アクセス)
2008	10	Fusion Piston	Office of the President, "Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, RP-US Bilateral Activities Monitored from 2001 to 2008." http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2010年2月26日アクセス)
2008	10-11	Phiblex	Office of the President, "Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, RP-US Bilateral Activities Monitored from 2001 to 2008." http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2010年2月26日アクセス)

2009	1-2	Balance Piston 09-1	Office of the President, Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, "RP-US Bilateral Activities Monitored for CY 2009 and 2010," http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2011年2月20日アクセス)
2009	1-2	Leather Piston 09-1	Office of the President, Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, "RP-US Bilateral Activities Monitored for CY 2009 and 2010," http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2011年2月20日アクセス)
2009	2-3	Lantern Piston 09-1	Office of the President, Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, "RP-US Bilateral Activities Monitored for CY 2009 and 2010," http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2011年2月20日アクセス)
2009	3-4	Teak Piston 09-1	Office of the President, Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, "RP-US Bilateral Activities Monitored for CY 2009 and 2010," http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2011年2月20日アクセス)
2009	3-4	Para Operations 09-1	Office of the President, Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, "RP-US Bilateral Activities Monitored for CY 2009 and 2010," http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2011年2月20日アクセス)
2009	3-4	Sothorn Canopy	US Marine Corps, "Concepts & Programs 2010."
2009	4-5	Lantern Piston 09- 2	Office of the President, Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, "RP-US Bilateral Activities Monitored for CY 2009 and 2010," http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2011年2月20日アクセス)
2009	5	CARAT 2009	"Maritime Security at Forefront of Training as CARAT Philippines Draws to Close," <i>Carat 2009 Web Site</i> , May 29, 2009. http://www.clwp.navy.mil/CARAT2009/news/Philippines/Philippines%20close.htm (2011年4月10日アクセス)
2009	5-6	Leather Piston 09-2	Office of the President, Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, "RP-US Bilateral Activities Monitored for CY 2009 and 2010," http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2011年2月20日アクセス)
2009	6	Marine Tactical Warfare Simulation (MTWS) 09-1	Office of the President, Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, "RP-US Bilateral Activities Monitored for CY 2009 and 2010," http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2011年2月20日アクセス)
2009	6	Teak Piston 09-2	Office of the President, Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, "RP-US Bilateral Activities Monitored for CY 2009 and 2010," http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2011年2月20日アクセス)
2009	7-8	Balance Piston 09- 2	Office of the President, Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, "RP-US Bilateral Activities Monitored for CY 2009 and 2010," http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2011年2月20日アクセス)

2009	7-8	Lantern Piston 09-3	Office of the President, Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, "RP-US Bilateral Activities Monitored for CY 2009 and 2010," http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2011年2月20日アクセス)
2009	10	Phiblex	United States Navy, "Forward Deployed Sailors, Marines Begin PHIBLEX with Philippine Counterparts," October 15, 2009. http://www.navy.mil/submit/display.asp?story_id=48940 (2011年2月28日アクセス)
2009		Balance Piston 09-4	Office of the President, Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, "RP-US Bilateral Activities Monitored for CY 2009 and 2010," http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2011年2月20日アクセス)
2009		Balikatan	"U.S. Calls Balikatan Exercise a Success, but Some Filipinos Want Mission Discontinued," <i>Stars and Stripes</i> , May 12, 2009. http://www.stripes.com/news/u-s-calls-balikatan-exercise-a-success-but-some-filipinos-want-mission-discontinued-1.91395 (2010年3月14日アクセス)
2009		Leather Piston 09-3	Office of the President, Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, "RP-US Bilateral Activities Monitored for CY 2009 and 2010," http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2011年2月20日アクセス)
2009		Talon Vision	Office of the President, Presidential Commission on the Visiting Forces Agreement, "RP-US Bilateral Activities Monitored for CY 2009 and 2010," http://vfacom.ph/index.php?page=accomplishments (2011年2月20日アクセス)

14 米タイ

年	月	演習名	資料源
1981	3	Sea-Siam 81-2	"DD 967 Elliot," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/agency/navy/dd-967.htm (2011年3月13日アクセス)
1981	10	Kernel Usher 82-1	"The History of the United States Ship Monticello(LSD-35)," http://www.ussmonticello.com/moboat_history.pdf (2013年3月11日アクセス)
1982		Cobra Gold	US. Army Pacific, "Cobra Gold: A Look at 25 Years of History," http://www.usarpac.army.mil/cg10/history.asp (2011年2月15日アクセス)
1983		Cobra Gold	US. Army Pacific, "Cobra Gold: A Look at 25 Years of History," http://www.usarpac.army.mil/cg10/history.asp (2011年2月15日アクセス)
1984	6	Logex II	「アジア動向データベース」日本貿易振興機構アジア経済研究所 http://d-arch.ide.go.jp/infolib/meta/MetDefault.exe?DEF_XSL=DIASearch&GRP_ID=G0000001&DB_ID=G0000001ASIADB&IS_TYPE=meta&IS_STYLE=default (2013年3月4日アクセス)
1984	7	Cobra Gold	平和・安全保障研究所『アジアの安全保障 1985年』朝雲新聞社、1985年。
1985	7	Cobra Gold	「アジア動向データベース」日本貿易振興機構アジア経済研究所 http://d-arch.ide.go.jp/infolib/meta/MetDefault.exe?DEF_XSL=DIASearch&GRP_ID=G0000001&DB_ID=G0000001ASIADB&IS_TYPE=meta&IS_STYLE=default (2013年3月4日アクセス)

1985	11	Sea of Siam 86-1	"DD 967 Elliot," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/agency/navy/dd-967.htm (2011年3月13日アクセス)
1986	8	Cobra Gold	「アジア動向データベース」日本貿易振興機構アジア経済研究所 http://d-arch.ide.go.jp/infolib/meta/MetDefault.exe?DEF_XSL=DIASearch&GRP_ID=G0000001&DB_ID=G0000001ASIADB&IS_TYPE=meta&IS_STYLE=default (2013年3月4日アクセス)
1986		Badge Tram	Royal Thai Air Force, "Teak Torch 2011," October 28, 2010. http://www.teaktorch11.rtaf.mi.th/index.php?lang=en (2011年11月3日アクセス)
1987	8	Cobra Gold	「アジア動向データベース」日本貿易振興機構アジア経済研究所 http://d-arch.ide.go.jp/infolib/meta/MetDefault.exe?DEF_XSL=DIASearch&GRP_ID=G0000001&DB_ID=G0000001ASIADB&IS_TYPE=meta&IS_STYLE=default (2013年3月4日アクセス)
1988	7	Cobra Gold	「アジア動向データベース」日本貿易振興機構アジア経済研究所 http://d-arch.ide.go.jp/infolib/meta/MetDefault.exe?DEF_XSL=DIASearch&GRP_ID=G0000001&DB_ID=G0000001ASIADB&IS_TYPE=meta&IS_STYLE=default (2013年3月4日アクセス)
1989	6	Cobra Gold	「アジア動向データベース」日本貿易振興機構アジア経済研究所 http://d-arch.ide.go.jp/infolib/meta/MetDefault.exe?DEF_XSL=DIASearch&GRP_ID=G0000001&DB_ID=G0000001ASIADB&IS_TYPE=meta&IS_STYLE=default (2013年3月4日アクセス)
1989	8	Thaylay Thai 89	"Ship' History," <i>USS Bristol County Association</i> , http://ussbristolcounty.com/ships-history (2011年10月7日アクセス)
1990	5	Cobra Gold	「アジア動向データベース」日本貿易振興機構アジア経済研究所 http://d-arch.ide.go.jp/infolib/meta/MetDefault.exe?DEF_XSL=DIASearch&GRP_ID=G0000001&DB_ID=G0000001ASIADB&IS_TYPE=meta&IS_STYLE=default (2013年3月4日アクセス)
1991		Cobra Gold	US. Army Pacific, "Cobra Gold: A Look at 25 Years of History," http://www.usarpac.army.mil/cg10/history.asp (2011年2月15日アクセス)
1992		Cobra Gold	"Pentagon pulls out of Cobra Gold '92," <i>Stars and Stripes</i> , May 21, 1992.
1993		Balance Torch	"Special Forces hone unique skills," <i>The On Guard</i> , Vol. XXII, No. 10, July 1993, p. 7.
1993		Cobra Gold	US. Army Pacific, "Cobra Gold: A Look at 25 Years of History," http://www.usarpac.army.mil/cg10/history.asp (2011年2月15日アクセス)
1994	5	Sea Eagle	Department of the Navy, USS Mcclusky Command History 1994, June 7, 1995.
1994		Cobra Gold	US. Army Pacific, "Cobra Gold: A Look at 25 Years of History," http://www.usarpac.army.mil/cg10/history.asp (2011年2月15日アクセス)
1995	5	Cobra Gold	「アジア動向データベース」日本貿易振興機構アジア経済研究所 http://d-arch.ide.go.jp/infolib/meta/MetDefault.exe?DEF_XSL=DIASearch&GRP_ID=G0000001&DB_ID=G0000001ASIADB&IS_TYPE=meta&IS_STYLE=default (2013年3月4日アクセス)
1995		CARAT 1995	"CARAT," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/carat.htm (2013年2月11日アクセス)

1996		CARAT 1996	"CARAT," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/carat.htm (2013年2月11日アクセス)
1996		Cobra Gold	Sgt. Major Jhon K. D'Amato, "Cobra Gold 96," Asia Pacific Defense Forum(Spring 1998). http://forum.apan-info.net/SPRING_97/Cg96_r.html (2010年3月16日アクセス)
1997	5	Cobra Gold	Defense Link, "Memorandum for Correspondents," April 8, 1997. http://www.defense.gov/news/Apr1997/m040897_m-052-97.html (2020年3月4日アクセス)
1997		CARAT 1997	"CARAT," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/carat.htm (2013年2月11日アクセス)
1997		Sea Eagle	"DD 991 File," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/agency/navy/dd-991.htm (2010年2月21日アクセス)
1998	5	Cobra Gold	"Cobra Gold, Cobra Gold 98," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/cobra-gold-1998.htm (2010年3月15日アクセス)
1998		Balance Torch 98-2	"Balance Torch," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/balance-torch.htm (2009年10月20日アクセス)
1998		CARAT 1998	"CARAT," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/carat.htm (2013年2月11日アクセス)
1999	5	Cobra Gold	"Cobra Gold, Cobra Gold 99," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/cobra-gold-1999.htm (2010年3月15日アクセス)
1999	10	Balance Torch00-1	"Balance Torch," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/balance-torch.htm (2009年10月20日アクセス)
1999		Balance Torch 99-4	"Balance Torch," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/balance-torch.htm (2009年10月20日アクセス)
1999		Balance Torch 99-9	"Balance Torch," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/balance-torch.htm (2009年10月20日アクセス)
1999		CARAT 1999	"CARAT," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/carat.htm (2013年2月11日アクセス)
2000	2	Balance Torch 00-4	"Balance Torch," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/balance-torch.htm (2009年10月20日アクセス)
2000	3	Balance Torch00-3	"Balance Torch," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/balance-torch.htm (2009年10月20日アクセス)
2000	5	Cobra Gold	"Cobra Gold, Cobra Gold 2000," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/cobra-gold-2000.htm (2010年3月15日アクセス)
2000		CARAT 2000	"CARAT," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/carat.htm (2013年2月11日アクセス)
2001	5	Cobra Gold	Globalsecurity, "Cobra Gold, Cobra Gold 2001," http://www.globalsecurity.org/military/ops/cobra-gold-2001.htm (2010年3月15日アクセス)
2001		CARAT 2001	"CARAT," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/carat.htm (2013年2月11日アクセス)

2002	4	Balance Torch	"Balance Torch," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/balance-torch.htm (2009年10月20日アクセス)
2002	5	Cobra Gold	"Cobra Gold, Cobra Gold 02," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/cobra-gold-2002.htm (2010年3月15日アクセス)
2002		CARAT 2002	"CARAT," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/carat.htm (2013年2月11日アクセス)
2002		Known Warrior	David Garcia, "U.S. Security Policy and Counter-Terrorism in Southeast Asia," UNISCI Discussion Papers No. 5 (May 2004), p. 10. http://www.isn.ethz.ch/isn/Digital-Library/Publications/Detail/?fecvnodeid=128184&groupot593=0c54e3b3-1e9c-be1e-2c24-a6a8c7060233&dom=1&fecvid=21&ots591=0c54e3b3-1e9c-be1e-2c24-a6a8c7060233&v21=128184&lng=en&id=114801 (2013年3月8日アクセス)
2003	5	Cobra Gold	"Cobra Gold, Cobra Gold 03," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/cobra-gold-2003.htm (2010年3月15日アクセス)
2003	6	CARAT 2003	"Thai Phase of CARAT Exercise Wraps up," <i>Stars and Stripes</i> , June 21, 2003. http://www.stripes.com/news/thai-phase-of-carat-exercise-wraps-up-1.6759 (2011年4月13日アクセス)
2004	5	Cobra Gold	"Cobra Gold, Cobra Gold 04," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/cobra-gold-2004.htm (2010年3月15日アクセス)
2004	6	CARAT2004	United States Navy, "Thailand Phase of CARAT Exercise Series Underway," June 30, 2004. http://www.navy.mil/submit/display.asp?story_id=14010 (2011年4月13日アクセス)
2005	5	Cobra Gold	Embassy of the United States, "Cobra Gold '05 Closes in Chiang Mai," May 13, 2005 http://bangkok.usembassy.gov/news/press/2005/nrot031.html (2010年3月8日アクセス)
2005	6	CARAT 2005	United States Navy, "Ambassador: CARAT Thailand skills pay Dividends," June 22, 2005. http://www.navy.mil/submit/display.asp?story_id=18860 (2011年4月13日アクセス)
2005		Teak Torch	Royal Thai Air Force, "Teak Torch 2011," October 28, 2010. http://www.teaktorch11.rtaf.mi.th/index.php?lang=en (2011年10月11日アクセス)
2006	5	Cobra Gold	Embassy of the United States, "Cobra Gold '06 Kicks Off in Nakhon Nayok," May 15, 2006. http://bangkok.usembassy.gov/news/press/2006/nrot017.html (2010年3月8日アクセス)
2006	6	CARAT2006	United States Navy, "Second CARAT Phase Underway in Thailand," June 20, 2006. http://www.navy.mil/submit/display.asp?story_id=24251 (2012年7月11日アクセス)
2007	5	Cobra Gold	Embassy of the United States, "Cobra Gold '07 Closes in Chon Buri," May 18, 2007. http://bangkok.usembassy.gov/news/press/2007/nrot014.html (2010年3月8日アクセス)

2007	6	CARAT 2007	U.S. 7th Fleet, "Second Phase of CARAT Begins in Thailand," June 24, 2007. http://www.c7f.navy.mil/news/2007/06-june/22.htm (2009年11月24日アクセス)
2007		Teak Torch	Royal Thai Air Force, "Teak Torch 2011," October 28, 2010. http://www.teaktorch11.rtaf.mi.th/index.php?lang=en (2011年10月11日アクセス)
2008	5	Cobra Gold	Embassy of the United States, "Cobra Gold 2008 Concludes," May 21, 2008 http://bangkok.usembassy.gov/news/press/2008/nrot040.html (2010年3月8日アクセス)
2008	11	Balance Torch 09-1	"US and Thai Military Forces Hold Joint Training Exercise," <i>Chiangmai Mail</i> , Vol. VII, No. 46. November 11–November 17, 2008. http://www.chiangmai-mail.com/299/news.shtml (2011年10月7日アクセス)
2008		Teak Torch	Air Force Special Operations Command, "Thais, Americans Join Forces for Operation Teak Torch Training," May 1, 2008. http://www.afsoc.af.mil/news/story.asp?id=123096832 (2010年2月16日アクセス)
2008		CARAT 2008	United States Navy, "Thailand Phase of CARAT 2008 Exercises Underway," June 14, 2008. http://www.navy.mil/submit/display.asp?story_id=37855 (2012年7月11日アクセス)
2009	2	Cobra Gold	United States Army, "Cobra Gold 09 comes to an end," February 17, 2009. http://usarmy.vo.llnwd.net/e2/-images/2009/02/17/30415/ (2011年2月15日アクセス)
2009	5	Ardent Blitz	US Marine Corps, "Concepts & Programs 2010."
2009	7	CARAT 2009	Embassy of The United States, "CARAT 2009," July 8, 2009. http://bangkok.usembassy.gov/embassy-activities/2009/july/01.html (2011年4月13日アクセス)

15 米シンガポール

年	月	演習名	資料源
1991		Commnando Sling	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore in Air Exercise with Australia and US," May 8, 1998. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1998/may/08may98_nr.html (2008年8月14日アクセス)
1996		CARAT 1996	"CARAT," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/carat.htm (2013年2月11日アクセス)
1997	7	CARAT 1997	Ministry of Defence, Singapore, "United States and Singapore Navies in Annual Bilateral Exercise Programme," July 21, 1997. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1997/jul/21jul97_nr.html (2008年8月14日アクセス)
1997	7	Mercury	Ministry of Defence, Singapore, "United States and Singapore Navies in Annual Bilateral Exercise," July 7, 1997. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1997/jul/07jul97_nr.html (2008年8月14日アクセス)
1997	7	Tiger Balm	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and United States Armies in Joint Exercise," July 14, 1997. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1997/jul/14jul97_nr.html (2008年8月14日アクセス)

1998	5	Commnando Sling	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore in Air Exercise with Australia and US," May 8, 1998. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1998/may/08may98_nr.html (2008年8月14日アクセス)
1998		CARAT 1998	Ministry of Defence, Singapore, "United States and Singapore Navies in Annual Bilateral Exercise Programme," July 20, 1998. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1998/jul/20jul98_nr2.html (2008年8月14日アクセス)
1999		CARAT 1999	"CARAT," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/carat.htm (2013年2月11日アクセス)
2000		CARAT 2000	Ministry of Defence, Singapore, "Bilateral Exercise Between the United States and Singapore Navies," September 8, 2000. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2000/sep/08sep00_nr2.html (2009年9月8日アクセス)
2001	7	CARAT 2001	Ministry of Defence, Singapore, "Naval Exercise between the United States and Singapore," July 2, 2001. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2001/jul/02jul01_nr2.html (2009年9月8日アクセス)
2002	7	CARAT 2002	Ministry of Defence, Singapore, "Bilateral Exercise Between the United States and Singapore Navies," July 2, 2002. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2002/jul/02jul02_nr.html (2009年9月8日アクセス)
2002	10-11	Commando Sling	Ministry of Defence, Singapore, "RSAF in Air Manoeuvre Exercise with US Air Force," October 26, 2002. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2002/oct/26oct02_nr.html (2009年9月10日アクセス)
2003	7	CARAT 2003	Ministry of Defence, Singapore, "Bilateral Exercise between the United States," July 14, 2003. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2003/jul/14jul03_nr.html (2009年9月10日アクセス)
2004		CARAT 2004	Ministry of Defence, Singapore, "Tenth Anniversary of Bilateral Exercise between United States and Singapore Navies (Ex Carat)," June 1, 2004. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2004/jun/01jun04_nr.html (2009年9月14日アクセス)
2005	5	CARAT 2005	Ministry of Defence, Singapore, "Bilateral Exercise between the United States and Singapore Navies," May 31, 2005. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2005/may/31may05_nr.html (2009年9月14日アクセス)
2006	5	CARAT 2006	Ministry of Defence, Singapore, "United States and Singapore in Naval Exercise CARAT 2006," May 30, 2006. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2006/may/30may06_nr.html (2009年9月14日アクセス)
2007	1	Commando Sling	United States Air Force, "Commando Sling provides stronger alliance," January 23, 2007. http://www.af.mil/news/story.asp?id=123038487 (2012年7月10日アクセス)
2007	7	Commando Sling	"'Commando Sling' Gets Underway," <i>Air Force Times</i> , July 9, 2007. http://www.airforcetimes.com/news/2007/07/airforce_commando_sling_070709/ (2012年7月10日アクセス)

2007	7	CARAT 2007	Ministry of Defence, Singapore, "United States and Singapore in Naval Exercise CARAT 2007," July 17, 2007. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2007/jul/17jul07_nr2.html (2009年9月15日アクセス)
2007	11	Commando Sling	"USAF and RSAF commence Commando Sling 08-1," <i>F-16 Unit News</i> , November 2, 2007. http://www.f-16.net/news_article2594.html (2012年7月10日アクセス)
2008	6	CARAT 2008	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and United States in Annual Maritime Exercise," June 23, 2008. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2008/jun/23jun08_nr.html (2010年5月19日アクセス)
2008	10	Commando Sling	The 13th Air Force, "U.S., Singapore set to begin Commando Sling exercise," October 23, 2008. http://www.13af.pacaf.af.mil/news/story.asp?id=123121001 (2012年7月10日アクセス)
2009	6	CARAT2009	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore, US in Annual Maritime Exercise," June 8, 2009. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2009/jun/08jun09_nr.html (2010年5月20日アクセス)
2009	11	Commando Sling	The 13th Air Force, "U.S., Singapore set to begin Commando Sling exercise," November 25, 2009. http://www.13af.pacaf.af.mil/news/story.asp?id=123179625 (2012年7月10日アクセス)

16 米インドネシア

年	月	演習名	資料源
1988	5	Indusa XI	Department of the Navy, Naval History and Heritage Command, "Enterprise," September 12, 2005. http://www.history.navy.mil/danfs/e4/enterprise-viiif.htm (2011年10月5日アクセス)
1992	3	Indusa 92-1	Department of the Navy, "1992 Command History for USS Curtts (FFG 38)," July 24, 1993.
1996		CARAT 1996	"CARAT," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/carat.htm (2013年2月11日アクセス)
1997	8	Indusa Passex 97	Department of the Navy, "USS Safeguard (ARS 50) Command History for 1997," February 25, 1998.
1997		CARAT 1997	"CARAT," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/carat.htm (2013年2月11日アクセス)
1998		CARAT 1998	"CARAT," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/carat.htm (2013年2月11日アクセス)
2000		CARAT 2000	"CARAT," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/carat.htm (2013年2月11日アクセス)
2001		CARAT 2001	"CARAT," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/carat.htm (2013年2月11日アクセス)
2002		CARAT 2002	"CARAT," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/carat.htm (2013年2月11日アクセス)
2005		CARAT 2005	United States Navy, "CARAT Indonesia Underway in Surabaya," July 26, 2005. http://www.navy.mil/submit/display.asp?story_id=19364 (2012年7月10日アクセス)

2006	7	Flash Iron 06-4	"RI, US Conclude Two-week Joint Naval Exercise," <i>Antara News</i> , July 18, 2006. http://www.antara.co.id/en/print/?i=1154091324 (2012年7月10日アクセス)
2006		CARAT 2006	Embassy of the United States, Jakarta Indonesia, "Annual Military Exercise Underway in Surabaya," July 12, 2006. http://jakarta.usembassy.gov/press_rel/annual_military_exercise06.html (2009年11月30日アクセス)
2007	4	Garuda Shield 2007	"Indonesia, U.S. Join Forces in Exercise," <i>The Honolulu Advertiser. Com</i> . April 18, 2007. http://the.honoluluadvertiser.com/article/2007/Apr/18/In/FP704180380.html (2012年7月10日アクセス)
2007	8	Teak Iron	Kadena Air Base, "Teak Iron Exercise," August 15, 2007. http://www.kadena.af.mil/news/story.asp?id=123064679 (2009年11月30日アクセス)
2007		CARAT 2007	"Is Darwin the Glue for US-Indonesian Cooperation?," <i>PacNet</i> , No. 11A, February 17, 2012. http://csis.org/files/publication/Pac1211A.pdf (2013年3月8日アクセス)
2007		Fire Fighting Exercise	"Indonesian, U.S. Military Kick off Fire Fighting Drill," <i>Xinhua News Agency</i> , July 27, 2009. http://www.jigsaw.com/3301708/Indonesian_U.S._military_kick_off_fire_fighting_drill_company_news_view.xhtml (2009年11月24日アクセス)
2008		CARAT2008	"CARAT '08 in Palawan Closes Successfully," <i>The Palawan Times</i> , June 7, 2008. http://thepalawantimes.wordpress.com/2008/06/07/carat-%E2%80%9908-in-palawan-closes-successfully/ (2012年7月10日アクセス)
2008		Fire Fighting Exercise	"Indonesian, U.S. Military Kick off Fire Fighting Drill," <i>Xinhua News Agency</i> , July 27, 2009. http://www.jigsaw.com/3301708/Indonesian_U.S._military_kick_off_fire_fighting_drill_company_news_view.xhtml (2009年11月24日アクセス)
2008		Garuda Shield 2008	LTG Mixson, "Closing Remarks, Garuda Shield/Global Peace Operation Initiative 2009," June 29, 2009.
2009	6	Garuda Shield 2009	USPACOM, "Exercise Garuda Shield 2009 Opens in Indonesia," June 17, 2009. http://www.pacom.mil/web/site_pages/media/news%20200906/20090616-GarudaShield.shtml (2010年5月13日アクセス)
2009	7	Fire Fighting Exercise	"Indonesian, U.S. Military Kick off Fire Fighting Drill," <i>Xinhua News Agency</i> , July 27, 2009. http://www.jigsaw.com/3301708/Indonesian_U.S._military_kick_off_fire_fighting_drill_company_news_view.xhtml (2009年11月24日アクセス)
2009	8	CARAT 2009	"CARAT/NEA Indonesia Closes, Ending Successful Exercise Series," <i>CARAT 2009 Web Site</i> , August 28, 2009. http://www.clwp.navy.mil/carat2009/news/Indonesia/Indonesia%20closing.htm (2011年4月13日アクセス)
2009	9	Teak Iron 2009	"Indonesian, US Air Forces Open Joint Exercise," BBC Monitoring International Reports, September 30, 2009. http://www.accessmylibrary.com/article-1G1-208738978/indonesian-us-air-forces.html (2012年7月10日アクセス)

2009	10	Indusa (Indonesia-USA) Marex 2009	"U.S. and RI Marines "raid" Banongan," <i>AntaraNews</i> , October 18, 2009. http://www.antaranews.com/en/news/1255876033/us-and-ri-marines-raid-banongan (2009年11月21日アクセス)
2009	11-12	Flash Iron 10-01 JCET	"RI Navy Frogmen Held Joint Exercise with US Navy Seals," <i>Antara News</i> , November 10, 2009. http://www.antaranews.com/en/news/1257798941/ri-navy-frogmen-held-joint-exercise-with-us-navy-seals (2013年3月12日アクセス)

17 米マレーシア

年	月	演習名	資料源
1988	7	Mekar 88	Department of the Navy, Navy History AND Heritage Command, "Towers (DDG-9)," August 2, 2007. http://www.history.navy.mil/danfs/t7/towers.htm (2011年3月24日アクセス)
1994	5	Mekar 94	Department of the Navy, USS Mcclusky Command History 1994, June 7, 1995. http://www.history.navy.mil/shiphist/m/ffg-41/1994.pdf (2011年2月12日アクセス)
1996		CARAT 1996	"CARAT," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/carat.htm (2013年2月11日アクセス)
1997		CARAT 1997	"CARAT," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/carat.htm (2013年2月11日アクセス)
1997		Cope Taufan	18th Aggressor Squadron, "History," http://www.ranger95.com/airforce/aggressor_sq/18th_as.htm (2012年7月10日アクセス)
1998		CARAT 1998	"CARAT," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/carat.htm (2013年2月11日アクセス)
1999		CARAT 1999	"CARAT," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/carat.htm (2013年2月11日アクセス)
2000		CARAT2000	"CARAT," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/carat.htm (2013年2月11日アクセス)
2001		CARAT 2001	"CARAT," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/carat.htm (2013年2月11日アクセス)
2002		CARAT 2002	"CARAT," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/carat.htm (2013年2月11日アクセス)
2003		CARAT 2003	"CARAT," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/carat.htm (2013年2月11日アクセス)
2003	10	Cope Taufan	"8th Fighter Wing Spars with Migs," <i>Stars and Stripes</i> , October 21, 2003. http://www.stripes.com/news/8th-fighter-wing-spars-with-migs-1.12808 (2011年10月18日アクセス)
2004		CARAT 2004	United States Navy, "Malaysia Phase of CARAT Closes with At-Sea Ceremony," July 26, 2004. http://www.navy.mil/submit/display.asp?story_id=14405 (2012年7月10日アクセス)

2005		CARAT 2005	United States Navy, "Malaysia Phase of 11th Annual CaRAT Exercise Begins," July 12, 2005. http://www.navy.mil/search/display.asp?story_id=19135 (2011年4月13日アクセス)
2006	3	Cope Taufan	"Once Enemies, F-15s and Migs Now Allies in the Sky," <i>Aero-News Network</i> , March 19, 2006. http://www.aero-news.net/index.cfm?do=main.textpost&id=5b3070b3-36f4-43a1-a999-5d70d1dcf351 (2011年3月4日アクセス)
2006		CARAT 2006	United States of Navy, "CARAT Maritime Exercise to Build Joint Capabilities in Malaysia," July 25, 2006 http://www.navy.mil/submit/display.asp?story_id=24834 (2012年7月10日アクセス)
2007		CARAT 2007	"Malaysia-US Armed Forces Exercise Ends with Amphibious Assault," <i>Malaysian National News Agency</i> , July 12, 2007. http://www.malaysiandefence.com/cat?=36 (2011年4月13日アクセス)
2008	3	Cope Taufan	The 13th Air Force, "U.S., Malaysia Commence Exercise Cope Taufan," March 3, 2008. http://www.13af.pacaf.af.mil/news/story.asp?id=123088632 (2010年5月24日アクセス)
2008		CARAT 2008	United States Navy, "U.S., Malaysia Increase Interoperability during CARAT 2008," July 19, 2008. http://www.navy.mil/submit/display.asp?story_id=38571 (2012年7月10日アクセス)
2008		Keris Strike 08	"COE Tracks: October thru December," <i>Center Works Quarterly</i> , Issue 5(Winter 2007/08), p.. 6.
2009	4-5	Balance Mint	Ministry of Defence, Malaysia, Annual Report 2009.
2009	5	Teak Mint 09-1	Air Force Special Operations Command, "Air Commandos Provide Underwater Training to RMAF Paskau," May 31, 2009. http://www2.afsoc.af.mil/news/story.asp?id=123151871 (2011年3月8日アクセス)
2009	6	CARAT 2009	"Combined Operations Enhance Malaysia-US Cooperation as CARAT Concludes," <i>Carat 2009 Web Site</i> , July 1, 2009. http://www.clwp.navy.mil/CARAT2009/news/Malaysia/Malaysia%20closing.htm (2011年4月13日アクセス)
2009	7	Air Warrior	"Malaysia's Air Warrior Concludes," <i>US Marine Corps News</i> , July 10, 2009. http://www.globalsecurity.org/military/library/news/2009/07/mil-09-710-mcn02.htm (2011年3月4日アクセス)
2009	7	Keris Strike 2009	United States Army, "Keris Strike 09 Opening Ceremony," July 15, 2009. http://www.army.mil/article/24441/ (2010年5月24日アクセス)
2009	11	Cope Taufan	Kadena Air Base, "67th FS Heads to Malaysia for Bilateral Exercise," November 3, 2009. http://www.kadena.af.mil/news/story.asp?id=123175724/ (2011年2月13日アクセス)

18 米ブルネイ

年	月	演習名	資料源
1985	11	Burongex 86	"DD 967 Elliot," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/agency/navy/dd-967.htm (2011年3月13日アクセス)
1992	6	Kingfisher 92	Department of the Navy, "Command History for USS Antietam (CG 54) 1992," March 1, 1993.

1996		CARAT 1996	"CARAT," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/carat.htm (2013年2月11日アクセス)
1997		CARAT 1997	"CARAT," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/carat.htm (2013年2月11日アクセス)
1998		CARAT 1998	"CARAT," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/carat.htm (2013年2月11日アクセス)
1999	6	CARAT/Kingfisher 4/99	"Brunei, US Navy Officials Meet," <i>Brudirect.Com</i> , June 23, 1999. http://brudirect.com/DailyInfo/News/Archive/June99/230699/BruUSNavy.html (2011年3月14日アクセス)
2000		CARAT 2000	"CARAT," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/carat.htm (2013年2月11日アクセス)
2001		CARAT 2001	"CARAT," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/carat.htm (2013年2月11日アクセス)
2002		CARAT 2002	"CARAT," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/carat.htm (2013年2月11日アクセス)
2002	5	Green Canopy	"Brunei-USA Military Training Goes on Schedule," <i>Brudirect.Com</i> , May 12, 2002. http://brudirect.com/DailyInfo/News/Archive/May02/120502/nite09.htm (2011年3月14日アクセス)
2003	6	CARAT 2003	"U.S., Brunei Troops Developing 'a Measure of Trust'," <i>Stars and Stripes</i> , June 30, 2003. http://www.stripes.com/news/u-s-brunei-troops-developing-a-measure-of-trust-1.7175 (2011年4月13日アクセス)
2004		CARAT 2004	United States of Navy, "Brunei Phase of CARAT Exercise Series Begins," August 5, 2005. http://www.navy.mil/submit/display.asp?story_id=19505 (2011年4月13日アクセス)
2004	4	Green Canopy	"Brunei-US War Games Ends Successfully under Heavy Tropical Storm," <i>Brudirect.Com</i> , April 30, 2004. http://brudirect.com/public_html/DailyInfo/News/Archive/June03/290603/nite04.htm (2011年3月14日アクセス)
2005		CARAT 2005	United States of Navy, "Brunei Phase of CARAT Exercise Series Begins," August 5, 2005. http://www.navy.mil/submit/display.asp?story_id=19505 (2011年4月13日アクセス)
2006		CARAT 2006	United States of Navy, "CARAT Exercise Series Continues in Brunei," August 7, 2006. http://www.navy.mil/submit/display.asp?story_id=25029 (2011年4月13日アクセス)
2007	8	CARAT 2007	Ministry of Defence, Brunei Darussalam, "Closing Ceremony of CARAT 2007 Exercise," August 10, 2007. http://www.mindef.gov.bn/MOD_Brunei/index.php?option=com_content&task=view&id=77&Itemid=1 (2009年9月6日アクセス)
2008	8	CARAT 2008	Ministry of Defence, Brunei Darussalam, "CARAT 2008 Exercise Comes to Close," August 13, 2008. http://www.mindef.gov.bn/MOD_Brunei/index.php?option=com_content&view=article&id=301:carat-2008-exercise-comes-to-close&catid=1:news&Itemid=92 (2009年9月6日アクセス)

2008	8	Silang Bersama	Ministry of Defence, Brunei Darussalam, "Exercise SILANG BERSAMA Between RBLF and USMC," August 13, 2008. http://www.mindef.gov.bn/MOD_Brunei/index.php?option=com_content&view=article&id=300:exercise-silang-bersama-between-rblf-and-usmc&catid=1:news&Itemid=92 (2009年9月6日アクセス)
2009	8	CARAT 2009	Ministry of Defence, Brunei Darussalam, "Brunei, US Begins CARAT Exercises 2009," August 4, 2009. http://www.mindef.gov.bn/MOD_Brunei/index.php?option=com_content&view=article&id=538:brunei-us-begins-carat-exercises-2009&catid=1:news&Itemid=92 (2011年4月13日アクセス)

19 米台湾

年	月	演習名	資料源
2003	4	漢光19号演習	渡辺剛「米台関係—ブッシュ政権の対台湾政策と住民投票—」佐藤幸人、竹内孝之編『陳水扁再選—台湾総統選挙と第二期陳政権の課題』アジア経済研究所、2004年、48頁。
2003	12	台湾海峡に関する机上演習	渡辺剛「米台関係—ブッシュ政権の対台湾政策と住民投票—」佐藤幸人、竹内孝之編『陳水扁再選—台湾総統選挙と第二期陳政権の課題』アジア経済研究所、2004年、48頁。

20 米パキスタン

年	月	演習名	資料源
1994	1-2	Inspired Venture	"Inspired Venture," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/inspired-venture.htm (2011年10月14日アクセス)
1994		Inspired Alert	"No. 22 Squadron History: 1988-1998," <i>PAF Falcons</i> , http://www.paffalcons.com/squadrons/sqn22-1988-1998.php (2011年10月14日アクセス)
1995	4	Inspired Alert	"No. 22 Squadron History: 1988-1998," <i>PAF Falcons</i> , http://www.paffalcons.com/squadrons/sqn22-1988-1998.php (2011年10月14日アクセス)
1995		Inspired Gambit 1	"Pak, US Troops to Hold Exercises in July," <i>The Economic Times</i> , July 2, 2002. http://economictimes.indiatimes.com/articleshow/14691536.cms (2011年3月21日アクセス)
1997	3	Inspired Alert	"Inspired Alert," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/inspired-alert.htm (2011年10月14日アクセス)
1997		Inspired Gambit 2	"Pak, US Troops to Hold Exercises in July," <i>The Economic Times</i> , July 2, 2002. http://economictimes.indiatimes.com/articleshow/14691536.cms (2011年3月21日アクセス)
1997		Inspired Siren	David D. Halverson, "India-Pakistan -Adjusting the Unified Command Plan for the 21st Century," Strategy Research Project(U.S. Army War College, April 6, 1998). http://www.dtic.mil/dtic/tr/fulltext/u2/a344988.pdf (2013年2月10日アクセス)
2002	10	Inspired Gambit III	K. Alan Kronstadt, "Pakistan-U.S. Anti-Terrorism Cooperation," <i>CRS Report for Congress</i> (March 28, 2003). http://www.fas.org/man/crs/RL31624.pdf (2013年2月10日アクセス)

2005	4	Inspired venture/gambit-05	"Pakistan, U.S. Navy to Stage Exercises Next Week," <i>People's Daily Online</i> , September 2, 2006. http://english.peopledaily.com.cn/200609/02/eng20060902_298932.html (2011年10月14日アクセス)
2005	5	Inspired Siren	"Weeklong US-Pakistan Naval Exercises Begin," <i>Daily Times</i> , June 22, 2005. http://www.dailytimes.com.pk/default.asp?page=story_22-6-2005_pg7_32 (2013年2月10日アクセス)
2006	9	Inspired Union 06	Embassy of the United States, "U.S. and Pakistani Maritime Forces Conduct Joint Exercise 'Inspired Union'," September 6, 2006. http://islamabad.unembassy.gov/pakistan/h06090601.html (2009年12月8日アクセス)
2006	10	Inspired Gambit	"'Inspired Gambit' Trination Military Exercises Conclude," <i>Pak Tribune.com</i> , May 13, 2006. http://paktribune.com/news/%91Inspired-Gambit%92-trination-military-exercises-conclude-143569.html (2011年3月21日アクセス)
2008	5	Inspired Union 08	"U.S., Pakistan Forces Complete Exercise Inspired Union 2008," <i>GlobalSecurity.org</i> , May 21, 2008. http://www.globalsecurity.org/military/library/news/2008/05/mil-080521-nns05.htm (2011年3月21日アクセス)

21 米バングラデシュ

年	月	演習名	資料源
2003		Sumo Tiger	"Sumo Tiger," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/sumo-tiger.htm (2009年10月22日アクセス)
2007	10	Sumo Tiger	"Exercise Sumo Tiger Ends," <i>The Daily Star</i> , November 1, 2007. http://www.thedailystar.net/newDesign/news-details.php?nid=9775 (2011年10月14日アクセス)
2009	11	Tiger Shark	Embassy of the United States of America, "Joint U.S.-Bangladesh Military Exercise Concludes in Chittagong," November 12, 2009. http://dhaka.usembassy.gov/uploads/images/hSceCcaqxZek1JcQr1LWmQ/12_nov_09_Closing_Tiger-Shark.pdf (2013年2月10日アクセス)

22 米モンゴル

年	月	演習名	資料源
2001		Khaan Quest	"South Korean Troops Join Khan Quest for the First Time," <i>Mongolia Web News</i> , August 18, 2009. http://www.mongolia-web.com/government-and-politics/2603-south-korean-troops-join-khan-quest-for-first-time (2010年5月27日アクセス)
2002		Khaan Quest	"South Korean Troops Join Khan Quest for the First Time," <i>Mongolia Web News</i> , August 18, 2009. http://www.mongolia-web.com/government-and-politics/2603-south-korean-troops-join-khan-quest-for-first-time (2010年5月27日アクセス)
2003	8	Khaan Quest	Lt. Col. Mark W. Gillette, "Mongolian Soldiers and U.S. Marines Train in Peacekeeping in Exercise Khaan Quest," <i>Asia Pacific Defense Forum</i> , Winter 2004. http://forum.apan-info.net/winter04/40_45/40.html (2011年3月22日アクセス)
2004	6	Khaan Quest 04	Lt. Co. Byambasuren Bayarmagnai, "Challenges Facing Mongolia's Participation in Coalition Military Operations," US Army War College, March 2005. p. 9.

2005	4	Khaan Quest	"U.S. Troops Return from Mongolian Khaan Quest," <i>Stars and Stripes</i> , May 11, 2005. http://www.stripes.com/news/u-s-troops-return-from-mongolian-khaan-quest-1.33056 (2011年3月22日アクセス)
2006		Khaan Quest 2006	Kalei Brooks, "Khaan Quest 2006: Enhancing Multinational Peacekeeping," <i>Asia Pacific Defense Forum</i> , Winter 2006-2007.
2007	8	Khaan Quest 2007	Embassy of the United States, "Mongolia and U.S. Co-sponsor Multinational Peacekeeping Training," July 26, 2007. http://mongolia.usembassy.gov/08/01/010.html (2011年3月22日アクセス)
2008	9	Khaan Quest 2008	Embassy of the United States, "Guard Soldiers Learn Peacekeeping Skills, Sample New Cultures," September 10, 2008. http://mongolia.usembassy.gov/archives/09/10/08.html (2011年3月22日アクセス)
2009	8	Khaan Quest 2009	Embassy of the United States, "Khaan Quest 2009 Begins," August 5, 2009. http://mongolia.usembassy.gov/pr_0805015.html (2011年3月22日アクセス)

23 米キルギスタン

年	月	演習名	資料源
2002		2 (演習名記載なし)	John C. K. Daly, "Kyrgyzstan's Manas Airbase: A Key Asset in the War on Terrorism," <i>Terrorism Monitor</i> , Vol. 5, Issue 1, February 21, 2007. http://www.jamestown.org/programs/gta/single/?tx_ttnews%5Btt_news%5D=1002&tx_ttnews%5BbackPid%5D=182&no_cache=1 (2012年7月9日アクセス)

24 豪ニューージーランド

年	月	演習名	資料源
1982	10	Tasmanex 82	Royal Australian Navy, "HMAS Hobart(II)," http://www.navy.gov.au/HMAS_Hobart_(II) (2010年10月14日アクセス)
1983	1	Tasman Reserve	Frank P. Donnini, <i>ANZUS in Revision, Changing Defense Features of Australia and New Zealand in the Mid-1980s</i> , Alabama: Air University Press, 1991. p. 169.
1983	3	Tasman Reserve	Frank P. Donnini, <i>ANZUS in Revision, Changing Defense Features of Australia and New Zealand in the Mid-1980s</i> , Alabama: Air University Press, 1991. p. 169.
1984	11	Tasmanex 84	Royal Australian Navy, HMAS Oxley(II) http://www.navy.gov.au/HMAS_Oxley_(II) (2010年9月19日アクセス)
1985	3	Tasman Link	平和・安全保障研究所『アジアの安全保障 1986年』朝雲新聞社、1986年。
1991		Tasmanex 91	Royal Australian Navy, HMAS Swan(III) http://www.navy.gov.au/HMAS_Swan_(III) (2010年10月9日アクセス)
1993	3	Tasmanex	Royal Australian Navy, Hydrographic Service Annual Report 1992-1993.
1994	5-6	Tasman Link 94	Royal Australian Navy, HMAS Swan(III) http://www.navy.gov.au/HMAS_Swan_(III) (2010年10月9日アクセス)
1995		Tasman Link 95	Royal Australian Navy, HMAS Swan(III) http://www.navy.gov.au/HMAS_Swan_(III) (2010年10月9日アクセス)

1995		Tasmanex 95	Royal Australian Navy, HMAS Swan(III) http://www.navy.gov.au/HMAS_Swan_(III) (2010年10月9日アクセス)
1997		Matakiri	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997-1998.
1997		Tasman Eagle 97	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997-1998.
1997		Willoh 97-2	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997-1998.
1998	8	Swift Eagle 98	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
1998	8-9	FCP 98-2	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
1998	10	Bullseye 98	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
1998	10	Longreach 98-2	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
1998		Gun Runner 98	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997-1998.
1998		Tasman Link 98	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997-1998.
1998		Tasmanex 98	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997-1998.
1998		Willoh 98-1	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997-1998.
1999	1-2	Tasman Reserve 98	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
1999	2-3	Willoh 99-1	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
1999	3-4	Gunrunner/Striker 98	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
1999	5	Tasman Exchange 99	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
2000	1-2	Tasman Reserve	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1999-2000.
2000	2-3	Willoh 00-1	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1999-2000.
2000	8	Fleet Concentration Period	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2000-2001.
2000	12	ASWEX	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2000-2001.
2001	2	Ocean Protector 01	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2000-2001.
2001	2-3	Anzac Series	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2000-2001.
2001	3	Gunrunner	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2000-2001.
2001	3	Tasman Exchange	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2000-2001.
2001	3	Tasmanex 2001	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2000-2001.
2002	3-5	Anzac Series 02	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2001-2002.
2002	9	Swift Eagle 02	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2002-2003.
2002	9-10	Tasman Exchange 02	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2002-2003.
2002	10	Tasman Link	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2002-2003.

2003	2	Tasmanex 2003	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2002–2003.
2003	3–5	Anzac Series 03	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2002–2003.
2003	6–9	Wyvern Primo 03	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2003–2004.
2003	11	ASWEX 2003	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2003–2004.
2003	11	PWO Sea Assessment Week	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2003–2004.
2004	1–2	Ocean Protector 04–1	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2003–2004.
2004	2	Tasmanex 2004	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2003–2004.
2004	3–4	Tasman Exchange 03	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2003–2004.
2004	5	Vital Prospect 04	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2003–2004.
2004	9	Swift Eagle 04	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2004–2005.
2005	2	Ocean Protector	New Zealand Defence Force, "Combined New Zealand and Australian Military Exercise off Australian Coast," February 8, 2005. http://www.nzdf.mil.nz/news/media-releases/20050208-1.htm (2009年9月18日アクセス)
2005	7	PWO Sea Assessment Week 05–1	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2005–2006.
2005	10	Anti Submarine Warfare Exercise 05	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2005–2006.
2005	11	PWO Sea Assessment Week 05–2	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2005–2006.
2006	1–2	Tasman Reserve 06	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2005–2006.
2006	2	Tasman Link 06	Royal New Zealand Navy, "For Exercise!," <i>Navy Today</i> , NT110, May 2006, p. 8.
2006	2	Tasmanex 2006	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2005–2006.
2006	7	Principal Warfare Officer Assessment Week' 06–1	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2006–2007.
2006	11	Dugong	Australian Government, Department of Defence, "Mine Warfare and Diving Capabilities Tested in Exercise Dugong," November 10, 2006. http://www.defence.gov.au/media/DepartmentalTpl.cfm?CurrentId=6057 (2011年8月31日アクセス)
2006	11	ASWEX 2006	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2006–2007.
2006	11–12	Principal Warfare Officer Assessment	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2006–2007.
2006		Ocean Protector 06–1	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2005–2006.
2007	2	Tasmanex 2007	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2006–2007.
2007	7–8	F111Det	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007–2008.
2007	8–10	Tropical Flying Exercise	New Zealand Defence Force, "Australia Hosts Tropical Flying Exercise," August 10, 2007. http://www.nzdf.mil.nz/news/media-releases/20070810-ahrnzaffte.htm (2009年9月23日アクセス)

2007	11	ASWEX 07	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007–2008.
2007	11	Dugong 07	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007–2008.
2007	11–12	Principal Warfare Officer Assessment Week 07–2	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007–2008.
2007	12	F111Det	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007–2008.
2008	2	Tasman Reserve	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007–2008.
2008	2–3	Fleet Connection Period East	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007–2008.
2008	3	Wanaka Air Show	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007–2008.
2008	3	F111Det	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007–2008.
2008	5	Joint Kiwi08	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007–2008.
2008	10	Swift Eagle 08	Australian Government, Department of Defence, Defence News 2008, "Exercise Swift Eagle 08 Winds down," http://www.army.gov.au/DefenceBlog/2008/1027_1102.htm (2010年8月17日アクセス)
2009	11	ASWEX	"HMNZS TE MAMA," <i>Navy Today</i> , February 10, Issue 151, 2010.

25 豪インドネシア

年	月	演習名	資料源
1981		New Horizon	Bilveer Singh, <i>Defense Relations between Australia and Indonesia in the Post-Cold War Era</i> (Westport: Greenwoodpress, 2002), p. 67.
1982		New Horizon 4	Bilveer Singh, <i>Defense Relations between Australia and Indonesia in the Post-Cold War Era</i> (Westport: Greenwoodpress, 2002), p. 67.
1984		New Horizon 84	Bilveer Singh, <i>Defense Relations between Australia and Indonesia in the Post-Cold War Era</i> (Westport: Greenwoodpress, 2002), p. 67.
1990		Ausina	Royal Australian Navy, "HMAS Swan(III)," http://www.navy.gov.au/HMAS_Swan_(III) (2010年10月9日アクセス)
1991	10	New Horizon	Royal Australian Navy, "HMAS Westralia(II)," http://www.navy.gov.au/HMAS_Westralia_(II) (2010年12月6日アクセス)
1992		Ausina 2-92	Royal Australian Navy, "HMAS Westralia(II)," http://www.navy.gov.au/HMAS_Westralia_(II) (2010年12月6日アクセス)
1992		Ausindo	Bilveer Singh, <i>Defense Relations between Australia and Indonesia in the Post-Cold War Era</i> (Westport: Greenwoodpress, 2002), p. 75.
1993		Ausina Patrolex 2/93	Bilveer Singh, <i>Defense Relations between Australia and Indonesia in the Post-Cold War Era</i> (Westport: Greenwoodpress, 2002), p. 75.
1993		Ausina Patrolex 9-93	Bilveer Singh, <i>Defense Relations between Australia and Indonesia in the Post-Cold War Era</i> (Westport: Greenwoodpress, 2002), p. 75.
1993		Ausindo 93	Bilveer Singh, <i>Defense Relations between Australia and Indonesia in the Post-Cold War Era</i> (Westport: Greenwoodpress, 2002), p. 75.

1993		New Horizon VII/93 (CAKRAWALA BARU)	"Australian, Indonesian Co-operation," <i>Royal Australian Navy News</i> , Volume 36, No. 16, August 27, 1993.
1993		Patrolex 2/93	Bilveer Singh, <i>Defense Relations between Australia and Indonesia in the Post-Cold War Era</i> (Westport: Greenwoodpress, 2002), p. 75.
1994		Ausina 3/94	Bilveer Singh, <i>Defense Relations between Australia and Indonesia in the Post-Cold War Era</i> (Westport: Greenwoodpress, 2002), p. 75.
1994		Ausina Patrolex 94-1	Bilveer Singh, <i>Defense Relations between Australia and Indonesia in the Post-Cold War Era</i> (Westport: Greenwoodpress, 2002), p. 75.
1994		Night Komodo	"Australian Military Ties with Indonesia," <i>Asia Pacific Solidarity Network</i> , http://www.asia-pacific-solidarity.net/southeastasia/indonesia/publications/military/milities.htm (2011年10月12日アクセス)
1994		Patrolex 94-1	Bilveer Singh, <i>Defense Relations between Australia and Indonesia in the Post-Cold War Era</i> (Westport: Greenwoodpress, 2002), p. 75.
1994		Rajawali Ausindo 94	Bilveer Singh, <i>Defense Relations between Australia and Indonesia in the Post-Cold War Era</i> (Westport: Greenwoodpress, 2002), p. 75.
1993-94		Night Mongoose	Bilveer Singh, <i>Defense Relations between Australia and Indonesia in the Post-Cold War Era</i> (Westport: Greenwoodpress, 2002), p. 75.
1994-95		Elang Ausindo 94	Bilveer Singh, <i>Defense Relations between Australia and Indonesia in the Post-Cold War Era</i> (Westport: Greenwoodpress, 2002), p. 75.
1995	3	Swift Canopy 95	"Australian Military Ties with Indonesia," <i>Asia Pacific Solidarity Network</i> , http://www.asia-pacific-solidarity.net/southeastasia/indonesia/publications/military/milities.htm (2011年10月12日アクセス)
1995		Ausina 95-1	Bilveer Singh, <i>Defense Relations between Australia and Indonesia in the Post-Cold War Era</i> (Westport: Greenwoodpress, 2002), p. 75.
1995		Trisetia	Australian Government, Department of Defence, "Australian and Indonesian Armies Continue Annual Exchange Exercise," March 19, 1999. http://www.defence.gov.au/media/1999/07799.html (2010年12月5日アクセス)
1996	6	Cassowary 96-1	House of Representatives, Official Hansard, August 9, 1999.
1996	6	Kookaburra 96	House of Representatives, Official Hansard, August 9, 1999.
1996	6	New Horizon VIII/96	House of Representatives, Official Hansard, August 9, 1999.
1996	6	Night Komodo	House of Representatives, Official Hansard, August 9, 1999.
1996	8	Indonesian exchange 96	House of Representatives, Official Hansard, August 9, 1999.
1996	10	Rajawali Ausindo96	House of Representatives, Official Hansard, August 9, 1999.
1996	10	TRISSETIA 96	House of Representatives, Official Hansard, August 9, 1999.
1996	12	Elang Ausindo 96	House of Representatives, Official Hansard, August 9, 1999.
1997	4	Cassowary 97-1	House of Representatives, Official Hansard, August 9, 1999.

1997	6	Albatros Ausindo 97-1	House of Representatives, Official Hansard, August 9, 1999.
1997	6	Kookaburra 97	House of Representatives, Official Hansard, August 9, 1999.
1997	6	Night Komodo 96	House of Representatives, Official Hansard, August 9, 1999.
1997	11	Trisetia 97	House of Representatives, Official Hansard, August 9, 1999.
1997	10	Elang Ausindo 97	House of Representatives, Official Hansard, August 9, 1999.
1997		Albatros Ausindo 97-2	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997-1998.
1997		Cassowary 97-2	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997-1998.
1997		Rajawali Ausindo 97	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997-1998.
1998	6	Indonesia/Surabaya	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
1998	9	Albatros Ausindo 98-4	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
1998	9	Cassowary 98-2	House of Representatives, Official Hansard, August 9, 1999.
1998	10	Rajawali Ausindo	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
1998	11	Elang Ausindo 98-5	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
1998	11	Anzac/Sydney	House of Representatives, Official Hansard, August 9, 1999.
1998		Albatros Ausindo 98-3	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997-1998.
1998		Cassowary 98-1	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997-1998.
1998		New Horizon 98	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997-1998.
1999	3	Albatros Ausindo 99-5	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
1999	3	Trisetia	Australian Government, Department of Defence, "Australian and Indonesian Armies Continue Annual Exchange Exercise," March 19, 1999. http://www.defence.gov.au/media/1999/07799.html (2010年12月5日アクセス)
1999	4	Cassowary Series(99-01)	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
1999	5	Canberra/Sydney	House of Representatives, Official Hansard, August 9, 1999.
1999	5	Indonesia/Jakarta	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
1999	9	Elang Ausindo	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1999-2000.
2005	4	Albatros Ausindo	The Jakarta Post, "Australia and Indonesia Resume Military Exercises," April 13, 2005.
2006	11	Cassowary 06	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2006-2007.
2006	11-12	Rajawali AusIndo 06	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2006-2007.
2006		Dawn Kookaburra	『海洋安全保障情報月報』2006年3月号。
2007	7	Albatros Auslindo 07	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007-2008.

2007	7	Dawn Komodo	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007–2008.
2007	8	Passex	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007–2008.
2007	9	Elang Ausindo	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007–2008.
2007	10–11	Karitika Burra 07	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007–2008.
2008	2	Dawn Kookaburra	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007–2008.
2008	9	Albatros Auslindo 2008	"Exercise Albatros Ausindo 2008," <i>Image Gallery: August 2008</i> , September 3, 2008. http://www.defence.gov.au/media/download/2008/Sep/20080903b/index.htm (2010年7月22日アクセス)
2009	8–9	Elang Ausindo	"Exercise Elang Ausindo 09," <i>Image Gallery: September 2009</i> , September 3, 2009. http://www.defence.gov.au/media/download/2009/sep/20090903c/index.htm (2010年7月28日アクセス)

26 豪タイ

年	月	演習名	資料源
1991	7	Austhai 91	Royal Australian Navy, "HMAS Oxley(II)," http://www.navy.gov.au/HMAS_Oxley_(II) (2010年9月19日アクセス)
1992		Austhai	Royal Australian Navy, "HMAS Westralia(II)," http://www.navy.gov.au/HMAS_Westralia_(II) (2010年12月6日アクセス)
1994		Austhai	Royal Australian Navy, "HMAS Westralia(II)," http://www.navy.gov.au/HMAS_Westralia_(II) (2010年12月6日アクセス)
1997		Night Crocodile	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997–1998.
1997		Temple Jade 97	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997–1998.
1997		Thai Boomerang	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997–1998.
1998	6	Pirap–Jabiru	Australian Electoral Commission Annual Report 1998–99.
1998	8	Chapel Gold	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998–1999.
1998	10–11	Night Crocodile	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998–1999.
1998	10–11	Thailand	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998–1999.
1998		Day Panther	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997–1998.
1998		Night Panther	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997–1998.
1999	6	Day Panther 99	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998–1999.
1999	6	Night Panther 99	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998–1999.
1999		Chapel Gold	Defence News, "Exchange bonds paras," <i>Army</i> , September 27, 2001.
2000	5–6	Day Panther	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1999–2000.
2000	5–6	Night Panther	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1999–2000.

2000	6	Pirap Jabiru 2000	Australian Government, Department of Defence, "Exercise Pirap Jabiru 2000 with Thailand Successful," June 28, 2000. http://www.defence.gov.au/minister/1tpl.cfm?CurrentId=296 (2013年3月8日アクセス)
2000	9	Austhai	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2000-2001.
2000	2000.10-2001.4	Taa Nok In Sii	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2000-2001.
2001	6	Night Panther 01	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2000-2001.
2001	6-7	Wyvern Sun 01	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2001-2002.
2001	8-9	Temple Jade 01	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2001-2002.
2001	12-2002.4	Taa Nok In Sii	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2001-2002.
2002	6	Dawn Panther 02	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2001-2002.
2002	7	Chapel Gold 02	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2002-2003.
2002	7	Wyvern Sun 02	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2002-2003.
2002	8	Thai Boomerang	Australian Government, Department of Defence, "Air Force Joins Thai Boomerang Exercise in Thailand," September 5, 2005. http://www.defence.gov.au/minister/13tpl.cfm?CurrentId=5077 (2010年10月14日アクセス)
2002	9	Pirap Jabiru 02	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2002-2003.
2002	12	Taa Nok In Sii 02-2	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2002-2003.
2003	6	Dawn Panther 03	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2002-2003.
2003	7	Taa Nok In Sii 03-1	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2003-2004.
2004	4	Taa Nok In Sii 04-1	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2003-2004.
2004	7	Wyvern Sun 04	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2004-2005.
2004	8	Pirap Jabiru 04	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2004-2005.
2004		Austhai	Official Committee Hansard, Senate, Foreign Affairs, Defence and Trade Legislation Committee, November 2, 2005.
2004		Chapel Gold	2nd/30th Training Group, "Exercise Chapel Gold," June 17, 2008. http://www.army.gov.au/2_30trggp/EX_Chapel_Gold.asp (2011年2月13日アクセス)
2005	7-8	Dawn Panther 05	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2005-2006.
2005	7-8	Night Panther 05	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2005-2006.
2005	7-8	Star Panther 05	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2005-2006.
2005	8-9	Thai Boomerang 05	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2005-2006.

2005		Chapel Gold	2nd/30th Training Group, "Exercise Chapel Gold," June 17, 2008. http://www.army.gov.au/2_30trggp/EX_Chapel_Gold.asp (2011年2月13日アクセス)
2006	7	Temple Jade 06	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2006-2007.
2006	7-8	Dawn Panther 06	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2006-2007.
2006	8	Pirap Jabiru 06	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2006-2007.
2006	8	AusThai 06	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2005-2006.
2006		TJ 06(Temple Jade)	2nd/30th Training Group, "Exercise Chapel Gold," June 17, 2008. http://www.army.gov.au/2_30trggp/EX_Chapel_Gold.asp (2011年2月13日アクセス)
2007	6	Dawn Panther 07	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2006-2007.
2007	8	Pirap Jabiru 07	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007-2008.
2007	9	Thai Boomerang	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007-2008.
2007	10-11	Chapel Gold	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007-2008.
2008	6	Star Panther	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007-2008.
2008	8	Pirap Jabiru 08	Foreign Office, The Government Public Relations Department, Thailand, "Thailand and Australia Conducting a Joint Exercise to Enhance Regional Cooperation in Peacekeeping," August 26, 2008. http://thailand.prd.go.th/view_news.php?id=3754&a=2 (2011
2008	9	Austhai 08	Australian Government, Department of Defence, "Australia and Thailand Participate in Combined Exercise," September 1, 2008. http://www.defence.gov.au/media/departmentalpl.cfm?CurrentId=8163 (2011年2月13日アクセス)
2008		Chapel Gold	2nd/30th Training Group, "Exercise Chapel Gold," June 17, 2008. http://www.army.gov.au/2_30trggp/EX_Chapel_Gold.asp (2011年2月13日アクセス)
2009	8	Thai Boomerang	"Exercise Thai Boomerang 09," August 21, 2009. http://www.defence.gov.au/media/download/2009/aug/20090821a/index.htm (2010年10月14日アクセス)
2009	9	Austhai 09	Australian Government, Department of Defence, Australia and Thailand Participate in Combined War Game, September 10, 2009. http://www.defence.gov.au/media/departmentalpl.cfm?CurrentId=9450 (2010年7月22日アクセス)
2009		TJ 09(Temple Jade)	2nd/30th Training Group, "Exercise Chapel Gold," June 17, 2008. http://www.army.gov.au/2_30trggp/EX_Chapel_Gold.asp (2011年2月13日アクセス)

27 豪シンガポール

年	月	演習名	資料源
---	---	-----	-----

1996	6	Flaming Arrow	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore conducts Bilateral Live-Firing Exercise with Australia," June 14, 1996. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1996/jun/14jun96_nr.html (2008年8月11日アクセス)
1996	10	Singaroo	Ministry of Defence, Singapore, "Australian and Singaporean Navies in Exercise off Northern Australia," October 11, 1996. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1996/oct/11oct96_nr.html (2008年8月11日アクセス)
1997	3	Flaming Arrow	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Australia in Live-Firing Exercise," March 18, 1997. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1997/mar/18mar97_nr.html (2008年8月12日アクセス)
1997	5	Hunter 97	Ministry of Defence, Singapore, "Australia and Singapore in Joint Naval Exercise," May 19, 1997. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1997/may/19may97_nr.html (2008年8月12日アクセス)
1997	5	Singaroo	Ministry of Defence, Singapore, "Australia and Singapore Navies in Annual Exercise," May 2, 1997. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1997/may/02may97_nr.html (2008年8月12日アクセス)
1998		Axolotl 98	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997-1998.
1998	4	Flaming Arrow 6/98	Ministry of Defence, Singapore, "ADF and SAF Troops in Joint Exercise," April 17, 1998. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1998/april/17apr98_nr2.html (2008年8月14日アクセス)
1998	4	Hunter	Ministry of Defence, Singapore, "Navies of Australia and Singapore in Joint Exercise," April 13, 1998. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1998/april/13apr98_nr.html (2008年8月14日アクセス)
1998	10	Singapore	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
1998	10	Singaroo	Ministry of Defence, Singapore, "Navies of Australia and Singapore in Exercise off Northern Australia," October 22, 1998. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1998/oct/22oct98_nr.html (2008年8月14日アクセス)
1999	5	Singaroo	Ministry of Defence, Singapore, "Australia and Singapore Conduct Naval Exercises," May 6, 1999. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1999/may/06may99_nr.html (2010年1月6日アクセス)
2000	3-4	Axolotl 00	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1999-2000.
2000	5	Hunter 00	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1999-2000.
2000	7-2001.3	Singas Exchange	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2000-2001.
2000	8	Singaroo	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2000-2001.
2000	10-11	Matilda	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2000-2001.
2000		Kujarra	"Defence Trials," <i>Woomera South Australia</i> , https://www.woomera.com.au/range/defence/military.htm (2011年4月1日アクセス)
2001	2-3	Flaming Arrow	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2000-2001.

2001	4	Singaroo	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2000–2001.
2002	7–2003.3	Singas Exchange 02–03	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2002–2003.
2002	8	Hunter 02	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2002–2003.
2002	8	Night Lion 02	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2002–2003.
2003	7–2004.3	Singas Exchange 03	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2003–2004.
2003	10–11	Wallaby 03	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2003–2004.
2004		Kujarra	"Defence Trials," <i>Woomera South Australia</i> , https://www.woomera.com.au/range/defence/military.htm (2011年4月1日アクセス)
2004	8	Singaroo	Ministry of Defence, Singapore, "Australia and Singapore Participate in Joint Maritime Exercise Singaroo," August 11, 2004. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2004/aug/11aug04_nr.html (2009年9月14日アクセス)
2005	4	Singaroo	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Australia in Joint Maritime Exercise," April 4, 2005. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2005/apr/04apr05_nr.html (2009年9月14日アクセス)
2005	9	Star Lion	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Australia conduct Exercise Star Lion," September 30, 2005. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2005/sep/30sep05_nr.html (2009年9月14日アクセス)
2006	7	Night Tiger 06	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2006–2007.
2006	7	Singaroo	Ministry of Defence, Singapore, "Australia and Singapore Conduct Joint Maritime Exercise Singaroo," July 24, 2006 http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2006/jul/24jul06_nr.html (2009年9月14日アクセス)
2006	11	Lion Bridge	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Australia Participate in Joint CBRE Exercise," November 24, 2006. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2006/Nov/24nov06_nr.html (2009年9月14日アクセス)
2006	11–12	Lion Bridge 06	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2006–2007.
2007	5	Singaroo	Ministry of Defence, Singapore, "Australia and Singapore Participate in Joint Maritime Exercise Singaroo," May 9, 2007. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2007/may/09may07_nr.html (2009年9月14日アクセス)
2007	9–10	Kujarra III	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007–2008.
2007	9–10	RSAF Fighter Det	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007–2008.
2007	10–11	CBRE Exercise	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Australia Conduct Bilateral CBRE Exercise," November 1, 2007. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2007/nov/01nov07_nr.html (2009年9月15日アクセス)
2007	11–12	Bridge Lion 07	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007–2008.
2008	7	Singaroo	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Australia Participate in Joint Maritime Exercise," July 18, 2008. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2008/jul/18jul08_nr.html (2010年5月19日アクセス)

2009	9	Matilda	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Australia Conduct Bilateral Armour Exercise," September 23, 2009. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2009/sep/23sep09_nr.html (2010年5月20日アクセス)
2009	9	Singaroo	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Australian Navies Conduct Joint Maritime Exercise," September 18, 2009. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2009/sep/18sep09_nr.html (2010年5月20日アクセス)

28 豪マレーシア

年	月	演習名	資料源
1981		Haringaroo 81	Parliament of Australia, Parlinfo Search, Answers to Questions, Defence Exercise, May 6, 1987.
1982/8 3		Haringaroo 4	Parliament of Australia, Parlinfo Search, Answers to Questions, Defence Exercise, May 6, 1987.
1982/8 3		Haringaroo 5	Parliament of Australia, Parlinfo Search, Answers to Questions, Defence Exercise, May 6, 1987.
1983/1 984		Haringaroo 8	Parliament of Australia, Parlinfo Search, Answers to Questions, Defence Exercise, May 6, 1987.
1984		Southern Tiger	Parliament of Australia, Parlinfo Search, Answers to Questions, Defence Exercise, May 6, 1987.
1984/1 985		Haringaroo 9	Parliament of Australia, Parlinfo Search, Answers to Questions, Defence Exercise, May 6, 1987.
1984/1 985		Haringaroo 10	Parliament of Australia, Parlinfo Search, Answers to Questions, Defence Exercise, May 6, 1987.
1984/1 985		Haringaroo 11	Parliament of Australia, Parlinfo Search, Answers to Questions, Defence Exercise, May 6, 1987.
1985/1 986		Haringaroo 12	Parliament of Australia, Parlinfo Search, Answers to Questions, Defence Exercise, May 6, 1987.
1985/1 986		Haringaroo 13	Parliament of Australia, Parlinfo Search, Answers to Questions, Defence Exercise, May 6, 1987.
1986		Southern Tiger	Parliament of Australia, Parlinfo Search, Answers to Questions, Defence Exercise, May 6, 1987.
1986/1 987		Haringaroo 14	Parliament of Australia, Parlinfo Search, Answers to Questions, Defence Exercise, May 6, 1987.
1986/1 987		Haringaroo 15	Parliament of Australia, Parlinfo Search, Answers to Questions, Defence Exercise, May 6, 1987.
1989	5-6	Haringaroo 23	"Australian Soldiers Exercise with Malaysian Army," <i>Defence Force Journal</i> , No. 82, May/June, 1990.
1992	6	Haringaroo 26/92	"Malaysia, Australia Start Joint Military Exercise," <i>The Straits Times</i> , June 21, 1992. http://newspapers.nl.sg/Digitised/Issue/straitstimes19920621.aspx (2011年10月20日アクセス)
1997		Southern Tiger 97	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997-1998.
1997/1 998		Haringaroo97/98	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997-1998.
1998	10	Malaysia	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
2000	3	Night Tiger	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1999-2000.
2000	7	Haringaroo 00-1	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2000-2001.
2001	6	Haringaroo 01-1	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2001-2002.
2001	6-7	Rifle Company Butterworth	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2001-2002.

2002	8	Mastex 02	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2002–2003.
2003	4	Haringaroo 03–1	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2002–2003.
2003	5–8	Rifle Company Butterworth	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2003–2004.
2003	11–2004.2	Rifle Company Butterworth	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2003–2004.
2004	3	Southern Tiger 04	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2003–2004.
2004		Mastex 04	Official Committee Hansard, Senate, Foreign Affairs, Defence and Trade Legislation Committee, November 2, 2005.
2005	8	Mastex 05	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2005–2006.
2005	9	Southern Tiger 05	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2005–2006.
2006	4	Haringaroo 1–06	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2005–2006.
2006	5	Mastex 06	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2005–2006.
2006	7	Night Tiger 06	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2006–2007.
2006	9	Southern Tiger 06	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2006–2007.
2006	11–12	Haringaroo 3–06	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2006–2007.
2007	2006.11–2007.6	Rifle Company Butterworth Rotation	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2006–2007.
2007	4	Haringaroo 1–07	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2006–2007.
2007	5	Dawn Tiger 07	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2006–2007.
2007	7	Haringaroo 3/07	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007–2008.
2007	2007.7–2008.6	Rifle Company Butterworth Rotation	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007–2008.
2007	9	Haringaroo 4/07	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007–2008.
2007	9	Mastex	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007–2008.
2007	10	Dragon Bull	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007–2008.
2007	11	Haringaroo 5/07	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007–2008.
2008	5	Dawn Tiger 08	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007–2008.
2008	5–6	Haringaroo 08/1	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007–2008.
2008	6	Southern Tiger 08	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007–2008.
2008	8	Mastex 08	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2008–2009.
2009	8	Mastex 09	Royal Australian Navy, "Australia and Malaysia Join Forces," August 26, 2009. http://www.navy.gov.au/Australia_And_Malaysia_Join_Forces (2011年10月20日アクセス)
2009		Haringaroo	"Tough Lessons in Jugle Law," <i>Defence News Army</i> , August 20, 2009.

29 豪フィリピン

年	月	演習名	資料源
1998	10	Lumbas 98	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
1998	11	Philippines	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
2000	9	Lumbas	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2000-2001.
2002	5-6	Dawn Caracha 02	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2001-2002.
2002	10-12	Lumbas 02	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2002-2003.
2003		Dawn Caracha	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2003-2004.
2004	7	Dawn Caracha	Australian Government, Department of Defence, "Defence Strengthens Counter-Terrorism Cooperation with the Philippines," July 4, 2004. http://www.defence.gov.au/media/DepartmentalTpl.cfm?CurrentID=4003 (2011年10月19日アクセス)
2004	8-12	Lumbas 2004	"Philippines, Australia to Conduct Joint Navy Exercise," <i>People's Daily Online</i> , August 19, 2004. http://english.peopledaily.com.cn/200408/19/eng20040819_153812.html (2012年7月6日アクセス)
2005	7	Dawn Caracha 05	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2005-2006.
2006	7-8	Dawn Caracha 06	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2006-2007.
2006	10	Lumbas 06	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2006-2007.
2007	10	Dawn Caracha 07	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007-2008.
2007	10	Lumbas 2007	Rommel C. Banlaoi, "The Philippines and Australia, Defense and Security Cooperation against Terrorism," PIPVTR Monograph No. 1, August 2008, p. 33.
2008	9	Lumbas 08	Australian Government, Department of Defence, "Maritime Security and Disaster Response Exercise Commences," September 22, 2008. http://www.defence.gov.au/media/DepartmentalTpl.cfm?CurrentID=8250 (2011年10月19日アクセス)
2009	9	Dawn Caracha 09	"RP-Australian Forces Start Joint Military Exercises," <i>The Philippine Star</i> , September 8, 2009. http://www.philstar.com/Article.aspx?articleId=503260&publicationSubCategoryId=67 (2012年7月6日アクセス)

30 豪ブルネイ

年	月	演習名	資料源
1987		Predator Retreat	Ministry of Defence, Brunei Darussalam, "RBLF Bilateral Ties," http://www.mindef.gov.bn/ (2013年1月31日アクセス)
1992		Mallee Bull	Ministry of Defence, Brunei Darussalam, "RBLF Bilateral Ties," http://www.mindef.gov.bn/ (2013年1月31日アクセス)
1997		Penguin 97	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997-1998.
1998	10	Mallee Bull 98	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.

1998	10-11	Night Crocodile	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
1998	11	Night Leopard 98	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
2000	7	Penguin 00	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2000-2001.
2000	11	Night Leopard	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2000-2001.
2002	4-5	Mallee Bull 02	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2001-2002.
2002	9	Penguin 02	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2002-2003.
2002	10	Star Leopard 02	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2002-2003.
2003	11	Night Leopard 03	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2003-2004.
2004	6	Mallee Bull	"Brunei Land Forces Contingent Leaves for Exercise in Australia," <i>Asia Africa Intelligence Wire</i> , June 16, 2004. http://www.accessmylibrary.com/coms2/summary_0286-21662006_ITM (2011年10月19日アクセス)
2004	8	Penguin 12/04	"Aussie Naval Officer Lauds Brunei-Australia Defence Ties," <i>BruneiDirect.Com</i> , August 14, 2004. http://old.brudirect.com/public_html/DailyInfo/News/Archive/Aug04/140804/nite08.htm (2011年3月11日アクセス)
2004	9	Star Leopard 2004	"SF Jump for Joint Activity," <i>Army</i> . http://www.defence.gov.au/news/armynews/editions/1108/topstories/story08.htm (2011年10月20日アクセス)
2005	9	Night Leopard	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2005-2006.
2006	6	Penguin 13/06'	"RBN and Australian Navy Conduct Exercise," <i>BruneiDirect.Com</i> , June 23, 2006. http://old.brudirect.com/public_html/DailyInfo/News/Archive/June06/230606/nite30.htm (2011年3月11日アクセス)
2006	9	Star Leopard 06	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2006-2007.
2007	11	Night Leopard	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007-2008.
2008	3-4	Mallee Bull 1-08	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007-2008.
2008	6	Mallee Bull 2/2008	Ministry of Defence, Brunei Darussalam, "RBLF Conduct Military Exercise in Australia," June 10, 2008. http://www.mindef.gov.bn/MOD_Brunei2/index.php?option=com_content&view=article&id=275:rblf-conduct-military-exercise-in-australia&catid=1:news&Itemid=92 (2009年9月6日アクセス)

31 露カザフスタン

年	月	演習名	資料源
2008	7	Interaction-2008	"Kazakhstan, Russia Hold Antiterrorist Drills amid Tensions between Moscow and Tbilisi," <i>Central Asia Online</i> , July 22, 2008. http://centralasiaonline.com/en_GB/articles/caii/features/2008/07/22/feature-01 (2011年10月14日アクセス)

2008	9	Centre	"Russia's Central Asian Exercises with Kazakhstan Focus on Defending Energy Assets," <i>Eurasia Daily Monitor</i> , September 11, 2008, Volume:5, Issue 174 http://www.jamestown.org/single/?no_cache=1&tx_ttnews%5Btt_news%5D=33932 (2011年10月14日アクセス)
------	---	--------	--

32 露タジキスタン

年	月	演習名	資料源
1994		3 (演習名記載なし)	「アジア動向データベース」日本貿易振興機構アジア経済研究所 http://d-arch.ide.go.jp/infolib/meta/MetDefault.exe?DEF_XSL=DIASearch&GRP_ID=G0000001&DB_ID=G0000001ASIADB&IS_TYPE=meta&IS_STYLE=default (2013年3月4日アクセス)
2004		3 (演習名記載なし)	「アジア動向データベース」日本貿易振興機構アジア経済研究所 http://d-arch.ide.go.jp/infolib/meta/MetDefault.exe?DEF_XSL=DIASearch&GRP_ID=G0000001&DB_ID=G0000001ASIADB&IS_TYPE=meta&IS_STYLE=default (2013年3月4日アクセス)
2005		8 (演習名記載なし)	「アジア動向データベース」日本貿易振興機構アジア経済研究所 http://d-arch.ide.go.jp/infolib/meta/MetDefault.exe?DEF_XSL=DIASearch&GRP_ID=G0000001&DB_ID=G0000001ASIADB&IS_TYPE=meta&IS_STYLE=default (2013年3月4日アクセス)
2006		4 (演習名記載なし)	「アジア動向データベース」日本貿易振興機構アジア経済研究所 http://d-arch.ide.go.jp/infolib/meta/MetDefault.exe?DEF_XSL=DIASearch&GRP_ID=G0000001&DB_ID=G0000001ASIADB&IS_TYPE=meta&IS_STYLE=default (2013年3月4日アクセス)
2006		4 (演習名記載なし)	"Russia, Tajikistan Hold Joint Anti-terror Drill," <i>Xinhua News Agency</i> , April 6, 2006. http://www.highbeam.com/doc/1P2-16026243.html (2011年3月23日アクセス)
2006		8 (演習名記載なし)	「アジア動向データベース」日本貿易振興機構アジア経済研究所 http://d-arch.ide.go.jp/infolib/meta/MetDefault.exe?DEF_XSL=DIASearch&GRP_ID=G0000001&DB_ID=G0000001ASIADB&IS_TYPE=meta&IS_STYLE=default (2013年3月4日アクセス)

33 露キルギスタン

年	月	演習名	資料源
2006	10	Dubbed South 2006	"Fissures in the Force-Multilaterak Co-operation Can Only Go so far," <i>Jane's Intelligence Review</i> , May 17, 2007.

34 露ウズベキスタン

年	月	演習名	資料源
1994		3 (演習名記載なし)	「アジア動向データベース」日本貿易振興機構アジア経済研究所 http://d-arch.ide.go.jp/infolib/meta/MetDefault.exe?DEF_XSL=DIASearch&GRP_ID=G0000001&DB_ID=G0000001ASIADB&IS_TYPE=meta&IS_STYLE=default (2013年3月4日アクセス)
2005		9 (演習名記載なし)	「アジア動向データベース」日本貿易振興機構アジア経済研究所 http://d-arch.ide.go.jp/infolib/meta/MetDefault.exe?DEF_XSL=DIASearch&GRP_ID=G0000001&DB_ID=G0000001ASIADB&IS_TYPE=meta&IS_STYLE=default (2013年3月4日アクセス)

2006	9	(演習名記載なし)	"Uzbekistan Stage Anti-terror Exercise in Southern Russia," <i>RIA Novosti</i> , September 19, 2006. http://en.rian.ru/russia/20060919/54032143.html (2012年7月6日アクセス)
------	---	-----------	---

35 露モンゴル

年	月	演習名	資料源
2008	11	Darkhan-1	"Mongolia and Russia Join Forces for Military Training," <i>Mongolia Attractions.Com</i> , November 30, 2008. http://www.mongolia-attractions.com/mongolia-and-russia-join-forces-for-military-training.html (2011年3月21日アクセス)
2009	8	Darkhan-2	"Mongolia: Strategic Juggling Act," <i>Transitions Online</i> , August 31, 2009

36 露韓国

年	月	演習名	資料源
2004	2	搜索救難訓練	防衛庁編『防衛白書』平成16年版。

37 中タイ

年	月	演習名	資料源
2005	12	Sino-Thai Friendship 2005	『海洋安全保障月報』2005年12月号。
2007	7	突撃—2007(陸軍特殊戦闘分隊合同訓練)	北京週報『2008年の中国の国防』 http://japanese.beijingreview.com.cn/wxzl/txt/2009-02/12/content_178289_16.htm (2009年12月8日アクセス)
2008	7	突撃—2008(陸軍特殊戦闘分隊合同訓練)	北京週報『2008年の中国の国防』 http://japanese.beijingreview.com.cn/wxzl/txt/2009-02/12/content_178289_16.htm (2009年12月8日アクセス)

38 中シンガポール

年	月	演習名	資料源
2009	6	Cooperation 2009	Ministry of Defence, Singapore, "SAF and PLA to Conduct Joint Counter-Terrorism Training Exercise," June 18, 2009. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2009/jun/18jun09_nr.html (2010年5月20日アクセス)

39 中パキスタン

年	月	演習名	資料源
2003	10	海軍合同軍事演習	防衛庁編『防衛白書』平成16年版。
2004	8	友誼2004	人民日報日本語版「中国とパキスタン 初の対テロ対策共同軍事演習」2004年8月7日。 http://j.people.com.cn/2004/08/07/print20040807_42105.html (2009年1月21日アクセス)
2005	11	合同搜索救難訓練	防衛庁編『防衛白書』平成18年版。
2006	12	友情2006	人民日報日本語版「中パ反テロ合同軍事演習、実際の部隊による演習」2006年12月18日。 http://j.people.com.cn/2006/12/18/print20061218_66066.html (2009年1月21日アクセス)

40 中モンゴル

年	月	演習名	資料源
2009	6	合同軍事演習	『日本経済新聞』2009年6月27日。

41 中カザフスタン

年	月	演習名	資料源

2003	8	Joint-2003	北京週報「2004年の中国の国防」 http://japanese.beijingreview.com.cn/wxzl/txt/2007-02/07/content_56357_15.htm (2011年3月21日アクセス)
------	---	------------	---

42 中タジキスタン

演習年	月	演習名	資料源
2006	9	Cooperation-2006 (協力2006年)	「中国・タジク合同の軍事演習「協力—2006年」を実施」『レコードチャイナ』2006年9月24日。 http://www.recordchina.co.jp/group.php?groupid=2825 (2012年7月6日アクセス)

43 中キルギスタン

年	月	演習名	資料源
2002	10	(対テロ演習)	防衛庁編『防衛白書』平成16年版。

44 印シンガポール

年	月	演習名	資料源
1994		ASW	Ministry of Defence, Singapore, "Indian and Singapore Navies in ASW Exercise," March 6, 1998. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1998/mar/06mar98_nr.html (2008年8月14日アクセス)
1997	2-3	ASW	Ministry of Defence, Singapore, "Indian and Singapore Navies Participate in Joint Anti-Submarine Warfare Exercise," February 21, 1997. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1997/feb/21feb97_nr3.html (2008年8月12日アクセス)
1998	3	ASW	Ministry of Defence, Singapore, "Indian and Singapore Navies in ASW Exercise," March 6, 1998. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1998/mar/06mar98_nr.html (2008年8月14日アクセス)
1999		Simbex	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Indian Navies Conduct Bilateral Exercise," February 24, 2005. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2005/feb/24feb05_nr3.html (2009年9月14日アクセス)
2000	2-3	ASW	Ministry of Defence, Singapore, "Anti-Submarine Warfare Exercise Between the Indian and Singapore Navies," February 28, 2000. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2000/feb/28feb00_nr2.html (2009年9月8日アクセス)
2001	3	ASW	Ministry of Defence, Singapore, "Indian and Singapore Navies in Joint Anti-Submarine Warfare Exercise," March 19, 2001. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2001/mar/19mar01_nr.html (2009年9月8日アクセス)
2003	3	ASW	Ministry of Defence, Singapore, "India and Singapore Navies in Anti-Submarine Warfare Exercise," March 10, 2003. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2003/mar/10mar03_nr2.html (2009年9月10日アクセス)
2004	3	ASW	Ministry of Defence, Singapore, "India and Singapore Navies in Anti-submarine Warfare Exercise," March 7, 2004. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2004/mar/07mar04_nr.html (2009年9月14日アクセス)
2004	10-11	SINDEX	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and India Hold Inaugural Bilateral Air Exercise," October 26, 2004. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2004/oct/26oct04_nr.html (2010年12月28日アクセス)

2004		Bold Kurukshetra	Institute of Peace and Conflict Studies, Pankaj Jha, "India-Singapore Defence Exercises," May 3, 2010. http://www.ipcs.org/article/southeast-asia/india-singapore-defence-exercises-3105.html (2011年1月4日アクセス)
2005	2-4	Agni Warrior	Ministry of Defence, Singapore, "Exercise Agni Warrior 2005," May 4, 2010. http://www.mindef.gov.sg/imindef/mindef_websites/atozlistings/army/Resources/Photo_Gallery/2005/Agni_Warrior_2005.html (2011年1月4日アクセス)
2005	2-3	Simbex	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Indian Navies Conduct Bilateral Exercise," February 24, 2005. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2005/feb/24feb05_nr3.html (2009年9月14日アクセス)
2006	1	SINDEX	Ministry of Defence, Singapore, "Republic of Singapore Air Force and Indian Air Force Conduct Second Bilateral Air Exercise," January 3, 2006. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2006/jan/03jan06_nr.html (2009年9月14日アクセス)
2006	2-3	Agni Warrior	Ministry of Defence, Singapore, "Exercise Agni Warrior: Steel Tempered With Fire," November 1, 2006. http://www.mindef.gov.sg/imindef/mindef_websites/atozlistings/army/army_news/Feature/2006_Features/Exercise_Agni_Warrior.html (2011年1月4日アクセス)
2006	2-3	Simbex	Ministry of Defence, Singapore, Indian and Singapore Navies Conclude Bilateral Exercise, March 11, 2006. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2006/mar/11mar06_nr.html (2009年9月14日アクセス)
2006	11	SINDEX	Ministry of Defence, Singapore, "Republic of Singapore Air Force And Indian Air Force Conduct Third Bilateral Exercise," November 8, 2006. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2006/Nov/08nov06_nr2.html (2009年9月14日アクセス)
2006	12	SINDEX	Ministry of Defence, Singapore, "Republic of Singapore Air Force and Indian Air Force Conduct Bilateral Exercise in Singapore," December 20, 2006. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2006/dec/20dec06_nr.html (2009年9月14日アクセス)
2007	2-3	Bold Kurukshetra2007	Ministry of Defence, Singapore, "Exercise Bold Kurukshetra 2007," May 4, 2010. http://www.mindef.gov.sg/imindef/mindef_websites/atozlistings/army/Resources/Photo_Gallery/2007/bold_kurukshetra.html (2011年1月4日アクセス)
2007	3	Simbex	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Indian Navies Conduct Bilateral Exercise," March 23, 2007. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2007/mar/23mar07_nr.html (2009年9月14日アクセス)
2007	10-11	Agni Warrior	Frontier India, "Singapore Defence Minister Observes Exercise Agni Warrior 07," October 19, 2007. http://frontierindia.net/singapore-defence-minister-observes-exercise-agni-warrior-07 (2011年1月4日アクセス)
2007	11-12	SINDEX	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and India in Bilateral Air Exercise - SINDEX 07," November 26, 2007. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2007/nov/26nov07_nr.html (2009年9月15日アクセス)

2008	3	Simbex	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Indian Navies Conduct SIMBEX," March 29, 2008. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2008/mar/29mar08_nr.html (2010年5月19日アクセス)
2008	3-5	Bold Kurukshetra	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Indian Armies Conduct Fourth Armour Exercise," May 2, 2008. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2008/may/02may08_nr.html (2010年5月19日アクセス)
2008	11	Agni Warrior	Ministry of Defence, Singapore, "Dr Ng Eng Hen Visits Bilateral Artillery Exercise in India," November 24, 2008. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2008/nov/24nov08_nr2.html (2010年5月19日アクセス)
2008	11-12	Joint Military Training (JMT) 2008	Ministry of Defence, Singapore, "S'pore, Indian Air Forces in Joint Military Training," December 16, 2008. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2008/dec/16dec08_nr.html (2011年1月4日アクセス)
2009	3	Bold Kurukshetra	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore, Indian Armies Exercise Together," March 21, 2009. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2009/mar/21mar09_nr.html (2010年5月19日アクセス)
2009	3-4	Simbex	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore, India Conduct Naval Exercise," April 2, 2009. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2009/apr/02apr09_nr.html (2010年5月20日アクセス)
2009	10	Agni Warrior	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Indian Armies conduct Bilateral Artillery Exercise," October 29, 2009. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2009/oct/29oct09_nr.html (2010年5月20日アクセス)

45 印インドネシア

年	月	演習名	資料源
2003	3	INDINDO Corpat	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2003-2004.
2005	9	INDINDO Corpat	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2005-2006.
2007	3	INDINDO Corpat	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2007-2008.
2007	10	INDINDO Corpat	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2007-2008.
2008	3	INDINDO Corpat	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2008-2009.
2008	10	INDINDO Corpat	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2008-2009.
2009	3	INDINDO Corpat	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2009-2010.
2009	10-11	INDINDO Corpat	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2009-2010.

46 印タイ

年	月	演習名	資料源
2005	9	Indo-Thai Corpat	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2005-2006.
2007	4	Indo-Thai Corpat	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2007-2008.

2007	9	Joint Military Exercise	"India, Thailand Conduct Joint Military, Counter Terror Exercise in Jharkhand," <i>India Defence</i> , September 10, 2007. http://www.india-defence.com/reports-3533 (2011年2月13日アクセス)
2007	10-11	Indo-Thai Corpat	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2007-2008.
2008	10-11	Coodinated Patrols	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2008-2009.
2009	2	Coodinated Patrols	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2009-2010.

47 印マレーシア

年	月	演習名	資料源
2008	5	Joint Naval Exercise	"India, Malaysia Hold Joint Naval Exercise," <i>The Times of India</i> , May 3, 2008. http://articles.timesofindia.indiatimes.com/2008-05-03/india/27780957_1_joint-naval-exercise-naval-ships-indian-ships (2012年7月5日アクセス)

48 印ミャンマー

年	月	演習名	資料源
2003	9	Naval Exercises	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2003-2004.

49 印ベトナム

年	月	演習名	資料源
2000		Naval Exercise	Gurpreet S Khurana, "China-India Maritime Rivalry," <i>Indian Defence Review</i> , Vol. 23:4, October-December 2009, p. 5.

50 印スリランカ

年	月	演習名	資料源
2005	9	Navy Special Forces exercise	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2005-2006.
2005		Sri Lanka-India Naval exercise(SLINEX)	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2005-2006.

51 印ニュージーランド

年	月	演習名	資料源
2006	6	(演習名記載なし)	Royal New Zealand Navy, "Jun 06 - TE MANA Visits India," July 6, 2006. http://www.navy.mil.nz/visit-the-fleet/te-mana/recent-activities-te-mana/2006/tm-india.htm (2012年6月26日アクセス)

52 印モンゴル

年	月	演習名	資料源
2004	10	Joint Military Exercise	Sharad K. Soni, "India-Mongolia Relations: Implications for Regional Cooperation in North East Asia," 《蒙藏季刊》第十八卷 第二期、2009年。 http://www.mtac.gov.tw/mtac_quarterly/quarterly_c/2/1249022844.pdf (2012年7月5日アクセス)
2005	12	Joint Military Exercise	Sharad K. Soni, "India-Mongolia Relations: Implications for Regional Cooperation in North East Asia," 《蒙藏季刊》第十八卷 第二期、2009年。 http://www.mtac.gov.tw/mtac_quarterly/quarterly_c/2/1249022844.pdf (2012年7月5日アクセス)
2007	8-9	Nomadic Elephant	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2007-2008.

2008	11	Nomadic Elephant	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2008-2009.
2009	9	Nomadic Elephant	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2009-2010.

53 印タジキスタン

年	月	演習名	資料源
2003		(演習名記載なし)	"India Facing Eviction From Tajikistan Military Base ?" <i>India Defence</i> , September 20, 2007. http://www.india-defence.com/reports-3550(2011年3月23日アクセス)

54 日韓

年	月	演習名	資料源
1999	8	日韓搜索救難共同訓練	防衛庁編『防衛白書』平成12年版。
2002	9	日韓搜索救難共同訓練	防衛庁編『防衛白書』平成15年版。
2003	8	日韓搜索救難共同訓練	防衛庁編『防衛白書』平成16年版。
2005		日韓搜索救難共同訓練	防衛庁編『防衛白書』平成18年版。
2007	6	日韓搜索救難共同訓練	防衛省編『防衛白書』平成20年版。
2009	7	日韓搜索救難共同訓練	防衛省編『防衛白書』平成22年版。

55 韓ニューージーランド

年	月	演習名	資料源
1999		Rokkiwi	Royal New Zealand Air Force, "Royal Welcome," <i>Air Force News</i> , Issue 61, July 2005.
2005	5	Rokkiwi	Royal New Zealand Air Force, "Royal Welcome," <i>Air Force News</i> , Issue 61, July 2005.
2009	4	Rokkiwi	New Zealand Defence Force, "Southern Korean Navy set to test Air Force Orion," April 17, 2009. http://www.nzdf.mil.nz/news/media-releases/20090417-sknttafo.htm(2009年9月23日アクセス)

56 インドネシア・シンガポール

年	月	演習名	資料源
1983	7	Sea-Eagle IV	Dewi Fortuna Anwar, <i>Indonesia in ASEAN: foreign policy and regionalism</i> , New York : St. Martin's Press, Singapore : Institute of Southeast Asian Studies, 1994, p. 149.
1986	6	Elang Indopura IV	「アジア動向データベース」日本貿易振興機構アジア経済研究所 http://d-arch.ide.go.jp/infolib/meta/MetDefault.exe?DEF_XSL=DIASearch&GRP_ID=G0000001&DB_ID=G0000001ASIADB&IS_TYPE=meta&IS_STYLE=default (2013年3月4日アクセス)
1986	7	Elang Indopura IV	"Joint Air Exercises," <i>The Straits Times</i> , July 17, 1986. http://newspapers.nl.sg/Digitised/Article/straitstimes1986717.2.12.1.aspx (2011年3月2日アクセス)
1986	9	Eagle	「アジア動向データベース」日本貿易振興機構アジア経済研究所 http://d-arch.ide.go.jp/infolib/meta/MetDefault.exe?DEF_XSL=DIASearch&GRP_ID=G0000001&DB_ID=G0000001ASIADB&IS_TYPE=meta&IS_STYLE=default (2013年3月4日アクセス)

1986		Sea Eagle 9	「アジア動向データベース」日本貿易振興機構アジア経済研究所 http://d-arch.ide.go.jp/infolib/meta/MetDefault.exe?DEF_XSL=DIASearch&GRP_ID=G0000001&DB_ID=G0000001ASIADB&IS_TYP E=meta&IS_STYLE=default (2013年3月4日アクセス)
1989		Safkar Indopura	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore, Factsheet: About Exercise Safkar Indopura," November 29, 2007. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2007/nov/29nov07_nr/29nov07_fs.html (2010年12月21日アクセス)
1990		Safkar Indopura 2/90	"SAF Holds First Combined Land Drill in Indonesia," <i>The Straits Times</i> , December 11, 1990. http://newspapers.nl.sg/Digitised/Issue/straistimes19901211.aspx (2011年10月5日アクセス)
1992	11	Safkar Indopura 4/92	"Land Exercise Ends," <i>The Straits Times</i> , November 28, 1992. http://newspapers.nl.sg/Digitised/Issue/straistimes19921128.aspx (2011年10月5日アクセス)
1993	11	Safkar Indopura 5/93	"3-day Computer Wargaming Exercise Ends," <i>The Straits Times</i> , November 27, 1993. http://newspapers.nl.sg/Digitised/Issue/straistimes19931127.aspx (2011年10月5日アクセス)
1994	11	Safkar Indopura	"Singapore, Indonesia in Joint Army Exercise," <i>The Straits Times</i> , November 24, 1994. http://newspapers.nl.sg/Digitised/Issue/straistimes19941124.aspx (2011年10月5日アクセス)
1995	12	Safkar Indopura	"Singaroo, Indonesian Troops in Joint Exercise," <i>The Straits Times</i> , December 10, 1995. http://newspapers.nl.sg/Digitised/Issue/straistimes19951210.aspx (2011年10月5日アクセス)
1996	8	Elang Indopura	Ministry of Defence, Singapore, "Indonesia and Singapore In Bilateral Air Exercise," August 12, 1996. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1996/aug/12aug96_nr.html (2008年8月11日アクセス)
1996	11	Safkar Indopura 8/96	Ministry of Defence, Singapore, "580 Infantrymen Leave for Joint Army Exercise in Indonesia," November 10, 1996. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1996/nov/10nov96_nr.html (2008年8月11日アクセス)
1996	11	Eagle 14/96	Ministry of Defence, Singapore, "Indonesia and Singapore Conduct Naval Exercise," November 18, 1996. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1996/nov/18nov96_nr.html (2008年8月11日アクセス)
1997		Joint MINEX	Ministry of Defence, Singapore, "Joint MINEX 3/2000," March 7, 2000. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2000/mar/07mar00_nr.html (2013年3月13日アクセス)
1998	8	Elang Indopura	Ministry of Defence, Singapore, "Indonesia and Singapore in Bilateral Air Exercise," August 28, 1998. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1998/aug/28aug98_nr.html (2008年8月14日アクセス)
1998	11	Eagle 15/98	Ministry of Defence, Singapore, "Indonesia and Singapore Conduct Naval Exercise," November 9, 1998. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1998/nov/09nov98_nr.html (2008年8月14日アクセス)

1999	8	Camar Indopura	Ministry of Defence, Singapore, "Indonesia and Singapore in First Joint Maritime Air Surveillance Exercise," August 31, 1999. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1999/aug/31aug99_nr.html (2010年1月6日アクセス)
1999	11-12	Safkar Indopura 11/99	Ministry of Defence, Singapore, "Ex Safkar Indopura 11/99," November 27, 1999. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1999/nov/27nov99_nr.html (2010年1月6日アクセス)
2000	1	Camar Indopura II	"Broader Horizons," <i>Flight Global</i> , February 15, 2000. http://www.flightglobal.com/articles/2000/02/15/61887/broader-horizons.html (2011年3月2日アクセス)
2000	3	Joint MINEX 3/2000	Ministry of Defence, Singapore, "Joint MINEX 3/2000," March 7, 2000. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2000/mar/07mar00_nr.html (2009年9月8日アクセス)
2000	9	Elang Indopura	Ministry of Defence, Singapore, "Indonesia and Singapore in Bilateral Air Exercise," September 15, 2000. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2000/sep/15sep00_nr.html (2009年9月8日アクセス)
2000	10-11	Safkar Indopura 12/2000	Ministry of Defence, Singapore, "EX Safkar Indopura 12/2000," October 30, 2000. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2000/oct/30oct00_nr.html (2009年9月8日アクセス)
2000	11	Eagle	Ministry of Defence, Singapore, "Bilateral Naval Exercise between Singapore and Indonesia," November 20, 2000. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2000/nov/20nov00_nr.html (2009年9月8日アクセス)
2001	10-11	Safkar Indopura 13/2001	Ministry of Defence, Singapore, "Indonesian and Singapore Armies Participate in Joint Exercise," October 30, 2001. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2001/oct/30oct01_nr2.html (2009年9月8日アクセス)
2002	6	Joint MINEX 6/02	Ministry of Defence, Singapore, "Joint Singapore-Indonesia Naval Exercise," June 17, 2002. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2002/jun/17jun02_nr.html (2009年9月8日アクセス)
2002	6	Camar Indopura	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Indonesia Participate in a Joint Maritime Air Surveillance Exercise," June 29, 2002. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2002/jun/29jun02_nr.html (2009年9月8日アクセス)
2002	9	Elang Indopura	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Indonesia in Bilateral Air Exercise," September 20, 2002. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2002/sep/20sep02_nr.html (2009年9月10日アクセス)
2002	10	Eagle	Ministry of Defence, Singapore, "Indonesia and Singapore Navies Hold Joint Naval Exercise," October 7, 2002. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2002/oct/07oct02_nr.html (2009年9月10日アクセス)
2002	10	Safkar Indopura	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Indonesia Armies Conduct Joint Exercise," October 22, 2002. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2002/oct/22oct02_nr2.html (2009年9月10日アクセス)
2003	11	Safkar Indopura	Ministry of Defence, Singapore, "Bilateral Army Exercise between Singapore and Indonesia," December 6, 2003. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2003/dec/06dec03_nr.html (2009年9月10日アクセス)

2004	5	Joint MINEX	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Indonesian Navies Conclude Bilateral Exercise," May 14, 2004. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2004/may/14may04_nr.html (2009年9月14日アクセス)
2004	7	Elang Indopura	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore - Indonesia Conduct Joint Air Exercise," July 9, 2004. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2004/jul/09jul04_nr.html (2009年9月14日アクセス)
2004	10	Eagle	Ministry of Defence, Singapore, "Indonesian and Singapore Navies Hold Joint Naval Exercise," October 28, 2004. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2004/oct/28oct04_nr.html (2009年9月14日アクセス)
2004	11	Safkar Indopura	Ministry of Defence, Singapore, "Exercise Safkar Indopura," November 29, 2004. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2004/nov/29nov04_nr.html (2009年9月14日アクセス)
2005	7	Joint MINEX	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Indonesian Navies Conduct Bilateral Exercise," July 18, 2005. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2005/jul/18jul05_nr.html (2009年9月14日アクセス)
2005	8-9	Camar Indopura	"Ex Camar Indopura," <i>Air Force</i> , October Issue, 05, 2005. p. 4.
2005	11	Safkar Indopura	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Indonesia Conduct Bilateral Army Exercise," November 25, 2005. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2005/nov/25nov05_nr.html (2009年9月14日アクセス)
2006	6	Joint MINEX	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Indonesia Navies Conduct Bilateral Exercise," June 19, 2006. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2006/jun/19jun06_nr.html (2009年9月14日アクセス)
2006	7	Elang INDPURA	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Indonesia in a Bilateral Air Exercise," July 5, 2006. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2006/jul/05jul06_nr.html (2009年9月14日アクセス)
2006	9	Safkar Indopura	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Indonesia Conduct Bilateral Army Exercise," September 13, 2006. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2006/sep/13sep06_nr2.html (2009年9月14日アクセス)
2006		Camar Indopura	"Camar Indopura Joint Exercise," <i>ANGKASA</i> , April 7, 2007. http://202.146.4.40/read/newsprint/147/pt.di.offers.new.aircraft (2011年3月1日アクセス)
2007	2	Camar Indopura	"Building Stronger Ties through Ex Camar Indopura 07," <i>Air Force</i> , May Issue, 2007. p. 5.
2007	7	Joint MINEX	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Indonesia Navies Commemorate 10th Anniversary of Bilateral Exercise," July 6, 2007. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2007/jul/06jul07_nr.html (2009年9月15日アクセス)
2007	11	Safkar Indopura	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Indonesia Conduct Bilateral Army Exercise," November 29, 2007. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2007/nov/29nov07_nr.html (2009年9月15日アクセス)

2007		Camar Indopura	"Camar Indopura Joint Exercise," <i>ANGKASA</i> , April 7, 2007. http://202.146.4.40/read/newsprint/147/pt.di.offers.new.aircraft (2011年3月1日アクセス)
2008	1	Eagle	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Indonesia Conduct 20th Exercise Eagle," January 17, 2008. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2008/jan/17jan08_nr.html (2010年5月19日アクセス)
2008	3	Camar Indopura	『海洋安全保障情報月報』2008年3月号、10頁。
2008	7	Elang Indopura	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Indonesian air forces in bilateral exercise," July 10, 2008. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2008/jul/10jul08_nr.html (2010年5月19日アクセス)
2008	8	Joint MINEX	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Indonesian Navies Hold Mine Countermeasure Exercise," August 15, 2008. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2008/aug/15aug08_nr2.html (2010年5月19日アクセス)
2008	10	Safkar Indopura	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore, Indonesia Mark 20th Anniversary of Bilateral Army Exercise," October 30, 2008. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2008/oct/30oct08_nr.html (2010年5月19日アクセス)
2009	6	Joint MINEX	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore, Indonesian Navies Hold Mine-Countermeasure Exercise," July 5, 2009. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2009/jul/05jul09_nr.html (2010年5月20日アクセス)
2009	11	Camar Indopura	"Growing Interoperability and Friendship – Ex Camar Indopura 2009," <i>Air Force</i> , Issue 113, May, 2010. p. 10.
2009	11	Safkar Indopura	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Indonesian Armies in Bilateral Exercise," November 24, 2009. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2009/nov/24nov09_nr.html (2010年5月20日アクセス)

57 インドネシア・タイ

年	月		資料源
1981		1 Elang Thainesia I	Dewi Fortuna Anwar, <i>Indonesia in ASEAN: foreign policy and regionalism</i> , New York : St. Martin's Press, Singapore : Institute of Southeast Asian Studies, 1994, p. 150.
1981		1 Eagle	「アジア動向データベース」日本貿易振興機構アジア経済研究所 http://d-arch.ide.go.jp/infolib/meta/MetDefault.exe?DEF_XSL=DIASearch&GRP_ID=G0000001&DB_ID=G0000001ASIADB&IS_TYP E=meta&IS_STYLE=default (2013年3月4日アクセス)
1982		1 Eagle	「アジア動向データベース」日本貿易振興機構アジア経済研究所 http://d-arch.ide.go.jp/infolib/meta/MetDefault.exe?DEF_XSL=DIASearch&GRP_ID=G0000001&DB_ID=G0000001ASIADB&IS_TYP E=meta&IS_STYLE=default (2013年3月4日アクセス)
1983		Sea Garuda IVB	Dewi Fortuna Anwar, <i>Indonesia in ASEAN: foreign policy and regionalism</i> , New York : St. Martin's Press, Singapore : Institute of Southeast Asian Studies, 1994, p. 150.
1984		4 Elang Thainesia IV	Dewi Fortuna Anwar, <i>Indonesia in ASEAN: foreign policy and regionalism</i> , New York : St. Martin's Press, Singapore : Institute of Southeast Asian Studies, 1994, p. 150.

1985	4	Elang Thainesia	"Thai Air Force Chief Received," <i>Southeast Asia Report</i> (Foreign Broadcast Information Service, May 15, 1985). p. 34.
1991	6-7	Elang Thainesia 7	"Thai-Indonesia War Games Start," <i>Xinhua</i> , July 2, 1991. http://www.hamline.edu/apakabar/basisdata/1991/07/02/001.html (2011年3月2日アクセス)
2003	8	ガルータの海12AB-03	『バンコク週報』2003年8月14日。
2005	8	Sea Garuda 13-AB/05	"Indonesia, Thailand Hold Joint Military Exercise," <i>Peoples Daily Online</i> , August 25, 2005. http://english.people.com.cn/200508/25/eng20050825_204413.html (2011年2月12日アクセス)

58 インドネシア・フィリピン

年	月	演習名	資料源
1981	5	Copat Philindo V	「アジア動向データベース」日本貿易振興機構アジア経済研究所 http://d-arch.ide.go.jp/infolib/meta/MetDefault.exe?DEF_XSL=DIASearch&GRP_ID=G0000001&DB_ID=G0000001ASIADB&IS_TYP E=meta&IS_STYLE=default (2013年3月4日アクセス)
1990		Marpol	佐藤考一『ASEANレジーム—ASEANにおける会議外交の発展と課題』(勁草書房、2003年)226頁。
2000	10	Copat Philindo	Joselito Zulueta, "Comprehensive History of the Philippine Navy," July 16, 2006. http://kalasagnglahi.angelfire.com/main_pn_his.html (2012年7月2日アクセス)
2007	7	A Bilateral Naval Exercise Coordinated Patrol, or Copat Philindo	"RP, Indonesia Heighten Naval Security," <i>Philippine Information Agency</i> , July 30, 2007. http://www.pia.gov.ph/?m=12&sec=reader&rp=1&fi=p070730.htm&no=4&date=07/30/2007 (2010年6月9日アクセス)

59 インドネシア・ブルネイ

年	月	演習名	資料源
1995		Helang Laut	Ministry of Defence, Brunei Darussalam, "Brunei-Indonesia "Helang Laut" Exercises Starts," December 17, 2008. http://www.mindef.gov.bn/MOD_Brunei/index.php?option=com_content&view=article&id=397:brunei-indonesia-qhelang-lautq-exercises-starts&catid=1:news&Itemid=92 (2009年9月6日アクセス)
1998	8	Helang Laut	"Brunei Hosts Naval Exercise," <i>BruneiDirect.Com</i> , April 25, 2000. http://brudirect.com/DailyInfo/News/Archive/Apr2000/250400/bb02.htm (2011年3月14日アクセス)
2000	4	Helang Laut 04/2000	"Brunei Hosts Naval Exercise," <i>BruneiDirect.Com</i> , April 25, 2000. http://brudirect.com/DailyInfo/News/Archive/Apr2000/250400/bb02.htm (2011年3月14日アクセス)
2002		Helang Laut	Ministry of Defence, Brunei Darussalam, "RB Navy Bilateral Ties," http://www.mindef.gov.bn/MOD2/index.php?option=com_content&view=article&id=213&Itemid=173 (2012年7月2日アクセス)

2003	9	Elang Brunesia	Ministry of Defence, Brunei Darussalam, "RB AirForce Bilateral Ties," http://www.mindef.gov.bn/MOD2/index.php?option=com_content&view=article&id=219&Itemid=179 (2013年2月10日アクセス)
2003	9	Helang Laut (Sea Eagle) 06-A/03	"Indon, Bruneian Navies Conduct Joint Exercise, <i>ANT- KBN ANTARA</i> , September 15, 2003. http://www.highbeam.com/doc/1G1-107772643.html (2011年3月14日アクセス)
2004		Helang Laut 7B/2004	"Exercise Helang Laut of RBN, TNI AL Concludes," <i>Asia Africa Intelligence Wire</i> , December 5, 2004. http://www.accessmylibrary.com/coms2/summary_0286-14766251_ITM (2012年7月2日アクセス)
2005	6	Elang Brunesia	"Indonesian, Brunei Air Forces Conduct Joint Exercise," <i>ANT - LKBN ANTARA</i> , June 10, 2005. http://www.highbeam.com/doc/1G1-133149677.html (2011年3月11日アクセス)
2007	4-5	Elang Brunesia III/07	"Brunei Indonesia in Joint Exercise," <i>BruneiDirect.Com</i> , May 2, 2007. http://brudirect.com/DailyInfo/News/Archive/May07/020507/nite03.htm (2011年3月11日アクセス)
2007	11	Helang Laut-10A/07	"RI, Brunei Navies End Joint Exercise," <i>ANT - LKBN ANTARA</i> , November 16, 2007. http://www.highbeam.com/doc/1G1-171466060.html (2011年3月14日アクセス)
2008	12	Helang Laut	Ministry of Defence, Brunei Darussalam, "Brunei-Indonesia "Helang Laut" Exercises Starts," December 17, 2008. http://www.mindef.gov.bn/MOD_Brunei/index.php?option=com_content&view=article&id=397:brunei-indonesia-qhelang-lautq-exercises-starts&catid=1:news&Itemid=92 (2009年9月6日アクセス)

60 インドネシア・マレーシア

年	月	演習名	資料源
1981		2 Kripura Malindo	Benedict Ang Kheng Leong, "Understanding the Security Environment in Southeast Asia : A Key to Analysing the Arms Build-up," <i>Pointer</i> (V26 N2, Apr - Jun 2000)
1981	9	Elang Malindo VII	「アジア動向データベース」日本貿易振興機構アジア経済研究所 http://d-arch.ide.go.jp/infolib/meta/MetDefault.exe?DEF_XSL=DIASearch&GRP_ID=G0000001&DB_ID=G0000001ASIADB&IS_TYP E=meta&IS_STYLE=default (2013年3月4日アクセス)
1981		Tatar Malindo	Benedict Ang Kheng Leong, "Understanding the Security Environment in Southeast Asia : A Key to Analysing the Arms Build-up," <i>Pointer</i> (V26 N2, Apr - Jun 2000)
1982	8	Kekar-Malindo VI	「アジア動向データベース」日本貿易振興機構アジア経済研究所 http://d-arch.ide.go.jp/infolib/meta/MetDefault.exe?DEF_XSL=DIASearch&GRP_ID=G0000001&DB_ID=G0000001ASIADB&IS_TYP E=meta&IS_STYLE=default (2013年3月4日アクセス)
1982	11	Elang Malindo VIII	「アジア動向データベース」日本貿易振興機構アジア経済研究所 http://d-arch.ide.go.jp/infolib/meta/MetDefault.exe?DEF_XSL=DIASearch&GRP_ID=G0000001&DB_ID=G0000001ASIADB&IS_TYP E=meta&IS_STYLE=default (2013年3月4日アクセス)

1982		Dersasa Malindo	Benedict Ang Kheng Leong, "Understanding the Security Environment in Southeast Asia : A Key to Analysing the Arms Build-up," <i>Pointer</i> (V26 N2, Apr - Jun 2000)
1983	9	Malindo Jaya X	Dewi Fortuna Anwar, <i>Indonesia in ASEAN : foreign policy and regionalism</i> , New York : St. Martin's Press, Singapore : Institute of Southeast Asian Studies, 1994, p. 145.
1984	5	Malindo Jaya 11/84	"Joint Exercise with Malaysian Navy Starts," <i>Southeast Asia Report</i> (Foreign Broadcast Information Service, October 1, 1984). p. 10.
1986	8	Kekar-Malindo 9	「アジア動向データベース」日本貿易振興機構アジア経済研究所 http://d-arch.ide.go.jp/infolib/meta/MetDefault.exe?DEF_XSL=DIASearch&GRP_ID=G0000001&DB_ID=G0000001ASIADB&IS_TYP E=meta&IS_STYLE=default (2013年3月4日アクセス)
1987		Kekar-Malindo X	Dewi Fortuna Anwar, <i>Indonesia in ASEAN : foreign policy and regionalism</i> , New York : St. Martin's Press, Singapore : Institute of Southeast Asian Studies, 1994, pp. 145-146.
1990	11	Kekar-Malindo	"Military Ops with Jakarta to Feature Paratroopers," <i>The Straight Times</i> , November 17, 1990. http://newspapers.nl.sg/Digitised/Issue/straistimes19901117.aspx (2011年10月5日アクセス)
1991	7-8	Malindo Darsasa	"S'pore Upset at Mil'y Exercise," <i>Xinhua</i> , August 6, 1991. http://www.hamline.edu/apakabar/basisdata/1991/08/07/0007.html (2011年3月9日アクセス)
2000	8	Malindo Jaya	"KL Wants Naval Pacts with Asean Nations," <i>The Straits Times</i> , August 4, 2000. http://hartford-hwp.com/archives/54/186.html (2011年3月9日アクセス)
2002	8	Elang Malindo XX	"Malaysia-Indonesia Air Force Training Exercise Launched," <i>New Straits Times</i> , August 7, 2002. http://www.highbeam.com/doc/1P1-82676508.html (2011年3月2日アクセス)
2004	10	Malindo Jaya-19AB/04	"Indon-M'sia Navies Hold Joint Exercise in Malacca Straits," <i>ANT-LKBN ANTARA</i> , October 14, 2004. http://www.highbeam.com/doc/1G1-123220204.html (2011年3月9日アクセス)
2005	5	Kekar-Malindo	"Anti-terrorism Exercises to be Part of Future War Games," <i>The Star Online</i> , May 30, 2005. http://thestar.com.my/news/story.asp?file=/2005/5/30/nation/11083500&sec=nation (2011年3月9日アクセス)
2006	4	Elang Malindo XXII/2006	"KSAU Tutup Latihan Elang Malindo 2006," <i>ANGKASA</i> , April 24, 2006. http://202.146.4.40/readnews/184/ksau.tutup.latihan.elang.malindo.2006 (2011年3月2日アクセス)
2006	8	Darsasa Malindo 6AB/06.	"Latgabma Indonesia-Malaysia," <i>ANGKASA</i> , August 11, 2006. http://202.146.4.40/readnewsprint/71/latgabma.indonesia-malaysia (2011年3月9日アクセス)
2008	8	Kekar-Malindo	"Army Assessing Needs of Dead Soldier's Family," <i>New Straits Times</i> , August 16, 2008. http://findarticles.com/p/news-articles/new-straits-times/mi_8016/is_20080816/army-assessing-dead-soldiers-family/ai_n44411583/ (2011年3月9日アクセス)
2008	11	Elang Malindo	"Malaysia, Indonesia Air Forces Stage Joint Exercise," <i>Vietnam News</i> , November 13, 2008. http://myvietnamnews.com/2008/11/13/malaysia-indonesia-air-forces-stage-joint-exercise/ (2011年3月9日アクセス)
2009	7-8	Kekar-Malindo 34B/09	Ministry of Defence, Malaysia, Annual Report 2009.

61 インドネシア・ニュージーランド

演習年	月	演習名	資料源
1995		Elang Sebrang	Free East Timor, "The New Zealand Government," http://shell.ihug.co.nz/~stu/fret/nz.html (2011年11月1日アクセス)

62 シンガポール・タイ

年	月	演習名	資料源
1981		Singsiam	Ministry of Defence, Singapore, "Bilateral Naval Exercise between Thailand and Singapore," July 25, 1996. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1996/jul/25jul96_nr.html (2008年8月11日アクセス)
1983		Singsiam 83/3	東南アジア調査会『東南アジア月報』1983年4月、66頁。
1983		Thai-sing	Ministry of Defence, Singapore, "1968 - Looking Back...Hawker Hunters: The First Fighter Planes of the RSAF," December 7, 2008. http://www.mindef.gov.sg/imindef/about_us/history/birth_of_saf/v12n12_history.html (2011年9月19日アクセス)
1991		Thaising 9/91	Ministry of Defence, Singapore, "1990 - First Arrival Of Our Fighting Falcons," January 7, 2003. http://www.mindef.gov.sg/imindef/about_us/history/maturing_saf/v07n01_history.html (2011年2月13日アクセス)
1996	7-8	Singsiam	Ministry of Defence, Singapore, "Bilateral Naval Exercise between Thailand and Singapore," July 25, 1996. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1996/jul/25jul96_nr.html (2008年8月11日アクセス)
1997	12	Kocha Singa	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Thailand Hold First Bilateral Army Exercise," December 16, 1997. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1997/dec/16dec97_nr2.html (2008年8月14日アクセス)
2000	8	Singsiam	Ministry of Defence, Singapore, "Bilateral Naval Exercise Between Singapore and Thailand," August 21, 2000. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2000/aug/21aug00_nr2.html (2009年9月8日アクセス)
2000	12	Kocha Singa	Ministry of Defence, Singapore, "EX KOCHA SINGA 2000," December 11, 2000. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2000/dec/11dec00_nr2.html (2009年9月8日アクセス)
2002	1	Kocha Singa	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Thai Armies in Bilateral Army Exercise," January 28, 2002. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2002/jan/28jan02_nr.html (2009年9月8日アクセス)
2002	5	Singsiam	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore-Thai Naval Exercise Opens," May 21, 2002. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2002/may/21may02_nr.html (2009年9月8日アクセス)
2004	8	Singsiam	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Thai Navies Conduct Bilateral Exercise," August 13, 2004. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2004/aug/13aug04_nr.html (2009年9月14日アクセス)
2005	6	Kocha Singa	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Thailand Conclude Annual Bilateral Army Exercise," June 22, 2005 http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2005/jun/22jun05_nr.html (2009年9月14日アクセス)
2006	1	Kocha Singa	"Cobras Exercise with RTA," <i>Army News</i> , Issue No. 137, Dec/Jan 2007, p. 3.

2006	7	Singsiam	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Thailand Conduct Bilateral Naval Exercise," July 12, 2006. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2006/jul/12jul06_nr.html (2009年9月14日アクセス)
2008	4	Flash Thunder 08	Ministry of Defence, Singapore, "Exercise Flash Thunder 08, June 6, 2008. http://www.mindef.gov.sg/imindef/mindef_websites/atozlistings/army/army_news/News_Archive/2008/June2008/flash_thunder.html (2011年1月3日アクセス)
2008	8	Singsiam	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Thai Navies in Joint Exercise," August 26, 2008. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2008/aug/26aug08_nr2.html (2010年5月19日アクセス)
2009	1	Kocha Singa	"Exercise Kocha Singa," <i>Army News</i> , Issue No. 162, Jan/Feb 2009, p. 2.

63 シンガポール・フィリピン

年	月	演習名	資料源
1993	6	Anoa-Singa 1/93	"S'pore and Philippines Start their First Bilateral Army Exercise," <i>The Strait Times</i> , June 16, 1993. http://newspapers.nl.sg/Digitised/Issue/straistimes19930616.aspx (2011年9月19日アクセス)
1996	5	Anoa-Singa 4/96	Ministry of Defence, Singapore, "AFP Chief Calls On Dr Tan," August 19, 1996. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1996/aug/19aug96_nr.html (2011年9月18日アクセス)
1996	6	Dagat-Singa 1/96	Ministry of Defence, Singapore, "AFP Chief Calls On Dr Tan," August 19, 1996. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1996/aug/19aug96_nr.html (2011年9月18日アクセス)

64 シンガポール・ブルネイ

年	月	演習名	資料源
1984		Flaming Arrow	Ministry of Defence, Brunei Darussalam, "RBLF Bilateral Ties," http://www.mindef.gov.bn/ (2013年1月31日アクセス)
1989		Bold Castle	Ministry of Defence, Brunei Darussalam, "RBLF Bilateral Ties," http://www.mindef.gov.bn/ (2013年1月31日アクセス)
1992		Bold Sabre	Ministry of Defence, Brunei Darussalam, "RBLF Bilateral Ties," http://www.mindef.gov.bn/ (2013年1月31日アクセス)
1994	11	Airguard 94	"SAF, Brunei Troops in First Air Defence Exercise," <i>The Strait Times</i> , November 8, 1994. http://newspapers.nl.sg/Digitised/Issue/straistimes19941108.aspx (2011年3月13日アクセス)
1995		Maju Bersama	Ministry of Defence, Brunei Darussalam, "RBLF Bilateral Ties," http://www.mindef.gov.bn/ (2013年1月31日アクセス)
1996	10	Airguard	Ministry of Defence, Singapore, "Brunei and Singapore in Third Joint Air Defence Exercise," October 9, 1996. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1996/oct/07oct96_nr.html (2008年8月11日アクセス)
1996	10	Bold Castle	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Brunei Combat Engineers in Bilateral Exercise," November 7, 1996. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1996/nov/07nov96_nr2.html (2008年8月11日アクセス)

1996	10	Maju Bersama	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Brunei in Joint Infantry Exercise," September 30, 1996. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1996/sep/30sep96_nr.html (2008年8月11日アクセス)
1996	12	Pelican	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Brunei In Joint Naval Exercise," December 9, 1996. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1996/dec/09dec96_nr.html (2008年8月11日アクセス)
1997	8-9	Bold Sabre	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Brunei in Joint Armour Exercise," September 3, 1997. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1997/sep/03sep97_nr2.html (2008年8月14日アクセス)
1997	10	Pelican	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Brunei in Joint Naval Exercise," October 3, 1997. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1997/oct/03oct97_nr.html (2008年8月14日アクセス)
1997	11	Airguard	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Brunei in Joint Air Defence Exercise, November 26, 1997. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1997/nov/26nov97_nr.html (2008年8月14日アクセス)
1997	12	Flaming Arrow	Ministry of Defence, Singapore, "Brunei and Singapore in Joint Infantry Live-Firing Exercise," December 11, 1997. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1997/dec/11dec97_nr.html (2008年8月14日アクセス)
1998	8	Flaming Arrow	Ministry of Defence, Singapore, "Bruneian and SAF Troops in Live-Firing Exercise," August 25, 1998. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1998/aug/25aug98_nr.html (2008年8月14日アクセス)
1998	11	Airguard	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Brunei in Joint Air Defence Exercise," November 24, 1998. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1998/nov/24nov98_nr.html (2008年8月14日アクセス)
1998	12	Pelican	Ministry of Defence, Singapore, "Brunei and Singapore Conduct Naval Exercise," December 7, 1998. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1998/dec/07dec98_nr.html (2008年8月14日アクセス)
1999	4	Pelican	The National Institute for Defense Studies, <i>East Asian Strategic Review 2000</i> .
1999	11	Airguard	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore Conducts Air Exercise with Brunei," November 24, 1999. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1999/nov/24nov99_nr2.html (2010年1月6日アクセス)
1999		Air Gunnery Joint Exercise	Ministry of Defence, Brunei Darussalam, "RB Air Force Bilateral Ties," http://www.mindef.gov.bn/ (2011年3月11日アクセス)
2000	3	Pelican	Ministry of Defence, Singapore, "Bilateral Naval Exercise between Brunei and Singapore," March 27, 2000. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2000/mar/27mar00_nr.html (2009年9月8日アクセス)
2000	10	Airguard	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Brunei in Joint Air Defence Exercise," October 25, 2000. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2000/oct/25oct00_nr.html (2009年9月8日アクセス)
2001	2	Maju Bersama	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Brunei Troops in JOINT Manoeuvres," February 8, 2001. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2001/feb/08feb01_nr2.html (2009年9月8日アクセス)

2001	2-3	Bold Castle	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Brunei Combat Engineers," February 5, 2001. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2001/mar/05mar01_nr2.html (2011年3月13日アクセス)
2001		Dragon Ball	Ministry of Defence, Brunei Darussalam, "RBLF Bilateral Ties," http://www.mindef.gov.bn/ (2013年1月31日アクセス)
2002	3	Airguard	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Brunei Participate in Air Defence Exercise," March 22, 2002. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2002/mar/22mar02_nr.html (2009年9月8日アクセス)
2002	3	Maju Bersama	Borneo Bulletin, "RBLF's operational readiness praised," March 29, 2002. http://www.accessmylibrary.com/article-1G1-85550846/brunei-rblf-operational-readiness.html (2011年3月13日アクセス)
2002	5	Pelican	BruneiDirect.Com, "Navy's War Games with Singapore," May 22, 2002. http://brudirect.com/DailyInfo/News/Archive/May02/220502/bb01.htm (2011年3月13日アクセス)
2002	6	Bold Castle	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore-Brunei Joint Combat Engineers Exercise," June 22, 2002. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2002/jun/22jun02_nr.html (2009年9月8日アクセス)
2002	10	Dragonball	BruneiDirect.Com, "RBLF, RSF off for 'Dragonball' bilateral exercise in S'pore," October 22, 2002. http://www.brudirect.com/DailyInfo/News/Archive/Oct02/221002/bb02.htm (2011年3月13日アクセス)
2003	7-8	Airguard	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Brunei Participate in Air Defence Exercise," July 21, 2003. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2003/jul/21jul03_nr2.html (2009年9月10日アクセス)
2003	12	Pelican	Ministry of Defence, Singapore, "25th Anniversary of Joint Exercise between the Republic of Singapore Navy and the Royal Brunei Navy," December 4, 2003. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2003/dec/04dec03_nr.html (2009年9月10日アクセス)
2004	4	Maju Bersama	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore - Bruneian Joint Armour Exercise," April 15, 2004. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2004/apr/15apr04_nr.html (2009年9月14日アクセス)
2004	8	Bold Castle	"RBLF, RSF off To Singapore for Joint Military Exercise," <i>BruneiDirect.Com</i> , August 17, 2004. http://Old.brudirect.com/public_html/DailyInfo/News/Archive/Aug04/170804/nite16.htm (2011年3月13日アクセス)
2004	9	Airguard	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Brunei Mark 10th Anniversary of Bilateral Air Defence Exercise," September 17, 2004. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2004/sep/17sep04_nr.html (2009年9月14日アクセス)
2005	1	Dragonball	"RBLF Joins Exercise 'Dragon Ball' in Singapore," <i>BruneiDirect.Com</i> , January 25, 2005. http://www.brudirect.com/DailyInfo/News/Archive/Jan05/250105/nite19.htm (2011年3月13日アクセス)
2005	1	Dragonball	Ministry of Defence, Singapore, "S'pore, Brunei Conduct Bilateral Live-firing Exercise," January 27, 2005. http://www.mindef.gov.sg/imindef/publications/cyberpioneer/news/2005/January/27jan05_news.html (2011年3月13日アクセス)

2005	8	Airguard	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Brunei Participate in Bilateral Air Defence Exercise," August 23, 2005. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2005/aug/23aug05_nr2.html (2009年9月14日アクセス)
2006	4	Pelican	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Brunei Conduct Bilateral Naval Exercise," April 4, 2006. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2006/apr/04apr06_nr.html (2009年9月14日アクセス)
2006	8-9	Airguard	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore And Brunei Conduct Air Defence Exercise," August 19, 2006. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2006/aug/19aug06_nr.html (2009年9月14日アクセス)
2006	9	Bold Sabre	Ministry of Defence, Singapore, "Ex Bold Sabre Ends with a Bang," September 19, 2006. http://www.mindef.gov.sg/imindef/publications/cyberpioneer/news/2006/September/19sep06_news.html (2011年3月13日アクセス)
2007	1	Pelican	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Brunei Conduct Bilateral Naval Exercise," January 19, 2007. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2007/jan/19jan07_nr.html (2009年9月14日アクセス)
2007	8	Air Guard Exercise 13/07	Ministry of Defence, Brunei Darussalam, "All Arms Air Defence Firing 13th Air Guard Exercise- Phase 2," August 21, 2007. http://www.mindef.gov.bn/MOD2/index.php?option=com_content&view=article&id=93:all-arms-air-defence-firing-13th-air-guard-exercise-phase-2&catid=1:news&Itemid=92 (2009年9月6日アクセス)
2008	3	Maju Bersama	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Brunei Conduct Bilateral Army Exercise," March 9, 2008. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2008/mar/09mar08_nr.html (2010年5月19日アクセス)
2008	6	Pelican	Ministry of Defence, Brunei Darussalam, "Royal Brunei Navy and Republic Singapore Navy Meets," June 4, 2008. http://www.mindef.gov.bn/ (2011年3月13日アクセス)
2009	1	Maju Bersama	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore, Brunei Armies Exercise Together," January 12, 2009. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2009/jan/12jan08_nr.html (2010年5月20日アクセス)

65 シンガポール・マレーシア

年	月	演習名	資料源
1984		Malapura	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore, Malaysian Navies Exercise in Malacca Strait," December 19, 2008. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2008/dec/19dec08_nr.html (2010年5月20日アクセス)
1989		Semangat Bersatu	Ministry of Defence, Singapore, Singapore, "Malaysian Armies Exercise Together," May 13, 2008. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2008/may/13may08_nr.html (2010年5月19日アクセス)
1992	5	Malapura 7/92	"Malaysia Navies in War Games," <i>The Straits Times</i> , Singapore, May 16, 1992. http://newspapers.nl.sg/Digitised/Issue/straistimes19920516.aspx (2011年3月3日アクセス)

1995	12	Malapura	"Singapore, Malaysian Navies in Joint Exercise," <i>Xinhua News Agency</i> , December 4, 1995. http://www.highbeam.com/doc/1P2-17902567.html (2011年3月3日アクセス)
1997	2	Minor ADEX 97/1	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Malaysia in Joint Air Defence Exercise," February 18, 1997. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1997/feb/18feb97_nr2.html (2008年8月12日アクセス)
1998	3	Minor ADEX	Ministry of Defence, Singapore, "Combined Singapore - Malaysia Air Defence Exercise," March 2, 1998. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1998/mar/02mar98_nr.html (2008年8月14日アクセス)
1998	6	Minor ADEX 98-3	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Malaysia in Air Defence Exercise," June 16, 1998. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1998/jun/16jun98_nr.html (2012年7月3日アクセス)
2000	10-11	Malapura 12/00	Ministry of Defence, Singapore, "Bilateral Navy Exercise Between Singapore and Malaysia," October 31, 2000. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2000/oct/31oct00_nr2.html (2009年9月8日アクセス)
2001	10	Malapura 13/2001	Ministry of Defence, Singapore, "The Royal Malaysian Navy and the Republic of Singapore Navy Participate in Ex MALAPURA," October 2, 2001. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2001/oct/02oct01_nr.html (2009年9月8日アクセス)
2002	8	Semangat Bersatu	Ministry of Defence, Singapore, "Exercise Semangat Bersatu," August 20, 2002. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2002/aug/20aug02_nr.html (2009年9月10日アクセス)
2002	9-10	Malapura 14/02	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Malaysia Navies Participate in Annual Bilateral Naval Exercise," September 30, 2002. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2002/sep/30sep02_nr.html (2009年9月10日アクセス)
2003	9	Malapura	Ministry of Defence, Singapore, "Royal Malaysian Navy (RMN) and Republic of Singapore Navy (RSN) Participate in Annual Bilateral Naval Exercise," September 24, 2003. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2003/sep/24sep03_nr.html (2009年9月10日アクセス)
2005	1	Malapura	Ministry of Defence, Singapore, "Malaysia and Singapore Navies conduct Bilateral Naval Exercise," November 23, 2005. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2005/nov/23nov05_nr.html (2009年9月16日アクセス)
2005	8	Semangat Bersatu 2005	Ministry of Defence, Singapore, "Ex SEMANGAT BERSATU 2005," August 21, 2005. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2005/aug/21aug05_nr.html (2009年9月14日アクセス)
2005	11-12	Malapura	Ministry of Defence, Singapore, "Republic of Singapore Navy and Royal Malaysian Navy Conduct Bilateral Naval Exercise," January 5, 2005. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2005/jan/05jan05_nr.html (2009年9月14日アクセス)
2006	11-12	Malapura 18/06	Ministry of Defence, Singapore, "Republic of Singapore Navy and Royal Malaysian Navy Conduct Bilateral Naval Exercise," December 1, 2006. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2006/dec/01dec06_nr.html (2009年9月14日アクセス)

2007	7	Semangat Bersatu 2007	Ministry of Defence, Singapore, "United in Spirit: Semangat Bersatu 07," July 23, 2007. http://www.mindef.gov.sg/imindef/mindef_websites/atozlistings/army/army_news/News_Archive/2007/July/sb07.html (2011年1月2日アクセス)
2008	5	Semangat Bersatu 08	Ministry of Defence, Singapore, Singapore, "Malaysian Armies Exercise Together," May 13, 2008. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2008/may/13may08_nr.html (2010年5月19日アクセス)
2008	12	Malapura	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore, Malaysian Navies Exercise in Malacca Strait," December 19, 2008. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2008/dec/19dec08_nr.html (2010年5月20日アクセス)
2009	7	Semangat Bersatu	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore, Malaysia Conduct Joint Army Exercise," July 22, 2009. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2009/jul/22jul09_nr2.html (2010年5月20日アクセス)

66 シンガポール台湾

年	月	演習名	資料源
2001		4 (演習名記載なし)	"Taiwan's Military Exercises Are Aimed at the Mainland," <i>People's Daily Online</i> , September 13, 2001. http://english.peopledaily.com.cn/200109/13/eng20010913_80155.html (2012年7月3日アクセス)
2002		4 (演習名記載なし)	"Singapore Navy Boats Visit Taiwan," <i>Agence France Presse</i> , April 24, 2002. http://www.singapore-window.org/sw02/020424af.htm (2012年7月3日アクセス)

67 シンガポール・ニュージーランド

年	月	演習名	資料源
1996	11	Kiwi Cobra	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and New Zealand Armies Combine for Major Exercise," November 22, 1996. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1996/nov/22nov96_nr.html (2008年8月11日アクセス)
1998	11	Kiwi Cobra	Ministry of Defence, Singapore, "Joint Singapore/New Zealand Army Exercise," November 25, 1998. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1998/nov/25nov98_nr.html (2008年8月14日アクセス)
1999	11	Lion Zeal	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and New Zealand Participate in Bilateral Maritime Exercise," June 27, 2000. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2000/jun/27jun00_nr2.html (2009年9月8日アクセス)
2000	6	Lion Zeal	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and New Zealand Participate in Bilateral Maritime Exercise," June 27, 2000. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2000/jun/27jun00_nr2.html (2009年9月8日アクセス)
2001	10	Lion Zeal	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and New Zealand Participate in Exercise Lion Zeal," October 23, 2001. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2001/oct/23oct01_nr2.html (2009年9月8日アクセス)
2004	3	Lion Zeal	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and New Zealand Conduct Maritime Exercise," March 8, 2004. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2004/mar/08mar04_nr.html (2009年9月14日アクセス)

2005	8-9	Lion Zeal	Ministry of Defence, Singapore, "Republic of Singapore Navy (RSN) and Royal New Zealand Navy (RNZN) Conduct Exercise Lion Zeal," August 29, 2005. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2005/aug/29aug05_nr.html (2009年9月14日アクセス)
2006		Kiwi Spirit (KS06)	"Strengthening Relationships," <i>NZ Army</i> , Issue 363, September 19, 2006.
2007	2	Kiwi Walk II 07	"Ex Kiwi Walk II 07," <i>NZ Army</i> , Issue 384, February 12, 2008.
2007	4	Lion Zeal	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and New Zealand Navies Conduct Maritime Exercises," April 20, 2007. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2007/apr/20apr07_nr.html (2009年9月14日アクセス)
2008	8	Lion Zeal	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore, New Zealand Navies Exercise Together," August 25, 2008. http://www.mindef.gov.sg/imindef/press_room/official_releases/nr/2008/aug/25aug08_nr2.html (2013年2月10日アクセス)
2009	9	Lion Zeal	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and New Zealand Navies Conduct Maritime Exercise," October 2, 2009. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2009/oct/02oct09_nr.html (2010年5月20日アクセス)

68 タイ・マレーシア

年	月	演習名	資料源
1981		Air Thamal	Benedict Ang Kheng Leong, "Understanding the Security Environment in Southeast Asia : A Key to Analysing the Arms Build-up," <i>Pointer</i> (V26 N2, Apr - Jun 2000)
1986	3	Air Thamal V	「アジア動向データベース」日本貿易振興機構アジア経済研究所 http://d-arch.ide.go.jp/infolib/meta/MetDefault.exe?DEF_XSL=DIASearch&GRP_ID=G0000001&DB_ID=G0000001ASIADB&IS_TYPE=meta&IS_STYLE=default (2013年3月4日アクセス)
1988	3	Air Thamal VII	"Joint Air Exercise Results in Bombing Attack on Communist Sites," <i>JPRS Report East Asia, Southeast Asia</i> (Foreign Broadcast Information Service, May 23, 1988), P.14.
1990		Joint Air Thamal IX	"West Hopes for Eastern Promise," <i>Flight International</i> (March 28-April 3, 1990).
1996	4	Seaex Thamal	"Joint Naval Exercise," <i>The Straits Times</i> , 3 April, 1996. http://newspapers.nl.sg/Digitised/Issue/straightstimes19960403.aspx (2011年3月8日アクセス)
1999	7	Seaex Thamal	The National Institute for Defense Studies, <i>East Asian Strategic Review 2000</i> .
2001	7	Land Thamal	"Land Thamal Training Ends," <i>BERNAMA</i> , July 30, 2001. http://www.accessmylibrary.com/article-1G1-76852060/land-thamal-training-ends.html (2012年7月2日アクセス)
2001	7	Seaex Thamal	"M'sian and Thai Navy and Marine Police Embark on Joint Exercise," <i>BERNAMA</i> , July 11, 2001. http://www.accessmylibrary.com/article-1G1-76468973/msian-and-thai-navy.html (2012年7月2日アクセス)

2002	5	Seaex Thamal	"Malaysia, Thailand Begin Sea Exercise," <i>Xinhua News Agency</i> , May 20, 2002. http://news.xinhuanet.com/english/2002-
2004	8	Seaex Thamal	"Thailand, Malaysia Hold Joint Navy Exercise," <i>Defence Talk</i> , August 15, 2004. http://www.defencetalk.com/thailand-malaysia-hold-joint-navy-exercise-2638/ (2012年7月2日アクセス)
2005	4	Seaex Thamal	"Malaysia, Thailand Hold Joint Maritime Exercise," <i>The New Light of Myanmar</i> , May 2, 2005.
2005	6	Air Thamal	"Malaysia, Thailand to Co-ordinate Rescue Efforts," <i>New Straits Times</i> , June 16, 2005. http://www.highbeam.com/doc/1P1-110022497.html (2011年10月15日アクセス)
2005	8	Land Thamal	"Malaysia, Thailand Hold Joint Military Exercise," <i>Asia Africa Intelligence Wire</i> , August 03, 2005. http://www.accessmylibrary.com/article-1G1-134818344/malaysia-thailand-hold-joint.html (2012年7月2日アクセス)
2006	7-8	Seaex Thamal	"Thamal Forges Greater Co-operation," <i>BERNAMA</i> , August 3, 2006. http://maritime.bernama.com/news.php?id=212162 (2011年3月8日アクセス)
2009	6	Air Thamal	"RMAF and RTAF Conclude Ait Thamal Exercise with Symbolic Wings Presentation," <i>BERNAMA</i> , June 25, 2009. http://www.accessmylibrary.com/coms2/summary_0286-38227641_ITM (2011年10月5日アクセス)
2009	7	Land Thamal 14/09	Ministry of Defence, Malaysia, Annual Report 2009.
2009	8	Seaex Thamal 2009	"48th Joint Sea Exercise between Malaysia and Thailand," <i>The Star Online</i> , August 25, 2009. http://thestar.com.my/metro/story.asp?file=/2009/8/25/southneast/4560191&sec=southneast (2010年5月20日アクセス)

69 フィリピン・ブルネイ

年	月	演習名	資料源
2003	4	Seagull 01-03	"Navy Exercise Seagull Starts," <i>BruneiDirect.Com</i> , April 8, 2003. http://old.brudirect.com/public_html/DailyInfo/News/Archive/Apr03/080403/bb03.htm (2011年3月14日アクセス)
2007	9	SEAGULL 03/2007.	"RBN, PN Bilateral Naval Exercise Concludes Today," <i>Borneo Bulletin</i> , September 10, 2007. http://www.brusearch.com/news/17262 (2011年3月14日アクセス)

70 フィリピン・マレーシア

年	月	演習名	資料源
1997		Malphi Laut	"RP, Malaysian Navies Start Joint Exercises," <i>The Manila Bulletin Newspaper Online</i> , April 11, 2007. http://www.mb.com.ph/node/13756 (2012年6月15日アクセス)
1998		Land Malphi	"RP, RP, Malaysia Start 14-day Exercises vs Crimes, Terror," <i>Philippine Daily Inquirer</i> , July 11, 2006. http://www.accessmylibrary.com/article-1G1-148041142/rp-malaysia-start-14.html (2012年6月14日アクセス)

2000	6-7	Land Malphi 02/2000	Philippine Army, 2nd Infantry Division, "59th Infantry Battalion," http://www.army.mil.ph/Army_Sites/INFANTRY%20DIVISIONS/2ID_New/2ID%20Units(Field)/59CBn.html (2011年3月8日アクセス)
2001	7	Land Malphi	"Philippine, Malaysian Armies Hold Joint Exercise," <i>AsiaPlus News</i> , July 2, 2001. (2010年5月24日アクセス)
2002	6	Land Malphi04/2002	"Overview of Philippine-Malaysia Relations," http://www.philembassykl.org.my/overview.htm (2010年5月24日アクセス)
2003	7	Land Malphi 2003	"M'sian Army to Forge Closer Relations with Philippine Army," <i>Asia Africa Intelligence Wire</i> , July 2, 2003. http://www.accessmylibrary.com/coms2/summary_0286-23708677_ITM (2012年6月14日アクセス)
2004	8	Malphi Laut	"Malaysia, Philippines Begin Nine-day Naval Exercise," <i>The Star Online</i> , August 25, 2004. http://thestar.com.my/news/story.asp?file=/2004/8/25/nation/8744211&sec=nation (2012年6月15日アクセス)
2005	7	Malphi Laut 8/2005	"Philippine-Malaysia Joint Navy Exercise Kicks off," <i>China View</i> , July 28, 2005. http://news.xinhuanet.com/english/2005-07/28/content_3278222.htm (2011年3月8日アクセス)
2005	12	Marex	"RP, Malaysia to Hold Joint Naval Exercise-anti-terrorism," <i>EagleSpeak</i> , December 8, 2005. http://www.eaglespeak.us/2005/12/rp-malaysia-to-hold-joint-naval.html (2011年2月28日アクセス)
2006	7	Land Malphi 08-2006	"RP, RP, Malaysia Start 14-day Exercises vs Crimes, Terror," <i>Philippine Daily Inquirer</i> , July 11, 2006. http://www.accessmylibrary.com/article-1G1-148041142/rp-malaysia-start-14.html (2012年6月14日アクセス)
2006	4	Marex	"Joint Navy Exercise with Philippines," <i>Daily Express</i> , April 14, 2006. https://www.dailyexpress.com.my/print.cfm?NewsID=41449 (2011年2月28日アクセス)
2007		Malphi Laut 10-2007	"RP, Malaysian Navies Start Joint Exercises," <i>The Manila Bulletin Newspaper Online</i> , April 11, 2007. http://www.mb.com.ph/node/13756 (2012年6月15日アクセス)
2008	8	Land Malphi 10/2008	Armed Forces of the Philippines, "RP-Malaysia joint military exercise begins," August 8, 2008. http://www.afp.mil.ph/index.php/site-map/19-afp-data-articles/latest-news/627-rp-malaysia-joint-military-exercise-begins (2012年6月14日アクセス)
2008	4	Malphi Laut 11/08	海洋政策研究財団『海洋安全保障月報』2008年4月号、8頁。
2008	6	Marex 6/08	"Malaysia-Philippines Naval Exercise Builds Bonds," <i>The Star Online</i> , July 10, 2008. http://thestar.com.my/metro/story.asp?file=/2008/7/10/southneast/21642245&sec=southneast (2011年2月22日アクセス)
2009	6	Malphi Laut	Philippine Navy, "RP, Malaysia Launches Malphi-Laut 09," July 27, 2009. https://www.navy.mil.ph/news.php?news_id=172 (2012年6月25日アクセス)

71 ブルネイ・マレーシア

年	月	演習名	資料源
---	---	-----	-----

1981		Hornbill	Benedict Ang Kheng Leong, "Understanding the Security Environment in Southeast Asia : A Key to Analysing the Arms Build-up," <i>Pointer</i> (V26 N2, Apr - Jun 2000).
1993		Malbru/Brumal Setia	Ministry of Defence, Brunei Darussalam, "RBLF Bilateral Ties," http://www.mindef.gov.bn/MOD_Brunei/index.php?option=com_content&view=article&id=218&Itemid=174&limitstart=1 (2013年1月27日アクセス)
1994		Mertak Bersatu	Ministry of Defence, Brunei Darussalam, "RBLF Bilateral Ties," http://www.mindef.gov.bn/MOD_Brunei/index.php?option=com_content&view=article&id=218&Itemid=174&limitstart=1 (2013年1月27日アクセス)
1999	9	Malbru/Brumal Setia 4/99	"Brunei, Malaysia to Hold War Games," <i>Borneo Bulletin</i> , September 14, 1999. http://www.accessmylibrary.com/article-1G1-55744983/brunei-brunei-malaysia-hold.html (2012年6月14日アクセス)
2000		SAREX Malbru	Ministry of Defence, Brunei Darussalam, "RB AirForce Bilateral Ties," http://www.mindef.gov.bn/MOD_Brunei/index.php?option=com_content&view=article&id=219&Itemid=179 (2012年6月14日アクセス)
2001		Malbru/Brumal Setia	Ministry of Defence, Brunei Darussalam, "RBLF Bilateral Ties," http://www.mindef.gov.bn/MOD_Brunei/index.php?option=com_content&view=article&id=218&Itemid=174&limitstart=179 (2012年6月14日アクセス)
2002		Hornbill	Ministry of Defence, Brunei Darussalam, "RB Navy Bilateral Ties," http://www.mindef.gov.bn/MOD_Brunei/index.php?option=com_content&view=article&id=213&Itemid=173 (2012年6月14日アクセス)
2004	7	Hornbill	"Malaysian Navy Vessels Depart Brunei After Hornbill," <i>BruneiDirect.Com</i> , August 7, 2004. http://old.brudirect.com/public/html/DailyInfo/News/Archive/Aug04/070804/nite12.htm (2011年3月9日アクセス)
2005	8	SAREX Malbru	"Seven Rescued in Joint Exercise off Brunei Coast," <i>BruneiDirect.Com</i> , August 5, 2005. http://old.brudirect.com/public/html/DailyInfo/News/Archive/Aug05/180805/nite02.htm (2011年3月14日アクセス)
2006	4	Hornbill	"August Date for Sepanggar Base," <i>Daily Express</i> , April 25, 2006. http://www.dailyexpress.com.my/print.cfm?NewsID=41672 (2011年3月9日アクセス)
2006	11	Mertak Bersatu	"Brunei Expressed Interest in Expanding Military ties with Malaysia," <i>China Economic Net</i> , November 17, 2006. http://www.en.ce.cn/World/Asia-Pacific/200611/17/t20061117_9469401.shtml (2011年3月14日アクセス)
2006	11	SAREX Malbru 07/2006	Ministry of Defence, Brunei Darussalam, "Flag Presentation Ceremony for Contingents of Sarex Malbru 07/2006 Exercise," November 20, 2006. http://www.mindef.gov.bn/new_home/news2006/20-11.htm (2011年3月14日アクセス)

2007	9	SAREX Malbru 08/2007	Ministry of Defence, Brunei Darussalam, "SAREX MALBRU Exercise 08/07," September 5, 2007. http://www.mindef.gov.bn/MOD_Brunei2/index.php?option=com_content&view=article&id=101:sarex-malbru-exercise-0807&catid=1:news&Itemid=92 (2009年9月6日アクセス)
2007	11	Brumal Setia 8/2007	Ministry of Defence, Brunei Darussalam, "BRUMAL SETIA EXERCISE 8/2007 Comes To An End," November 28, 2007. http://www.mindef.gov.bn/MOD2/index.php?option=com_content&view=article&id=141:brumal-setia-exercise-82007-comes-to-an-end&catid=1:news&Itemid=70 (2013年1月27日アクセス)
2008	5	Hornbill	"Brunei-Navy Hosts Exercise with Malaysian Vessels," <i>Periscope Daily Defense News Capsules</i> , May 5, 2008. http://business.highbeam.com/435960/article-1G1-178900055/bruneinavy-hosts-exercise-malaysian-vessels (2012年6月14日アクセス)
2008	11	Mertak Bersatu 8/2008	Ministry of Defence, Brunei Darussalam, "Exercise MERTAK BERSATU 8/2008 Concluded," November 27, 2008. http://www.mindef.gov.bn/MOD_Brunei2/index.php?option=com_content&view=article&id=381:exercise-mertak-bersatu-82008-concluded&catid=1:news&Itemid=92 (2009年9月6日アクセス)
2009	6	Malbru/Brumal Setia 09	Ministry of Defence Malaysia, Annual Report 2009.

72 ブルネイ・ニュージーランド

年	月	演習名	資料源
1989		Azam Bersama	Ministry of Defence, Brunei Darussalam, "RBLF Bilateral Ties," http://www.mindef.gov.bn/MOD_Brunei/index.php?option=com_content&view=article&id=218&Itemid=174&limitstart=4 (2011年3月11日アクセス)
1993		Azam Bersama	Ministry of Defence, Brunei Darussalam, "RBLF Bilateral Ties," http://www.mindef.gov.bn/MOD_Brunei/index.php?option=com_content&view=article&id=218&Itemid=174&limitstart=4 (2011年3月11日アクセス)
1996		Azam Bersama	Ministry of Defence, Brunei Darussalam, "RBLF Bilateral Ties," http://www.mindef.gov.bn/MOD_Brunei/index.php?option=com_content&view=article&id=218&Itemid=174&limitstart=4 (2011年3月11日アクセス)
2006	1-2	Azam Bersama	New Zealand Army, "Exercise Azam Bersama," <i>Army News</i> , Issue 348, February 21, 2006.

73 ブルネイ・パキスタン

年	月	演習名	資料源
2007		(コードネーム記載なし)	James Kon, "Pakistani Navy invites RBN to next 'Aman' Naval Exercise," <i>Borneo Bulletin</i> , May, 05 2009. http://www.brusearch.com/news/41886 (2012年6月8日アクセス)

74 マレーシア・ニュージーランド

年	月	演習名	資料源
---	---	-----	-----

1982	3	Taiaha Tombak IV	"NZ Naval Report to the Defence Council - 1982," RNZN Communicators Association. http://rnzncomms.org/ourhistory/dc-1982/ (2012年8月12日アクセス)
1983	1	Taiaha Tombak VI	"NZ Naval Report to the Defence Council - 1983," RNZN Communicators Association. http://rnzncomms.org/ourhistory/nz-naval-report-to-the-defence-council-1983/ (2012年8月12日アクセス)
1989	6	Taiaha Tombak XI	"NZ Troops on Exercise in Malaysia," <i>The Straits Times</i> , June 15, 1989. http://newspapers.nl.sg/Digitised/Issue/straitstimes19890615.aspx (2012年8月12日アクセス)
2006	8	Taiaha Tombak 06	New Zealand Defence Force, "Report of the New Zealand Defence Force for the Year Ended 30 June 2007."

75 マレーシア・パキスタン

年	月	演習名	資料源
1999	11	Lima 99	Pakistan Navy, "Fleet & Establishments," http://www.paknavy.gov.pk/type21.htm (2012年6月12日アクセス)
2007	12	Lima 07	James Kon, "Pakistani Navy invites RBN to next 'Aman' Naval Exercise," <i>Borneo Bulletin</i> , May, 05 2009. http://www.brusearch.com/news/41886 (2012年6月8日アクセス)
2009	12	Lima-09	Press Section, High Commission of Pakistan, Press Release, "Two Pakistani Naval Ships Reached Langkawi to Attend Lima-09," December 1, 2009.

76 パキスタン・ミャンマー

年	月	演習名	資料源
2001		海軍共同演習	Jyotirmoy Banerjee, "Readying The Indian Navy for the Twenty First Century," <i>Asian Affairs</i> , Vol. 26, No. 1 (January-March, 2004), p. 13.

77 パキスタン・バングラデシュ

年	月	演習名	資料源
2001	4	Joint Naval Exercise	"Pak, Bangladesh Hold Joint Naval Exercise," <i>The Hindustan Times</i> , April 28, 2001. http://www.burmalibrary.org/reg.burma/archives/200104/msg00102.html (2012年6月7日アクセス)

注1) 資料源が複数ある場合は、代表的なものを掲載している。

注2) 演習名中の数字については、資料源の表記のままとしている。

2 多国間演習(開始順)

(1) FPDA、SCO以外の多国間演習

1 RIMPAC

年	月	演習名	資料源
1982	3	RIMPAC 82	『防衛ハンドブック』昭和58年版、朝雲新聞社編。
1984	5	RIMPAC 84	『防衛ハンドブック』昭和61年版、朝雲新聞社編。
1986	5	RIMPAC 86	『防衛ハンドブック』昭和62年版、朝雲新聞社編。
1988	6	RIMPAC 88	『防衛ハンドブック』平成元年版、朝雲新聞社編。
1990	4	RIMPAC 90	『防衛ハンドブック』平成3年版、朝雲新聞社編。
1992	6	RIMPAC 92	『防衛ハンドブック』平成5年版、朝雲新聞社編。
1994	5	RIMPAC 94	『防衛ハンドブック』平成7年版、朝雲新聞社編。
1996	5	RIMPAC 96	『防衛ハンドブック』平成9年版、朝雲新聞社編。
1998		RIMPAC 98	『防衛ハンドブック』平成11年版、朝雲新聞社編。
2000	5	RIMPAC 00	『防衛ハンドブック』平成13年版、朝雲新聞社編。

2002		RIMPAC 02	『防衛ハンドブック』平成16年版、朝雲新聞社編。
2004		RIMPAC 04	『防衛ハンドブック』平成19年版、朝雲新聞社編。
2006	6	RIMPAC 06	『防衛ハンドブック』平成20年版、朝雲新聞社編。
2008		RIMPAC 08	『防衛ハンドブック』平成21年版、朝雲新聞社編。

2 Cope Thunder

年	月	演習名	資料源
1981		Cope Thunder	"Neil Leybourne Smith's History," http://www.3squadron.org.au/indexpages/history4.htm (2010年6月5日アクセス)
1982		Cope Thunder 83-1	"Royal New Zealand Air Force #75 Squadron," http://a4skyhawk.org/2e/newzealand/rnzaf75/rnzaf-75p.htm (2011年4月8日アクセス)
1983	9	Cope Thunder 83-7	"VAQ-136 Gauntlets Command History," http://www.vaq136.com/history.html (2011年12月28日アクセス)
1984		Cope Thunder 84-4	"Air Force Units," <i>Mobile Military Radar</i> , http://www.mobileradar.org/unit_1_75.html (2012年1月12日アクセス)
1984		Cope Thunder 84-5	"Air Force Units," <i>Mobile Military Radar</i> , http://www.mobileradar.org/unit_1_75.html (2012年1月12日アクセス)
1985		Cope Thunder	"Neil Leybourne Smith's History," http://www.3squadron.org.au/indexpages/history4.htm (2010年6月5日アクセス)
1986	9	Cope Thunder 86-7	Department of the Navy, 1986 Command History, http://www.history.navy.mil/shiphist/c/cvn-70/1986.pdf (2012年9月25日アクセス)
1987		Cope Thunder 87-1	"Air Force Units," <i>Mobile Military Radar</i> , http://www.mobileradar.org/unit_1_75.html (2012年1月12日アクセス)
1988		Cope Thunder 89-2	Department of the Navy, Forwarding of Command History, http://www.history.navy.mil/sqdhist/vaw/vaw-115/1988.pdf (2012年9月25日アクセス)
1989		Cope Thunder 89-7	"History," 36th Tac Fighter SQ, http://mindlace.com/fiends/history.htm (2012年9月25日アクセス)
1990	4	Cope Thunder	"VAQ-136 Gauntlets Command History," http://www.vaq136.com/history.html (2011年12月28日アクセス)
1990	1	Cope Thunder 90-3	"History," 36th Tac Fighter SQ, http://mindlace.com/fiends/history.htm (2012年9月25日アクセス)
1990	6	Cope Thunder 90-7	"History," 36th Tac Fighter SQ, http://mindlace.com/fiends/history.htm (2012年9月25日アクセス)
1991		Cope Thunder	"Marine Fighter Attack Squadron (All Weather) 242," http://www.grobalsecurity.org/military/agency/usmc/vmfa-242.htm (2012年1月12日アクセス)
1992	8	Cope Thunder	"History," 36th Tac Fighter SQ, http://mindlace.com/fiends/history.htm (2012年9月25日アクセス)
1993		Cope Thunder 93-3	"Marine Tactical Electronic Warfare Squadron 3 History," http://www.marines.mil/unit/2ndmaw/mag14/vmaq3/Pages/History.aspx (2012年1月12日アクセス)
1993		Cope Thunder 93-4	"Marine Tactical Electronic Warfare Squadron 3 History," http://www.marines.mil/unit/2ndmaw/mag14/vmaq3/Pages/History.aspx (2012年1月12日アクセス)

1995		Cope Thunder	"History," 36th Tac Fighter SQ, http://mindlace.com/fiends/history.htm (2012年9月25日アクセス)
1996	7	Cope Thunder 96-4	『朝雲』1996年7月11日。
1997	6	Cope Thunder 97-3	『朝雲』1997年5月29日。
1997		Cope Thunder 97	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997-1998
1998	5	Cope Thunder	"Cope Thunder Integrates Space into its Warfighting," <i>Air Force News</i> , May 28, 1998. http://www.fas.org/irp/news/1998/05/n19980528_980746.html (2012年1月5日アクセス)
1998	2	Cooperative Cope Thunder	"Cope Thunder," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/cope-thunder.htm (2010年6月5日アクセス)
1998	7	Cope Thunder98	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999
1999	2	Cope Thunder99-01	"Cope Thunder," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/cope-thunder.htm (2010年6月5日アクセス)
1999	7	Cooperative Cope Thunder	The National Institute for Defense Studies, <i>East Asian Strategic Review 2000</i> .
2000		Cope Thunder	United States Air Force, <i>United States Air Force Posture Statement 2001</i> .
2001	7	Cope Thunder	『朝雲』2001年7月19日。
2002	7	Cope Thunder	『朝雲』2002年7月11日。
2003	6	Cooperative Cope Thunder	"Japanese Fighters Join Alaskan Exercise," <i>The Veterans Hour</i> , May 29, 2003. http://www.veteranshour.com/newsworld2.htm (2012年9月25日アクセス)
2004	7	Cooperative Cope Thunder	"Cope Thunder to Help Pilots Hone War Skills," <i>Stars and Stripes</i> , July 16, 2004. http://www.stripes.com/news/cope-thunder-to-help-pilots-hone-war-skills-1.21867 (2012年1月5日アクセス)
2005	6	Cooperative Cope Thunder	"Cope Thunder," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/cope-thunder.htm (2010年6月5日アクセス)
2006	7-8	Cope Thunder	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2006-2007.
2006	7-8	Cope Thunder 06	『朝雲』2006年8月10日。
2006	10	Cope Thunder 06-03	"Wing Completes Historic Red Flag Exercise," <i>The Cargo Courier</i> , Vol. XXII, No. 6, October 21, 2006.
2007	4	Cope Thunder 07-01	United Air Force, "Red Flag-Alaska begins 2007 season," April 3, 2007. http://www.af.mil/news/story.asp?id=123047255 (2011年12月28日アクセス)
2007	6	Cope Thunder 07-02	United Air Force, "Red Flag-Alaska wraps up," June 15, 2007. http://www.af.mil/news/story.asp?id=123057480 (2011年12月28日アクセス)
2007	7	Red Flag Alaska	"Japanese Forces Arrive for Red-Flag Alaska," <i>Aero News Network</i> , July 17, 2007. http://www.aero-news.net/ANNTicker.cfm?do=main.textpost&id=9abd96ba-1142-40c1-ae41-169a54d5ded0 (2011年12月28日アクセス)
2008	3	Red Flag Alaska 08-2	Eielson Air Force Base, "Red Flag-Alaska Air Exercise Season Kicks off," March 24, 2008. http://www.eielson.af.mil/news/story.asp?id=123091380 (2011年12月28日アクセス)
2008	6	Red Flag Alaska	『朝雲』2008年6月12日。

2009	4	Red Flag Alaska 09-2	Eielson Air Force Base, "Red Flag-Alaska 2009 Exercise Season to Kick off," April 8, 2009. http://www.eielson.af.mil/news/story.asp?id=123143385 (2011年12月28日アクセス)
2009	8	Red Flag Alaska 09-3	"Red Flag-Alaska Force Exercise," <i>Air-Attack.com</i> , August 18, 2009. http://www.air-attack.com/news/article/3806/08-18-2009-Red-Flag-Alaska-force-exercise.html (2011年12月28日アクセス)
2009	10	Red Flag Alaska	『朝雲』2009年10月22日。

3 Pitch Black

年	月	演習名	資料源
1984	5	Pitch Black	平和・安全保障研究所『アジアの安全保障 1985年』朝雲新聞社、1985年。
1996	7-8	Pitch Black	Ministry of Defence, Singapore, "RSAF in Air Defence Exercise with RAAF and USAF," July 12, 1996. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1996/jul/12jul96_nr.html (2012年9月25日アクセス)
1997		Pitch Black 97	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997-1998.
1998	8	Pitch Black	Ministry of Defence, Singapore, "RSAF in Air Manoeuvre Exercise with RAAF," August 28, 1998. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1998/aug/28aug98_nr2.html (2008年8月14日アクセス)
2000	7-8	Pitch Black 2000	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2000-2001.
2002	7-8	Pitch Black 02	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2002-2003.
2004	7-8	Pitch Black	Ministry of Defence, Singapore, "RSAF Participates in Exercise Pitch Black," July 19, 2004. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2004/jul/19jul04_nr2.html (2010年5月19日アクセス)
2006	7-8	Pitch Black '06	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2006-2007.
2008	6	Pitch Black08	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore Participates in Ex Pitch Black," June 25, 2008. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2008/jun/25jun08_nr.html (2012年9月25日アクセス)

4 Bell Buoy

年	月	演習名	資料源
1989		Bell buoy	"Bell Buoy," <i>GlobalSecurity.org</i> , http://www.globalsecurity.org/military/ops/bell-buoy.htm (2010年2月9日アクセス)
1994		Bell buoy 94	"Exercise 'Bell Buoy'," <i>Navy News</i> , July 26, 1994.
1995		Bell Buoy	"Database of Royal Australian Navy Operations, 1990-2005," Working Paper No. 18, Sea Power Centre, Australia.
1999	5	Bell Buoy 99	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
2000	4	Bell Buoy 00	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1999-2000.
2001	4-5	Bell Buoy 01	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2000-2001.
2003	5-6	Bell Buoy 03	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2002-2003.
2004	3-4	Bell Buoy 04	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2003-2004.

2006		Bell Buoy 2006	"Bell Buoy 2006 Goes Wireless," The Navy Reserve Link, Vol. 15, No.3, December 2006. http://www.navy.forces.gc.ca/cms_images/navres_images/e-link/2006-12-link.pdf (2013年3月12日アクセス)
2007		Bell Buoy	Department of Defence, Republic of South Africa, "The Opening of Exercise BELL BUOY," http://www.navy.mil.za/archive/0904/090424_ex_bell_buoy/article.htm (2010年6月5日アクセス)
2008		Bell Buoy	Department of Defence, Republic of South Africa, "The Opening of Exercise BELL BUOY," http://www.navy.mil.za/archive/0904/090424_ex_bell_buoy/article.htm (2010年6月5日アクセス)
2009	4	Bell Buoy	Department of Defence, Republic of South Africa, "The Opening of Exercise BELL BUOY," http://www.navy.mil.za/archive/0904/090424_ex_bell_buoy/article.htm (2010年6月5日アクセス)

5 Kakadu

年	月	演習名	資料源
1993	5	Kakadu 1	Royal Australian Navy, "HMAS Swan(III)," http://www.navy.gov.au/HMAS_Swan_(III) (2011年12月26日アクセス)
1995	3	Kakadu 2	"Hobart Leads Way," <i>Navy News</i> , March 10, 1995.
1997		Kakadu III/97	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997-1998.
1999	7-8	FCP Kakadu IV	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1999-2000.
2001	7-8	Kakadu V/01	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2001-2002.
2003	7-8	Kakadu VI/03	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2003-2004.
2005	7-8	Kakadu VII/05	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2005-2006.
2007	7	Kakadu VIII	Australian Government, Department of Defence, "Exercise Kakadu Comes to a Close," July 27, 2007. http://www.defence.gov.au/media/DepartmentalTpl.cfm?CurrentId=6899 (2012年9月25日アクセス)
2008	7	カカドゥ 08	『防衛ハンドブック』平成21年版、朝雲新聞社編。

6 Cope Tiger

年	月	演習名	資料源
1996	10	Cope Tiger	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore Joins Thailand and the US in Air Exercise," October 26, 1996. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1996/oct/26oct96_nr.html (2012年9月25日アクセス)
1997	11	Cope Tiger	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore in Air Exercise with Thailand and U.S.," November 3, 1997. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1997/nov/03nov97_nr.html (2012年9月25日アクセス)
1998	2	Cope Tiger 1998	Asia Pacific Defense Forum Fall 1998, "Cope Tiger 98," http://forum.apan.info.net/Fall_98_r.html (2011年4月8日アクセス)
1999	1-2	Cope Tiger(phase 2)	The National Institute for Defense Studies, <i>East Asian Strategic Review 2000</i> .
1999	11	Cope Tiger(phase 1)	The National Institute for Defense Studies, <i>East Asian Strategic Review 2000</i> .

1999	11	Cope Tiger	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore, Thai and US Air Forces Take Part in Major Exercise," November 6, 1999. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1999/nov/06nov99_nr.html (2012年9月25日アクセス)
2001	12	Cope Tiger 2002	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore, Thailand and US in Trilateral Exercise," December 11, 2001. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2001/dec/11dec01_nr.html (2012年9月25日アクセス)
2002	12	Cope Tiger 2003	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore, Thailand and US in Trilateral Air Exercise," December 16, 2002. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2002/dec/16dec02_nr1.html (2012年9月25日アクセス)
2003		Cope Tiger 2003	United States Marine Corps, "Marine Tactical Electronic Warfare Squadron 3 History," www.marines.mil/unit/2ndmaw/mag14/vmaq3/Pages/History.aspx (2012年1月12日アクセス)
2004	11	Cope Tiger 2004	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore, Thailand and US in Trilateral Air Exercise," November 30, 2004. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2004/nov/30nov04_nr.html (2012年9月25日アクセス)
2005	11	Cope Tiger 2005	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore, Thailand and United States Participate in 12th Cope Tiger Air Exercise," November 30, 2005. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2005/nov/30nov05_nr.html (2012年9月25日アクセス)
2006	12	Cope Tiger	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore, Thailand and US Conclude Trilateral Air Exercise," February 9, 2007. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2007/feb/09feb07_nr2.html (2012年9月25日アクセス)
2007	12	Cope Tiger	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore, Thailand and The United States in Trilateral Air Exercise," December 19, 2007. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2007/dec/19dec07_nr.html (2012年9月25日アクセス)
2008	12	Cope Tiger	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore, Thailand, US in Trilateral Air Exercise," March 20, 2009. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2009/mar/20mar09_nr2.html (2012年9月25日アクセス)
2009	12	Cope Tiger	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore, Thailand and US Participate in Trilateral Air Exercise," March 12, 2010. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2010/mar/12mar10_nr.html (2012年9月25日アクセス)

7 Milan

年	月	演習名	資料源
1995		Milan	Indian Navy, "MILAN 2008," http://indiannavy.nic.in/Milan%202008.htm (2011年4月8日アクセス)
1997		Milan	Indian Navy, "MILAN 2008," http://indiannavy.nic.in/Milan%202008.htm (2011年4月8日アクセス)
1999		Milan	Indian Navy, "MILAN 2008," http://indiannavy.nic.in/Milan%202008.htm (2011年4月8日アクセス)
2003	2	Milan 2003	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2003-2004.

2006	1	Milan 06	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2006-2007.
2008	1	Milan 08	Ministry of Defence, Government of India, Annual Report 2008-2009.

8 Pacific Airlift Rally

年	月	演習名	資料源
1997		Pacific Airlift Rally	PACAF, "Pacific Airlift Rally 2011 Kicks off," August 18, 2011. http://www.pacaf.af.mil/news/story.asp?id=123268741 (2012年9月26日アクセス)
1999	6	Pacific (PACRIM) Airlift Rally 99	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
2001	9	Pacific Airlift Rally	"Hawaiian Humanitarian Exchange," <i>Air Force News</i> , November 2001. http://www.defence.gov.au/news/raafnews/EDITIONS/2001/4310/story05.htm (2011年4月9日アクセス)
2003	9	Pacific Airlift Rally 03	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2003-2004.
2005	8	Pacific Airlift Rally 2005	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2005-2006.
2007		Pacific Airlift Rally 2007	"Pacific Airlift Rally 2007 Gets underway," <i>AirForce Times</i> , August 20, 2007. http://www.airforcetimes.com/news/2007/08/airforce_pacific_exercise_070820/ (2010年5月20日アクセス)
2009	8	Pacific Airlift Rally 2009	PACAF, "Pacific Airlift Rally 2009 Under Way," August 20, 2009. http://www.pacaf.af.mil/news/story.asp?id=123164293 (2012年9月26日アクセス)

9 Tricrab

年	月	演習名	資料源
1998		Tricrab 98	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997-1998.
1999	4	Tricrab 99	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
2000	5	Tricrab 00	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1999-2000.
2001	4-5	Tricrab 01	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2000-2001.
2002	9	Tricrab 02	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2002-2003.
2006	4	Tricrab 06	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2005-2006.

10 MCM

年	月	演習名	資料源
1999	7	MCM Tri-Lateral EX 99	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1999-2000.
2004		MCMEEX	Official Committee Hansard, Senate, Foreign Affairs, Defence and Trade Legislation Committee, November 2, 2005.

11 Pacific Reach

年	月	演習名	資料源
---	---	-----	-----

2000	10	Pacific Reach 2000	Ministry of Defence, Singapore, "RSN Hosts First Multilateral Submarine Rescue Exercise in the Western Pacific Region," October 2, 2000. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2000/oct/02oct00_nr.html (2012年9月26日アクセス)
2002	4	Pacific Reach(西太平洋潜水艦救難訓練)	『防衛ハンドブック』平成16年版、朝雲新聞社編。
2004	5	Pacific Reach(西太平洋潜水艦救難訓練)	『防衛ハンドブック』平成20年版、朝雲新聞社編。
2007	11-12	Pacific Reach 2007	Ministry of Defence, Singapore, "Exercise Pacific Reach 2007," December 7, 2007. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2007/dec/07dec07_nr.html (2012年9月26日アクセス)

12 Tempest Express

年	月	演習名	資料源
2000	11	Tempest Express TE-1	Multinational Planning Augmentation Team(MPAT), May 1, 2010. https://wss.apan.org/432/Files/What%20is%20MPAT_MAY10.ppt (2012年9月26日アクセス)
2001	2	Tempest Express TE-2	Multinational Planning Augmentation Team(MPAT), May 1, 2010. https://wss.apan.org/432/Files/What%20is%20MPAT_MAY10.ppt (2012年9月26日アクセス)
2002	1	Tempest Express TE-3	Multinational Planning Augmentation Team(MPAT), May 1, 2010. https://wss.apan.org/432/Files/What%20is%20MPAT_MAY10.ppt (2012年9月26日アクセス)
2002	8	Tempest Express TE-4	Multinational Planning Augmentation Team(MPAT), May 1, 2010. https://wss.apan.org/432/Files/What%20is%20MPAT_MAY10.ppt (2012年9月26日アクセス)
2003	8	Tempest Express TE-5	Multinational Planning Augmentation Team(MPAT), May 1, 2010. https://wss.apan.org/432/Files/What%20is%20MPAT_MAY10.ppt (2012年9月26日アクセス)
2004	3	Tempest Express TE-6	Multinational Planning Augmentation Team(MPAT), May 1, 2010. https://wss.apan.org/432/Files/What%20is%20MPAT_MAY10.ppt (2012年9月26日アクセス)
2004	8	Tempest Express TE-7	Multinational Planning Augmentation Team(MPAT), May 1, 2010. https://wss.apan.org/432/Files/What%20is%20MPAT_MAY10.ppt (2012年9月26日アクセス)
2005	7	Tempest Express TE-8	Multinational Planning Augmentation Team(MPAT), May 1, 2010. https://wss.apan.org/432/Files/What%20is%20MPAT_MAY10.ppt (2012年9月26日アクセス)
2006	3	Tempest Express TE-9	Multinational Planning Augmentation Team(MPAT), May 1, 2010. https://wss.apan.org/432/Files/What%20is%20MPAT_MAY10.ppt (2012年9月26日アクセス)
2006	8	Tempest Express TE-10	Multinational Planning Augmentation Team(MPAT), May 1, 2010. https://wss.apan.org/432/Files/What%20is%20MPAT_MAY10.ppt (2012年9月26日アクセス)

2007	2	Tempest Express TE-11	Multinational Planning Augmentation Team(MPAT), May 1, 2010. https://wss.apan.org/432/Files/What%20is%20MPAT_MAY10.ppt (2012年9月26日アクセス)
2007	6	Tempest Express TE-12	Multinational Planning Augmentation Team(MPAT), May 1, 2010. https://wss.apan.org/432/Files/What%20is%20MPAT_MAY10.ppt (2012年9月26日アクセス)
2007	7	Tempest Express TE-13	Multinational Planning Augmentation Team(MPAT), May 1, 2010. https://wss.apan.org/432/Files/What%20is%20MPAT_MAY10.ppt (2012年9月26日アクセス)
2008	3	Tempest Express TE-14	Multinational Planning Augmentation Team(MPAT), May 1, 2010. https://wss.apan.org/432/Files/What%20is%20MPAT_MAY10.ppt (2012年9月26日アクセス)
2008	7	Tempest Express TE-15	United Nations System Influenza Coordination (UNSCIC) Asia-Pacific Regional Hub, Simulation exercises on influenza pandemic responses in the Asia-Pacific region, 2008. http://www.adpc.net/v2007/ikm/ONLINE%20DOCUMENTS/downloads/2008/Oct/unsic_pandemic_complete.pdf (2012年9月26日アクセス)
2009	3	Tempest Express TE-16	Multinational Planning Augmentation Team(MPAT), May 1, 2010. https://wss.apan.org/432/Files/What%20is%20MPAT_MAY10.ppt (2012年9月26日アクセス)
2009	8	Tempest Express TE-17	Multinational Planning Augmentation Team(MPAT), May 1, 2010. https://wss.apan.org/432/Files/What%20is%20MPAT_MAY10.ppt (2012年9月26日アクセス)

13 Regional MCMX

年	月	演習名	資料源
2001	6	Regional MCMX	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2000-2001.

14 Tri-Sling

年	月	演習名	資料源
2001	5	Tri-Sling	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2000-2001.
2002	5	Tri-Sling	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore Participates in Air Exercise with Australia and the United States," May 16, 2002. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2002/may/16may02_nr3.html (2012年9月26日アクセス)

15 WPNS多国間海上訓練

年	月	演習名	資料源
2001	5	WPNS多国間海上訓練	Ministry of Defence, Singapore, "RSN Hosts Shore-Based Tactical Training Exercise for Western Pacific Naval Symposium," May 9, 2001. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2001/may/09may01_nr.html (2012年9月26日アクセス)
2005	5	WPNS多国間海上訓練	『防衛ハンドブック』平成18年版、朝雲新聞社編。
2009		WPNS多国間海上訓練	防衛省編『防衛白書』平成22年版。

16 西太平洋掃海訓練(MCMEX)

年	月	演習名	資料源
---	---	-----	-----

2001	6	第1回西太平洋掃海訓練	『防衛ハンドブック』平成16年版、朝雲新聞社編。
2004	4	第2回西太平洋掃海訓練	『防衛ハンドブック』平成19年版、朝雲新聞社編。
2006	6	第3回西太平洋掃海訓練	『防衛ハンドブック』平成20年版、朝雲新聞社編。

17 SEACAT

年	月	演習名	資料源
2002		SEACAT	"PAXRVR's Patrol Squadron(VP) 8 Participates in SEACAT," <i>Southern Maryland Headline News</i> , June 1, 2005. http://somid.com/news/headlines/2005/2107.shtml (2009年12月3日アクセス)
2004		SEACAT	"Helping to Ensure Secure Seas," <i>Asia Pacific Defense Forum</i> , Fall 2004, http://forum.apan.info.net/fall04/4-7/4.html (2010年5月27日アクセス)
2005		SEACAT	"PAXRVR's Patrol Squadron(VP) 8 Participates in SEACAT," <i>Southern Maryland Headline News</i> , June 1, 2005. http://somid.com/news/headlines/2005/2107.shtml (2009年12月3日アクセス)
2006	5	SEACAT	"Ex SEACAT 2006," <i>Navy News</i> , Issue 04, 2006.
2007	8	SEACAT	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore Participates in Naval Exercise SEACAT 2007," August 20, 2007. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2007/aug/20aug07_nr3.html (2009年9月15日アクセス)
2008	8	SEACAT	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore Participates in Naval Exercise Against Terrorism," August 19, 2008. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2008/aug/19aug08_nr.html (2010年5月19日アクセス)
2009	8	SEACAT	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore Participates in Naval Exercise against Terrorism," August 14, 2009. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2009/aug/14aug09_nr2.html (2010年5月20日アクセス)

18 Pacific Protector

年	月	演習名	資料源
2003	9	Pacific Protector	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2003-2004.
2006	4	Pacific Protector 06	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore Participates in Proliferation Security Initiative Exercise," April 7, 2006. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2006/apr/07apr06_news.html (2012年9月26日アクセス)

19 Team Samurai (PSI)

年	月	演習名	資料源
2004	10	Team Samurai	外務省「拡散に対する安全保障構想」(PSI)海上阻止訓練「チーム・サムライ04」(概要と評価)2004年10月28日。 http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/fukaku_j/psi/samurai04_g.html (2011年4月9日アクセス)

20 Deep Sabre (PSI)

年	月	演習名	資料源
2005	8	Deep Sabre (PSI)	『防衛ハンドブック』平成18年版、朝雲新聞社編。

2009	10	Deep Sabre II	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore hosts Proliferation Security Initiative (PSI) Exercise," October 27, 2009. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2009/oct/27oct09_nr.html (2012年9月26日アクセス)
------	----	---------------	---

21 Regional Counter Terrorist Subject Matter Expert Exchange

年	月	演習名	資料源
2005	8	Regional Counter Terrorist Subject Matter Expert Exchange	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2005-2006.

22 Western Protector (PSI)

年	月	演習名	資料源
2006	4	Western Protector: PSI 06-1	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2005-2006.

23 Aman

年	月	演習名	資料源
2007	3	Aman-07	"AMAN 2007: Nations United Against Maritime Terrorism," <i>Asia Pacific Defense Forum</i> , 3rd Quarter 2007. http://forum.apan.info.net/2007-3rd_quarter/aman/1.html (2011年4月7日アクセス)
2009	3	Aman-09	United States Navy, "U.S. Navy, Coast Guard Ships Participate in Exercise Aman 2009," March 9, 2009. http://www.navy.mil/submit/display.asp?story_id=43263 (2011年4月7日アクセス)

24 Pacific Shield

年	月	演習名	資料源
2007	10	Pacific Shield	外務省「拡散に対する安全保障構想」(PSI)海上阻止訓練「Pacific Shield 07」(概要と評価)2007年10月18日。 http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/fukaku.j/psi/ps07_gh.html (2011年4月9日アクセス)

25 Tendon Valiant

年	月	演習名	資料源
2007	6	5th Tendon Valiant	Australian Government, Department of Defence, Army, "A helpful exercise in health," July 12, 2007. http://www.defence.gov.au/news/armynews/editions/1170/features/training03.htm (2012年9月26日アクセス)
2008	5	Tendon Valiant 2008	"Tendon Valiant '08 Kicks off in Indonesia," <i>Hawaii Army Weekly</i> , Vol. 37 No. 20, May 16, 2008. http://www.garrison.hawaii.army.mil/HAW/May2008/Haw%2016May08.pdf (2012年9月26日アクセス)
2009	6	Tendon Valiant	United States Army, "Tendon Valiant Medical Readiness Exercise in Indonesia," July 2, 2009. http://www.army.mil/media/72078 (2012年9月26日アクセス)

26 Maru

年	月	演習名	資料源
2008	9	Maru	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore Takes Part in Maritime Interdiction Exercise in New Zealand," September 16, 2008. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2008/sep/16sep08_nr.html (2012年9月26日アクセス)

27 Shanti Doot 2

年	月	演習名	資料源
2008	3-4	Shanti Doot 2	Embassy of the United States of America, "U.S. Army Pacific Deputy Commanding General Visits Bangladesh," April 2008. http://dhaka.usembassy.gov/uploads/images/VymA9sjsJx3SkW6YR_ob5g/07_apr_08_US_Army_Dep_Commander_visits_Bangladesh.pdf (2012年9月26日アクセス)

28 ARF災害救援演習

年	月	演習名	資料源
2008		4 ARF disaster relief desktop exercise	Australian Government, Department of Foreign Affairs and Trade, "ASEAN Regional Forum(ARF)," http://www.dfat.gov.au/arf/index.html (2012年1月3日アクセス)
2009		5 ARF災害救助実動演習	防衛省編『防衛白書』平成22年版。

29 日米印共同演習

年	月	演習名	資料源
2007		5 日米印3国間訓練	『防衛ハンドブック』平成20年版、朝雲新聞社編。

30 豪、ニュージーランド、中国海軍共同軍事演習

年	月	演習名	資料源
2007		10 豪NZ中海軍共同軍事演習	"Chronicle of Chinese Naval Ships' Overseas Missions," <i>China Wire</i> , December 30, 2008. http://china-wire.org/?p=2136 (2013年2月11日アクセス)

31 日米豪共同演習

年	月	演習名	資料源
2007		10 日米豪3国間訓練	『防衛ハンドブック』平成20年版、朝雲新聞社編。
2009		9 日米豪共同訓練	防衛省編『防衛白書』平成22年版。

(2)FPDA

1 ADEX

年	月	演習名	資料源
1984		6 ADEX 84	平和・安全保障研究所編『アジアの安全保障 1985年』朝雲新聞社、1985年。
1991		6 ADEX 91-4	Royal Australian Navy, "HMAS Westralia(II)," http://www.navy.gov.au/HMAS_Westralia_(II) (2010年12月6日アクセス)
1996		9 Major ADEX 96-4	Ministry of Defence, Singapore, "FPDA Defence Chiefs' Conference Visit Joint Naval and Air Exercises," September 14, 1996. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1996/sep/14sep96_nr.html (2012年9月26日アクセス)
2000		4-5 ADEX 2000	Ministry of Defence, Singapore, "FPDA Conducts Air Defence Exercise," January 22, 2005. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2000/april/26apr00_nr2.html (2009年9月8日アクセス)
2002		4-5 ADEX 2002	Ministry of Defence, Singapore, "FPDA to hold Annual Exercise," April 25, 2002. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2002/apr/25apr02_nr.html (2009年9月8日アクセス)

2 Bersama Lima

年	月	演習名	資料源
---	---	-----	-----

2000		Bersama Lima	Carlyle A. Thayer, "The Five Power Defence Arrangements Exercises and Their Contribution to Regional Security, 2004-2010," Paper for Conference on the Five Power Arrangements at Forty(March 2, 2011).
2004	9	Bersama Lima 04	Ministry of Defence, Singapore, "9th FPDA Defence Chiefs' Conference and Exercise Bersama Lima 04, September 10, 2004. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2004/sep/10sep04_nr.html (2009年9月14日アクセス)
2005	9	Bersama Lima 05	Ministry of Defence, Singapore, "Exercise BERSAMA LIMA 2005," September 15, 2005. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2005/sep/15sep05_nr.html (2009年9月14日アクセス)
2008	10	Bersama Lima	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore Takes Part in FPDA Exercise," October 17, 2008. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2008/oct/17oct08_nr.html (2010年5月19日アクセス)
2009	10	Bersama Lima	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore Hosts FPDA Joint Exercise," October 9, 2009. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2009/oct/09oct09_nr.html (2010年5月20日アクセス)

3 Lima Bersatu

年	月	演習名	資料源
1988		Lima Bersatu	Carlyle A. Thayer, "The Five Power Defence Arrangements Exercises and Their Contribution to Regional Security, 2004-2010," Paper for Conference on the Five Power Arrangements at Forty(March 2, 2011).

4 Platypus

年	月	演習名	資料源
1981	8	Platypus	Ministry of Defence, Singapore, "1981 - Exercise Platypus," August 7, 2001. http://www.mindef.gov.sg/imindef/about_us.html (2010年10月12日アクセス)

5 Starfish

年	月	演習名	資料源
1987	6-7	Starfish 87	平和・安全保障研究所編『アジアの安全保障 1988-1989年』朝雲新聞社、1988年。
1988	7	Starfish 88	Royal Australian Navy, "HMAS Oxley(II)," http://www.navy.gov.au/HMAS_Oxley_(II) (2010年9月19日アクセス)
1990		Starfish	Royal Australian Navy, "HMAS Oxley(II)," http://www.navy.gov.au/HMAS_Oxley_(II) (2010年9月19日アクセス)
1991		Starfish 11/91	Royal Australian Navy, "HMAS Swan(III)," http://www.navy.gov.au/HMAS_Swan_(III) (2010年10月19日アクセス)
1992		Starfish 92	Royal Australian Navy, "HMAS Swan(III)," http://www.navy.gov.au/HMAS_Swan_(III) (2010年10月19日アクセス)
1993		Starfish 13/93	Royal Australian Navy, "HMAS Swan(III)," http://www.navy.gov.au/HMAS_Swan_(III) (2010年10月19日アクセス)
1994		Starfish	Royal Australian Navy, "HMAS Westralia(II)," http://www.navy.gov.au/HMAS_Westralia_(II) (2010年12月6日アクセス)

1995		Starfish	Royal Australian Navy, "HMAS Westralia(Ⅱ)," http://www.navy.gov.au/HMAS_Westralia_(II) (2010年12月6日アクセス)
1996	9	Starfish 16/96	Ministry of Defence, Singapore, "FPDA Conducts Joint Maritime Exercise," September 1, 1996. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1996/sep/01sep96_nr.html (2008年8月11日アクセス)

6 Kris Sakti

年	月	演習名	資料源
1987		Kris Sakti	Ministry of Defence, Singapore, "1981 - Exercise Platypus," August 7, 2001. http://www.mindef.gov.sg/imindef/about_us.html (2010年10月12日アクセス)

7 Lion Spirit

年	月	演習名	資料源
1989		Lion Spirit	Ministry of Defence, Singapore, "1981 - Exercise Platypus," August 7, 2001. http://www.mindef.gov.sg/imindef/about_us.html (2010年10月12日アクセス)

8 Sea Lion

年	月	演習名	資料源
1989		Sea Lion	Carlyle A. Thayer, "The Five Power Defence Arrangements Exercises and Their Contribution to Regional Security, 2004-2010," Paper for Conference on the Five Power Arrangements at Forty(March 2, 2011).

9 Churinga

年	月	演習名	資料源
1998		Churinga 98-1	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997-1998.
1998	6-12	Churinga 98-2	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
1999		Churinga 99-01	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
2000	6-7	Churinga/Flying Fish	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2000-2001.
2001	9	Churinga 01-2	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2001-2002.

10 Flying Fish

年	月	演習名	資料源
1991		Flying Fish	Ministry of Defence, Singapore, "1981 - Exercise Platypus," August 7, 2001. http://www.mindef.gov.sg/imindef/about_us.html (2010年10月12日アクセス)
1997	4	Flying Fish 1/97	Ministry of Defence, Singapore, "FPDA Defence Ministers Visit Combined Maritime-Air Exercise," April 14, 1997. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1997/apr/14apr97_nr.html (2008年8月12日アクセス)
2000	7	Flying Fish 2000	Ministry of Defence, Singapore, "Exercise Flying Fish 2000," July 3, 2000. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2000/jul/03jul00_nr.html (2009年9月8日アクセス)

2003	6	Flying Fish 2003	Ministry of Defence, Singapore, "Ex FLYING FISH 2003," June 21, 2003. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2003/jun/21jun03_nr.html (2009年9月10日アクセス)
------	---	------------------	---

11 IDAS

年	月	演習名	資料源
1994		IDAS 2-94	Royal Australian Navy, "HMAS Westralia(Ⅱ)," http://www.navy.gov.au/HMAS_Westralia_(II) (2010年12月6日アクセス)
1997		IDAS 97-4	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997-1998.
1998		IDAS 98-2	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1997-1998.
1999	4	IDAS ADEX 99-2	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1998-1999.
2000	4-5	IADS/ADEX SERIES	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1999-2000.
2001	4-5	IDAS ADEX 01-2	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2000-2001.
2002	4-5	IDAS ADEX 02	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2001-2002.

12 Lumtex

年	月	演習名	資料源
1994	3	Lumutex	Royal Australian Navy, "HMAS Westralia(Ⅱ)," http://www.navy.gov.au/HMAS_Westralia_(II) (2010年12月6日アクセス)

13 Major AEDX

年	月	演習名	資料源
1998	4	Major ADEX 98-2	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Malaysia in Air Defence Exercise," June 16, 1998. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1998/jun/16jun98_nr.html (2008年8月14日アクセス)
1999	4	Major ADEX 99-2	"Eight-day FPDA Exercise Kicks off," <i>The Straits Times</i> , April 15, 1999. http://newspapers.nl.sg/Digitised/Issue/straitstimes19990415.aspx (2011年3月3日アクセス)

14 Minor ADEX

年	月	演習名	資料源
1998	3	Minor ADEX 98-1	Ministry of Defence, Singapore, "Singapore and Malaysia in Air Defence Exercise," June 16, 1998. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1998/jun/16jun98_nr.html (2008年8月14日アクセス)

15 Suman Warrior

年	月	演習名	資料源
1996	10	Suman Warrior	Ministry of Defence, Singapore, "SAF Joins FPDA Partners in Australia for Exercise," October 17, 1996. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1996/oct/17oct96_nr3.html (2008年8月11日アクセス)
1997	10	Suman Warrior	Ministry of Defence, Singapore, "SAF Joins FPDA Partners in New Zealand for Exercise," October 6, 1997. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/1997/oct/06oct97_nr.html (2008年8月14日アクセス)

2000	11	Suman Warrior 2000	Ministry of Defence, Singapore, "EX Suman Warrior 2000," November 13, 2000. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2000/nov/13nov00_nr2.html (2009年9月8日アクセス)
2001	10	Suman Warrior 2001	Ministry of Defence, Singapore, "Exercise Suman Warrior 2001," October 13, 2001. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2001/oct/13oct01_nr.html (2009年9月8日アクセス)
2002	9-10	Suman Warrior 2002	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2002-2003.
2003	9-10	Suman Warrior 2003	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2003-2004.
2004	9-10	Suman Warrior 2004	Ministry of Defence, Singapore, "FPDA Countries Take Part in Exercise Suman Warrior 04," September 28, 2004. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2004/sep/28sep04_nr2.html (2009年9月14日アクセス)
2005	9-10	Suman Warrior 2005	Ministry of Defence, Singapore, "FPDA Countries Take Ppart in Exercise Suman Warrior 05," September 30, 2005. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2005/sep/30sep05_nr2.html (2009年9月14日アクセス)
2006	7	Suman Warrior 2006	Ministry of Defence, Singapore, "FPDA Countries Take Part in Exercise Suman Warrior 06," July 12, 2006. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2006/jul/12jul06_nr2.html (2009年9月14日アクセス)
2008	9	Suman Warrior 2008	Ministry of Defence, Singapore, "SAF Takes Part in FPDA Exercise in New Zealand," September 10, 2008. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2008/sep/10sep08_nr.html (2010年5月19日アクセス)
2009	8	Suman Warrior	Ministry of Defence, Singapore, "SAF Takes Part in Exercise Suman Warrior 2009," August 19, 2009. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2009/aug/19aug09_nr.html (2012年9月27日アクセス)

16 Stardex

年	月	演習名	資料源
1999	8-9	Stardex 99	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 1999-2000.
2001	9	Stardex 01	Ministry of Defence, Singapore, "STARDEX 2001," September 3, 2001. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2001/sep/03sep01_nr.html (2009年9月8日アクセス)
2002	9	Stardex 02	Ministry of Defence, Singapore, "STARDEX 02," September 2, 2002. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2002/sep/02sep02_nr.html (2009年9月10日アクセス)

17 Bersama Padu

年	月	演習名	資料源
2006	9	Bersama Padu 2006	Ministry of Defence, Singapore, "Exercise Bersama Padu 2006," September 7, 2006. http://www.mindef.gov.sg/imindef/news_and_events/nr/2006/sep/07sep06_nr.html (2009年9月14日アクセス)

18 Bersama Shield

年	月	演習名	資料源
2004	5	Bersama Shield 04	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2003-2004.

2005		4	Bersama Shield 05	New Zealand Defence Force, "Navy Deploys to Asia," March 21, 2005. http://www.nzdf.mil.nz/news/media-releases/20040321-ndta.htm (2010年2月28日アクセス)
2006		4	Bersama Shield 06	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2005-2006.
2007		4-5	Bersama Shield 07	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2006-2007.
2008		5	Bersama Shield 08	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007-2008.
2009		5	Bersama Shield 09	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2008-2009.

19 Suman Protector

年	月	演習名	資料源	
2007		8-9	Suman Protector	Australian Government, Department of Defence, Annual Report 2007-2008.

(3) SCO

1 Coalition 2003

年	月	演習名	資料源	
2003		8	Coalition 2003	"Coalition-2003: A Successful Joint Anti-terrorism Maneuver," <i>PLA Daily</i> , August 14, 2003. http://english.chinamil.com.cn/special/5army/txt/61.htm (2013年2月11日アクセス)

2 Nurek-Antiterror 2009

年	月	演習名	資料源	
2009		4	Nurek-Antiterror 2009	"'Terrorist attack' to be Thwarted by Joint Forces," <i>RT</i> , April 18, 2009. http://rt.com/news/terrorist-attack-to-be-thwarted-by-joint-forces/ (2013年2月11日アクセス)

3 Bogorodsk災害救難演習

年	月	演習名	資料源	
2009		5	Bogorodsk災害救難演習	"Chinese Servicemen Attending SCO Joint Disaster Relief Exercise Return," <i>PLA Daily</i> , May 25, 2009. http://english.chinamil.com.cn/site2/special-reports/2009-05/25/content_1777399.htm (2013年2月11日アクセス)

注1) 資料源が複数ある場合は、代表的なものを掲載している。

注2) 演習名中の数字については、資料源の表記のままとしている。